

ソレカラ先程労働學校ニ大學教授ガ進んで出ルト云フ御話ガアリマシタガ、是ハ餘程文部省トシテ考へナケレバナラヌ事デ、私ハ大學ノ教授ヲ彼此レ此處デ一々批評シタクナイ、殆ド自分ノ同僚ガ多イカラ言ヒタクナイ労働學校ニ只進んで出ルト云フコトハ結構デアリマスガ、大學ノ教授ヲ煩ハス程ノ事デアルカドウカ、ソコニ問題ガアリハシナイカト云フコトモ考へナケレバナラヌコトデアリマス、協調會ナドハ各大學カラ教授ガ二三人位出テ居ル、私モ其一人デアアルガ、労働學校ニ大學ノ教授ヲ要スル程ノ高等教育ヲ授ケル必要ガアルモノカドウカ、多クノ場合ニ於テソレ程ノコトデハナイ、殊ニ此法制經濟ニ關スル大學ノ教授ハ抽象的ノ議論ガ多イ、是ハ私自身モサウ言ハレルト申譯ガナイガ、抽象的ノ事ヲ教授シテ居ルコトガ多イ、ソレガ労働學校其モノ、本質カラ言ツテモ、國家ノ大學教授ナドガ行ツテ、ムヅカシイ階級闘争ノ講義ナドヲシタリ、ソレカラ社會問題ノ講義ヲスルト云フコトハ、労働學校本然ノ目的カラ、殊ニ最近各國ニ於ケル労働教育カラ言ツテ、労働教育ハソソナ高等ナル理論ヲ教ヘルト云フコトノミニ傾イテハイケナイナラバ、將來ノ労働組合ノ「リーダー」トシテ、組合員トシテノ必要ナル所ノ、或意味カラ申シマスルナラバ技術教育、労働組合トシテ熱練ナル教育、斯ウ云

フヤウナ所ニモ餘程中心ヲ置カナケレバナラヌガ、ドウモ日本ノ労働學校ノ教育方針ハ茲ニ向イテ居ラヌヤウニ思ヒマス、是ガ労働組合ノ根本デアアルガ故ニ、餘程此點ハ御考へ下サツテ、サウシテ文部省ハ大金ヲ出シテ労働教育ヲ徹底的ニ——是ハモット文部省ガ、金ヲ出シテ、一萬圓ダラウガ幾ラダラウガ、非常ナ金ヲ出シテ、現在ノ労働學校ヲ指導シ善化スルト云フコトニ向ケナケレバ、折角組合法案ヲ出シマシテモ、是ハ政府ノ希望スルヤウナ指導精神ニ向カヌト云フコトニナリマスノデ、是ハ何レ文部大臣ニ伺ヒマスガ、斯ウ云フヤウナ意味ニ於キマシテ、文部省カラ現在ノ労働學校ノ内容其他ニ付キマシテ調査シタ資料ヲ求め、更ニ文部大臣出席ノ機會ニ於キマシテ、斯ウ云フ意味ニ於キマシテモウ少シ所感ヲ尋ネタイト思フノデアリマス、サウ云フ趣旨ニ於キマシテ文部大臣ニ御傳ヘテ願ヒタイノデアリマス

○野村政府委員 只今安藤君、松村君御兩君カラノコトハ文部大臣ニ確ニ御傳ヘシマス、文部當局ト致シマシテ、御兩君ノ意見ニ全然賛成デス、將來ハ大ニ労働教育ヲ完成スルニ努メマス、此事ハ私ガ申上ゲテ置キマス、御趣意ノ點ハ文部大臣ニ十分傳ヘタイト思ヒマス、ソレカラ今日マデノ労働者教育ニ對スル事實上ノ問題、即チドウ云フ處デ何

回講習ヲヤツテ、ドウシタト云フ、サウ云フ事實上ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ其事ヲ調査致シマシテ、更ニ其調査ノ結果ヲ申上ゲヨウト思ヒマス、序ニ申上ゲマスルガ、私ガ大學ノ教授ト言ヒマシタノハ、要スルニ精神修養ヲナスニ適當ナル人物ヲ選んで、サウシテ講演ヲナサシメタ、博士モ居レバ又著名ノ人モ居ルト斯ウ申上ゲタノデアリマシテ、其點ハ、大學ノ先生ガ殊ニ偉イカラト云フ意味デ申上ゲタノデアリナイデアリマス、而シテ労働者教育ヲスル、ソレニ對スル主眼ノ點、如何ニシタナラバ労働者教育ヲ完成スルカト云フコトニ付テノ今松村君ノ御注意ハ御尤デ、單ニ學位トカ何トカ云フモノダケニ憧レタリ、餘リ理想ガ高過ギタリシタナラバ、實際教育トシテハ當ヲ得ナイダラウト思フ、此點モ將來労働者教育ヲ致ス上ニ於テ、篤ト注意ヲ致サウト存ズル次第デアリマス

○松村委員 只今ノ點ニ關シテハ文部大臣ノ出席ヲ要求シテ保留シテ置キマシテ、續イテ伺ヒマス、此處ニ「共濟」ト云フコトガアリマス、労働條件ノ維持改善ノ目的ヲ持ツテ居ラナイ共濟團體ガ全國ニ澤山アリマスルガ、是ハ此間モ本法ノ所謂組合トシテハ認メナイト云フヤウナ御話モアツタヤウデアアルガ、其邊ノ認定ナドニ付キマシテハ、何カ當局ニ標準ト申シマスルカ、其邊ノコトニ付キマシテ大體

衆議院委員會労働組合法案外一件委員會第八回

ノ御考ガゴザイマスカドウカ、伺ヒタイノデアリマス

○吉田政府委員 労働條件ノ維持改善ヲ全然目的トセザル純粹ノ共濟團體ト云フモノハ純粹ノ教育團體等ト同ジク此労働組合法ノ適用ヲ受ケザルモノデアリマス、別ニ労働條件ノ維持改善トソレ等ノ事項トヲ併セテ致シマスル團體ハ、ソレハ此組合法ノ適用ヲ受ケルノデアリマス、其認定ノ標準ト致シマシテハ、ヤハリ當該共濟組合ノヤツテ居リマスル事業、規約ニ定メテアリマスモノ等ニ付キマシテ、具體的ニ判別ヲ致スヨリ外ナイト思ヒマスルシ、大體只今マデアリマスル實在ノ共濟團體デ、労働條件ノ維持改善ヲモ目的トスル労働組合ト云フモノヲ振分ケルト云フコトハ、事實ノ問題ト致シマシテハ餘リ困難デアリマスマイト思ヒマス、振分ケマス標準ハ其事業ノ規約規則等ガ如何ヤウニナツテ居ルカト云フコトデヤツテ行クノ外ハアルマイト思ヒマス

○松村委員 現在ノ共濟團體ト云フノハ、労働條件ノ維持改善ト云フ規約ガナイモノガ澤山アル、斯ウ云フヤウナモノハ、規約ヲ改メザル限りハ單純ナル共濟團體トシテ、英吉利ノ所謂「フレンドリ・ソサイテイ」ト云フモノト同ジク、全然労働組合ト認メナイ、規約ヲ改メテ労働條件ノ維持改善ト云フヤウナコトヲ附加ヘナイ限りハ、現在斯ウ云

フモノハ澤山アルガ、サウ云フモノハ認メナイト云フ御方針デアリマス。

○吉田政府委員 共済組合ハ認メナイト云フノデハナイノデアリマス(松村委員「イヤ、ソレヲ労働組合法トシテ……」)労働組合法ヲ適用シナイト云フノデアリマス。

○松村委員 ソレカラ「共同利益ノ保護増進」ト云フコトガアリマスルガ、此共同利益中ニハ、此頃各國ニ於テヤツテ居リマスル労働銀行ノ如キモ現在日本ニハナイカモ知ラヌガ、此労働銀行ハドウ云フ風ニ御認ニナリマス。

○吉田政府委員 労働者ノ福利増進ノ施設トシテハ、銀行以外ニモ色々ナ行爲ガアルト思ヒマスルガ、茲ニ法文中ニモ、第十四條ニモ物品ノ供給利用或ハ生産物ノ賣却ト云フヤウナコトガ載ツテ居リマス、ソレニ對シテ特別ノ保護ヲ與ヘル建前ニナツテ居ルノデアリマス、銀行ニ付キマシテハ、御承知ノ通り自由ニ之ヲ行フコトガ出来ナイ法制ノ建前ニナツテ居リマスノデ、銀行ニ關スル幾多ノ法制ノ改正サレマセヌ限リハ、労働組合デモ之ヲ自由ニ行フト云フ譯ニハ行カヌト思ヒマス。

○松村委員 是ハ言フヲ俟タヌコトデアリマシテ、労働組合法ガ銀行法ニ基キマシテ、マア貯蓄銀行ノ如キモノヲ拵ヘタル場合ニハ、ソレヲ如何ニ取扱フカト云フ問題、更ニ各

國ニアリマスルヤウナ労働銀行ノコトニ付キマシテハ、大藏大臣ノ出席ヲ求メテ別ニ伺ヒマスルガ、労働銀行ハ、労働組合ノ目的仕事トシテ非常ニ重大ナ事デアリマス、日本ノ労働組合ハ貧弱デアツテモ、近キ將來ニ於テ、労働組合自身ガ、貯蓄銀行ヲ經營スルト云フヤウナコトハアリ得ルコトナラバデアリマス、斯ウ云フヤウナ場合ニハ、是ハ本法ニ申シマスル共同利益ノ保護増進ト致シマシテ之ヲ認メラレルカドウカト云フコトヲ、豫メ伺ツテ置クノデアリマス。

○吉田政府委員 労働組合ガ、労働組合トシテ、労働組合自體トシテ、銀行ヲ經營スルト云フノハ、只今ノ銀行ノ法制ニ關スル建前上實行致シ兼ネルコトデアアルト大體考ヘテ居リマス、組織ヲ拵ヘル上ニ於キマシテモ、労働組合自體トシテハヤレナイノデハナイカト思フノデアリマス、尙ホ銀行ニ關スル法規ハ只今調べマシテ御答致シマスガ、其外ニ、労働者ノ金融ヲ付ケル爲ノ特殊ノ銀行ト云フヤウナコトヲ、労働組合ニ關係シテ居ル人々ガ、別ノ組織トシテ致スト云フヤウナコトハ、是ハ只今ノ法制ノ上ニ於キマシテモ、事情ガ許サナラバソレハ出来得ルコトカト考ヘマス、又サウ云フ實際労働ニ從事シテ居ル人ガ、簡易ニ各々ノ必要ナル金融ヲ付ケテ貰フ施設ト云フモノハ、非常ニ有益デ

アラウト考ヘマスルガ、是等ニ付キマシテハ、私共ハ無論關係ノアルコトデゴザイマスルケレドモ、マダソレ等ノ組織ヲドウ云フ風ニスルカト云フヤウナ點ニ付キマシテハ新シイ組織ノ問題トシテハ考ガ定ツテ居ラナイノデアリマス、從前アリマスル、例ヘバ信用組合ナリ、或ハ低利質屋、公益質屋、ソレ等ノ目的ニ活用セラレマスヤウニハ精々現在ニ於テモ努メテ居ルノデアリマスガ、何カ新シイソレニ適應スルヤウナ仕組ヲ法制ノ上デ決メルト云フコトニ付テハ、マダ考ガ決マツテ居リマセヌ、左様ナコトモ現在ノ時勢トシテ大ニ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌ問題トハ考ヘマス。

○松村委員 ソレハ労働組合員ガ個人トシテヤル問題ハ無論聞イテ居ラヌノデアリマス、労働組合自身——労働組合ノ代表者ガ銀行ノ出資者トナリ、銀行ノ創立者、設立者トナリ、理事トナリ、其目的ガ營利ノ目的モ伴フ、サウ云フ場合ニ、是等ノ労働銀行ヲ本法ノ適用ニ依リマシテ認メルカドウカ云フコト、更ニ只今長官ノ言ハレタ質屋ニ付テモ公益質屋、私益質屋モ労働組合ガ經營シ得ルカドウカ、是ハ共同利益ノ増進ノ一ツトシテ認メラレルカドウカ、此労働銀行、質屋ニ付テ伺フノデアリマス。

○吉田政府委員 銀行ニ付テハ銀行法ノ規定スル所ニ依レ

バ、株式会社デナケレバ經營ガ出来ナイ、隨テ労働組合ガ労働組合自體トシテヤルコトハ出来マセヌガ、只今御話ノヤウナ風ニ労働組合ノ幹部ニアル人ガ發起人トシテ設立スル、設立ノ手續ヲ充足シテ、ソレガ認メラレルト云フコトニナリマスレバ、労働組合關係者ガ別ニ拵ヘマシタヤハリ一般ノ銀行ト認メラレルノデアリマス、ソレハ労働組合自體ノ事業デハナイノデアリマス、質屋ニ付テハ第一條ニ規定シテアル目的、組合員ノ共済、修養其他共同利益ノ保護増進ヲ目的トスル爲ニ動産ヲ預カリマシテ、ソレニ對シテ、少額ノ金融ヲ付ケテヤルト云フコトヲ組合ノ内部デ行フナラバ、斯ウ云フコトハ營利質屋デハナイノデアリマシテ、御互ノ申合セノ金融方法ヲ定メルノデアルカラ、ソレハ第一條ノ目的ノ範圍内デアルト考ヘルノデアリマスガ、一般ノ人々ニ金融ヲ付ケル營利質屋ノ建前ニ從ツテ、利權ヲ取ツテ營利質屋ニ關スル法制ノ統制ヲ受ケテ、誰カラデモ典物ヲ預ツテ金融ヲ付ケルト云フコトデアリマス、ソレハ營利自體ヲ目的トスルノデアリマスカラ、左様ナ事ハ労働組合ノ事業トシテハ出来ナイト考ヘマス、尤モ是亦労働組合ニ關係シタ幹部ガ、組合外ニ於テサウ云フ事業ヲ致スト云フコトハ、是ハ労働組合ノ事業ト認メラレマセヌノデ、サウ云フ事ハ起リ得ルノデアリマス。

○松村委員 私ハ左様ナ事ヲ伺ツテ居ルノデハナイ、労働組合ガ集ツテ、組合自身ノ金ヲ以テ其代表者ヲ銀行ノ創立者トシテ、例ヘバ七ツ以上ノ労働組合ガ集ツテ、其代表者ガ組合ノ出資ニ依ツテ、銀行法ノ所謂銀行ヲ設立スルト云フ場合ニハ、是ハドウ取扱フカ、モウツ質屋ノ場合デアリマスガ、此間労働組合ノ定義ヲ西尾君ガ聽カレマシタガ、例ヘバ百人ノ者ガ質屋ヘ参ルトシテ、九十八人マデハ組合員デ、一人二人ノ者ガ組合外ノ者デアアル、斯ウ云フ場合ニ質屋營業ヲ行ツタ時ハ是ハドウ取扱フカ、是ハ昨日ノ事項ト同ジヤウナ意味ニ於テ再ビ御伺スルノデアリマス

○吉田政府委員 ヤハリソレハ第一條ノ組合ノ目的云々ト云フコトノ解釋トシテ決メル外仕方ノナイ問題デアアルト思フノデアリマスガ、銀行ヲ經營スルト云フ場合ニ、是ハ法人ノ労働組合ノ場合ガ最モ顯著デアラウト思ヒマスガ、法人労働組合ノ代表者ガ法人労働組合トシテ其銀行設立ノ幹部ニナル、即チ労働組合自體ガ労働銀行ヲ設立スルト云フガ如キハ、組合員ノ共同利益ノ保護増進ト云フ目的ノ範圍外ニ出テ居ルモノト考ヘマスノデ、左様ナ事ハ組合ノ事業トシテハ認め難イヤウニ思ヒマス、質屋ノ場合ニ付テモ一般ノ質屋ヲ行フト云フ時ハ同ジコトデアリマス

○松村委員 一人デモ二人デモ組合外ノ質ヲ取ルコトハイ

ケマセヌカ

○吉田政府委員 一人二人ト云フヤウナ場合ニハ、ソレハ組合内部ニアリマス質屋デアリマス、組合員ニ融通ヲ付ケル爲ニ、サウ云フ施設ヲ持ツテ居ル、是ハ内輪機關デアリマスルガ、偶々組合ト友好關係ニアル人ガ其處ヘ來テ、同ジ方法デ金融ヲ付ケテ貰フト云フヤウナコトガ稀ニ起リ得マシテモ、丁度組合員ノ食堂ニ外部ノ人ガチヨツト御飯ヲ食ベニ來テモ、組合員食堂タルコトハ失ハナイト同ジニ考ヘテ居リマス

○松村委員 銀行ノ問題ニ付キマシテハ將來私ハ労働銀行ト云フモノガ起リ得ル、又起サナケレバナラヌト思フ、此場合はハ労働銀行ト云フモノハ全然營利法人トシテ本法ノ適用ヲ受ケナイト云フコトニナリマスノデ、此問題ハ大蔵省ノ所管デアリマスカラ、他日大蔵大臣ニ伺ヒマスガ、質屋ノ問題ハ丁度食堂ニ外部カラ人ガ入ツテ來ルト同ジコトデアルトノコトデアリマスガ、段々其意味ヲ擴張致シマスルト、是ハ能クアル例デアアルガ、實ハ組合員外ノ人ガ多クヤツテ來テ、サウシテ營利ヲ目的トシナイト云フ名目ノ下ニ營利質屋ニ變形スルト云フヤウナ處ガアル、サウ云フヤウナ場合ニハ茲ニ營利ヲ目的トセザルト言ハレテ居リマスガ、實ハ反對ニナルヤウナ處モアルノデアリマスガ、大體

ノコトハ認定出來マスケレドモ、其處ヲモウ少シ明白ニ規定スルコトハ出來ナイノデセウカ、ソレ等ノ事ニ付キマシテ營利デアルトカナイトカ云フヤウナコトヲ標準トシテ、共同利益ノ保護増進ト云フコトヲヤル上ニ於テ、非常ナ將來問題ガ起リハシナイカト思フノデ、例證トシテ茲ニ伺ツタノデアリマス

尙ホソレニ關聯致シマスルガ、十四條ニ組合ハ營利ニアラザル限リハ生産消費、所謂産業組合ノコトヲヤリ得ルヤウナコトニナツテ居リマスガ、例ヘバ、組合ガ麵粉ヲ焼イテ、組合員ダケデナクシテ組合員以外ノ人ニ盛ニ賣ツテ居ルト云フコトハ、實例ガ各國ニ澤山アル、斯ウ云フヤウナ場合ニハ大部分組合員ニヤルノデアアルカラ、非營利ノ經營デアアルガ、組合員以外ニ盛ニ麵粉ヲ賣ツテ居ルヤウナコトハ各國實際ヤツテ居ル、斯ウ云フ場合ニハ其組合員以外ノ麵粉ノ販賣ニ付テハ本法ノ適用ヲドウスルカ、ソレ等ニ付テハ營業稅ハ取ルカ取ラヌカ、斯ウ云フヤウナ事ハ豫メ考ヘテ置カナケレハナラヌガ、サウ云フ經營ヲ豫想シテ本法ノ適用ノ上ニ於テ、モウ少シ明確ナ考デ承ツテ置キタイ

○吉田政府委員 組合ハ前カラモ申上ゲテ居リマス通り、營利其モノヲ目的ニスルコトハ出來ナイノデアリマス、隨

テ純粹ニ外部ノ人ニ賣廣メヲスル爲ニ、労働組合ガ麵粉屋業ヲ營ムト云フヤウナコトハ出來ナイガ、此十四條ニ規定シテアリマスヤウニ、組合員ノ共同利益ノ保護増進ノ目的ヲ以テ組合員ノ生産シタ物ヲ賣却スル業ヲ營ムト云フ場合ニ於キマシテハ、營業收益稅ヲ課セナイト云フ特典ヲ付與シテアル、是ハヤハリ先程ノ御質問ト同ジヤウナ風ニ其仕事ノ自體ハ組合員ノ共同利益ノ保護増進ヲ目的トシテ居ルノデアアル、ソレニ伴レテ、多少其製品ヲ餘所ノ人ニ賣リ、餘所ノ人ノ利益ニモソレガナリマシテモ、事業自體ノ目的ガ組合員ノ共同利益ニアルト云フ以上ハ、ソレ等ニ付キマシテハ組合員ノ目的ノ範圍内ノ仕事ト認メラレノデアリマス、限界ニ付キマシテ餘リ判定ハムヅカシクナイダラウト思フノデアリマス

○松村委員 是ハヤハリ將來起リ得ル問題デアリマスルガ故ニ、假令共同利益ノ保護増進ノ目的ヲ以テ、サウ云フヤウナコトヲ經營致シマシテモ、外部ニ賣ツタ組合ノ麵粉ノ販賣トカ、或ハ質屋ノ仕事、外部ニ向ツテ洗濯仕事ヲヤルト云フヤウナコトハ澤山アリマスガ、斯ウ云フヤウナ事ニ付キマシテハ、同ジ共同利益ノ保護増進デアツテモ、其營業ノ内容ヲ二ツニ分ケテ、外部ニヤツタ仕事ニ付キマシテハ、判定ガ中々ムヅカシイ、原則トシテハヤハリ營業

税、所得稅ヲ課スルト云フヤウナ觀念モ茲ニ加ヘテ置キマセスト、段々其範圍ガ擴張致シマシタ場合ニ、是ハ普通ノ質屋ノ營業者ニ非常ナ影響ヲ及ボスコトハ、實際各國ノ實例ニ依ツテモ、此處カラ色々ナ問題ガ起ルノデアリマスカラ、漠然唯大シタ事ハアルマイト云フ認定ノ下ニ——是ハ何レ追加規定トシテモ差支ナイコトデアルト思フガ、豫メ茲ニ本條ヲ制定スル上ニ於キマシテ、斯ウ云フ事ニ付テ多少ノ標準ヲ置キマセスト、無條件ニ之ヲ許スト云フコトデアリマスナラバ、組合ノ名ニ於テ斯ウ云フ營利事業ヲヤルト云フコトハ將來起リ得ル、是ハ各國ニ於テ爲シテ居ル、此點ニ付テモ豫メ茲ニ社會局ハ考ヲ置キマセスト、將來ハ問題ガ起ルト思ヒマスカラ、是ハ注意事項ト同時ニ、出來ルナラバ本法ニ何等カノ準用規定ヲ必要トスルノデハナイカト云フ感ジガシマスカラ、此機會ニ一言申上ゲテ置キマス

○西尾委員 只今勞働銀行ノ御話ヲ聞キマシタガ、勞働銀行ト云フ名ニ相應シイカドウカ疑問ガアリマスガ、吾々ノ團體デハ勞働銀行ニ似通ツタモノヲ現在ヤツテ居ルノデアリマス、例ヘバ私ノ組合長ヲシテ居ル大阪紡績勞働組合デハ、各支部カラ適當ニ積立金ヲ出シマシテ、主トシテ是ハ「ストライキ」ノ爲ニ使フヤウニナツテ居リマスガ、ソレ

ニハ無制限ニ一ツノ支部ニ金ヲ貸スト云フノデハナクテヤハリ預入レノ金額ニ應ジテ、必要ナ場合ニハ貸スト云フヤウニ——吾々ハ之ヲ事業金庫ト稱シテ居リマスガ、サウ云フ設備モアリマスシ、更ニ總同盟ノ關東同盟デハ數個ノ組合ガ寄集ツテ、先程ト同様ニ組合ガ豫メソコニ一定ノ金額ヲ積立テ、置ク、サウスルトソレニ對シテ其金額ニ應ジテ、金額ヨリモ以上ノ金額ヲ必要ナ場合ニハ貸與ヘルト云フヤウナ機關ヲ實際ニヤツテ居リマス、是ハ將來段々發達シテ行キマスガ、サウ云フ事ハ適法ノ行爲トシテ是認サレルノデアリマスカ

○吉田政府委員 前ニ舉ゲラレマシタ、實例ハ組合ノ基金ノ集方竝ニ其管理方、使方ト云フヤウナコトニ關スル一ツノ組織的ナ方法ヲ御執リニナツタノデアリマシテ、是ハ何等問題ハナイノデアリマス、後ノ場合モ組合員ニ對シテ組合ノ内輪デ貸付ケル、ソレハヤハリ組合員ノ共同利益ノ保護増進ト云フ一ツノ事例ニナルト思フ、貸付方法等ニ付キマシテ、最モ組合員ノ實情ニ合フヤウナ方法ヲ立テラレマシテモ、ソレハ銀行ヲ經營シテ居ルノダト云フコトニハナラスト思ヒマス

○西尾委員 スルト大體適法ノ行爲トシテ自由ニヤツテ宜シイノデスナ

モウ一ツ御同致シマスガ、第十四條ニ「法人タル勞働組合ガ」云々トシテアリマスガ、現在行ハレテ居ル事實ニ依リマス、法人デナイ勞働組合デ、消費組合トカ購買組合ヲ大分經營シテ居ルノデアリマスガ、將來ニ於テモ法人デナイ勞働組合ガサウ云フヤウナモノヲヤル場合ガアルト思ヒマス、サウ云フ場合ニハヤハリ十四條ノ保護ヲ受ケルノデアリマスカ

○吉田政府委員 現在アリマスル色々ナ産業組合類似ノ仕事ヲ致シテ居リマスノハ多クハ組合ニ關係ノ人々ガ別ニ消費組合トカ、購買組合トカ云フモノヲ經營シテ居ルモノト考ヘマス、ソレ等ハ消費組合トシテ、購買組合トシテ、産業組合法ノ適用ヲ受ケル、即チ必要ナ手續規定ガアリマシテ、其手續ヲ受ケテヤルコトハ出來ルノデアリマス、勞働組合ノ事業デナク、産業組合ノ事業トシテヤツテ居ルノデアリマス、ソレハ今後ト雖モオヤリニナルコトハ隨意デアリマス、先程銀行ニ付テモサウ云フ場合ガアリ得ルト申シタノハ其意味デアリマス、組合内輪ノ事業トシテ、組合自體ガ十四條ニアリマシヤウナ行爲ヲ致サウトスル、サウシテ此十四條ノ規定ニ基イテ免稅ノ恩典ニ與カルト云フ場合ニハ、ソレハ法人タル勞働組合ニ限ツテ居ルノデアリマス、産業組合法ガ適用ニナリマセヌ代リニ、法人タル組合

ニ限リ此恩典ガ與ヘラレルノデアリマス

○宮澤委員 只今松村君ノ質問ニ對シテ長官ガ御答辯ニナリマシタガ、實例ニ付テ、麵麩ナドヲ販賣致シマス場合ハ、外ニ賣出シテモ是ハ營業稅所得稅ハ取ラナイノデアリマスカ、モウ一週明瞭ニ伺ヒタイ

○吉田政府委員 先程私ノ其點ニ關スル御説明ハ稍々不完全デアツタト思ヒマスカラ、此際併セテ補足致シテ置キマス、販賣組合ト云フ字ハ茲ニ使ツテ居リマセヌガ、組合員ノ共同利益ノ保護増進ノ爲ニ、組合員ノ生産シタ物ヲ外部ニ賣リマシテモ、ソレハ十四條ノ適用ヲ受ケルノデアリマス、例ヘバ麵麩ノコトデアリマスガ、組合自體ガ麵麩製造所ニナツテ、組合ノ事業ノ目的トシテ麵麩ヲ拵ヘテ賣ルト云フナラバ、ソレハ組合ノ事業目的以外ニ逸脱スルコトニナリマスケレドモ、一人々々麵麩ヲ拵ヘテ——組合バカリデハアリマセヌガ、麵麩ノ問題ガ非常ニ分リ宜イ、茲ニ麵麩工ノ組合ガアリマシテ、銘々家デ麵麩ヲ拵ヘル、ソレヲ組合事務所ニ集メテ外部ヘ賣ルト云フノハ、ソレハ組合員ノ生産シタ物ヲ組合員ノ共同利益増進ノ爲ニ外部ヘ賣ルノデアリマスカラ、サウ云フモノヲ認メルト云フコトニ關シテ此販賣組合ヲ認メテ居ルノデアリマス、一寸判定ニ迷フ場合ガナイトハ考ヘマセヌガ、區別ハサウ云フ標準デヤル考デ

アリマス

○宮澤委員 然ラバ組合員個々ガ造ツタ物ヲ持寄テ一箇所
デ賣ルト云フコトハ之ヲ認メルシ免稅スルケレドモ、組合
員ガ仕事ノ餘暇ヲ利用シテ寄ツテ麵麩ヲ製造シテ——一ツ
處デ製造シ合ツテ、原料ヲ纏メテ買ツテヤツテ、之ヲ賣ル
ト云フコトニ付テハ免稅ニスルコトハ宜クナイ、詰リ十四
條ノ規定ノ外ト認メマスカ

○吉田政府委員 其麵麩ナリ或ハ「ボール」箱ナリヲ拵ヘ
ル場所ヲ同ジ場所デ致シマシテモ、ソレハ個々ノ機能機能
ニ應ジテ、サウシテ銘々拵ヘタ品物ヲ賣ルト云フコトニ致
シマスレバ、場所ハ同ジ場所ニ便宜ニ寄集ツテ拵ヘテモソ
レハ宜イ考デアリマス

○宮澤委員 然ラバ今ノ御答辯ニ依リマス、要スルニ組
合員ガ組合ノ資本デ材料ヲ買入レ、組合員ガ寄合ツテ品物
ヲ拵ヘル、ソレヲ一般社會ニ賣ルト云フコトニ付テモ免稅
ノ恩典ニ與ルノデアリマス、サウシマスト隨分色々ナ仕
事ヲ工夫スルヤウニナツテ、此取締ガ出來ナクナリハセヌ
カト思ヒマスガ、私ハソレニヤハリ關聯シテ御尋シタイコ
トハ、浴場デアリマス、風呂デアリマスガ、之ヲ組合員ガ
設ケテ、ソレハ組合員ガ固ヨリ利用スルノデアリマスガ、
ソレヲ一般ノ浴場ヨリ安ク入浴料ヲ取ツテ入浴サスト云フ

コトニナル、斯ウ云フモノヲ御許シニナルカドウカ、是ニ
モ稅ヲ御課ケニナリマセヌカ

○吉田政府委員 是モ先程カラ擧ゲラレル色々ノ例ト同ジ
ヤウナ標準デ行クヨリ仕方ガナイト思ヒマス、組合員ガ共
同ニ這入ル爲ニ組合員ノ風呂ヲ拵ヘル、ソレニハ外部ノ人
モ組合員ト同ジ狀況デ全然這入ツテハナラヌト言ツテ、這
入ツテ居ル者ヲ押出スコトハ出來マセヌ、組合員外ノ者モ
同ジ風呂錢ヲ拂ツテ這入ル、或ハ組合員ノ家族モ同ジ風呂
錢ヲ拂ツテ這入ルト云フコトデアリマシテモ、事業ノ主ト
シテ狙フ所ハ營利ヲ目的トスルノデナクテ、組合員ノ福利
ノ爲ニ風呂屋ヲ營ムト云フコトデアリマス、營利ヲ目
的トスルニ非ズシテ、組合員ノ共同ノ利益ノ保護増進ヲ目
的トスルモノトシテ、組合事業ニ屬スルモノト思ヒマス、
主トシテサウ判定スルヨリ仕方ガナイ、尤モ其判定ニ付テ
ハ守屋サンカラ御注意ノアツタヤウニ、濫ニ流レザルヤウ
注意スル必要ハアリマス

○宮澤委員 サウスルト利益ノ保護ト云フコトニナレバ浴
場ヲ認メマスカ、然ラバヤハリ是モ生活上ノ必要ニナル、
又一方活動寫眞ヲ組合員ガ經營スル、是ハ主トシテ組合員
ニ觀覽セシメル意味デ作ツタノデアリマスガ、ヤハリ安イ
觀覽料ヲ拂ツテ一般ノ公衆ニ見セルト云フ場合、是モ御認

ニナリマスカ

○吉田政府委員 ドシ〜一般ノ公衆ニ見セルト云フヤウ
ナ場合ハ先程御擧ゲニナツタ例モ全部認メマセヌ、一般公
衆ニ見セルコトヲ目的トスルノデナクテ、組合員ニ見セル
コトヲ目的トシ、組合員ノ利用サレルコトヲ目的トシテ拵
ヘマシタモノ、浴場ダラウガ、食堂ダラウガ、ソレガ偶々
外部ノ人ガ這入ルコトガアツテモ、外部ノ人ヲ絕對ニ入レ
テハナラヌト云フノデナクテ、利用シテモソレガ主タル目
的デナイ、經營ノ目的ガ組合員ノ共同ノ福利増進ニアルナ
ラバ、ソレハ認メルト云フ意味デアリマス、外部ノ人ヲ幾
ラ入レテモ宜イト云フ意味デ御答シテ居ルノデアリマセ
ヌ、又外部ノ人ノ爲ニ設ケタカ、組合員ノ爲ニ設ケタカト
云フコトハ、ソレハ實際ニ其行ハレル狀況ニ付テ個々ニ判
斷スルヨリ仕方ガナイノデアリマシテ、其點ニ至リマシテ
ハ十分ニ注意ガ出來ルト考ヘテ居リマス

○宮澤委員 固ヨリ組合員ノ保護、福利増進ノ目的ノ爲ニ
サウ云フ設備ヲ整ヘテ、而モ一般公衆ガ、——實際サウ云
フ場合ガアルダラウト思ヒマスガ、這入ツテ來ル場合ハ、
組合員ガ低廉ナル賃金ヲ以テ觀覽セシメルト云フコトノ質
問デアリマスカラ、仰ツンヤル事ト少シモ違ツテ居リマセ
ヌ、サウ云フ場合ヲ全部御認ニナルト云フコトニナルト、

是ニ所得稅營業稅ヲ一切課セナイト云フコトニナルト、比
較的賃金ナゾモ、入浴ニシテモ觀覽料ニシテモ安ク見セテ
モ、外ノ一般ノ興業營業者ヨリモ有利ニ經營ガ出來ルノデ
ナイカト思ヒマスガ、サウスルト是ハ實際ノ場合ニ於テ色
々當局モ手加減スルト云フ御話デアリマスガ、果シテドレ
ダケ組合ノ者ガ這入ツテ居ルカ、或ハ有料ノ者ガ這入ツテ
居ルカト云フコトハ、實際問題トシテ取締ハ相當困難デナ
イカト思フ、サウシマスト自然免稅ニ浴シテ色々ノ事業ヲ
經營スルコトニ依ツテ、組合ヲ利用シテ色々ノ事業ヲ爲シ
テ、色々ノ弊ガ起ルダラウト思フ、サウシテ眞面目ニ營業
稅所得稅ヲ拂ツテ居ル一般ノ經營者ニ非常ナ影響ヲ及ボス
ト云フ結果モ、自然招來スルコトニナリハセヌカト思ヒマ
スガ、斯ウ云フコトニ付テ取締ニ付テ、或ハ見解ニ付テ、
相當何カ御腹案ヲ御持チデアリマセウカ如何デゴザイマス
カ

○吉田政府委員 數字の區別ハゴザイマセヌガ、營利ヲ目
的トシテ其事業ヲ經營サレテ居ルノカ、ソレトモ組合員ノ
共同事業ノ爲ニ其ノ事業ガ經營サレテ居ルカト云フコトヲ
見マスコトハ、其實際ノ事業ノ施行ナリ、或ハ設備ノ模様
等ニ依リマシテ、必ズシモ判定ニ困難デナイト思ヒマス、
是ガ行ハレマス爲ニ、不當ニ組合ハ一般ノサウ云フ營利會

社ト同ジ事ヲシテ居ルニ拘ラズ、免稅ノ恩典ニ浴スル、サ
ウシテ一般ノサウ云フ小賣業者或ハ營利業者ト云フモノ、
營業ヲ壓迫スルダラウト云フヤウナコトニナラナイヤウニ
ハ十分出來ルト思ヒマス

○宮澤委員 相當私ハ是ハ實際問題トシテ困難ナ問題デハ
ナイカト思ヒマス、取締上截然ト區別ヲスルコトハ固ヨリ
必要デアリマスガ、其場合々々ニ依ツテ實際ニ之ヲ取締ル
ト云フ御話デアリマスガ、相當困難デナイカト思ヒマス、
此問題ハヤハリ制限ヲ加ヘテ行クト云フコトガ、十四條ノ
目的ヲ達スル上ニ於テモ必要デナイカ、及ビ一般ノ營業者
ヲ保護スル上ニ於テモ必要デナイカト思フノデアリマス
ガ、次ニ質問者ガアルヤウデアリマスカラ私ハ此位ニシテ
置キマス、唯御注意ヲ願ヒマス

○守屋委員 今ノ御話ヲ承リマシテ疑問ガ深クナツタノデ
アリマスガ、労働組合ガ銀行類似ノ仕事ガ出來ルト云フヤ
ウニ西尾君ノ質問ニ對シテ御答ノヤウデアリマシタガソレ
ハ確ニ出來マスカ

○吉田政府委員 銀行類似ノ事業ガ出來ルト云フ趣意ニ御
答シタノデナイノデアリマス、西尾君ノ御舉ゲニナツタ例
ハ組合員カラ組合ニ金ヲ委託シテ、其組合員ニ又戻シテヤ
ルト云フヤウナ御話ナノデアリマス、一般銀行事業トシテ

經營スルヤウナモノデナクシテ、ホンノ内部ノ關係ニ於テ
金ノ預カリ方、貸方ト云フヤウナモノデアリマス、丁度役
所ノ内部ニ於テ貯金組織ガアツテ、ソレカラ色々融通スル
仕組ガ現ニ認メラレテ居リマス、ソレハ銀行類似トシテ取
締ヲ受ケテ居リマセヌ、各會社ニモアルヤウデアリマス、
ソレニ似タヤウニ承リマシタノデ、ソレハ出來マスト申シ
タノデアリマス

○守屋委員 其點ハハツキリシテ御置キニナラナイト後ニ
問題ガ起ルト思ヒマス、例ヘバ今西尾君ノ出シタ例ハ極ク
簡單デ、アレハ文章ニシテドウ云フ状態ニアルカト云フコ
トヲ調べタ上デナイト、明確ナル答辯ヲナサレコトハド
ウカト思ヒマス、銀行法ニモアリマスガ、銀行類似ノ仕事
ハ銀行デナクテハ出來ヌコトニナツテ居リマス、デアリマ
スカラ銀行ト稍々似タヤウナ仕事スルト云フヤウナコト
ヲ此處ニ書イテアル、共同利益ノ保護ト云フ精神デハナカ
ラウ、ダカラ少クトモサウ云フ似タヤウナコトハ組合ノ方
針トシテハ禁ズル方針ナノデアリマス、モウツ質屋ノコ
トニ付テ御話ガアリマシタガ、組合員カラ質物ヲ取ツテ金
ヲ貸シテヤルト云フ、是ナドニ付テモ組合内ダケニサウ云
フ事ヲヤラレル場合ハ、ソレガ宜シイストラバ、組合
以外ノ二三ノ者ニモ貸シテヤツテモ宜シイ、本體ガ組合員

ノ者ニ質物ヲ取ツテ金ヲ貸シテヤルト云フ本體デアレバ、
外ノ者ニモ幾ラカ貸シテヤツテモ宜イ、斯ウ云フ風ナ政府
委員ノ御答辯ガアリマシタケレドモ、ソレナドモドウカ、
一體質ニ類似ノ行為ヲヤルト云フコトハ、是ハ可ナリ業態
トシテハ監督ヲ要スル事ナノデアツテ、質屋ノ監督ト云フ
モノハ公益質屋ハ別デアリマスガ、公益質屋ニハ監督ノ規
定ガ十分アルシ、質屋業トシテハ嚴重ナル取締ヲシテ居ル
ノデアリマス、所ガ組合員ニ貸スカラ、ソレガ共同利益ニ
ナルカラト云ツテ、ソレナラバソレニ對スル監督規定ガ何
處ニアルカ、法人タル組合ニ付テ監督ノ規定ガアルカト云
フト、ソレハサウ十分ナ監督ノ規定ハナイノデス、第十五
條デスカ「業務若ハ財産ノ狀況又ハ組合員ノ員數ニ關シ報
告ヲ爲サシムルコトヲ得」是ダケシカナイ、斯ウ云フ報告
ダケデハ其内容ハ分ルマイ、一體誰ニ貸シテ居ルノカ、ド
ウ云フ條件デ貸シテ居ルノカ、利子ハ何分取ツテ居ルノ
カ、貸倒レハ何ボアルカ、サウ云フ者ニ損ヲサシテ果シテ
宜イノカ、共同利益ト云フ名ニハナツテ居ルケレドモ、要
スルニソレハ或種ノ幹部ノ小遣ニナツテシマフトカ、或ハ
貸倒レニナツテシマフト云フヤウナ事ガアルダラウト思フ
ノデアリマス、サウ云フコトヲ御認ニナルナラバ、ヤハリ
取締規定ト云フモノヲ置カレテ、サウシテサウ云フ結果ガ

無イヤウニ爲サラナケレバナラナイ、サウナリマストヤハ
リ是ハ法規ニ依ツテ産業組合ノ制度ト云フモノモ用ヒテヤ
ラセル、或ハ公益質屋ト云フ制度ヲ準用シテヤラセル、今
マデサウ云フコトヲ公共團體ヲシテヤラシテ居ル例ニ倣ツ
テ御認ニナラナイト、弊害ガ生ジテ來ハシナイカト思フノ
デスガ、ソレデモ質屋類似ノ仕事ハ此儘御委セニナルト云
フ御考デセウカ

○吉田政府委員 質屋類似ノ仕事ト申シマス、ソレハ一
般ノ客カラ質物ヲ受ケテ其人ニ對シテ金ヲ貸スト云フノ
デ、質屋取締ノ規定ヲ受ケテ、嚴重ナル取締ヲ受ケナケレバ
ナラヌノデアリマスガ、先程御答致シタ意味ハ左様デハナ
イノデアリマス、私ノアナタノ間ト云フ意味デ、私ガアナ
タニ物ヲ預ケテ、サウシテ金ヲ拜借スルト云フヤウナ意味
デ、組合員ガ内輪デスルト云フ仕事ニ限ツテ御答シタノデ
アリマス、偶々ソレガ例外的ニ外ノ人ニ貸シテ居ツタト云
フテモ、其事實ダケデ認メヌ譯ニ參ルマイト云フ考デ申上
ゲタノデアリマス、ソレ等ヲ十分ニ注意シナケレバナラヌ
コトハ御氣付ノ通りト考ヘマス、唯此際併セテ申上ゲテ置
キタイト思ヒマスノハ、第十四條ノ規定ナリ第一條ノ共同
利益ノ保護増進ト云フコトデ、非常ニ廣イ目的ヲ掲ゲマシ
テ、ソレヲ労働條件ノ維持改善ト併セマシテ、組合ノ目的

ニ認メマシタ趣旨ハ、ソレ等ノ労働条件ノ維持改善以外ニモ、色々組合員ノ共同福利ノ爲ニ施設スベキ事ガ多イデアラウ、現在労働組合労働者全體ノ福利施設ノ爲ニ大ニ力ヲ注グコトハ、労働者ノ爲ニモ、労働組合ノ爲ニモ、産業界ノ爲ニモ必要ナ事デアリ、労働組合ノ穩健著實ナル發達ヲ圖ル所以ナリト云フ趣意ヲ入レタノデアリマス、ソレ等施設ニ關スル保護規定ト云フヤウナモノガ第十四條ニ該當シテ居ルノデアリマス、趣意トスル所ハ決シテ外部ノ人々ニ壓迫不安ヲ與ヘヨウト云フコトヲ眼目トシテ居リマセヌノデ、立法ノ趣意ニ應ジマシテ精々施行ノ上デ氣ヲ付ケタイト存ジマス

○守屋委員 ソレハ多分サウダラウト思ヒマスケレドモ、例ヘバ吉田君ハ私ト云フ例ヲ取ラレマシタケレドモ、組合デモ例ヘバ十人ノ組合モアリマス、大キナ組合ニナリマスト現ニアルモノデ三萬人ノ組合員ヲ持ツテ居ル、將來或ハ統一組合ト云フモノガ生ジマス、十萬人或ハ二十萬人、多クナルト何百萬人ト云フ組合員ヲ持ツモノガ生ズルカモ知レマセヌ、其處マデ行カナクトモ何萬人ト云フ大キナ組合員ヲ持ツモノガ、質屋ノヤウナコトヲヤツテ、サウシテ組合員ダケニ、或ハ今ノヤウナ貯金ヲ何萬人ノ人ニ貸シテヤルト云フ、銀行ト同ジヤウナコトヲヤルニ付テモ、ソレ

ハ餘程監督ヲ嚴重ニ爲サラナケレバナラヌモノト思フノデアリマス、ソレヲ唯漠然ト共同利益デアルカラト云フノデアリマス、ナルト云フコトハ、ドウモ少シ監督ガ不十分デハナイカ、サウ云フコトヲ御認ニナルナラバ、モツトサウ云フ場合ヲ豫想シテ監督規定ト云フモノヲ嚴重ニ爲サルベキモノデアアル、唯基金ヲ設置シタモノニ過ギナイト言フケレドモ、ソレハ基金デハナイ、サウ云フ金ハ貯金デアツテ基金デハナイ、始終運轉シテ居ル金ナノデアリマス、デアアルラ基金設置ノ規定ニ該當シマセヌシ、サウ云フ大キナ組合デ預金シテ、ソレヲ貸シテヤルト云フコトニ付テハ、モツト監督ノ規定ヲ置キマセヌト、折角御拵ヘニナツテモ多クノ組合員ノ利益ノ爲ニ使ハレルト云フヤウナコトハ保シ難イト考ヘマス、ソレカラ第二點トシテ第十四條ノ規定ト云フモノハ、組合員ニ貸シタ場合トカ、利用サシタ場合トカ、或ハ供給シタ場合ニ、所得稅及ビ營業收益稅ト云フモノハ課サナイト云フコトニナツテ居リマスガ、先程御説明ニナラレタ、例ヘバ湯屋ニ付キマシテ、組合員外ノ者ガソレヲ使ツタ、或ル質屋若クハ銀行類似ノ仕事ヲシテ居ル場合ニ、組合員外ノ者ニ基金ヲ貸シタイト云フ場合ハ、此處ノ十四條デ以テ、ソレニ依ツテ生ズル收益ハ租稅スル意味デハナイト私ハ考ヘル、所ガ先程政府ノ御意見デハ其レヲ

免稅サレルヤウニ御説明ニナツタト思ヒマスガ、其點ハ如何デスカ

○吉田政府委員 組合員以外ノ人々ノ利益ヲ圖ルト云フ點ヲ免稅スル趣意ハ無論ナイノデアリマス、先程申上ゲマシタノハ組合員ノ所謂生産シタモノヲ販賣スル販賣組合ノコトヲ申上ゲタノデアリマス、是ハ一寸組合員ノ生産シタモノヲ外部ヘ販賣スル事自體ガ組合員ノ共同利益ノ保護ニナルノデアリマス、組合員ガ自分デ拵ヘタモノヲ組合カラ賣ツテ賣フト云フコトデ、是ハ共同利益ヲ圖ルノデアリマスカラ、是ハ營利行爲ト見ズシテ免稅ノ特典ヲ與ヘテアルノデアリマスガ、例ヘバ湯屋ヲ經營スルトカ、或ハ食堂ヲ經營スル場合ニ於キマシテモ、外部ノ人ニ適用シタモノモ組合ノ仕事ト見ルノダ、サウ云フ趣意デ御説明シテ居ルノデアリマス、ソレハ内部ノ人ノ利用スル施設トシテ認メラレルノデアリマス、唯御懸念モアリマシタガ、偶々外部ノ人ガ這入ツテ來タラドウスルカ、意義ガナクナラヌカト云フ御尋デアリマスガ、ソレハ偶々サウ云フ組合内部ノ人ノ利用スル設備ヲ外部ノ人ノ便利ニ供シタコトガアツテモ、仕事自體ガ組合内部ノ人ノ利益ニ供スル目的デアレバ、偶々サウ云フ事力起リマシテモ、先ヅ先ヅ組合ノ目的ノ範圍内ノ仕事ト認メテ宜シウゴザイマシヤウト云フ御

説明ヲ附加ヘタノデアリマシテ、外ノ人ガ這入ルノヲ認メル趣意デ御説明シテ居ルノデアリマス、隨テ施行ノ上ニ於テ十分氣ヲ付ケナケレバナラヌコトハ、御注意ノ通りダト思ヒマス

○守屋委員 私ハ此點ニ付テ大藏省ノ人ニ確メテ置キタイト思フ、目的自體ガ大體組合員ヲ利スル事業デアルト云フコトノ爲ニ設置シタノデアアル、然ルニソレヲ組合員外ノ者モ利用シタ、ソレニ依ツテ收入ガ生ジテ來タト云フ組合員外ノ者ノ利用シタ收入ト云フモノニ付テハ、ヤハリソレヲ區別シテ所得稅營業稅ト云フモノヲ課スルト云フ趣意デハナイカ、此免稅ト云フモノハ營利事業デナイモノヲ免稅スルト云フ意味デアツテ、營利事業以外ノ組合外ノ者ノ拂ツタ收支計算ニ付テハ、此所得稅營業收益稅ヲ課稅シナイト云フモノ、除外例ヲナスモノデハナイカト考ヘマスガ、ソレハドウデアアルカト云フコト、ソレカラモウ一ツ質屋ト銀行ノ問題ニ付テハ、是ハ大藏省當局ノ御出席ヲ願ツテ、此點ニ付テ將來問題ノナイヤウニ、ドウ云フ程度ノ仕事ヲ組合員ノ所謂共同利益ノ保護トシテ認メルカ、認メナイカ、ドノ程度マデガ銀行類似ニナルカドウカト云フ點ニ付テ、ハツキリシタ答辯ヲ得テ置キタイト思ヒマス、將來是ガ問題トナリマシタ時ニ、此點ガ未解決ノ儘ニ殘ツテ

居ルト云フコトハ、洵ニ残念デアリマスカラ、其點ハ委員
長ヲ通ジテ大藏當局ニ傳ヘラレンコトヲ希望致シマス
○添田委員長 今内務大臣、大藏大臣ノ出席ヲ要求シテ居
リマス

○吉田政府委員 只今ノ十四條ノ御尋デアリマスガ、他人
ニ利用セシメタコトニ依ツテ利益ヲ生ジタモノニ對シテ
ハ、免稅スル趣旨デハナイダラウト云フ御尋ハ、ソレハ條
文ノ解釋トシテ正ニ其通りダト思ヒマス、組合員モ使ヒ、
外部ノ人モ使ツタト云フ場合ニ、其外部ノ人ニ使ハセテ其
爲ニ利益ガ上ツタト云フモノニハ、此條文ハ適用セラレナ
イノデアリマス、隨ツテ課稅サレルコトニナルカモ知レマ
セヌガ、併シ實際ニソレガ金額ニナツテ現レルカドウカハ
疑問デアリマス

○宮澤委員 ヤハリ關聯シテ居リマスガ、此條文ハ今ノヤ
ウニ、組合員ノ共同利益ノ保護増進ト云フ目的ノ爲ニヤ
ルノデアリマスガ、偶ニ外部ノ者ガ利用シテモ、其區別ハ
判明スルダラウト云フヤウナ御話デアリマシタガ、私ハ是
ハ先ニ申スヤウニ、一般ノ營業ヲ妨ゲルノミナラズ、組合
ト云フ牙城ニ立籠ツテ、サウ云フ營業ヲヤツテ、免稅ノ恩
典ニ浴シナガラ、他ノ一般ノ營業者ヲ壓迫スルヤウナ傾向
ガアルダラウト思フノデアリマスガ、此後半ノ「又ハ組合

員ノ生産シタル物」ト云フノガアルカラ、之ヲ以テ御話ス
ルノデアリマスガ、例ヘバ麵粉職工ガ一ツノ勞働組合ヲ作
ツテ、其者ガ材料ヲ買ツテ大キナ麵粉ノ製造工場ヲ設ケ
テ、麵粉ヲ製造シテ之ヲ賣ル場合ハ、立派ニ麵粉ノ製造販
賣營業デアリマスガ、此後半ノ規定ニ依ルト、是モ規定ノ
文面上堂々トサウ云フ營業ヲシテ、而モ營業收益稅モ所得
稅モ何等課セラレナイコトニナル、是ハドウ云フ風ニ御解
釋ニナリマスガ、ソレハヤハリ宜イノデアリマスガ

○吉田政府委員 其事業ガ營利ヲ目的トセズシテ、此條文
ニアリマスヤウニ、組合員ノ共同利益ノ保護増進ノ爲ニ、
組合員ノ生産致シタル物ヲ販賣スル事業、丁度産業組合ニ於
ケル販賣組合ノ如キモノデアリマシテ、一人々々ノ者ガ銘
々賣ルト云フノデハナクシテ、組合ヲ作ツテ組合ノ手デ、
銘々ノ拵ヘタル物ヲ販賣スルノヲ販賣組合ト申シマスガ、ソ
レハ其目的如何ニ依ルノデアリマシテ、組合ガ組合員ノ福
利ノ爲ニサウ云フ仕事ヲ致シマスナラバ、ソレハ組合ガ營
利ヲ目的トシテ居ルモノデアリマセヌカラ、第十四條ノ
適用ヲ受ケルト云フ建前ニナツテ居ルノデアリマス、言葉
ヲ換ヘテ言ヘバ、是ハスツカリ産業組合ノ販賣組合ニ合
致スルヤウナ事業ノデアリマスカラ、勞働組合ハ産業組
合法ノ規定ニ據ラズシテ、組合自體トシテソレヲ行フコト

ガ出來ルト云フ風ニ書イタノト同ジ事ナノデアリマス、御
尋ニナリマシタヤウニ、組合ガ麵粉焼工場ヲ持ツテ、サウ
シテ其組合デ麵粉ヲ製造シテ、相當ノ利益ヲ上ゲテ、麵粉
ヲドン／＼市中ニ賣ラウト云フノハ、ソレハ組合ガ麵粉焼
竝麵粉ノ販賣事業ヲ營ムノデアリマシテ、組合員ノ生産シ
タル物ヲ賣却スル爲ニアルノデアリマシテ、茲ニ云フ賣却事
業トハ其趣意目的ニ於テ全然違フノデアリマスカラ、其點
ヲ區別スルコトハムヅカシクナイト思フノデアリマス
○宮澤委員 私ハ非常ニムヅカシイト思フ、ドウ考ヘテモ
其區別ハ付カヌト思ヒマス、組合員ガ自分デ造ツタル物ヲ組
合員ニ安ク分ケテヤルト云フ位ナラバ、判然ト分ルノデア
リマスガ、各所デ内職ニ造ツタル物ヲ御互ニ持寄ツテ賣ルノ
デナク、一箇所デ大規模ニ製造ヲヤリ、賣出シヲヤツテ
モ、尙ホ此規定ニ依ツテ、何等課稅サレズシテ、免稅ノ恩
典ニ浴スルト云フコトニナル、此規定通り解釋スレバ、サ
ウ云フコトハ明瞭デアルト思ヒマス、サウ致シマス、自
然麵粉ノ製造販賣ヲスル爲ニ、其手段トシテ組合法ニ依ル
組合ヲ設ケテ、斯ル脫法及脫稅行爲ヲ助長スル結果ニナリ
ハシナイカト思ヒマス、其點ハ區別ガ出來ルト仰シヤイマ
シタガ、實際問題トシテ相當困難ナコトデハナイカト思ヒ
マス

○吉田政府委員 實際問題トシテこそ、却テ宮澤サンノ御
心配ニナル困難ハナイト思ヒマス、今迄組合デ幾ラモ之ニ
類似シタ仕事ヲシテ居ル所モアリマスケレドモ、之ニ類似
シタ仕事ヲスルノハ皆明瞭ニ分ツテ居リマス、非常ニ大キ
ナ「スケール」デ麵粉焼工場ヲ設ケテ、サウシテ相當人ヲ
使ツテ、市中ニドン／＼賣出スト云フ場合ハ、此十四條ノ
規定ノ解釋デナク、第一條ノ解釋ノ問題ト致シマシテ、組
合員ノ共同利益ノ増進ト云フコトヨリハ、營利ヲ目的トシ
タモノト云フコトノ證明ガ十分ニ立ツノデアリマスガ
ラ、是ハ十四條ノ解釋デナク、一條ノ解釋トシテ、ソレハ
營利ヲ目的トスルノデアルカラ、組合デヤラセル仕事ノ範
圍外ニ逸脫スルモノデアルト云フ認定ガ十分付クノデアリ
マス、只今マデハサウ云フコトハ事實上ハアリマセヌガ、
勞働組合ノ發達セル後ニ於テハ、サウ云フコトガ起ルカモ
知レナイ、起ツタ場合ニハ、ソレガ營利事業デアるか、或
ハ組合員ノ福利ヲ圖ル事業デアるかト云フコトヲ認定スル
コトハ左程困難デハナイト思ヒマス

○宮澤委員 一條ニ於テ其他共同利益ノ増進ト云フコトヲ
考ヘルト、其組合員ガ一般ノ麵粉屋ノヤウニ麵粉ヲ焼イテ
利益ヲ得ルト云フコトニナレバ、實際ソレハ個人ガ販賣致
シマシテモ、サウ云フ明文デ行ケバ出來ヤシナイ、況ヤ十

四條ニハ立派ニ此規定ガ掲ゲラレテアル以上ハ、サウ云フコトハ規定外デアルト云フコトハ斷ジラレナイと思フ、故ニ此規定ヲサウ云フ風ニ解釋シテ行クナラバ、由々シキ大問題デアルト思ヒマスガ、大藏大臣ガオイデニナレバ、此條文ヲハツキリ決メテ置キタイと思ヒマス

○吉田政府委員 御參考マデニ申上ゲマスガ、此販賣組合ノ問題ニ付キマシテハ、此條文ノ文句ハ産業組合ノ方ノ規定ト同様デアリマス、産業組合法ニ依ル産業組合ハ、御承知ノ通り免稅ノ恩典ニ浴シテ居ルノデアリマス、是亦營利ヲ目的トスルト云フコトハ考ヘズニ、組合員ノ共同ノ利益増進ト云フコトニ於テ、特別ノ取扱ヲ受ケテ居リマスカラ、其點ハ産業組合法ニ依ル産業組合ト全然同ジモノデアリマス、之ニ限ツテ取扱ヲムヅカシクシ、産業組合ノ方ハドウト云フヤウナ區別ヲスルコトハナイと思ヒマス、産業組合ニ付キマシテハ、其所管ガ農林省デアリマスカラ、或ハ農林當局カラデモ御話ガアリマシタラバ、モウ少シ明瞭ニナルドラウト思ヒマス

○添田委員長 詰リ解釋論ノヤウデアリマスガ、今大藏當局ノ出席ヲ要求シテ居リマスカラ……

○松村委員 今ノ質屋ノ話、無盡ノ問題モアリマス、ソレカラ麻雀俱樂部ノ如キハ、一ツノ組合デ、組合員達ガ麻雀

俱樂部ヲ拵ヘテ居ル、其他色々例ガアリマス、殊ニ無盡、質屋等ハ關係スル所ガ大キイノデアリマスカラ、大藏當局ニ出テ貰ツテ、ハツキリシテ置カナケレバナラヌ、解釋問題バカリデハナイ、施行細則ノ上ニモ困ルト思ヒマス、モウ少シ此際ハツキリサシテ置カナケレバ、將來ニ禍根ヲ貽スモノト思ヒマス、此點ニ付テハ大藏當局ノ出席ヲ促シテ、勞働組合ガ銀行類似ノ事ヲヤツテ居ルコトヲ知ツテ居ルカドウカ、又大藏當局カラ資料ノ提出モ願ハナケレバナラヌノデアリマス、此事ヲ委員長ヲ通ジテ御願致シマス

○田中委員 勞働組合ニ基金ガ出來マシタ時ニ、其金デ株ヲ買フコトハ差支アリマセンカ

○吉田政府委員 組合ノ基金ヲ以テ株ヲ買ヒマスコトハ宜シカラウト存ジマス

○田中委員 一ツノ會社ノ株ヲ過半数買フコトモ差支ナイコトニナリマスガ、其際ニ過半数若クハ全部ヲ持チマシタ際ニ、其組合カラ監査役トカ取締役ヲ出スコトハ差支アリマセヌカ

○吉田政府委員 是亦法人組合ノ場合デアリマセウガ、差支アリマセン

○田中委員 サウ致シマス、組合ガ事實ニ於テ營利事業ヲ經營スルコトニナリマスガ、差支アリマセヌカ

○吉田政府委員 組合ト致シマシテハ、營利事業ヲヤツタ

ト云フ觀念デハナイノデアリマシテ、組合ガ己レノ基金ノ管理方法ト致シマシテ、或ル株式會社ノ株ヲ買入レ、組合ガ大株主デアルト云フノデ、株主タル權限ヲ行使スルノデアリマス、丁度政府ニ於キマシテ、株ヲ買フ場合アリト致シマシテモ、政府自體ガ營利ヲ目的トシテ居ルノデアリマセヌデ、左様ナ場合ニハ株主デアルト云フダケデアツテ、自ラ事業經營ノ主體トナツテ居ルトハ考ヘラレナイノデアリマス

○田中委員 サウスルト、基金ノ管理方法ト致シマシテ、新設ノ會社ヲ拵ヘマシテ、其過半数ノ株ヲ勞働組合ガ持つコトハ同ジク差支アリマセヌカ

○吉田政府委員 組合ガ發起人トナリマシテ、一ツノ會社ヲ拵ヘルト云フコトハ、ソレハ基金ノ管理方法トハ考ヘラレマセヌ、組合ガ會社ヲ設立スル、即チ營利ヲ目的トシテ株式會社ヲ設立スルト云フコト自體ハ、單純ナ管理方法トハ認メラレナイノデアリマス

○田中委員 其間ニ差異ガアリマスカ

○吉田政府委員 經濟的ニ餘程差異ガ少イコトニナリマスガ、組合ガ營利ヲ目的トスルカシナイカ、又組合ノ基金管理方法トシテ株ヲ買入レルコトガ出來ルカト云フ場合、此

兩方ノ場合差異ヲ付ケテ行カナケレバナラヌト思ヒマス

○田中委員 自分ガ株式會社ヲ起スカ、或ハ他人ノ株ヲ買フカ何レニシテモ大シタ差異ガナイデハナイカ、他人ノ株ヲ買ツテ其會社ヲ「コントロール」ニスルノモ、自分ガ發起會社經營ヲヤルノモ、差異ガナイト思ヒマスガ差異ガアリマスカ

○吉田政府委員 安全デアるか、安全デナイカト云フコトハ、一概ニハ言ヘマセヌガ、安全デアるか、安全デナイト云フコトデ、差別スルノデハナク、自分ガ事業ヲヤルカ、或ハ他人ノ事業ニ投資スルカト云フ區別ガアルノデアリマス

○添田委員長 今大藏當局ガ出席セラレマシタカラ、先キノ問題ニ付テ主稅局長カラ……

○守屋委員 只今政府委員カラ組合ガ株ヲ買フコトハ差支ナイ、會社ノ株ヲ半分以上買フコトモ差支ナイト云フコトヲ御答辯ニナツテ居リマシタガ、ソレハモウ少シ御考ニナツテカラ答辯サレタ方ガ宜クハナイカ、確ニ資金管理方法ト致シマシテ、ソレヲ御認メニナリマスカ

○吉田政府委員 資金ノ管理方法ハ、別ニ本法ニオキマシテ制限シテ居ラヌノデアリマス、隨テ株ヲ買ツテ資金ヲ其方デ保存スル、或ハ債券ヲ買ツテ債券デ保存スル公債ヲ買

ツテ公債デ保存スル、ソレハ組合ノ自由ニ委シテ居リマ
ス、隨テ資金管理ノ一ツノ手段トシテ、株券ヲ買フト云フ
コトハ宜シト思ヒマス、唯株ニ付テ斯ウ云フコトヲ御想
像ニナツテ居ルノデハナイカト思ヒマスガ、株式相場ニ手
ヲ出スト云フヤウナ意味ノ御疑念デアリマスカ、サウデハ
アリマセヌカ——現物ヲ買フト云フノデアリマスレバ宜シ
イト思ヒマス

○守屋委員 ソレデアルカラ、先程カラサウ云フコトヲ勞
働組合ニヤラセルナラバ、モツト監督ヲ嚴重ニシナケレバ
ナラヌト申上ゲテ居ルノデアリマス、サウ云フコトヲヤラ
セナイト云フ方針デアラナラバ、今ノヤウナ監督ノ方法デ
宜シイガ、若シヤラセルトスレバ、ドンナ株ヲ買テモ宜
イ、ソレニ付テハ何モ認可ヲ要シナイ、二東三文ノ株ヲ買
ツテモ宜イト云フコトガ、資金運用ノ方法トシテ豫想サレ
ルナラバ、十分取締規定ヲ置カレルコトガ至當デアルト思
ヒマス、サウ云フ場合ニ株ヲ買ツテ、株カラ生ズル利益ガ
アツタ場合ニハ、第十四條ニ該當シナイト考ヘマスカ、ド
ウデアリマスカ

○吉田政府委員 十四條ハ明カニ茲ニアリマスヤウニ、株
ヲ買フト云フヤウナ事業ハ一ツモ含ンデ居ラナイノデアリ
マス、他ニ目的ノ確カリシタ事業ヲ經營スル場合ガ三ツ列

舉セラレテ居リマス、株デ組合ノ資金ヲ保管スルト云フコ
トハ、資金保管ノ事實ヲ行フノデアリマシテ、ソレ等ニ付
キマシテハ組合ノ規約等ニモ何レ規定ノアルコトデアリマ
セウシ、組合費其他會計ニ關スル規定ハ、労働組合ノ規約
ニ明定シナケレバナラヌコトニナツテ居リマスガ、労働組
合ハ今回認メテ居リマスノハ、認可主義ヲ採ツテ居ルノデ
ハアリマセヌカ、事實上同種ノ産業又ハ職業ニ從事スル
労働者ガ、第一條ノ目的ノ爲ニ結成スレバ、労働組合ニナ
ルノデアリマスカラ、資金ノ管理方法等ニマデ非常ニ細カ
イ規定ヲ置クコトハ、全體ノ趣意カラ見マス、少シ立入
リ過ギタ干涉ニナリハシナイカ、尤モ管理ノ方法ガ惡ク
テ、其爲ニ組合員全體ニ損害ヲ及ボシタヤウナ場合ハ、組
合タリト雖モ、民事上、刑事上ノ責任ヲ免レルコトガ出來
ナイノハ勿論デアリマス、併シドウ云フモノニ金ヲ出シテ
ハナラヌト云フコトマデモ法律ヲ以テ規定シ、或ハ法律ニ
基ク命令ニ依ツテ拘束スルコトハ如何デアラウカト思ヒマ
ス

○守屋委員 ソレ以上ハ議論ノヤウニナリマスカラ、此程
度ニシテ置キマスガ、併シ是ハ能クモウ一度御考ニナツタ
方ガ宜クハナイカト思ヒマス、先程モ同僚カラ質問サレタ
ヤウニ、半數ノ株ヲ持テバ取締役ニモナラナケレバナラ

ヌ、サウ云フコトハ斯ウ云フ公益團體、殊ニ零細ナ金ヲ集
メテ居ル労働組合トシテハ慎ムベキコトデアツテ、サウ云
フ資金ノ融通ナドニ付テハ、モツト嚴重ナ規定ヲ置イテ、
セメテ國債トカ、國債ニ類シタ信用ノアル證券ヲ買フト
ハ宜イカモ知レマセヌガ、一般株式ヲ無制限ニ買ハセル自
由ヲ組合ニ認メルト云フコトハ、幼稚ナル組合ヲ發展サセ
ル上カラ言ツテモ、考慮シナケレバナラヌシ、將來組合ガ
大キクナツテ、澤山ノ資金ヲ持ツヤウニナリ、其管理方法
ヲ考ヘル時ニハ、特ニ大切ナコトデハナイカト考ヘマス、
其點ニ付テハ再考ヲ御願シテ私ハ質問ヲ止メマス

大藏省ノ政府委員ガ御見エニナツテ居リマスカラ、先程
留保シタ點ニ付テ御質問申上ゲヤウト思ヒマスガ、労働組
合ガ共同利益ヲ保護スル爲ニ資金ヲ組合員ニ貸シテヤル、
ソレヲ原則トハシマスガ、或ル場合ニハ組合員以外ノ者ニ
モ貸シテヤルト云フコトデ、形カラ見ルト銀行類似ノ仕事
ヲスルヤウナ場合ガアラウト思ヒマスガ、サウ云フコトヲ
大藏當局トシテ御認ニナリマスカ、其點ヲ前ニ保留シテ置
キマシタカラ御致シマス

○青木政府委員 實ハ私ハ租税ノ事ヲ御聞キニナルモノト
思ツテ參リマシタガ、只今ノ御質問ニ對スル御答辯ハ、銀
行當局カラ致スベキ筋合デアリマスカラ、私ハ所管外デア

リマスノデ、答辯ハ差控エタイト思ヒマス

○守屋委員 ソレデアラナタノ所管ニ付テ伺ヒマスガ、第
十四條ニ所得稅及營業稅收益稅ヲ課セナイト云フ規定ガア
リマス、内務省ノ御考トシテハ、原則トシテ組合員ニ物ヲ
供給シ、利用シ、賣却シタ場合ニハ、營利行爲ト認メナ
イ、隨テ所得稅及營業稅收益稅ハ課セナイト云フコトデア
リマスガ、組合員外ノ者ニ生産物ヲ賣却シタト云フヤウナ
コトカラ、純益ヲ生ジタ場合ニハ、十四條ノ例外ニナルノ
デ、法ノ趣旨トシテハ、ヤハリ所得稅及營業稅收益稅ヲ課ス
ベキモノト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ニ對スル
大藏當局ノ御意見ハ如何デアリマスカ

○青木政府委員 御答ヲ致シマス、只今十四條ニ規定シタ
以外ニ於テ、其法人ニ所得若クハ純益ガ生ジマシタ場合
ニ、所得稅若クハ營業稅收益稅ヲ課スルカトノ御質問ト伺ヒ
マシタガ、所得稅ノ建前カラ申シマス、斯ノ如キ法人ニ
對シテ第一種所得稅、即チ法人ノ所得稅ヲ課セルコトハ致
サナイ考デゴザイマス、別段所得稅法ニ斯ノ如キ法人ニ對
シテ第一種所得稅ヲ課セナイト云フ明文ハナイノデゴザイ
マスガ、第一種所得稅ハ御承知ノ如ク、法人ノ事業年度ニ
於ケル純益金カラ總損失金ヲ控除シタル金額ニ對シテ法人
ノ所得稅ヲ課セル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマ

スカラ、此規定ノ精神ヲ考ヘテ見ルト、是ハ法人ニシテ事業年度ヲ持ツテ居リ、總損金、總益金等ノ計算ヲ致スモノニ付テ、第一種所得稅ヲ課スルト云フ精神ト存ジテ居リマ

尙ホ法人ノ超過所得ニ付キマシテハ、法人ノ普通所得ガ當該事業年度ノ資本金額ニ對シテ百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超過スル時ニハ、其超過金額ヲ以テ法人ノ超過所得トスト云フ規定ガゴザイマスガ、是モ或ル事業年度ノ資本金額ガ幾何デアカト云フ計算ヲ爲シ得ル場合ニ、初メテ此規定ヲ適用シ得ル譯デアリマシテ、吾々又ハ世間デ申ス所謂中間法人ト云フモノニ對シマシテハ、此第一種所得稅ヲ課スル精神デナイト所得稅法ヲ解釋致シテ居リマス、隨テ左様ナ此十四條ニ規定シタル以外ノ所得、純益等ニ付テ、第一種所得稅若クハ法人ノ營業收益稅ヲ課スルト云フ稅法ノ解釋ニハ相成ラヌト存ジテ居ルノデゴザイマス

○守屋委員 サウスレバ特ニ斯ウ云ウ規定ヲ法人ノ爲ニ御設ケニナラヌデモ、其稅法ノ規定ノ解釋ノ結果、斯ウシタ法人ガ事業ヲ營ム結果生ジタル純益ニ付テハ、所得稅及營業收益稅ヲ課セナイトノ法律ノ精神デアルト云フヤウニナツテ來ルノデアリマシテ、第十四條ト云フモノハ殆ド價値

ガナイト云フコトニ承知シテ宜シウゴザイマスカ

○青木政府委員 言葉ガ足りマセヌデシタガ、只今ハ第一種所得稅ノコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、第二種所得稅及ソレト殆ド同ジヤウナ性質ヲ持ツテ居リマス資本金利子稅ニ付キマシテハ、勞働組合ガ自分ノ持ツテ居リマス資金ヲ銀行ニ預ケテ居ルト云フヤウナ場合、所得稅ヲ免除スルト云フ明文ガゴザイマセヌ、銀行預金ハ御承知ノヤウニ源泉課長デゴザイマスカラ、其銀行デ預金ノ利子ヲ支拂ヒマス時ニ、所得稅及資本金利子稅ヲ天引シテ拂フコトニナツテ居リマス、隨テ勞働組合ノ預金ニ對シマシテモ課稅スルコトニナルノデゴザイマス

○守屋委員 サウスルト先程内務省ノ政府委員ガ御答ニナツタコトト矛盾ガ生ジテ來ル、本體ガ共同利益ヲ増進スル事業デアレバ、他ノモノハ利用サシテモ差支ナイト云フ御考ノヤウデアリマシタガ、サウナルト同ジヤウナ仕事ヲ一般民衆ガヤツテ居ル場合非常ナ脅威ヲ興ヘ、法人タル勞働組合ノミガ保護サレルコトニナル、サウ云フコトハ法ノ趣意デハアルマイト思フ、デアルカラ共同利益ヲ目的トスベキ事業ハ組合員トシテ一二ノ例外ヲ認メテ、組合員外ノ者ニ付テ恩典與ヘルコトヲ認メナイヤウニ爲サルノガ至當デアルト考ヘルガ、其點ハ如何デアリマスカ

○吉田政府委員 是ハ十四條ニモ關聯致シマスルガ、本體勞働者ノ共同利益ノ保護増進ヲ目的ト致シマスル仕事ハ組合ノ仕事ニ爲シ得ル、又營利ヲ目的トスル事業ハ組合ノ事業ト爲シ得ナイト云フ區別、此點ガ主トシテ御尋ノ區別ト

思フノデアリマスガ、ソレハ十四條ノ解釋ト云フヨリハ、一條ノ解釋ナノデアリマス、主トシテ組合員ノ共同利益ノ保護増進ヲ目的トスル爲ニスル仕事デアラナラバ、組合ハ其事業ヲ行ヒ得ルノデアリマスケレドモ、營利ヲ目的トスル仕事ハ、組合ノ目的ノ範圍外ニ出ルコトデアルカラ行ヒ得ナイ、ソレハ第一條ノ解釋ナノデアリマス、十四條ハ茲ニ御覽ニナリマス通り、勞働組合ノ組合員ガ、ヤハリ目的ハ同ジデアリマスガ、共同利益ノ保護増進ノ目的ヲ以テ、組合員ノ生活ニ必要ナ物ヲ組合員ニ供給スル、或ハ利用セシムル、前ノハ消費組合、其次ハ利用、其次ハ販賣組合ト云ンヤウナ事業ヲ營ム場合ニ、純益ニ付テ所得稅、營業收益稅ヲ課セナイト云フコトヲ決メテアルノデアリマシテ、ソレ以外他ノ目的ノ爲ニ事業ヲヤツタ場合ニハ、此條文ノ適用ガ無論ナイト云フコトハ、先程御答シタト思ツテ居リマス、組合員ノ共同ノ利益ノ爲ニ、サウ云フ販賣、生産、消費等ノ仕事ヲシタノデナイト場合ハ、十四條ハ適用セラレマセヌ、稅法ノ關係カラ行ケバ、主稅局長ノ言ハレルヤウ

ナ適用ノナイコトモアリマセウ、併シソレハ此組合ニ課稅スルトモセヌトモ言ツテ居ラナイノデアリマス

○宮澤委員 主稅局長御急ギノヤウデアリマスカラ、一寸發言ヲ御許シ願ヒタイ、今御質問ガアリマシタガ、具體的ニ私申シマス、十四條ノ後半デアリマス、組合員ノ生産シタル物ヲ賣却スル事業ヲ營ム場合ニ、其事業ヨリ生ズル所得及純益ニ付テ、所得稅、營業稅ヲ課セナイト云フ規定デアリマス、ソレハ今色々論議サレマシタ結果、實例ヲ「麵麩」燒ニ取ツテ「麵麩」燒職工ガ寄ツテ勞働組合ヲ組織シテ、組合法ノ適用ヲ受ケル、ソレガ自分等ノ覺エタ「麵麩」燒ノ仕事ヲ、相當材料ヲ買ツテ、共同シテ一箇所デ造ツテ、組合員ガ一般公衆ニ賣出シテモ、ソレハヤハリ課稅ヲ免レルト云フ御解釋ノヤウニ伺ツタノデアリマスガ、サウ致シマス、是等ガ此組合法ノ牙城ニ立籠ツテ、營利事業ヲ營ンデ脫稅行爲ヲスル、隨テ社會ノ一般營業者ニ色々事業上ノ壓迫ヲ加ヘルト云フヤウナコトニナリハシナイカ、是ハドウ云フヤウニ御考ニナルカ、大藏當局主稅局長ノ御意見ヲ聽キタイ

モウ一ツ、吉田局長デアリマスガ、田中君ノ質問ニ對シテ、營利會社ノ株ヲ持ツコトハ何モ制限ガナイカラ御認メニナル、是ハ當然ナコトカモ知レナイガ、實際問題トシ

テ、今田中君ノ御話ノヤウニ、營利會社ノ株ヲ半分以上、或ハ八割位持ツト云フ時ニ——實際問題トシテ、多數ノ株ヲ持ツテ其會社ヲ左右シ得ル位置ニ立ツ場合ハ、他ノ者ハ飛込シテ其事業ヲヤレナイ、自然投資シテ資本ヲ生カス爲ニハ、組合カラ誰カ出テ行ツテ此事業ヲヤル外ナイ、ダカラ法規ノ上ニ於テハ認メラレトシテモ、其結果ハ實際ノ目的ニ反スルヤウナ營利事業ヲ營マザルヲ得ナイ、是ハ取扱上、取締上、管理ノ上ニ於テ、斯ウ云フモノニ營利會社ノ株ヲ持タスト云フコトハ、色々弊害ガ起キハシナイカト思ヒマス、又投機等ヲヤル、是ハ禁止サレルデアリマセウガ、株ヲ持ツテ居レバ、値ノ好イ時ハ賣ル、安イ時ハ買フト云フ投機ヲ助長スルヤウニナルト思フカラ、ヤハリ有價證券ヲ持ツニシテモ國債ニ限ル、債券ニ限ルト云フヤウニ爲サルノガ、實際上、監督上當然ノ措置デハナイカト想フノデアリマスガ、此點ニ付テ御答辯ヲ煩ハシマス

○松村委員 私ハ一括シテ今ノ問題ニ關聯シテ主稅局長ニ聽イテ置キマス、要スルニ共同利益ノ保護増進ト云フコトヲ、內務當局ハ非常ニ廣義ニ解釋シテ居ラレル、即チ銀行類似ノ仕事ハ言フヲ俟タズ、質屋、無盡、如何ナル事業デモ共同利益ノ保護増進デアラナラバ、殆ド凡ユル仕事ヲ爲シ得ルト云フ、非常ニ廣義ニ解釋ヲ採ツテ居ラレル、サウ

云フ廣義ノ解釋ノ結果、例ヘバ過半数ノ株ヲ買フコトモ宜シイト言ハレル、サウ云フヤウナ場合ニ、今宮澤君其他ガ舉ゲラレタ例ハ主タルモノデアリマスガ、共同利益ノ保護増進ヲサウ廣義ニ解釋ナサルケレドモ、ソレ等ハ皆必ズ純益ガ生ズルコトハ當然デアリマス、ソレヲ目的トシナクテモ、結果トシテ純益ノ生ズルコトハ當然デアル、サウ云フ場合デモ第一種所得、第二種所得ヲ全ク免レナイカト云フコトヲ、明快ニ御答辯願ツテ置キマス、若シ此處デ御答辯願ヘマセヌケレバ、モウ少シ研究ヲ御願致シマス、ドチラニシテモ主稅局長ノ御答辯ヲ煩ハシタイ

○青木政府委員 一應御答ヲ申上ゲマシテ、尙ホ御不審ノ點ガアリマシタナラバ、私モ能ク研究スルコト、致シマス、御答致シマスガ、只今ノ御質問ニ付テハ、同ジヤウナコトガ現在ゴザイマス、ソレハ此産業組合、殊ニ滋賀縣ノ組合ニ於テ醬油ノ醸造ヲシテ居リマシテ、之ヲ賣ツテ居リマス、是ハ滋賀縣バカリデハアリマセヌ、他ノ縣ニモアリマスガ、滋賀縣ガ最モ盛デアリマス、之ニ對シテ日本全國ノ醬油醸造業者ガ滋賀縣デハ所得稅モ營業收益稅モ納メナイデ醬油ヲ造ツテ一般ニ賣ツテ居ル、所ガ吾々ハ非常ニ不合理ナ立場ニ置カレテ居ルカラ、吾々醬油醸造業者ニ對シテハ、所得稅、營業收益稅ヲ免除スルカ、然ラズンバ滋賀

縣ノ産業組合ヘサウ云フコトヲヤルコトヲ止サシテ貰ヒタイ、斯ウ云フヤウナ話ガヤカマシクアルコトヲ今思出シマシタノデアリマスガ、私ハ其産業組合ニ致シマシテモ、亦其勞働組合ニ致シマシテモ——實ハ此免稅規定ヲ設ケルニ付テハ、豫メ拜見ハ致シテ居ルノデアリマスガ、茲ニ御書キニナツテ居リマスコトハ、共同利益ノ保護増進ノ目的ヲ以テ云々ノコトヲヤルノデアリマス、營利ノ目的ヲ以テヤルノデアリナイト云フ意味ト私ハ諒解致シマシテ、茲ニ所得稅及營業收益稅ヲ課セザルコトニ御同意申上ゲテ居ルノデアリマス、併シ現實ノ問題ト致シマシテ、只今例ニ御取リニナリマシタヤウナ場合ガ、營利ノ目的ニナルノカ、或ハ共同利益ノ保護増進ノ目的ノ範圍内デアツテ、何等營利ヲ目的トセザルモノデアアルカト云フコトニ付キマシテハ、十分私共モ慎重ニ考ヘナケレバナラヌト思ヒマスシ、又社會局ノ御意見モ、勿論十分承知ヲシナケレバナラヌト思フノデアリマス、後段御述ニナリマシタ質屋業ハ、是ハ內務省ノ關係デアリマスガ、銀行業及ビ無盡業、之ニ付キマシテハ、御承知ノ通り大藏大臣ノ免許ヲ受ケルニアラザレバ、銀行業或ハ無盡業ヲ營ムコトガ出來ナイノデアリマス、是ハ私ノ所管ノ事務デハゴザイマセヌガ、左様ニ承知シテ居リマス、法人タル勞働組合ガ、無盡業若クハ銀行業ノ免許

ヲ出願致シマシタ場合ニ、是ハ所管外デアリマスガ、恐ラク大藏大臣ハ免許ヲシナイダラウト私ハ思フノデアリマス

○松村委員 サウシマスルト、先ノ內務當局ノ御答辯ト全ク是ハ違ツタ、困難ナ實際問題ガ此處ニ起ツテ來タ、先程質屋デアツテモ、組合デヤレバ差支ナイト明快ニ內務當局ハ答ヘラレテ居ル、銀行ノ問題モ亦然リト答ヘラレテ居ル、私ハ銀行業、質屋業ハ、大藏大臣ノ取締規定ガアルカラ全然出來ナイト思ツタ、併シ內務當局ガ組合ノ人ノ爲ニヤルナラバ、類似業モヤルコトガ出來ルト言ハレタカラ、非常ニ疑問ニ思ツタ、是ハ後デ銀行當局カラ伺ヒマスガ、更ニ目的ハ共同利益ノ保護増進デアルガ、ソレカラ利益ガ非常ニ生レテ來ル、主稅局長ハサウ云フヤウニ非常ニ利益ヲ生ンダ場合ニ、其利益ノ六割ハ組合デ取ツテ、後ノ四割ハ組合以外ノ人ニヤル、或ハ七割ヲ組合ガ取ツテ、三割ヲ組合以外ノ人ニヤルト云フ、色々ナ場合ヲ想像シテ、サウ云フ場合デモ尙ホ十四條ノ規定ニ順應シテ、凡ユル課稅ヲ免除スルカドウカト云フコトニ付キマシテ、御伺シテ置キマス

○青木政府委員 御答ヲ致シマスガ、先程社會局長官カラ、ドウ云フ御答辯ガアリマシタカ、私ハ伺ツテ居リマセ

又デゴザイマシタカラ、私ガ申上ゲタコトガ社會局長官ノ御答辯ト矛盾シテ居リマスト云フコトデアリマス、甚ダ私ノ答辯モ尙ホ能ク慎重ニ考慮シナケレバナラヌコトニナルノデアリマスガ（笑聲起ル）併シ只今ノ御質問ニ御答致シマスノハ、私ハ共同利益ノ保護増進ノ目的ヲ以テヤルノデアルカラ、所得稅、營業收益稅ヲ免除シテ貰ヒタイ、斯ウ云フ社會局長ノ御希望デアリマシテ、共同利益ノ保護増進ノ目的ヲ以テオヤリニナルナラバ、ソレハ所得稅、營業收益稅ヲ免除シテモ差支ナイコト、考ヘテ、御同意ヲ申上ゲテ居リマス、今ノ共同利益ノ保護増進デアルト言ツテモ、ソレガ轉ズレバ則チ營利ノ目的ニモナルデハナイカ、サウスレバ營利ノ目的ヲ以テヤルコトニ對シテ、所得稅、營業收益稅ヲ課ケナイト云フコトハ、大變ヲカシクナルデハナイカト云フヤウナ御考ダト思ヒマスガ、私ガ御同意申上ゲマシタノハ、營利ノ目的ニナラナイト思ツテ御同意申上ゲタノデアリマス、若シ共同利益ノ保護増進ノ目的ヲ以テヤツタコトデモ、ソレガ營利ノ目的ニモナルト云フヤウナコトデアリマスレバ、然ル場合ニ所得稅、營業收益稅ヲ課セナイコトガ善イカ悪イカト云フコトハ、慎重ニ考慮シ、研究シテカラ御答ヲシナケレバナラヌト思ツテ居リマス

○松村委員 大藏大臣ハ、本案提出ノ關係大臣デアリマス

カラ、ドウシテモ大藏大臣ノ出席ヲ求メナケレバ、明確ナ御答ヲ得ルコトハ出来ナイト思ヒマス、主稅局長トシテハ、ソレ以上ノ御答ハ出来ナイノハ當然ト思ヒマスカラ、主稅局長ニ對スル私ノ質問ハ此程度ニ止メテ置キマス

○田子委員 第十四條ノ末段ノ所デアリマスガ、組合員ノ生産シタル物ヲ賣却スルノ事業ヲ營ム場合ニ於テハ、其事業ヨリ生ズル所得及ビ純益ニハ所得稅及ビ營業收益稅ヲ課セズトアリマス、隨テ組合員ノ共同利益ノ保護増進ノ目的ヲ達シマスルノニハ、組合員ノ生産シタル物ヲ賣却シタ場合ニ、純益ガアリマシテ所得ガナケレバ、共同利益ノ保護増進ガ出来ナイ、ソコデ共同利益ノ保護増進ヲサセルコトニ御同意ニナツタ牛面ニハ、營利ヲ目的トスル若クハ所得ヲ生ズルト云フコトヲ御認メニナツタモノト吾々ハ解釋シテ居ル、殊ニ此法案ニハ大藏大臣ノ御署名モアリマスカラ、今慎重ニ考慮シテ御答ニナルト云フ以上ハ、大藏大臣ハ明瞭ニ其點ヲ御認メニナツタコト、思ツテ居ルノデセウカ、サウデハナイノデスカ

○青木政府委員 御答致シマス、只今ノ點ハ、松村サンカラ仰セニナリマシタヤウニ、大藏大臣ガ御答ニナルノガ然ルベキコト、思ヒマス、私ガ此免稅規定ニ御同意申上ゲマシタノハ、先程申上ゲマシタヤウナ次第デアリマシテ、共

同利益ノ保護増進ノ目的ヲ以テ、或ル事業ヲ營ンデ居ル、サウシテ所得又ハ純益ガ出テモ、ソレニハ所得稅及ビ營業收益稅ヲ課セナイト云フコトニ御同意ヲ申上ゲタノデアリマシテ、共同利益ノ保護増進ノ目的ヲ以テ斯様ナコトヲヤルコトヲ認メタ大藏大臣モ、之ヲ承知シテ居ル、大藏大臣トシテハソレヲ認メタニ違ヒナイデハナイカ、斯ウ云フ御質問ニ對シテハ、稅法ノ關係バカリデハナイノデアリマスカラ、是ハ大藏大臣カラ御答スル方ガ妥當ノヤウニ思ヒマス

○吉田政府委員 簡單ニ私カラモ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、只今ノ主稅局長ノ御説明ニハ、私モ全部同意デアリマス、先程松村サンカラ非常ニ私ノ答辯ト、主稅局長ノ答辯ト矛盾シテ居ルト云フヤウナ御披露デアリマシタガ、勞働組合デアレバ、銀行類似ノ仕事ヲシテモ、無盡業ヲシテモ構ハヌト云フコトニハ、決シテ私ハ申上ゲテ居ラナイノデアリマス、勞働組合ノ保護増進ヲスル爲ニ、組合員ノ中ニ於テ相對關係、或ハ一種ノ貯金ノヤウナコトヲスル、或ハ組合員ノ範圍ニ於テソレヲ拂戻ヲスル、超過拂戻ヲスルト云フヤウナコトハ、銀行類似デナイト考ヘルノデアリマス、其範圍デ宜カラウト申シタノデアリマス、併シ銀行類似ノ仕事ニ付テハ、銀行ニ關スル法令、又無盡ニ付キマシ

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第八回

テハ、無盡ニ關スル法令ノ適用ガアリマスコトハ勿論ノコトデアリマス、勞働組合ダカラ銀行法ノ適用ヲ受ケナイト云フ意味デ申上ゲタノデハナイノデアリマス、先程西尾君ノ言ハレタコトハ、銀行類似デナイト考ヘマシタカラ、其事ハ出来ルト申上ゲタノデアリマシテ、只今ノ主稅局長ノ御説明ト、私ノ申シタコトハ矛盾シテ居ルトハ思ヒマセヌ

○松村委員 私ハ強ヒテ追窮ハ致シマセヌガ、質屋ノコトハ明確ニ質屋ト言ツテ居ル、銀行類似デナイト言ツテモ、金ヲ預リ、之ヲ貸付ケル、是ガ銀行類似ノ仕事デナクテ何デアリマスカ、是ハ何レ大藏大臣ガ見エマシタラ聽キマス、餘リ追窮シマセヌカ、之ヲ擴大シマスルト、非常ニ多クノ預金ヲ持チ、貸付モスルト云フコトニナル、サウシテ萬一貸倒レデモ出来、預金ノ不拂デモ出来マシタナラバ、ドウシテ之ヲ取締リマスカ、銀行類似ノモノトシテ取締ラズ何トシテ之ヲ取締リマスカ、是ハ問題デナイト思ヒマス、社會局長官ハ、御辯明或ハ御答辯ヲ餘リ固持サレヌガ、却ツテ明確デハナイカト思ヒマスカラ、一言御注意致シマス

○吉田政府委員 私ハ辯明或ハ答辯ヲ別ニ固持スル譯デハアリマセヌガ、私ノ言フノト松村サンノ言フコト、違ハナ

イト思ヒマス、違フノハ松村サンガサウ云フヤウニ御考ニ
 ナツテ居ルカラデハナイカト思ヒマス、質屋デモ同様デア
 リマス、若シ營利的ノ質屋ノ時ハ、質屋取締ノ法規ノ適用
 ヲ受ケマス、營利ノ質屋ニ非ズシテ、組合ノ内部デ定ツタ
 人々ノ間デ、組合員ノ所謂利益ノ保護増進ノ爲ニ金ノ配給
 フスルト云フヤウナコトハ、ソレハ宜カラウ、斯ウ考ヘテ
 居ルノデアリマス、ソレガ營利質屋ト決マレバ、無論其取
 締法ノ適用ヲ受ケマスシ、公益ノ質屋ナラバ、又別ニ嚴重
 ナ制限ノ下ニ營業スルノデアリマスカラ、是亦公益質屋ノ
 營業ト云フモノハ、労働組合デハ出来ナイノデアリマス、
 ソレ等ノモノガ無制限ニ出来ルト云フヤウナコトハ私ハ申
 シマセヌガ、私ノ申上ゲタコトガ惡ケレバ、ソレハ謹ンデ
 訂正ヲ致シマス

○松村委員 此問題ハ大藏大臣ノ臨席ヲ得マシテ、詳シク
 續イテ伺ヒタイト思ヒマスカラ、保留シテ置キマス、ソレ
 デハ第一條ノコトヲ——マダ澤山聴クコトガアリマスガ、
 私ハ第一條ノ、此間カラ言ハレタ政治其モノト云フコトニ
 付キマシテ、是ハ他ノ方々ト根本的ニ大變遷ヲ質問デアリ
 マス、是ハ内務大臣ガ來ルマデ、政治其モノト云フ第一條
 ノ規定ハ、第十二條ノ關聯規定デアリマスカラ保留シテ、
 第二條ノ、極ク簡單ナル技術ノ質屋ヲ試ミタイト思ヒマ

ス、第二條ノ問題デアリマスガ、組合ノ設立ノ日ヨリ二週
 間以内ニ規約其他ヲ行政官廳ニ届出ヅルト云フコトニナツ
 テ居リマスガ、是ノ前ノ大正十五年ノ案デハ、多分三週間
 トナツテ居ツタ、極ク簡單ナコトデアリマスケレドモ、大
 正十五年案ハ三週間トナツテ居ツタノヲ二週間ニ縮メタト
 云フコトハ、極ク簡單ナコトデアリマスケレドモ、組合其
 モノカラ申シマスルト、新シク組合ヲ設立致シマシテ、サ
 ウシテ届出ルト云フコトデハ不慣レナコトモアリマスカ
 ラ、ヤハリ前ノ通りニ三週間トシテ置ク方宜イデハナイ
 カト思ヒマスガ、何か特別ノ理由ガアリマスカ、單紙ニ三
 週間ヲ二週間ニ縮メタノデアリマスカ

○吉田政府委員 第五十一議會ノ政府案ハ、是ハ建前ガ違
 フノデアリマシテ、労働組合ヲ設立セントスル者ハ行政廳
 ニ届出ヅベシ、届出アリタル時ニハ設立セラレタモノトス
 ト云フ建前ヲ執ツテ居ルノデアリマシテ、三週間ト云フコ
 トハナイノデアリマス、丁度婚姻ノ戶籍法ノ届出デト同ジ
 意味ニナツテ居ツタノデアリマス

○松村委員 大正十五年ノ時ニハ、三週間ニナツテ居ツ
 タ……
 ○吉田政府委員 サウデハアリマセヌ
 ○松村委員 是ハ今條文ヲ取調ベマシテ……私ノ記憶デハ

三週間トナツテ居ル、ソレヲ二週間ニ短縮シタト云フコト
 ハ、簡單ナコトデアリマスケレドモ、組合ソレ自身ニ多少
 ノ關係ガアリマスカラ、伺ツタノデアリマスガ、是ハ保留
 シテ置キマシテ、尙ホ後デ伺ヒマス、ソレカラ茲ニ設立ノ
 日ヨリトアリマスルノハ、無論普通ノ解釋ニ依リマシテ、
 翌日ヨリ起算スルコトニナリマスカ、左様ニ解釋シテ宜シ
 ウゴザイマスカ

○吉田政府委員 民法ノ原則ニ依リマシテ、翌日カラ勘定
 致スコトニナルト思ヒマス

○松村委員 茲ニ申シマスル行政官廳ト云フ意味ハ、ドウ
 云フ意味デアリマスカ

○吉田政府委員 茲ニアリマスル行政官廳ハ、地方長官ヲ
 意味スル積リデアリマス

○松村委員 海運労働者ニ付キマシテモ、地方長官ガ監督
 上ノ長官デアリマスカ

○吉田政府委員 船員ノ組織致シマスル労働組合ニ付キマ
 シテハ、遞信省トノ間ニ勅令ヲ制定スルコトニ付キマシ
 テ打合セテスルコトニナツテ居リマスガ、明確ニマダ打合
 セガ決定シテ居リマセヌ

○松村委員 マダ打合セガ進ンデ居ラヌト云フ御答辯デア
 リマスルガ、此行政官廳ト云フ意味ハ、地方長官ト原則ハ

解釋サレテ居ルノデアリマスルガ、主務官廳ト明記スル方
 ガ宜イノデハナイカ、或ハ主務官廳ト解釋スル方宜イノ
 デハナイカト云フ問題ガ屢々起ルノデアリマスケレドモ、
 打合ガナイト致シマスレバ已ムヲ得マセヌガ、行政官廳ト
 云フ文字ヲ主務官廳ト書直ス方ガ、却テ明快デハナイカト
 思フノデアリマスガ、如何デゴザイマスカ

○吉田政府委員 主務ノ官廳ト云フ意味ナノデアリマス、
 ソレデ、ヤハリ其事項ニ付キマシテノ主ナル權限ヲ持ツテ
 居ル行政官廳ト云フ意味デアリマスカラ、ソレヲ條令ノ上
 ニ書キマシテモ何等疑ハ起ラヌコトト思フノデアリマス

○松村委員 打合セガマダ済マヌト云フナラ止ムヲ得マセ
 ヌガ、特殊ナル労働者ニ付キマシテハ、其主管ヲ主務官廳
 主務大臣ニ御入レニナルト云フヤウナ大體ノ御意向デアリ
 マスカ、是ハ現ニ澤山アリマスル労働組合ノ取締ノ上カラ
 重要ナコトデアリマスカラ、大體ノ腹案デモ、必ズシモソ
 レハ責任ヲ負ハナクテモ、長官トシテ内務大臣モ居ラレマ
 スルカラ、ドウ打合セヲ進メラレル積リデアリマスルカ、
 腹案ダケデモ御伺致シマス

○吉田政府委員 此處ニ行政官廳ト書イテアリマスルノ
 ハ、主務ノ行政官廳ノ意味ナノデアリマシテ、労働組合ニ
 付キマシテ何レニ定ムルガ適當デアラウカト云フコトニ付

テハ、例ヘバ海員關係ノモノデアレバ、管海官廳ニ打合せ
ヲスルノデアリマス、マダ兩省ノ間ニドテラニ定メテラ宜
カラウト云フコトノ完全ナ打合せガ出來テ居リマセヌ、是
ハ勅令ヲ以テ指定スルノデアリマス、主務官廳ヲ何レニ指
定スルト云フコトガ、最モ本法全體ノ上ニ及ビ運用ニ便利
デアルカドウカト云フコトヲ考ヘマシテ、地方廳或ハ管海
官廳ト云フモノノ何レカニ定メタイト思ヒマス、ドテラニ
致シマシテモ定メラレルモノガ主務官廳デ、是ハ船員勞働
ニ付キマシテハ能ク其種類ノ問題ガアルノデゴザイマシ
テ、例ヘバ海員保險ガ内務省、海員ノ身分ノ監督ト云フモ
ノハ遞信省ニナツテ居リマス、其點デ協議ヲ致スノデアリ
マス、是ハ法全體ノ精神竝ニ事實事務ヲ執ルコトノ便宜如
何ト云フコトカラ兩省デ打合セテ定メルコトニナツテ
居ルノデアリマス

○松村委員 此處ニアリマスル事務所所在ノ場所ト申シマ
スルコトハ、是ハ例ヘバ東京市トカ、或ハ何々區トカ、サ
ウ云フ程度デ宜シイカ、或ハ地名番地マデ詳シク書ク意味
デアリマスルカ、是ハ實際事項ト致シマシテ必要デアリマ
スルカラ伺ツデ置キマス

○吉田政府委員 第五條ニアリマスル事務所々在ノ場所ト
云フノハ、其現實ノ場所ヲ意味スルノデアリマシテ、單純

ニ市ト言ツタヤウナ、市町村等ノ其土地ト云フ意味デハナ
イノデアリマス、正確ナル場所ヲ意味シテ居ルノデアリマ
ス

○松村委員 地名番地マデ明記スベシト云フ意味デアリマ
スカ

○吉田政府委員 左様デゴザイマス

○松村委員 幸ヒ内務大臣ガ見エマシタノデ、細カイ話ハ
止メマシテ、第一條ニ戻リタイト思フノデアリマス、先程
カラ第一條ノ部分ノ質疑ヲ致シマシタガ、此處ニアル所
謂「共同利益ノ保護増進」ト云フ意味ガマダハツキリ分ラ
ナイ、是ハ何レ大藏大臣ノ出席ヲ求メマシテ、聽クベキ事
項ハ澤山アリマスカラ、是ハ保留致シマシテ、内務大臣竝
ニ長官ハ屢々本法ハ特ニ指導精神ヲ以テ制定シタト云フコ
トヲ繰返シテ言ハレテ居リマスルガ、其指導精神ト云フコ
トハドウモハツキリ分ラナイ、屢々皆ガ聞カレマシタガハ
ツキリ分ラナイ、何故カト申シマスルト云フト、此勞働條
件ノ維持改善ダケアレバ、大體組合ト云フモノノ主タル根
幹ノ目的ハソコニアルノデアラカシテ、アトハ附帶的
ノ條項デアルト云フコトヲ屢々從來説明サレテ居ツタ、今
回ハ附帶條項ト從來説明サレテ居ツタモノガ、是ガ一括サ
レタ、併シ多數ノ人ハヤハリ是ハ勞働條件ノ維持改善ダケ

ガ主タル目的デアツテ、他ハ附帶條項デアルト云フ解釋ヲ
取ツテ居ルモノガ多イ、是ガ實際ハ非常ニ問題デアリマシ
テ、私ハ此第一條ニ於キマシテドウモ「勞働條件ノ維持改
善」トカ、或ハ「共濟」トカ「修養」トカ「共同利益ノ保
護増進」トカ云フヤウナコトガ竝ベラレテ居ルガ、或ハ保
守的ノ護ガアルカモ知レマセヌガ、抑々本法ヲ制定スルノ
ニ、ソレノ指導精神トカ根幹ト云フモノガドウモハツキリ
現レテ居ナイ、或意味カラ申シマスルト遺憾ニ思フ、此點
ニ付キマシテ第一條ノ何處ニ指導精神アリヤト云フコトヲ
簡單ニ御同致シタイト思フノデアリマス——内務大臣ニ御
伺シマス

○安達國務大臣 私今這入ツテ來テ突然デスガ、ドウ云フ
意味デスカ

○松村委員 是ハズツト數日來皆ガ伺ツテ居ルコトデアリ
マス、内務大臣ハ非常ニ、特ニ本法ハ指導精神ヲ以テ此案
ヲ拵ヘタト云フコトヲ繰返シテ言ハレタ、私カラ見マスル
ナラバ、此「勞働條件ノ維持改善」ト云フヤウナコト、或
ハ「共濟、修養」共同利益ノ保護増進」ト云フヤウナコ
ト、殊ニ從來屢々ノ説明ニ依ルト、勞働條件ノ維持改善ガ
主タルモノデ、アトハ附帶的ノ條項デアルト云フヤウナ説
明モサレテ居ル、サウスルナラバ、内務大臣ノ所謂本法ノ

指導精神ト云フコトハ何處ニアルカ、内務大臣ハ屢々指導
精神、指導精神ト言ハレルガ、本法ニ所謂其指導精神ト云
フコトハ一體何處ニ現レテ居ルカト云フコトヲ伺フノデア
リマス

○安達國務大臣 此第一條ニ付キマシテハ單純ニ勞働條件
ノ維持改善ノミナラズ、共濟、修養、共同利益ノ保護増進
ト、ソレト職業別又ハ産業別ト云フヤウナコトヲ明カニシ
テ居ル、是デ勞資協調シテ行クベキモノ、又組合タルモノ
ハ須ラク産業別、職業別デ進ムベキモノデアルト云フヤウ
ナコトガ、此處ニ一括サレテ明カニナツテ居ルノデアリマ
ス、産業別、職業別ニ進マナケレバナラヌ、勞資協調デ行
カナケレバナラヌ、産業別職業別ト云フコトハ即チ是ハ關
争是レ事トシテ行クコトハ宜シクナイト云フコトガ茲ニ自
カラ明カニナツテ居ルノデアリマス、此第一條ヲ虚心坦懷
ニ御覽ニナレバサウ云フ事ガ明カニ分ツテ來ルダラウト思
ヒマス、殊更ニ——強テ之ヲ露骨ニ言フト御質問ニナラナ
クテモ能ク御分リニナツテ居ルニ拘ラズ、強テ辯ヲ好ンデ
御質問ニナルモノダカラムツカシクナルケレドモ（ノ一）
ト思ヒマス

○松村委員 私ハ内務大臣カラソノ冗談ノ言葉ヲ聽カウ

トハ思ハナカツタ、第一條方内務大臣ノ言ハレテ居ルヤウ
ナ意味デアラナラバ、後カラ私ハ説明致シマスガ、何故指
導精神ガナイト言フカト云フコトヲ能ク考ヘテ裁カナケレ
バナラヌ、何處ノ國ノ立法デモ、勞働條件ノ維持改善ト最
初ニ書イテナイヤウナ所ハ何處ニモナイ、指導精神ガアル
ト言フ以上ハ、日本ノ現狀ニ鑑ミ指導精神ガ具體的ニ條文
ノ上ニ現レテ居ラナケレバイカヌ、唯産業別トカ或ハ職業
別ト云フヤウナコトハ指導シナクテモ——政府當局ノ今日
マデノ説明ニ依ルト、現ニ日本ノ組合ト云フモノハ産業
別、職業別ニ移リツ、アルト云フノダカラ強テ指導シナク
テモ組合ノ方ガ先ニ進ンデ居ル、否、組合カラ指導サレテ
居ルヤウナモノデアアル、大體是ハ強テ内務當局ガ指導シナ
クテモサウナツテ居ルカラ、茲ニ書イテ置イタノダト云フ
ヤウナ事ヲ從來説明サレテ居ツタガ、是ハ指導精神デハ
ナイ、日本ノ組合ノ傾向ガサウ云フコトニナツテ居ルト云
フナラバ、ソレハ指導精神デモ何デモナイ、指導精神ト云
フヨリハ組合ノ傾向ガサウナツテ居ルノデアアル、ソレハ指
導精神デハナイ、少クトモ日本ノ國家ト云フ眼目カラ此組
合ヲドウ指導シテ行クカト云フヤウナ指導精神ト云フモノ
ハ、具體的ニハ些ツトモ條文ノ上ニ現レテ居ラヌ、唯茲ニ
書イテアル職業別産業別ト云フコトダケデハ指導精神ト云

フモノハ些ツトモ現レテ居ラヌ、之ヲ内務大臣ハハツキリ
分ツテ居ラヌカラデハナイカ、辯ヲ好ム譯デハナイ、大臣
ハ日本ノ指導精神ト云フモノガ、ドウモ具體的ニ分ラナイ
ノデ、此説明ガ出來ナイノデハナイカト思フ、何カ其事以
外ニ指導精神ガ現レテ居ルカドウカト云フコトヲ重ネテ伺
ヒマス

○安達國務大臣 指導精神ト云フコトハ總括シテ言ツタコ
トデアツテ、勞資協調ヲ徹底スルコトガ私ハ此勞働組合法
ヲ立法スル所ノ趣旨ト考ヘテ居リマス、サウシテ産業別、
職業別デ進ンデ行ケヨ、組合ヲ造ルナラバ産業別、職業別
デ進マナケレバナラヌト云フ風ニ進ム所ヲ先ヅ是デ指示シ
テ行ク、其方面カラ考ヘテモ此一條デ勞資協調シ、而シテ
組合ハ産業別、職業別デ進ムベシ、斯ウ云フ事ガ此第一條
ニ於テ明白ニナツテ居ルト思ヒマス

○松村委員 内務大臣ノ言ハレル指導精神ト云フモノガソ
ンナ簡單ナ事デアラナラバ、私共ハソレヲ指導精神ト認メ
ナイ、ナゼナラバ、附則ニ於キマシテ一般の組合ヲ認メテ
居ルノダカラ、ソレハ現在アルモノハ仕方ガナイト云フヤ
ウナ漫然タル事カラ出タノデアラナラバ兎モ角モ、指導精
神ガアリマス以上ハモツトハツキリシテ居ラナケレバナラ
ナイ、唯産業別、職業別ト云フヤウナコトデハ指導精神ガ

現ハレテ居ラナイ、又内務大臣ハ勞資協調ニ依ツテ大ニヤ
ルト言フガ、安達サンガ内務大臣ヲ永久ニヤツテ居ラレル
ナラバ兎モ角モ、人モ迭ルシ意見モ變ル、サウ云フヤウナ
場合ニ——勞資協調ト云ハレルガ勞資協調ノ精神ガ現ハレ
テ居ラナイ、唯産業別、職業別ナラ勞資協調ト云フコト
ハ資本家ノ方ガ言フダケデ、ソナ産業別、職業別ト云フ
事デ勞資協調ナドト云フ指導精神ガ現ハレルモノデハナ
イ、偶々資本家ノ人ガソナ事ヲ言フダケノコトデアアル、
現在ノ一般の組合ヲ皆認メ、將來モ組合トシテ届出ナイ限
リハ一般のモノヲモ認メルト云フナラバ、其點カラ言ツ
テモ何モ指導精神ガ現ハレテ居ラナイ、殊ニ産業別、職業
別ト云フヤウナコトハ是ハ勞資協調ノ現ハレデモ何デモナ
イ、偶々資本家ノ人ガ言フダケノコトデアアル、之ヲ純理上
立法精神上カラ言フナラバ、ソナ事ハ指導精神デモ何デ
モナイ、又此條文デハ勞資協調ト云フモノハハツキリ現ハ
レテ居ラナイ、ソレデモ尙ホ勞資協調ニ基ク指導精神ガハ
ツキリ現ハレテ居ルト強辯ナサルノデアリマスカ

○安達國務大臣 サウ確ク信ジテ居リマス、決シテ強辯デ
ハアリマセヌ

○松村委員 内務大臣ハドウモ指導精神ト云フ意味ト勞資
協調ト云フ意味ガハツキリ御分リニナラヌヤウ思フ、私ハ

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第八回

之ヲ幾ラ繰返シテモ御答辯ガナイト思ヒマスカラ、ソコデ
指導精神ト云フコトニ付キマシテ、豫メ申上ゲテ置キマス
ガ、私ノ考ハ非常ニ保守的デアアルト云フ誇リヲ多數ノ方カ
ラ受ケルカモ知レナイガ、茲ニ指導精神ト云フコトニ付キ
マシテハ餘程考ヘナケレバナラヌ、ソレハ各國ノ立法例ヲ
舉ゲル内務大臣ハ昨日外國ノ立法例ハドウアツテモ、本法
ハ本當ニ日本ノ指導精神カラ出發シタモノデ日本獨自ノ案
デアルト云フコトヲ繰返シテ言ハレテ居ツタ、私ハチツト
モ獨自ノ案デハナイト思フ、昨日是ハ各國ノ法規ノ繼ギ割
ギデアルト申シタ、少シ言葉ガ過ギテ居ツタカモ知レナイ
ガ、私ハサウ考ヘテ居リマス故ニ批評申上ゲタノデアリマ
ス、ナゼ左様ナ事ヲ申スカ、各國ノ組合法第一條ニ規定ス
ル組合ノ目的ハ其國々ガ必ズ非常ナル特色ト指導精神ト
ヲ持ツテ居ルト云フコトガ、此組合法制定ノ上ニハ一番肝
心ナ事デアアル、此組合法第一條位各國ノ特色ガハツキリ現
ハレテ居ルモノハ他ノ立法例ニハ殆ドナイ、是ハ社會立法
デアルト同時ニ産業立法デアアル、實ニ重大ナル法規デア
ルガ故ニ、各國各々特色ヲ出シテ居ル、ドノ位特色ヲ出シテ
居ルカト云フコトヲ此處ニ例ヲ舉ゲテ申シマス、亞米利加
ノ第一條ノ目的ニハ、組合員ノ熟練有能ナルコトヲ援助ス
ル目的、一般の智能、人格、向上ノ目的、勞働條件ノ維持

改善ト云フ前ニ、勞働者ノ技能、熟練、人格、知識、是ガ一番最初ニ掲ゲテ居ル事項デアリマス、更ニ佛蘭西ノ規定ヲ見マス、特ニ經濟上、工業上、商業上及ビ農業上ノ利益ヲ研究保護スルト云フ非常ニ廣濶ノデハアルガ、勞働條件ノ維持改善ト云フコトヨリモ、モツト廣義ノ精神的ノ意味モ含マレタ利益ヲ研究保護スルト云フ規定ヲ置イテ居ル、更ニ中華民國ノ規定ヲ見マス、ア、云フアア云フ隨分過激ノ中華民國デアリマシテモ最初ニ勞働者ノ知識技能ノ増進、生産ノ増進、ソレカラ勞働條件ノ維持改善トナツテ居ル、更ニ極端ナル「ソヴェエツト」露西亞ノ第一條ヲ見マス、實ニ是ハ特色ヲ持ツテ居ル、即チ最初ノ規定ハ「國際的ノ階級闘争ノ原理ニ基キ賃銀勞働者及俸給生活者ノ全露ノ組合ト勞働者階級ヲ結合ス」ト書イテアル、即チ國際的ノ階級闘争ノ原理ニ基イテ勞働組合ヲ拵ヘルノデアツテ、且ツ社會主義國家建設ノ訓練ヲシテ、無産階級ノ獨裁ニ依ツテ社會主義ノ現出ヲ目的トスルト云フコトヲ露西亞ノ組合ハ第一條ニ規定シテ居ル、此規定ガ千九百二十二年ニハ變ツテ居ル、即チ少シ營業事業ガ露西亞ニ行ハレル必要上、勞働組合ハ國家工業及ビ私營ノ企業ノ設備經營ニ關シテ報酬ヲ得ル爲ニ雇ハレタル公民ヨリ組織セラルト書イテアル、斯ウ云フヤウニ露西亞ノ如キハ本當ニ社會主義

ヲ建設シ、階級闘争ノ理想ニ基ク勞働組合ヲ拵ヘルト云フコトヲ指導精神トシテ居ル

斯ノ如ク何處ノ國デモ其國ノ國體、其國ノ實際ノ社會ノ情勢カラ見テ、特ニ必要缺クベカラザル指導精神ガアル、是ハ内務當局並社會局其他世間ノ人カラ見レバ勞働條件ノ維持改善ガアレバ、サウ云フコトハ決ツテ居ルデハナイカト簡單ニ今日マデ解釋サレテ居ルガ、決シテサウデハナイ、各國皆特別ナル指導精神ヲ規定シテ居ル、然ルニ本條ハ多數ノ人、殊ニ學者ノ解釋スルヤウニ勞働條件ノ維持改善サヘアレバアトハ附帶條項デ宜イト云フ位ナ解釋ヲ執ラレテ居ル、少シモ日本ノ現狀ニ即シテ指導精神ハ現レテ居ナイ、又ソレヲ現サウト云フ考モナイヤウデアアル、或ハ私ノ言フコトヲ保守的デアルト思ハレルカモ知ラヌガ、組合法位國家ノ特色ヲ現シテ居ルモノハナイノデアリマス、繰返シテ申シマスガ、私ハ此法案ニハ日本ノ指導精神ガ現レテ居ナイコトニ付テ根本的ニ遺憾ノ點ガアルト思フガ、内務大臣ハ是デモ指導精神ガ現レテ居ルト考ヘラレルカドウカ御伺致シマス

○安達國務大臣 只今第一條ニ關スル各國ノ特色ヲ引例シテ、博識ナル御話ヲ聽ケバ聽ク程本案ガ日本流ノ特色ヲ發揮シテ居ルモノト思ヒマス、亞米利加、支那、露西亞ノ例

ヲ擧ゲテ、經濟上、農業上ノ利益ノ保護トカ、知識又ハ技術等ノコトヲ御話ニナリマシタガ、必ズシモサウ云フコトヲ書ク必要ハナイト思ヒマス、各國ノ立法ニハ修養、共同ト云フヤウナ事ハナイヤウデアアルガ、是ハ即チ米國ノ所謂人格ノ向上ト云フコトニ當嵌ルト思ヒマス、共濟、修養、共同利益ノ保護増進ト云フコトハ、アナタノ言葉ヲ以テ言ヘバ皆特色ヲ發揮シテ居ルモノト思ツテ居リマス、本案ハ今日ノ社會情勢ニ即シ、今日ノ勞働問題ニ即シタル立法デ、アナタノ只今ノ御話ヲ聽イテ益々特色ガ發揮サレテ居ルモノト考ヘテ居リマス

○松村委員 私ハ内務大臣ガ餘リニフザケタ御答辯ヲナサルコトニ對シテ御注意ヲシナケレバナラヌト思ツテ居リマス

○安達國務大臣 私ハ決シテフザケテ居リマセヌ

○松村委員 勞働條件ノ維持改善、共濟、修養、共同利益ノ保護増進ト云フヤウナ規定ハ各國ノ立法ニ共通ノモノデアアル、「ソヴェエツト」露西亞ノ如キハ前ニ申上ゲタヤウナ特色ヲ現シテ居ルノデアツテ、各國ハ皆其特色ヲ規定シテ居ル、是ハ多數ノ人カラ保守的ト思ハレテモ十分申サナケレバナラヌ、少クトモ斯ウ云フヤウナ劃時代的ノ立法ヲスルニ付テハ、何カ茲ニ指導精神ガナケレバナラヌ、サウデ

ナクテモ日本ノ勞働組合ハ外國ニカブレテ階級闘争ニ奔リツ、アル、内務大臣ハ勞働條件ノ維持改善、共濟、共同利益ノ保護増進ト云フヤウナ外國ニ眞似タ規定ヲシナクテモ、何等カ特色アル指導精神ヲ現スコトガ出來タラウト思ヒマスガ、之ヲ發見スルコトガ出來ナイノハ甚ダ遺憾デアリマス、修正意見ハ後カラ申シマスガ、少クトモ本條ニハ其指導精神ガ現レテ居ラヌト思ヒマス、而モ資本案ノ言フコトヲ聞イテ職業別トカ産業別ダケデ、是デ勞資協調ノ指導精神ガ現レテ居ルト言ハレルコトハ、極端ニ申セバ御目出度イ話デアアル、私ハ此機會ニ於テ資本案ニモ注意ヲ促スト同時ニ、内務當局ニ向ツテ所謂内務大臣ノ指導精神デナクシテ、國家本來ノ基調ニ鑑ミタル眞ノ指導精神ト云フモノヲ求メタカツタノデアリマス、從來此問題ニ付テハ餘リ論ジタ人ガナイノデアリマスガ、本條ニハ全ク特色アル指導精神ガ缺ケテ居ルコトヲ繰返シマシテ、内務大臣ガ言ハレルコトハ頗ル不眞面目ナル御答辯デアルト私ハ斷定スルノデアリマス

〔此邊デ散會シタラドウデス〕ト呼ブ者アリ

○添田委員長 先程カラ内務大臣ノ御出席ヲ御希望デアツタカラ、時ハ遅レマシタガ、折角今御出席サレタノデスカラ、モウスコシ……

○田子委員 私人本會議デモ御答ヲ得マセヌデ、甚ダ不滿ニ存ジテ居リマス、順番ヲ待ツテ茲ニ數日ヲ經過致シマシタガ、私ハ大體ニ於テ内務大臣ノ心事ヲ甚ダ不愉快ニ思フテ居ルノデアリマス、私達ハ社會問題ヲ議シマス時分ニ、我が日本ノヤウニ殆ト政府カラモ顧ミラナイヤウナ極メテ氣ノ毒ナ國民ヲ眼前ニシマシテ、朝ニ夕ニ祈ヲ捧ゲテ問題ヲ解決シタイト常ニ思フテ居ルノデス、昨年私ハ此豫算委員會ニ於キマシテ、内務省ノ調べニ依ツテモ其日ノ生活ニ困ツテ居ル、働クコトモ出来ナイ者ガ十萬人アルデヤナイカ、救護法ヲ何故オヤリニナラヌカト御尋シタ時分ニ、明年度豫算ヲ議スル際ニハ何ヲ措イテモ之ヲヤルノダト仰シヤツタ、所ガ今日ニナリマシテモ地方ノ政黨關係ノ失業對策トシテノ土木費ナドハ出サレタケレドモ、救護法ノ如キモノハマダ出サナイ、私ハ内務大臣ハ本當ニ日本ノ社會狀態ヲ憂ヒマシテ御考ニナツテ居ルカドウカト云フコトヲ非常ニ疑フノデアル、此間市町村制改正ノ委員會デモ、二十歳以上二十五歳未滿ノ青年ニ對シテ選舉權ヲ御與ヘニナル、私ハ其時ニ各國ニ於テハ衆議院議員ノ選舉資格モ、地方制度ノ選舉資格モ、皆足並ヲ揃ヘテ居ル、殊ニ我國ノ如キ明治二十一年ニ市制町村制ヲ布キ、二十二年ニ衆議院議員選舉法ヲ發布シ、二十三年ニ府縣制ヲ布キマシテ、今日

マデ國ノ制度ト地方ノ制度トハ二十五歳デチヤント並ンデ來テ居ル、茲ニ時代ノ趨勢ニ鑑ミテ公民權ハ二十歳ニ年齢ヲ低下スルナラバ、衆議院議員ノ選舉法ヲドウシテモ二十歳ニ下ゲナケレバナラヌガドウダト言ツタ所ガ、今ソレハ審議ヲシテ居ル、然ラバ此帝國議會ニ衆議院議員選舉法ヲ持ツテ御出ニナル御決心デアルカト言ツタ所ガ、持ツテ來ル、斯ウ申サレタケレドモ、會期切迫シタ今日マデ持ツテ御出ニナラナイ、吾々ガ御尋スルトマルデ叱ルヤウニ答辯サレテ居ル、マルデ木デ鼻ヲ括ツタヤウナ、誠意ヲ御示ニナラナイ、アナタハ在野黨時代失業保險法案ヲ二回トモ此議場ニ御出シニナツタ、今日勞働者ノ賃銀ヲ上ゲルトカ、引下ゲルトカトニ反對スルトカ云フ、此勞働組合法、其物ヨリモ今職ヲ失ツテ食ヘナイ者ヲドウナサイマスカト云フコトヲ私等ハ衷心ヨリ考ヘテ居ル、少シモサウ云フ失業保險ナド云フモノハ聲モ御出シニナラナイ、今日ノ議事日程ヲ見マスルト、船員保險法ヲ御出シニナツテ居ル、是ハ洵ニ結構ナコトデ、内容ハドウナツテ居ルカ分リマセヌガ、是ダケノ誠意ヲ御示ニナルト云フナラバ、勞働組合法デモ、其他ノ社會立法デモ、議會劈頭ニ御出シニナルヤウデナクテハイカヌ、サウシテ今日ニナレバ、吾々ガ數日内務大臣ノ御出席ヲ願フテ居ルガ、一日何處カ廻ツテ居ツテ、今頃

漸ク御出デニナル、同ジ法案ナラバ委員長カラ要求シタナラバ、何ヲ差繰ツテモ此委員會ニ駈付ケテ來ナケレバナラヌ、夕方ニナツテ吾々ガ相當疲レタ時分ニヤツテ來テ、何カ人ヲ胡麻化スト云フカ、何ダカニヤク笑ツテ、好イ加減ナ答辯デ済マサウト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、殊ニ今ノ御尋ニ關聯シテ居リマス一條ノ如キハ、アナタハ是ハ日本ノ特色ト仰シヤイマスガ、私ハ然ラバ細カク伺ヒマスガ、アナタノ勞働組合ト云フ觀念ハ何處ガ中心デアルカト云フコトヲ先ヅ確メデ置キタイ

○安達國務大臣 色々御高説ヲ拜聴致シマシタガ、救護法ノコトモ私其實施ヲ痛感シテ居リマス、居リマスカラソレデ近キ中ニ追加豫算トシテ出スコトニ諸般ノ準備ヲ整ヘテ居リマス、(來年カラデヤナイカ)ト呼ブ者アリ)今度ノ豫算ニ出シマス、ソレカラ選舉法ノコトハ、是ハ樞密院ニ於キマシテマダ話ガ纏ラズ、意思ノ疎通ヲ他ノ問題デ缺イタ爲ニ、今尙提案ノ出來ザルコトヲ甚ダ遺憾ト致シマス、併ナガラ公民權ノ問題トハ別ニ考ヘテ居リマスコトハ、此間婦人公民權ノ時御話シタ通りデアリマス、今日モ少シモ變ツタコトハアリマセヌ

○田子委員 男ノ年齢ノコトヲ言ツテ居ルノデ、婦人公民權デハナイ

○安達國務大臣 男ノ年齢デス、ソレダケ訂正シテ置キマス、議會ノ劈頭ニサウ云フ大問題ヲ出サナケレバナラヌト云フコトハ、實ハ私モサウ考ヘテ居リマスガ、是ハドウモ役所ノ——何ト云ツテ宜イカ、短所カ何カ知ラヌガ、格別大キナ問題デナクテモ、ソレガ各官廳ト關係ガアルト、各官廳トノ交渉ガ暇取ツテ、サウシテ意外ニ長引イテ居リマスコトヲ甚ダ遺憾トシテ居リマス、ドウモ甚ダ長引キマス、是ハ私モ残念ニ思フテ居リマス、痛感致シテ居リマス、勞働者災害扶助法デモ、今御尋ノ船員保險法デモ、モウ疾ニ出テ居ラナケレバナラナイノデスガ、大藏省ヤ或ハ逓信省ニ引掛ツテ遅レテ居ル、甚ダ遺憾ト致シテ居リマス、ソレカラ失業保險ノ問題ハ是モ此間御答致シテ置キマシタガ、現内閣トナリマシテ慎重ニ考慮シ、失業防止委員會ナド頻ニ研究致シテ居リマス、今後其成案ヲ得テ相當ノコトヲシタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ最後ノ御問ノ勞働組合ノ中心點ヲ何處ニ置クカ、是ハ明白ナコトデ、此組合法デ勞働者ノ團結ヲ公認シ、福利ヲ増進スル、隨テ産業ノ平和發達ヲ期スルト云フコトニ中心ガアリマス

○田子委員 一條ニ勞働條件ノ維持改善及共同利益ノ保護増進ト二ツノ目的ヲ合セテ組合ノ目的ニナラナケレバ本法ニ組合トハ云ハナイ、斯ウ云フノデアリマスカ、此共同利

益ノ保護増進ト云フコトハ紙ノ上ニダケ書イテアツテ、共
濟ト云フ施設モナイ、修養ノ設備モナイ、其他共同利益ノ
増進ニ關シマスル何等ノ施設ガナイ、唯、第三條ニアリマ
ス此規約ノ目的ニ書イテアルガ、一年モ二年モ何モシナイ
組合ガアリマシタラバ、本法ニ謂フ組合ト申スコトガ出
來マスカ、本法以外ノモノニナリマスカ

ノ福利増進ヲ行ツテ居ナイ、書イテアル規約自體ガ眞實ヲ
現ハシテ居ラナイ、サウ云フノハ労働組合デハナイノデア
リマス、第一條ハソレ等ノ目的ヲモ合セテ居ラナケレ
バナラナイト云フコトヲ要求シテ居リマス、事實上ハソレ
ヲ目的トシテ居リマセヌガ、規約ニ書イテアリマシテモ、
第一條ノ規定ニ副ハナイモノハ從ツテ本法ノ適用ハナイノ
デアリマス

○田子委員 出來ナイト云フノハ法律上カラ除ク、所謂放
任組合トスル御趣旨デアリマスカ

○田子委員 此共濟、修養其他共同利益ノ保護増進ヲ目的
トスルモノト認メナイモノヲ労働組合法以外ニ置クト云フ
根據ハ何處ニアリマスカ

○安達國務大臣 サウデアリマス

○安達國務大臣 此條件ガ完備シナケレバ無論労働組合ト
ハ認メナイノデアリマス

○田子委員 然ラバソレハ第何條ニ依ツテ左様ニ取扱ハレ
ルノデアリマスカ

○田子委員 内務大臣ハ一條ヲモウ一遍御讀ミヲ願ヒタ
イ、共同利益ノ保護増進ヲ何故組合法ノ實體ニスルカ、本
質ニソレヲ數ヘルカ

○吉田政府委員 前ニモ御説明申上ゲタコトガアルカト存
ジマスカ、第一條ニ要求致シマス目的ハ無論目的トシテ規
約ニモ定メラレネバナリマセヌガ、規約ニ定メテアルカラ
ト云ツテソレガ直チニ組合ノ目的デアルト云フコトニハ必
ズシモナリマセヌ、規約ニソレヲ書イテ置ケバソレヲ目的
トシテ居ルト云フコトヲ規約ノ上カラハ判斷シ得ルノデア
リマスケレドモ、御説ノ如クニ唯書イテアルダケデ一向ヤ
ル意思ガナイ、一年モ二年モ放ツテアル、少シモ共同團體

○安達國務大臣 元ハ労働條件ノ維持改善ヲ圖ルノデアリ
マシタケレドモ、ソレデハ宜シクナイ、ヤハリ共濟、修養
其他ノ共同利益ノ保護増進ヲ加ヘテ、是デ労働組合ノ實體
ガ完備スルモノト認メテ、是ダケヲ労働條件ノ維持改善ノ
ミナラズ、他ノモノモ合セテ之ヲ労働組合ト稱スル、斯ウ
云フコトニ改正シタノデアリマス

○田子委員 前ノコトハドウデモ一向私ハ構ヒマセヌガ、
労働組合ヲ本法ニ依ツテ保護シナケレバナラヌトスルノ
ニ、何故共同利益ノ保護増進ヲ加ヘナケレバ組合ニナラヌ
カ、其趣旨ヲ伺ヒタイ

○安達國務大臣 ソレハ諸般ノ福利施設ヲシテ労働組合ヲ
穩健中正ナラシムルニハ、ドウシテモ共濟、修養其他ノ共
同利益ノ保護増進ト云フコトガアツテ、労働組合ヲシテ穩
健中正ナラシメテ行ク實質ガ備ハルモノト私ハ考ヘテ居リ
マス

○田子委員 ソレハ極メテ結構ダト思ヒマス、労働組合ヲ
穩健ニ導クト云フ精神デソレヲ考ヘタノダ、斯ウ仰シヤル
ノデスカ

○安達國務大臣 マアサウデス

○加藤委員 關聯事項デモアリマセヌガ、内務大臣ニ伺ヒ
マス、内務大臣ガ御出ニナツタノデアリマスカラ、此機會
ニ特ニ確メテ置キタイコトガアルノデアリマス、労働法案
ハ申スマデモナク或意味ニ於テ劃時代的ノ立法デアアル、勞
働者ト資本家ト企業家、此三者ニ互ツテノ重要ナル法案デ
アリマスカラ、内務大臣モ特ニ鄭重ニ御扱ニナルコトハ申
スマデモアリマセヌ、承ル所ニ依リマスト、現内閣成立以
來十大政策ヲ天下ニ掲ゲテ之ヲ闡明シテ、社會政策審議會

ヲ組織ニナリ、一昨年八月十四日ニ第一回總會ヲ御開キニ
ナツテ以來、其大綱ヲ御定メニナツタノデアリマスカラ、
今茲ニ讀上ゲルマデモナイ、其會長ハ濱口雄幸サンガ會長
ニナツテ居ラレルノデアリマス、内閣總理大臣トシテ國政
ヲ執ラレ、責任ヲ持ツテ居ラレル濱口首相ガ其會長ニナラ
レテ居リマス、左様ニ此問題ニ付テ重點ヲ置カレタノデア
リマス、其後此議會ニ提案サレルコトニ付テ内務大臣ガ主
トナツテ労働者側、資本家側ノ或意味ニ於テ意見ヲ問フタ
ト云フコトニ付テ、非常ニ御盡力ニ相成ツタコトハ、私共
其勞ヲ多ト致シマス、必ズシモ之ヲ非議スルモノデアアリ
マセヌ、然ルニ此議會ニ提案ニ相成リマシタ主務大臣ハ、
此署名ニ依リマスト云フト、幣原内閣總理大臣臨時代理、
ソレカラ安達内務大臣ト、サウシテ井上大藏大臣、小泉遞
信大臣ガ署名ニ相成ツテ居リマスガ、今事新ラシク申スマ
デモアリマセヌガ、濱口首相ガ、云フ御氣ノ毒ノ御遭難
ニ依ツテ、御引籠リニナツタ昨年十一月十四日以來、國務
ヲ自ラ御執リニナルコトガ出來ナイ御身分ニナラレタコト
ハ、私共御心中ハ御察シ申上ゲマスガ、衆議院ノ本會議ニ
於キマシテ山崎達之輔君ガ御質問申上ゲタ時ニモ、臨時首
相代理ヲ御置キニナルト云フコトハ、本格ノ總理大臣即チ
濱口首相ガ自ラ國務大臣タルコトノ出來ナイ身分ニ相成ツ

タコトヲ前提ト致スノデアリマスカラ、國務及ビ之ニ付テノ事柄ハ一切關係ニ相成ラスコトニ承ツテ居リマスガ、此勞働組合法案ヲ議會ニ提案ナサルコトニ付テ、内務大臣ハ濱口首相ニ御諒解ヲ求メラレタコトガアルカモ知レマセヌガ、ソレハ所謂正式ニ法律上ノ意味ニ於テ御諒解ヲ御求メニナルト云フコトハアリ得ナイコト、思ヒマスガ、如何デアリマス

○安達國務大臣 無論正式ニ法律上ノ意味ニ於テ諒解ヲ求メルヤウナコトハ致シマセヌ

○加藤委員 左様ニ致シマスルト、政府ノ言明ナサル所ニ依リマスルト、近ク濱口首相ハ御登院ニ相成ル模様デアリマスルガ、其時期ニ相成リマスルト云フト、當然ノ順序ト致シマシテ幣原首相代理ハ御解任ニ相成ルノデアリマスガ、サウ致シマスルト本格ノ濱口首相ハ、此勞働組合法案ニ付テ一切御關係ノナイ方ガ御登院ニナツテ、サウシテ此御提案ニナラレタ幣原臨時首相代理ハモウ全然關係ガナクナツテ、此法案提出者トシテノ關係ハ離脱スルコトニ相成ルノデアリマスガ、其場合ハ如何ニ是ハ御取扱ニナル積リデアリマスカ、内務大臣ノ御意見ヲ承リマス

○安達國務大臣 無論濱口總理大臣ガ出席致シタ以上ハ同一ノ責任ヲ取りマス

デナクシテ、ドウシタラ今日ノ日本ノ社會ニ直面シテ一番勞働立法ガ適正ニ出來ルカト云フ考カラシタコトデアリマス、殊更資本家側ノ意見トカ勞働者側ノ意見ヲ徴スルヤウナ事ハ其時ニハシナカツタノデアリマス、其事ハ度々繰返シテ申シテ居ルノデアリマスカラ、其意味ノ話ニ過ギナイト考ヘテ居リマス

○加藤委員 其事柄ハ大シテ問題デモアリマセヌカラ、ソレデ宜シウゴザイマス

次ニ伺ヒマスガ、先日安達内相ハ西岡竹次郎君ノ質問ニ對シテ——西岡君ノ質問ノ要領ハ斯ウ云フコトデアリマシタ、社會政策ノ審議會ノ委員ノ組織ガ比較的現内閣系統ノ人バカリデアアル、斯ウ申サレマシテ、總理大臣以下國務大臣ガ六人、及ビ衆議院議員五人、悉ク民政黨、貴族院議員ノ方面ニ於テモ其系統ノ方ガ多イト思ハレルガト云フ質問ニ對シテ、内務大臣ハ斯様ニ答ヘラレマシタ、案ヲ速ク成立致サシメタイ爲ニ、吾々ノ内閣デ實行スルノデアアルカラ、民政黨系ノ委員ダケデ組織シタノデアアル、サウ威猛高ニナツテ仰シャツタノデアリマスガ、其通りデアリマスカ

○安達國務大臣 ソレハ普通ニ一般社會ノ各方面ノ意見ヲ集メテ練リ上ゲル事ト、ソレカラ現内閣ノ政綱政策ニ關ス

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第八回

○加藤委員 然ラバ更メテ内務大臣ニ御問ヒ致シマスルガ、吾々ハ本當ノ責任ヲ御持チニナル本格ノ濱口首相ニ對シテ、此重大ナル社會立法殊ニ劃時代のノ産業立法トモ言フベキモノニ協賛ヲ與ヘルニ付テ、更メテ御意見ヲ御伺致シマスルト云フコトニ御同意デアリマスカドウカ、伺ヒマスカ

○安達國務大臣 ソレハ濱口首相ガ出席シタ上ノ事ト考ヘマス、ソレハ首相ノ都合モアリマセウガ、ソレヨリ先キノ事ヲ私カラ申上ゲル必要ハナイト思ヒマス

○加藤委員 ソレデ分リマシタ、ソレニ付キマシテ安達内相ニ更ニ伺ヒマスガ、先日一宮政府委員ガ此席ニ來ラレマシテ、社會政策審議會ノ審議ノ際ニ於テ、及ビ其答申案ニ付テ、資本家側ノ意見ガ餘リ織込シテ居ラレナカツタト云フ非難ガアツタカラ、其後資本家側ノ諒解ヲ得タノデアアルト言ハレタノデアリマスガ、内務大臣ハドウ御考ヘデアリマスカ

○安達國務大臣 一宮參與官ガ御話シタコトガ 今ノ簡單ナ御話デ言盡サレテ居ルカドウカ知リマセヌガ、要スルニ彼ノ社會政策審議會ナルモノハ、資本家ニモ偏セズ、勞働者ニモ偏セゼシテ、茲ニ一ツノ成案ヲ得ベク努メタノデアリマス、資本家側ノ意見トカ勞働者側ノ意見ト云フヤウナ事

ル事ト、民政黨トシテノ政綱政策トアリマスカラ、是ハ委員ヲ選定スル所ノ根本方針ニ相違ガアルノデス、ソレハ場合ニ依リマス、反對側ノ人——政治的意見ヲ異ニシテ居ル人々、各方面ノ人ヲ網羅シテ組織スル委員會モアリマス、普通ソレヲヤツテ居リマス、併ナガラ内容方針ヲキメルノニ、政治上意見ヲ異ニシ、行動ヲ別ニシテ居ル方面ノ方々ヲソレニ加ヘテ參考ニスル必要ハナイト考ヘタノデアリマス、ソレデヤハリ民政黨系ノ人ダケニ止メテ、サウシテ政友會ノ方々ナドハ加ヘズニ勞働立法ハ練ラウト云フコトニ致シタ次第デアリマス

○加藤委員 ソレデハ更ニ伺ヒマスガ、内務大臣ハ曩ニ社會立法ヲサレル場合ニ於テハ、各方面ノ意向ヲ參酌シテ、サウシテ立法ヲ致スノデアアル、又致シマシタト仰シャイマシタガ、此御言葉ハ御撤回ニナリマスカ

○安達國務大臣 ソレハ言ヒ現ハシ方違ヒマス、ソレハ各方面ノ學者其他官吏等ヲ寄セマシテ其時案ヲ作ツテ、然ル上ニ今度ハ成案ヲ得タ上ニ之ヲ一般社會ニ問ウテ見テ、其輿論ヲ聞キ、資本家ノ人ノ意見モ徴シ、勞働者側ノ意見モ徴シタノデアリマス、是ハ幾通りモヤリ方ガアリマスカラ、其ヤリマス手段方法ニ付テノ御非難ハ御自由デアリマスケレドモ、社會立法ヲスルニ付テハサウシタ方ガ一番宜

シイト斯ウ考ヘテシタコトデアリマス

○加藤委員 更ニ伺ヒマスガ、ソレデハアナタハ社會政策審議會デ成案ヲ得ラレタモノヨリモ、其後社會ニ御問ヒニナツタト云フ社會局案ノ方ガ本當ニ重キヲ置イテオイニナルノデアリマスカ、前ノ方ガ參考案デ、後ノ方ガ本案ト御思ヒデスカ

○安達國務大臣 ドチラガ參考案、ドチラガ本案ト云フ事ハアリマセヌ、ソレハ虚心坦懐ニ先ヅ基礎案ヲ作ツテ、サウシテ之ヲ廣ク社會ニ問ウテ見テ、更ニ閣議ヲ開イテ閣僚ノ意見ヲ徴シ、然ル上ニ此案ガ出來タノデアリマス、ソレデ基礎案トシテハヤハリ社會政策審議會デキメタノガ基礎案ニナツテ居リマス、社會政策審議會デキマツタ事ヲ採用シナカツタ所ハサウ澤山ハアリマセヌ、其後色々附加ヘタ所ハアリマスケレドモ、ソレハ根本精神ニ觸レルヤウナ所ハ比較的ニ少イノデアリマス

○加藤委員 同ジヤウナ事ヲ繰返シテ洵ニ相濟ミマセヌガ、内務大臣ドウゾ悪カラズ思召シテ御答辯ヲ願ヒタイ、サウスルトアナタハ現内閣ノ政策ハ民政黨ノ政策ヲ行フノデアルカラ、民政黨系ノ委員ガ集ツテヤツテ差支ナイデヤナイカト仰シヤルノデアリマスガ、サウスルト民政黨内ニ於ケル政務調査會ト同ジ意味ニ承ツテ宜シウゴザイマス

カ

○安達國務大臣 サウデハアリマセヌ、内閣ノ下ニ開イタ社會政策審議會ハ、民政黨ノ政務調査會トハ違ヒマス

○加藤委員 内務大臣ハ所謂社會局案ハ參考案デアアル、斯ウ仰シヤツタノデアリマスガ……

○安達國務大臣 イヤ參考案トハ言ハナイ、基礎案デス

○加藤委員 ソレデモ宜シイガ、内務大臣ハ自ら監督シテ居ラレ、自ら指導シテ居ラレル此社會局案ヲ拵ヘタ時ニ、内務大臣ハ其決裁ヲ爲サレタ、サウシテ閣議ノ席上ニ於テ各國務大臣ノ御諒解ヲ得テ居ルサウデアリマス、サウデハナイト仰シヤレバ、ソレハアナタト私トノ考ガ違フノデアリマス、内容ニ付テ非常ニ澤山ノ條文ガ改正サレテ居リマスガ、ソレデモ精神ハ違ハナイ、確乎タル信念ヲ以テヤツテ居ルノダ、誠心誠意ヲ以テ其立法ヲヤツテ居ルト云フ事柄ダケデ、此精神ガ——例ヘバ第一條デモ、第十二條デモ、十三條デモ、附則デモチツトモ變ツテ居ラナイ、我輩ノ考ヘル社會政策ト云フモノハ先ノ社會局案デモ、今提案シテ居ル所ノ此法案モ、或ハ社會政策審議會ニ於テ大綱ノ定ツタモノモ皆同ジダ、違フノハ枝葉末節デアルト斯ウ思ツテオイデニナリマスカ

○安達國務大臣 枝葉末節ナント云フコトハ思ツテ居リマ

セヌ、ソレハ社會政策審議會デ答申案ガ定ツテ、ソレヲ今度總理大臣カラ受ケテ、内務省ノ社會局デ、ソレヲ基礎トシテ案ヲ作ルコトニナツタノデアリマス、案ヲ作ツテカラ閣議デソレヲ練ツテハ居リマセヌ、其儘ニナツテ居リマス、社會政策審議會ニ於テ基礎ガ出來テ、ソレヲ土臺トシテ、社會局デ案ヲ起草シテ、ソレヲ天下ニ發表シテ、諸方面ノ意見ヲ批評ヲ聽クマデ社會局デ拵ヘタ儘ニナツテ居ル、又其儘デ輿論ニ問フテ居ル、アナタハ枝葉末節云々ト云フコトヲ言ハレルガ、サウデハナイ、社會政策審議會デ作ツタノガ基礎案、ソレカラ

〔加藤委員「三案一括シテ同ジ精神デアアルカト云フコトヲ聞イテ居ルノデス」ト呼フ〕

○安達國務大臣 大體ニ於テハ變ツテ居リマセヌガ、平タク言フト社會局ノ案ハ是ハ労働組合ノ現状ヲ捉ヘテ、ソレニ依ツテ立案ヲシヤウトシタ所ガ、ソレハ面白クナイ、ソレダカラ第一條ヲ此通りニ改正シテ、労働條件ノ維持改善バカリデナクシテ、共濟、修養其他共同利益ノ保護増進ヲセシメテ、類似ノ職業若クハ産業ト云フコトヲ加ヘテ、労働組ナルモノハ斯フ云フ風ニ職業別、産業別ニ將來ハシテ行カナケレバナラヌト云フコトヲ指示シタモノデアリマス、其代リニ最初ノ案ノ變ツテ居ル所ノモノハ、此意味ヲ

衆議院委員會労働組合法案外一件委員會第八回

沒却セズニ、即チ其意味カラ附則ノ第一條ハ出來テ居ル、ソレダカラ今日ノ實際ノ社會ニ處シテ一番是ガ相應ハシイ案ト考ヘテ居ルノデアリマス、社會局ノ案ヲ全然捨テ、シマツタノデモ何デアリマセヌ、要スルニ骨抜トカ何トカ批評ヲ受ケテ居ルガ、私ハ一向其批評ハ當ツテ居ラヌト思ヒマス、一向骨ハ抜ケテ居ラヌト思ヒマス、ヤハリ労働者ノ方ニ於テモ、私ハ相當ニ満足セラレルダケノコトガ出來テ居ルノデアリマスカラ、少シモ差支ナイト考ヘルノデアリマス

○加藤委員 簡單ニ伺ヒマスガ、私ハ經過ヤ信念ヲ伺ツタノデハナイノデアリマス、社會政策審議會ノ綱領ト、所謂社會局案ト、今御出シニナツテ居ル法案ト、是ハ同ジニ御覽ニナルカ、違ツテ居ルカト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、違ツテ居レバ違ツテ居ルト仰シヤツテ戴ケバ宜イ

○安達國務大臣 カレハ文字力變ツテ居ルダケデアリマス

○加藤委員 ソレデハ、安達内相ハ唯文字ダケハ違ツテ居ルガ、内容ハ違ハヌト云フノデアリマスカ

○安達國務大臣 全然同ジトハ言ヒマセヌ、削ツタ所モアリマス、第一條ト附則、ソナナ所ガ變ツタ所デアリマス

○加藤委員 アナタガ文字ガ變ツタト仰シヤルカラサウ言フノデス

○安達國務大臣 サウ怒ラナクテモ宜イデセウ

○加藤委員 安達内相ハ、社會政策審議會ノ組織ハ民政黨ダケデ宜シイ、サウシテ此處ヘ來ルト、早ク審議ヲシテ呉レ、三日位ヤツタラ、モウ議論スル餘地ハナイデハナイカト言フ、其潜在意識ヲ忖度致シマス、多數サヘ持ツテ居レバ宜イ、民政黨ノ黨議デ反對スルヤニツイテハ、呼ビ付ケテ風潰シニスレバ宜イ、二百七十ノ多數デヤルト云フ考ガ潜在意識ニアル、是ガ顔ニ現レテ居リマス、サウ云フヤウナ頭デヤルカラ、與黨ノ人デモ内務大臣ハ高慢ダト言ツテ居ル、サウ云フ人ガアル、名前ヲ言ヒマセウカ、多數サヘ持ツテ居レバ何デモ構ハナイ、民政黨ノ政策ヲ行フノダカラ社會政策審議會モ他ノ奴ハ入レナイ、他ノ奴ガ愚圖々々言フト長クナツテ選舉ニ合ハヌカラ、早ク審議ヲ完了シナケレバナラヌト云フノデ、民政黨ダケデヤツタ、其選舉ニ多數ヲ得レバ宜イ、選舉ニ勝テバ宜イ、私ハ選舉ノ神様ダト云フ風ガ見ヘル、吾々ハ飽マデ申上ゲルヤウニ、勞資兩方ニ關係ハアリマセヌ、公平無私ノ立場ニ於テ論議スルノデアリマスカラ、御急ギニナラズニ、政府ノ御答辯ニ依ルト、濱口首相モ御出ニナルト云フカラ、濱口首相ガ

御出ニナツタラ、ソレニ依ツテ吾々モ質問スルコトガ相當アルダラウト思フ、ソレ故御急ギニナラヌデ、サウ委員長ヲ督勵スルト、委員長ガ神經衰弱ニナリマスカラ、審議ヲ緩クリヤルト云フ希望ヲ申上ゲマシテ、内相ノ反省ヲ求メマス

○安達國務大臣 ドウモ少シ興奮カ神經過敏ニナツテイラツシヤル、御話ガサウナリマスカラ、已ムヲ得ズ言フノデスガ、潜在意識ナドハ持ツテ居リマセヌ、御安心ヲ願ツテ置キマス、公平無私ニ考ヘテ居リマス

○西岡委員 内務大臣ハ只今社會局ノ所謂原案ト今御出シニナツタ案ハ、大シテ違ツテ居リハシナイ、斯ウ仰シヤル、併ナガラ大シテ違ハヌト云フノハ何處ヲ見テ仰シヤルノデスカ、恐ラク此法案ノ眼目ガ違ツテ居ルノデアアリマセヌカ、根本ニ於テ違ツテ居ル、社會局ノ原案ハ斯ウ書イテ居ル、第一條、本法ニ於テ労働組合ト稱スルハ、労働條件ノ維持改善ヲ目的トスル労働者ノ團體、又ハ其ノ聯合ヲ謂フ、斯ウ書イテアル、ソレカラ「組合員ノ共済、修養其ノ他共同利益ノ保護増進ヲ目的トナスコトヲ得」ト、然ルニ御出シニナツタ案ハドウデスカ「第一條本法ニ於テ労働組合ト稱スルハ労働條件ノ維持改善及組合員ノ共済、修養、其ノ他共同利益ノ保護増進ヲ目的トスル云々」ト斯ウ

言ツテ居ル、即チ共済、修養其ノ他共同利益ノ保護増進ヲ目的トスルト云フコトヲ強要致シテ居ラレドハアリマセヌカ、ソレカラ又職業別、産業別ニサレタ點モ同様デア

ル、更ニ組合自由ニ關スル唯一ノ規定デアツテ、即チ労働爭議ニ於ケル損害賠償ノ免責規定ヲ全ク削除サレタ、ソレカラ決議ニ依リ第三者ノ組合加入ヲ禁止シテ居ラレド、更ニ資金ヲ政治運動ニ使用スルコトヲ禁ジテ居ラレド、此大切ナコトガ變ツテ、之ヲ簡單ナ一寸シタ違ヒダトヤハリ強辯ナサルデセウカ、一寸御尋致シタイ

○安達國務大臣 變ツタ所ハ變ツタト申上ゲマス、大體ニ於テソレガ爲ニ非常ニ骨抜ニナツタカトカ何トカ云フコトハ考ヘナイ、大體變ツタ所ハ變ツタト認メマス、モウ其邊ノコトハ明瞭デハアリマセヌカ

○西岡委員 今ノ目的ガ變ツテ居ルデアリマセヌカ、労働組合保護法案ガ労働組合取締法案ニ變ツテ居ルト思フ、違ヒマスカ

○安達國務大臣 保護法案ガ取締法案ニ變ツテ居ルト云フコトハ認メマセヌ、ヤハリ是ハ労働者ニ對スル團結ヲ公認スル、福利ヲ増進スルト云フヤウナコトガ本案ノ目的デアリマス、少シモ變ツテ居リマセヌ

○西岡委員 私ハ詭辯ダト思ヒマス、ドウゾ御歸リニナツ

衆議院委員會労働組合法案外一件委員會第八回

テ第一條ノ社會局ノ原案ト、御出シニナツタ原案ヲ能ク熟讀シテ一ツ御研究ニナツテ、明日ハツキリトソナ詭辯ヲ仰シヤラズニ御答願ヒタイト思ヒマス

○安達國務大臣 ソレハ度々答ヘマシタ通り、第一條ガ變ツタ理由ヲ御話シテ、斯ウ變ヘタ方ガ尙ホ一層良クナル、其代リ附則ノ方ニ附則第一條ト云フモノガアルト云フコトヲ度々繰返シテ居リマスカラ、更ニ申上ゲル必要ハナイト思ヒマスケレドモ、御尋ガアレバ何度デモ御答致シマス

○清水委員 ドウモ先刻カラ聽イテ居リマス、今マデ聽イタコトノ外新イコトハアリマセヌカラ、議事ノ進行ヲ願ヒマス

(「答辯ガ分ラヌデハナイカ」同ジコトヲ聞イタカラドウシタノカ)其他發言スル者多シ)

○添田委員長 ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス、明日午前十時カラ開會致シマス

午後六時四十五分散會

九

第五十九回帝國議會
來議

勞働組合法案外一件

(勞働組合法案(政府提出))
(勞働爭議調停法中改正法律案(政府提出))
委員會議錄(速記)第九回

會議

昭和六年三月六日(金曜日)午前十一時開議
出席委員左ノ如シ

- | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-----------|-----------|----------|---------|--------|---------|---------|---------|--------|----------|--------|--------|
| 委員長 添田 敬一郎君 | 理事 三宅 磐君 | 理事 多田 滿長君 | 理事 宮澤 裕君 | 榊谷 寅吉君 | 谷原 公君 | 飯塚 春太郎君 | 久留 義郷君 | 清水 德太郎君 | 堀内 良平君 | 加藤 久米四郎君 | 安藤 正純君 | 松村 光三君 |
| 理事 山谷 義治君 | 理事 守屋 榮夫君 | 濱野 徹太郎君 | 櫻内 辰郎君 | 栗原 彦三郎君 | 長尾 半平君 | 田中 貢君 | 仲井 間宗一君 | 堀切 善兵衛君 | 田子 一民君 | 猪野 毛利榮君 | | |

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第九回

中谷 貞頼君
西尾 末廣君

西岡 竹次郎君

同日委員勝田銀次郎君及金光庸夫君辭任ニ付其ノ補闕トシ
テ猪野毛利榮君及中谷貞頼君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ
內務 大臣 安達 謙 藏君
出席政府委員左ノ如シ
內務政務次官 齋藤 隆 夫君
社會局長官 吉田 茂君
社會局部長 富田 愛次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
勞働組合法案(政府提出)
勞働爭議調停法中改正法律案(政府提出)

○添田委員長 ソレデハ會議ヲ開キマス
○栗原委員 議事進行ニ付テ一言申上ゲタイ、此法案ノ審議ハ未ダ十分デハアリマセヌガ、既ニ相當日子ヲ費シテ居

リマス、併シ其進ミ方ハ甚ダ遅々タルモノガアルノデアリマス、一體野黨カラ出テ居ラレル委員諸君ハモウ此問題ニ付テハ政府ニ聽クドコロデハナイ、教ヘナケレバナラヌ程ノ非常ナ此問題ニ付テノ權威者ガ揃ツテ居ラレルノデアリ、ソレカラ又此案ガ今ノ時代ニ逆行スルヤウナモノデナクシテ、大體ニ於テハ認メテ宜イヤウニ考ヘテ居リマスカラ、サウ百科全書的ニ何處マデモ演繹シテヤツタ日ニハ、此質問ハ半歳掛ツテモ終ヘナイト思ヒマスノデ、大體ノ所デ省略致シテ、後二日位デ審議シテシマフト云フヤウナ決心デ是非ヤツテ裁クヤウニ御願ヒ致シマス、サウシナケレバ若シ此案ガ貴族院ニ參リマシテモ、相當貴族院ニ於テ審議スルダケノ日子ヲ付ケテ、貴族院ヘ送ラナケレバ貴族院ニ於テ審議スルコトハ、全ク出来ナイヤウナ状態ニナリハシナイカト思フノデアリマス、モウ夜遅クナツテモ結構デスカラ今明日位デ済マシテシマフト云フコトデ一ツ御進ミヲ願ヒタイト思ヒマス

○加藤委員 今栗原君カラノ御發言デ、大體昨晚御相談ニ相成ツタコト、思ヒマスガ、與黨諸君ノ議事進行ノ御心底ト御方針ハ承リマシタ、今御發言ノ中ニ大體ノ質問ハ終了シタカノヤウニ御言ヒニナツタノデアリマスガ、私共ノ方ト致シマシテハ、未ダ松村君ガ一部分ヤツタダケノコトデ

アリマシテ守屋君ガ控ヘテ居リマス、田子君モ控ヘテ居リマス、堀切君モ居リマス、私モ居リマス、全部質問ノ通告ガ致シテアリマスルガ、今迄ノ委員會ノ慣例ト致シマシテ、大體發言通告者ノ少クトモ——吾々ハ全部ト云フコトヲ原則ト致シマスガ、其中一人モ半分モ済マナイノニ大體濟ンダト言ハレルコトハ頭ガ餘リ良過ギルト思ヒマス、與黨ノ方々ハ案ヲ全部鵜呑ニナサルノデアリマスカラソレハ當リ前デアリマスガ、吾々ハ左様ナ事ニ賛成スル譯ニハ參リマセヌ、審議期間ヲ豫メ御決定ニナルト云フコトデアリマスレバ、吾々ハ絶對ニ反對デアリマス、或ハ今日ニモ終了致スカ知レマセヌガ、今後豫メ之ヲ定メマシテ、審議ヲ進メルト云フコトハ絶對ニ反對デアリマス、ノミナラズ二十六日ニ此委員會ニ附議セラレテカラ今日マデ數ヘテ見マスルト八日間ヤツタバカリデアリマス、其八日ノ中デ内務大臣ハ何時間御出席ニナツテ居リマスカ、其時間ヲ御考ヲ願ヒタイ、政府委員デ宜イヂヤナイカト云フコトハ野黨諸君ノ言ハレル話デアルガ、吾々ハ左様ニ單純ニ此案ヲ御取扱ヒタクアリマセヌ、ノミナラズ貴族院ノ審議ニ不便デアラウト云フコトマデ御考ノヤウデアリマスガ、不便デアルカナイカソレハ自ラノ成行ニ委スヨリ外ナイコトデアツテ左様ニ多クノ審議時間ヲ要スルナラバ、モツト早ク御提案ニ

ナレバ宜イノデアアル、又審議期間ガ足りナクナツタナラバ、政府トシテハ會期延長ノ方法ヲ御考ニナルコトモ出来ル、幾ラデモ方法ハアリマセウ、サウ云フ事ヲ御忘レニナツテ吾々ニ煮エ湯ヲ飲マシテ早ク之ヲ審議シロト言ハレルノハ、是ハドウモ栗原君トモアラウ人ガ、以テノ外ノ御考ヘ違ヒデアルト思フ、斯ウ云フ御發言ハ御撤回アランコトヲ希望致シマス、又吾々ト致シマシテハ今後大臣ノ御出席ヲ要求致シタイ、昨日モ私ハ内務大臣ニ左様ナ事ヲ申上ゲマシテ内務大臣モ諒承シテ戴イタノデアリマス、ト申シマスノハ此案ノ提案者デル幣原首相代理ハ、濱口本格ノ總理大臣ガ登院セラル、ト當然ニ解職ニナルノデアリマス、サウスルト責任ヲ持ツテ提案セラレタル總理大臣代理ガオイデニナラナイノデ、此案ヲ提出スルコトニ付テ全然御相談ニ與ツテ居ラレナイ濱口サンガオイデニナツテ、サウシテ突然此案ヲ御覽ニナル譯デアリマス、法律的ニ申シマスルトサウ云フコトニナル、其時ニ吾々ハ濱口サンノ本當ノ意見ヲ承ラナイデ、之ニ協賛ヲ與ヘルト云フコトハ、ソレハ忠實ナルヤリ方デアラウカドウカト云フコトハ、議員ノ職責ニ鑑ミテ野黨諸君モ考ヘテ戴キタイ、是ハ何人モ異論ハナカラウト思フ、異論ガアルナラバ言ツテ戴キタイ、又吾々ハ此案ガ將來ドウ云フ方面ニ影響ガアルカト云フコトヲ

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第九回

考ヘマスルト、勞資協調ト云フ根本方針ニ付テ、安達内相ノヤウニ、唯協調本位デ行クト云フガ如キ抽象的ノ觀念デハ満足致シマセヌ、協調ナラ協調ニ付テノ將來ノ政策ヲ鮮明ニシテ戴キタイ、安達サンガ百年モ内務大臣ヲシテ居ラレルナラバ、行政上ノ監督權デ協調ノ方法デ進ムト云フコトハ或ル程度マデハ出来マセウケレドモ、安達サンノ御退職後ハ唯法律ガ活キテ居ルダケデアリマシテ、適用スル人ハ迭ルノデアリマス、吾々ハ此點ニ於テ總理大臣ニ對シテ改メテ將來勞働者保護ノ意味ニ於テ、或ハ資本家保護ノ意味ニ於テ、之ヲ具體的ニ申シマスレバ最低賃銀ノ制度ヲドウスル、利益分配ノ制度ヲドウスルカト云フヤウナ點ニ付テ、總理大臣ニ伺ハナケレバ此案ニ協賛ヲ與ヘルコトハ出来マセヌ、又農業勞働者ノ保護、斯ウ云フ方面ニ付テハ農林大臣ノ説明ト答辯ヲ要求スルノデアリマス、又勞働教育ノ方面又之ニ關スル施設、思想善導ニ關スル方面ニ付テハ文部大臣ノ出席ヲ要望シテ居ルノデアリマス、又將來モ要求セントシツ、アルノデアリマス、又勞働組合法ガ實施サレマスルト云フト、今後ノ日本商工業者或ハ企業家、中小商工業者以外ニドウ云フ影響ガアルカト云フコトニ付テハ商工大臣ノ責任アル御答辯御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、又本法第二十七條ニ付テハ陸海軍兩相ノ的確ナル御答

辯ヲ願ヒタイノデアリマス、又組合運動ノ取締法規ニ付テハ司法大臣ニ確メル必要ガアルノデアリマス、又銀行類似ノ企業或ハ無盡業等ト本法トノ關係ニ付テハ大藏大臣ノ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、今考ヘタマケデモザツト是レ位ノ希望ヲ以テ各大臣ノ出席ヲ要求シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ問題ヲ棄テ置イテ大體質問ガ濟ンダマラウト言ハレルノハ、ソレハ昨晚一席ノ宴會デ御諒解ニナツタノデアリマセウガ、吾々トシテハ只今ノヤウナ御發言ニハ賛成ガ出來ナイノデアリマス、御撤回ヲ願ヒマス

○添田委員長 一寸此際私カラ一言申上ゲマス、栗原君カラ議事ノ進行ニ付テノ御意見ノアツタト云フコトモ御尤モニ存ジマス、只今加藤君ヨリ之ニ御反對ニナツテ色々質問ノ必要ノアルト云フコトモ論ゼラレタ此點モ至極御尤モト思フノデアリマス、御承知ノ通り此案ハ重大法案デアリマスガ、委員長ノ考ト致シマシテハ出來ル丈ケ質問ヲ周到ニ致シテ遺憾ナキコトヲ期シテ居ル次第デアリマス、併シナガラ一面カラ考ヘマスレバ、只今栗原君ガ述ベラレタ如ク、會期ハ切迫ヲ致シテ居リマス、其狀況カラ鑑ミマシテ此案ヲ衆議院ノ立場カラ見マシテ、出來得ルダケ早く進行ヲシテ結了ヲ見ルト云フコトノ希望ヲ懷クコトハ是ハ亦無理カラヌコトデアルト思フノデアリマス、ソコデ御相談ヲ

致シタイノハ政友會側ノ諸君ハ、只今加藤君ノ言ハレタ御趣意ハ私共少シモ反對デアリマセヌケレドモ、其御趣意ニ伴ウテ御質問ノ順序ヲ御考ヲ願ヒタイト思フノデス、松村君ノ一昨日来、今日デ三日ニナルノデアリマスガ、御質問ハ一々私決シテ無益ナ質問トハ思ヒマセヌ、有益ナル御質問ダト思ヒマス、併シ既ニ通告ガマダ大分殘ツテ居ルノニ、松村君御一人デ以テ三日間モ費スト云フヤウナコトハドウ云フモノデアルカ、是モ同ジ政友會ノ中デ御相談ヲ下サツテ、只今加藤君ノ言ハレタル其要點ニ付テ、或ハ各大臣ノ質問ヲ御望ミニナルナラバ、出來ルダケ委員長トシテハ各大臣ニ通知シテ、其出席ヲ求メテ御要求ニ應ジタイト思ツテ居ルノデアリマスカラ、餘リ一人デ二日モ三日モ、亦逐條ニ亙ツテ各方面ノ事ヲ研究シテ行クト云フコトニナレバ、是ハ殆ド際限ハナイト思フ、其邊ノコトモ一ツ御斟酌下サツテ、質問ハハラナケレバナラヌガ、出來ルダケ迅速ニヤルト、斯フ云フコトニ、ソコヲ兩々協調ヲ取ツテ成ベク早く進行スルヤウニ御努力アランコトヲ希望致シマス

○加藤委員 委員長ノ御話ノ趣旨ハ能ク分リマシタガ、委員長ノ御話ノ中ニ本案ヲ提出セラレマシテカラ、衆議院デハ二十六日カラ今日マデ八日間、三月二十五日マデ二十九日間之ヲ半々位デヤツタラ宜カラウト云フ目安ヲ立ツテノ

御要求、御考デアリマスガ、吾々カラ申シマスルナラバ、一體サウ云フ重大法案ヲ議會ノ議案ノ編輯スル時ニ、而カモ豫算ノ總會ガ今日カラ始メラレルノデアリマスガ、ドウシテ御提案ニナツタノデアリマスガ、其方ノ責任ハ全然御忘レニナツテ置イテ、我々ノ審議ヲ御急ギニナルト云フ御趣意ガ分リマセヌ、兎ニ角松村君ハ長イ間質問ヲ致シテ居ルト云フ御話デアリマシタガ、松村君ノハ内務大臣ノ出席ヲ前提トシテ質問ヲ致スト云フ御要求デアツタノデアリマス、吾々ハ餘程勉強致シタノデアリマスカラ、吾々ノ眞意ヲ卒直ニ告白ヲ致シマスルト云フト、内務大臣以外ノ人ノ政府委員ノ御答辯ハ希望シナイ、内務大臣ノ御出席ガナケレバ審議ヲ進メナイト云フ要求ヲ吾々ハ委員長ニ正式ニ申出デ居リマシタガ、其間與黨諸君ノ中デ、ソレナラバ與黨ノ方デ質問スルト云フコトデ、今日マデヤツテ來テ居ル、又松村君ハ吾々ハ審議ヲ進メタイト云フコトデアレバコソ内務大臣ガ御出デニナラヌデモ政府委員諸君ト質問應答ヲ重ネヨウトシテ、吾々ハ豫メ申出テ置イタ以上ニ勉強致シテ居ルノデアリマスカラ、委員長カラ感謝ヲサレルノハ當然デアルガ御叱リニ預ルト云フコトハ、是ハ道理ニ合ハヌコト、思ヒマスカラ、サウ云フ御叱リハ御返却致シマス

○添田委員長 別ニ御叱リ申シタノデモ何デモナイノデアリマス、又私トシテハ貴族院ト衆議院ト半々ニ期限ヲ定メヨウト云フヤウナ考デア言ウテ居ル譯チヤアリマセヌガ、御承知ノ通り會期ハ切迫致シテ居ルノダカラ、質問モ十分ニヤツテ載カナケレバナラヌガ、成ルベク進行ヲシタイ、其御積リデ政友會ノ方々モ一ツ御相談ノ上デヤツテ載キタイ、斯ウ云フコトヲ言フノデアリマス

ルカノ如キ、繼續シテ居ルトマデモ言ハレタコトハ、私ハ
委員長ニ御訂正ヲ願ハナケレバナラムト思フ、恐ラク私ノ
質問ハ、今マデノ外ノ人ト重複スルヤウナコトハ少ナイ、
其點ハ私モ非常ニ注意シテ重複シナイヤウニ質問ヲ繼續シ
テ居ル、是ハ委員長バカリデナイ、松村ノ質問ハ全ク重複
シテ居ナイト云フコトヲ昨日モ與黨ノ諸君ガ言ツテ居ラレ
ル、此點ハ深ク委員長ノ御注意ヲ願ハナケレバナラヌ、又
逐條審議スルト云フコトハ議員ニ與ヘラレタル權能デアリ
マス、要點ヲト云フコトデアアルガ要點ハ各々觀ル所ガ違ヒ
マス、吾々ハ議員トシテ與ヘラレタル權能ニ基イテ質問シテ
居ルノデアリマスカラ、此點ハ委員長ハ言フマデモナイコ
トデアリマスガ、ドウカ冷靜ニ而シテ公平ニ議事ヲ進行セ
ラレンコトヲ希望シマス、私ガ一昨日カラ一人デ外ノ人ニ
何モ言ハセナイヤウナコトヲ言ハレルノハ甚ダ宜シクナイ
ト思ヒマス、尙ホ内務大臣、大藏大臣其他ニ付キマシテ
モ、ドウカ御出席ヲ煩サナイト又同ジコトヲ繰返シテ居ル
ト云フ御叱リヲ受ケテモイカヌ、政府當局ノ爲ニ便宜ヲ圖
ツテ、私ハ忍ンデ茲ニ質問ヲ一昨日來繼續シテ居ルノデア
リマスカラ、此點ハ繰返シ委員長ニ御考ヲ願ツテ置キマシ
テ議事ヲ進メテ行キタイト思ヒマス

リマセヌガ、私ガ參リマシテカラノ狀況ヲ見マス、非常
ニ委員長初メ栗原君ナドノ御意見ハ、政友會ノ眞意ヲ誤解
サレテ居ル點ガアルドラウト思ヒマス、是ハ甚ダ遺憾ト存
ジマスルガ故ニ、一言念ノ爲ニ申シテ置キタイ、吾々モ議
事ヲ進行サセルコトニ付テハ十分考慮シテ本會議以來今日
マデ來テ居ル、實ハ本會議ノ時デモ、此問題ハ頗ル重要ナ
法案デアルガ故ニ、二日間ニ互リ十分質疑應答ヲヤリタイ
ト云フ考ヲ持ツテ居ツタノデアリマスケレドモ、與黨カラ
ノ強イテノ御希望ガアリマシタカラ、一日デ大體マア打切
ツテ置イタノデス、ソレデ私自身モ本會議ニ於テ、幣原首
相代理、安達内務大臣ニモ質疑ヲ致シマシタケレドモ、頗
ル其要領ヲ得ナイ、問ウタコトハ答ヘズ、問ハサルコトノ
勝手ナコトハ言フ、ソレガ頓珍漢ナ事ガ多イト云フヤウナ
コトカラ、幾度モ登壇ヲシテ意見ヲ承リタカツタノデア
ルマスケレドモ、委員會ノ時ニ悠クリ臍ニ落チルマデヤラウ
ト思ツテ遠慮致シタノデアアル、併シ此法案ヲ委員長初メ民
政黨ノ方ハドウ云フ風ニ御思ヒニナツテ居ルカ知リマセヌ
ケレドモ、是ハ日本ノ産業界ニ於ケル所ノ重要ナル問題ナ
ノデス、委員會デ無闇ニ駈足ニ早ク濟マシテ、臍ニ落チ
ヌ事ガ多數ニアルニ拘ラズ、質問ヲ打切ツテ進行ナドシテ
行クコトニナリマスレバ、將來ニ於テ大變ナル禍ヲ來スコ

トニナルノデス、ダカラ日限ヲ三日ヤ四日ヤ五日遅ラセル
コトヲ愚圖々々言ハズ、又一人ノ委員ガ三日間ニ互ツテヤ
ツタカラト云フテ、三日間ニ互ツテ言ウタ事柄ガ、外ノ者ノ
意見ヲ代表シテ居ルナラバ一向差支ナイ、重複スル點ハ外
ノ者ハ言ハナイノデアリマスルカラ、後日ノ禍ヲ來サヌガ
爲ニ、慌テズニヤツタ方ガ、此内閣ノ爲ニモ、民政黨ノ爲
ニモ、國家ノ爲ニモ、結構ナ事デアルト思ツテ居ル、民政
黨ノ諸君ノ考ヘテ居ラルル如ク、サウ簡單ナモノデハナ
イ、此問題ト云フモノハ現内閣——委員長ナドモ勞資協調
會ノ理事長ニナツテオイデニナツテ、ヨク是ハ體驗ヲサレ
テ居ル筈デス、日本ガ將來産業革命ヲ起スカ、起サヌカ又
勞働者ト資本主ト非常ナル大衝突ヲヤツテ、軍隊デモ繰出
サナケレバナラヌヤウナコトニナリハセヌカト云フヤウナ
コトハ、一樣ニ是ハ案ジテ居ルノデス、斯ウ云フコトヲ爲
サセヌヤウナ安全瓣ノ爲ニ、此法案ヲ政府ニ於テ提出サレ
タモノト思フ、然ルニ此法案ノ内容ヲ見ルト、マルキリ私
共カラ言ハセレバ成ツテ居ナイ點ガ多イノデス、外國ノ燒
直シノヤウナ所ガアルカト思ヘバ、日本ノ實ニ頑冥固陋ナ
ル資本主ノ惡イ根性ガ這入ツテ居ルトカ、サウカト思フト
又ソコニ政府ノ策略ガ這入ツテ居ルトカ、何等ソコニ調和
ト云フモノガ出來テ居ナイノデス、ダカラ餘程是ハ慎重審

議ヲヤラナケレバナラヌ、ドウカ此案ニ對シテハ黨派心ヲ
一ツ取ツテ、ソレカラ無闇ニ急グコトヲ止メテ、慎重審議
國家ノ爲ニ、日本ノ産業發達ノ爲ニ、詰リ健全ナル導キヲ
スル意味ニ於テ、此法案ヲ吾々ハ完全ノモノトシテ、議會
ヲ通スナラ通シタイト思ツテ居ルノデアリマス、此點ヲ一
ツ誤解ノナイヤウニ、委員長初メ民政黨ノ諸君モ御諒承ヲ
願ヒタイト思フノデス、吾々ハ議員ノ權能トシテ、此法案
ガ恰度吾々ノ委員ノ時ニ、又吾々ガ議會ヘ出テ居ル時ニ出
シテ、之ヲ不完全ナルモノトシテ貴族院ヘ送ルコトモ出來
ヌ、又法律案トシテ實施サレルニ付テハ、後カラ笑ハレル
ヤウナモノニシテ、法律ト致シタクハナイノデス、ダカラ
何モ一日ヤ、二日ヤ、三日ヤ、四日慌テ、之ヲ進行サセル
必要ハナカラウト思フ、私共ハ、大正十五年ノ時デアリマ
シタ、濱口サンガ内務大臣デアリマシテ、恰度御病氣デア
リマシタガ故ニ、安達サンガ内相ノ代理トシテ、此法案ノ
説明ヲサレタコトガアツタ、委員會ノ時恰度濱口サンガ
病氣ガ癒ラレテ、私共ガ質疑應答ヲシタ、其時カラノ是ハ
引掛リニナツテ居ツテ、濱口サント私共トノ意見ノ相違、
安達内相代理ト私共ノ意見ノ相違ト云フモノハ、非常ナ大
懸隔ガアツタノデス、是ハ濱口サンニ對シテモ、安達サン
ニ對シテモ、何年掛ツテモ吾々ハ一ツ十分ニ、意見ノ交換

ヲヤラナクチャナラヌト云フコトヲ、當時私共既ニ決心ヲシタ、ダカラ此法案ハソレ位ハ民政黨ノ諸君モ御心配ニナリ、急イデヤリタイナラバ、五十九議會劈頭ニ、是ハ御出シニ成ルベキモノデアツテ、會期ガ半分程濟ンデカラ出サレルヤウナコトヲ考ヘテ見ルト、ドウ云フ爲ニ出サレタノカ、非常ニ吾々ハ疑ヲ挟ム餘地ガ多イノデアリマス、シテ見レバ寧ロ此法案ヲ輕ク見テ居ルノハ民政黨ノ諸君デアリマシテ、無理ニ議事ヲ進行サセルト云フコトハ、後日ノ爲ニ禍ヲ貽スコト、思ヒマスカラ、何卒委員長ニ於カレテモ、多少民政黨ノ御方ガ我儘ヲ言ハレテモ、アナタハ民政黨ノ委員長デハナイノデアリマス、全體ノ委員長デアリマスカラ、我儘ヲ言ハサズシテ委員長ノ一ツ威力ヲ以テ、公平ニ導イテ行カレルヤウニ希望致シテ置キマス

○添田委員長 チヨツト申上ゲマスガ、私必ズシモ之ヲ期限ヲ切ツテドウト云フコトハ言ハナイ、栗原君カラ今日明日ノ中ニト云フ今ノ議事進行議論ガ出マシタガ、今日明日ト云フ譯ニハ行カナイシテモ、大體ニ於テ會計ガ切迫シテ居リマスカラ、急グ方針ヲ質問モ御考慮ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ大體ノ御相談旁々委員長トシテノ希望ヲ申上ゲタニ過ギナイノデアリマス、其點ハ御諒承ヲ願ヒマス

○齋藤政府委員 此機會ニ於テ委員長ノ許可ヲ得マシテ、

トガ出來マセヌ點モアリマシテ、其主人デアリマスル辻弘ノ行動ヲ内偵致シマシタ所ガ、是亦不審ノ點ガ多クアツタノデアリマス、即チ本人ニ就テ取調ヲ致シマシタ所ガ、保險金騙取ノ目的ヲ以テ、該支店ニ放火ヲ爲サンコトヲ決意シ、雇人ノ泉甚太郎ニ對シテ、石油ヲ供用シ且ツ其方法ヲ教唆シテ放火セシメタト云フ事實ヲ自供シタノデアリマス、ソコデ是等ノ供述ニ對シテ其傍系トナルベキ證據ヲ取調ベマシタル所、關係者ノ證言、鑑識ノ結果等ニ依リマシテ其證據ハ十分ト認メラレマシタカラシテ、昨年八月二十三日辻弘及ビ泉甚太郎ヲ放火罪ノ被疑者トシテ身柄ト共ニ一件記録ヲ東京地方裁判所ノ檢事局ニ送致イタシマシテ、同月二十六日ニ檢事局ニ於テハ起訴致シマシテ、本年一月二十八日豫審終結シ、東京地方裁判所ノ公判廷ニ移サレタノデアリマス、是ガ事件ノ概要デアリマシテ、事件處置後ノ情勢ハドウ云フ工合ニナツテ居ルカト云フコトヲ一應御話シテ置キマス、本件ノ被疑者デアリマス泉甚太郎ハ是ハ身柄ヲ檢事局ニ送致シタル當時ニ於テハ、心神共ニ健全デアリマシテ、何等異常ノアルコトヲ認メナカツタノデアリマス、八月二十六日ニ豫審判事ノ勾留狀ニ依リマシテ、市ヶ谷ノ刑務所ニ收容サレタノデアリマス、然ルニ十月二十一日ニ至リマシテ、其言語動作ガ常軌ヲ失スル點ヲ認メマ

御答シテ置ク事ガアリマス、先達テ西岡君カラ大森町ニ於ケル放火事件ニ關スルコト、及ビ大日本消防協會長崎縣支部主催相撲興行ニ關スル件ノ御尋ガアリマシテ、大臣ハ能ク調べタ上デ答辯スルト云フコトデアツタサウデアリマス、其調査ガ出來マシタカラ私ガ代ツテ一應御答シテ置キマス、第一ハ大森町ニ於ケル放火事件ニ關スル件デアリマスガ、先ヅ事件ノ概要ヲ御話致シテ置キマス、是ハ昨年ノ八月十八日ノ午前三時二十分頃荏原郡入新井町ノ大字入新井二千三百六十九番地ノ菓子商梅屋支店コト、辻弘ト云フノデアリマス、其辻弘方ヨリ發火致シマシテ、同家及ビ隣接家屋ヲ一戸全焼シテ、四萬八千圓ノ損害ヲ蒙ラセテ、午前四時十分鐘火シタト云フノデアリマス、其當時所轄大森署ニ於テ檢證ノ結果、諸般ノ情況ニ依ツテ放火ノ疑ガ顯著デアリマシタカラ、之ヲ搜查致シマシタル所、火元デアリマスル辻弘方ノ雇人泉甚太郎ト云フ者デアリマス、此泉甚太郎ノ舉動ニ甚ダ不審ノ點ガアツタ、ソコデ即日同人ヲ大森ノ警察署ニ同行致シマシテ、之ヲ調べタノデアリマス、其泉甚太郎ハ主人ノ辻弘ガ營業不振ノ爲ニ、經營ガ困難ニ陥ツテ居ル窮狀ヲ救フ爲ニ保險金ヲ詐取スル目的ヲ以テ自ラ放火シタルモノデアルト云フコトヲバ自白シタノデアリマス、併シ泉甚太郎ガ單獨ノ所爲トモ認ムルコ

シタカラ、刑務所ノ保健技師ニ於テ之ヲ診察致シマシタ所ガ、稍々精神ニ異常ヲ來シテ居ルコトヲ認メマシテ、十月二十五日更ニ檢診致シマシタ結果、躁鬱症ト決定致シテ其日ニ之ヲ病檻ニ移シタノデアリマス、其後ノ病勢ガ急速ニ昂進スルノ状態デアリマシタカラ、勾留狀ノ執行停止ヲ致シマシタケレドモ、身柄引取人ガナイ爲ニ、豫審判事、檢事等ト協議ヲ致シマシテ、精神病院法第二條第二號ニ該當スル精神病者トシテ警視總監ノ命令ヲ以テ十一月十日之ヲ東京府立ノ松澤病院ニ入院セシメタノデアリマス、其病院ノ醫師ノ診斷ニ依リマス、泉甚太郎ハ麻痺性癡呆是ハ一種ノ誇大性デアリマス、麻痺性癡呆、是デ腦脊髓液檢査ノ結果、強度ノ「ワツセルマン」氏反應ヲ現出致シタノデアリマス、是ハ醫者ノ使フ言葉デアリマシテ、私ニハ能ク理解出來マセヌガ、兎ニ角「ワツセルマン」氏反應ヲ現出シタ、斯ウ云フノデアリマス、其後病勢ガ昂進致シマシテ、同年ノ十一月二十九日午前八時三十分同病ニ依ル一般衰弱デ遂ニ死亡致シマシタガ引取人ガナイノデ、屍體トシテ之ヲ松澤町役場ニ引渡シ同町ニ於テ之ヲ火葬ニ附シタノデアリマス、其後義務者及ビ遺族ノ有無ニ付キマシテハ住居地デアアル入新井町ニ於キマシテ法令ニ從ツテ目下調査中デアリマス、斯ノ如キ情勢デアリマシテ、警察署トシテ泉甚太

郎ノ發病及ビ死亡ニ對シマシテ、其本籍地ニ於ケル親戚遺族等ノ調査及ビ通報等ニ付テ庶務ニ習熟セザルガ爲ニ取扱上ノ親切ガ完カラザリシ憾無キニアラザルガ如キモ、之ヲ以テ直チニ不法ノ處置ナリト言フコトハ出來ナイノデアリマス、尙ホ本件ノ取調ニ當リマシテ警察官ニ於キマシテ、拷問其他人權蹂躪ヲシタルガ如キ形跡ハ、今日マデ絶對ニ認メルコトガ出來マセヌ、是ガ大森ニ於ケル放火事件ニ關スル概要デアリマス

次ニ大日本消防協會長崎縣支部主催ノ相撲興行ニ關スル件デアリマス、昨年ノ秋大日本消防協會長崎支部主催ノ下ニ同支部基本金造成ノ爲ニ長崎市ニ於テ五日間、佐世保市ニ於テ三日間、島原町、諫早町各々二日間、合計十二日間東京大相撲興行ヲ致シマシテ、其入場券ハ消防事業ノ篤志寄附者ニ之ヲ頒布シ、専ラ消防組員其衝ニ當ツタノデアリマス、ソコデ縣ノ當局ニ於キマシテハ事前ニ於テ苟モ寄附ノ強要ヲスルトカ、或ハ入場券ノ押賣等ノ事實ナカラシムル様嚴ニ關係者ヲ戒メテ、其實行ニ際シマシテモ、絶エズ之ヲ監督シテ非難ヲ招クコトナカラシムルコトニ努メタノデアリマス、隨テ寄附金ノ強要乃至ハ切符押賣ノ事實アルコトヲ認メマセヌ、尙ホ警察官吏ガ之ニ關シテ切符ヲ募集シ入場券ヲ配付シタル事實ヲ認メルコトガ出來マセヌ、斯

ノ如キ次第相撲興行ニ依リマス所得ハ長崎市ニ於テ六萬八千圓、佐世保市四萬二千圓、島原町、外一町ニ於テ十二萬二千圓デゴザイマシテ、精算ノ結果支部ニ於テ十三萬圓收益シ、外ニ三菱造船所ノ二萬圓ノ寄附、是ハ五年賦デアリマス、之ヲ合セテ十五萬圓ノ基本金ヲ造成スルコトガ得マシタカラ、昭和六年度カラ同支部ニ對スル縣費補助金ヲ減額シテ、更ニ市町村又ハ消防組員ノ負擔金ヲ撤廢スル見込デアリマス、以上大體御答シテ置キマス

○西岡委員 大森事件ニ付キマシテ詳細取調ノ結果御報告戴キマシタコトヲ厚ク御禮申上ゲマス、併シ私ハマダ納得出來ヌ點ガゴザイマス、拷問ハ絶對ニナカツタ、人權蹂躪モナカツタト云フ御答デゴザイマスガ、此間無産黨ノ龜井前代議士ガ議會ノ通用門ニ於テ可ナリノ怪我ヲ致シタコトハ私ハ醫務室ニ於テ治療ラシテ居ル實際ヲ見タノデアリマシテ、多クノ新聞記者ノ方々モ亦議員ノ諸君モ之ヲ實見シテ居ラレル、併ナガラ其事柄ヲ本會議ノ壇上ニ於キマシテ内務當局及ビ議長モ之ヲ肯定ナサラナイ、コト程人權蹂躪デアルトカ、拷問デアルトカ云フ事柄ニ付キマシテハ、サウデアツタト云フコトハ、今マデ如何ナル場合デモ御答ヲナサレテ居ラナイ、況ヤ泉甚太郎ハ既ニ死亡致シテ居ル、冥土ト此世トノ間ニ通信又ハ話ガ出來ナイ以上ハ、ソシナ

事ハナイト答ヘラレテモ亦何ト言ハレテモ、是ハ人權蹂躪デアリ拷問ガ行ハレマシタト云フコトヲ私ハ立證スルコトハ出來マセヌカラ、御答ノ通りニ承ツテ置クヨリ外ハアルナイト思ヒマス、併ナガラ人權蹂躪、拷問ヨリモ私ガモツト大事ダト思ヒマス點ハ、本人ガ精神ニ異常ヲ來シタ際ニ於キマシテ、遺族ノ住所ガ不明デアルナント云フ事ヲ仰シヤルケレドモ、ソレハ餘リヒドイ言方ヂヤナイカ、一體是ダケノ警察ノ制度ノ完備シテ居リマス現代ニ、本人ヲ檢舉サレテ取調ニナツテ監獄ニ打込ミナサル迄ニハ、泉ノ身元一切ニ關シテ詳細ナル御取調ガナレバナラヌ、現ニ本人ノ遺族ハ、私ガ此間申シマシタ通り泉甚太郎ト申シ長崎市ノ銅座町三十八番地ニ居ル、尙ホ又之ニハ辯護士モ附イテ居ツタ、其辯護士ハ入監前後ニ互リマシテ、郷里ノ遺族ニ對シテ辯護料ノ請求ヲ數回致シテ居リマス、サウシテ泉甚太郎ノ遺族ハ辯護士ノ請求ニ對シテ辯護料ヲ昨年ノ十一月六日ニ長崎ヲ發送致シテ、辯護士ノ所ニ辯護料ヲ届ケテ居ル、所ガ其辯護士ハ辯護料ハ受取ツタケレドモ其受取及ビ其事件ノ問合セニ對シテモ返事ハヤツテ居ラナイ、併シ辯護士自身モ私ガ受取ツタカト云フ質問ニ對シテ、受取リマシタトハツキリ言ツテ居リマス、ソレガ住所ガ分ラヌト云フコトハ、幾ラ泉甚太郎ガ死亡致シテ居ツテモ、言方ガ餘

リニヒドイノデハナイカト思ヒマス、ソレデ住所ノ分ツテ居ラナイト仰シヤルコトハ斷ジテ承服ガ出來ナイ、泉甚太郎ガ收容サレタ後ニ發狂致シタナラバ、其事ヲ何故ニ其遺族ナリ或ハ辯護士ナリニ御通知ナサラナカツタカ、ソレカラ其者ガ發狂シタカラト云ツテ松澤東京府立精神病院ニ入院サセタ場合ニ、其通知ヲ何故ナサラナイカ、サウシテ其者ガ危篤ニ陥ツタ際ニ、病院カラハ警察ノ方ニ通知ラシテ居ルニ拘ラズ、其遺族ニ通報ヲナサラナイカ、尙ホ死亡致シタ昨年ノ十二月二十九日——今御答ニナツタ通り確ニ死亡致シタト私モ聞及ンデ居リマスガ、其十二月二十九日ニ死亡致シタモノヲ、何ガ故ニ今日只今マデ遺族ニ對シテ御通知ナサラナイカ、若シ、是ガ私ノ耳ニ入ラナカツタトシタラ、此事柄ハ暗カラ暗ニ葬ムラレタニ相違ナイ、又暗カラ暗ニ葬ムラレル御積リデアツタト思ヒマスガ如何、此事ハ私ハ何ト致シテモハツキリトシテ戴キタイ、又私共何ガ故ニ之ヲ御隠シニナルカ、何故一體秘密ニ隱蔽シテ置カレナケレバナラナイカ、其處ニ何カ隠シテ置カナケレバナラナイ、世ニ現シテハイケナイト思ハレル行爲ガアツタダラウト云フ推測ハ、是ハ常識デ出來ルヂヤアリマセヌカ、此點ヲ私ハ泉ノ靈ノ爲メ、彼ノ遺族ノ爲メ、社會ノ爲メ、政府ノ信用ノ爲メニモ、泉甚太郎ノ事件ニ對シマシテハ今一

應御手數スケレドモ御取調ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ消防ノ基金ノ問題、是ハ私ガ此間御尋致シタ時ニ、内務大臣ハ、サウ云フ事ガアルドラウカ、本當トハ思ハレナイ、十四萬圓トハソレハ餘リ大袈裟過ギルドラウト言ハレテ居ラレル、私ハ十四萬圓ト申シタ、約十五萬圓弱ト思ツテ居リマシタガ、十四萬何千圓ト云フコトハ確ニ間違アリマセヌ、斯ウ私ハ申シタ、之ハ警察部長ガ中心ニナツテヤツタノダカラ、内務大臣ハ消防協會ニ御關係デアリマスガ故ニ御存ジナイ筈ハナイドラウト言フト、少シモ知ラナカツタト仰シヤラレタ、ソレデハ是ハ一體善イ事カ悪イ事カ、ドウ御考ヘデアリマスカト御尋シタニ對シテ、内務大臣ハ善イ事トハ思ハナイトハツキリ仰シヤツタノデアリマス、今齋藤次官ノ御答ニ依ルト、長崎ダケデ約二十五萬デスカ……

○齋藤政府委員 イヤ長崎市ガ六萬八千圓、佐世保市ガ四萬二千圓、島原町外一町デ十二萬二千圓、之ヲ合計スレバ二十萬圓以上ニナリマスガ、併シ色々費用モ要ツタモノデスカラ、ソレデ十三萬圓ガ基本金トシテ收得シタ、他ニ三菱造船所ガ二萬圓寄附シテ合計十五萬圓ト云フコトニナツテ居リマス

○西岡委員 サウスルト三菱ノ寄附モ加ヘテ合計二十五萬

ヲスルノニ全然御存ジガ本當ニナカツタノデアリマスカ、又御取調ノ結果是ダケノ金額ヲ賣上ゲタト云フコトハ、一體是ハ正當ナ行爲デアツタト御考ヘデアアルカ、内務大臣ハサウ云フ事ハ本當ドラウカト疑フトマデ仰シヤツタノデアリマスガ、是ダケノ金額ニ上ツタ以上ハ、尙ホ是ハ正シイ行爲デハナカツタト云フ御觀念ガ強クナツテ居ラレルドラウト思ツテ居リマス、之ニ對シテ一體長崎ノ警察部長、或ハ知事ナリニ對シテドウ云フ風ナ御照會ガアツテドウ云フ風ナ御注意ガアツタカ、其點ヲ承リタイト思ヒマス

○齋藤政府委員 長崎縣デ相撲ヲヤリマシテサウシテ消防協會ノ費用ニ之ヲ充テタ、内務大臣ハ之ヲ知ツテ居ルカ居ツテ居ラヌカト云フコトデアリマスガ、ソレハ事實内務大臣ハ知ツテ居ラレナカツタドラウト思ヒマス、私モ知ツテ居リマセヌ、地方ニ於テ相撲興行ヲ各所ニ於テヤリマスガ何カ問題デモ起リマスレバ内務省モ進ンデ取調ヲ致シマスケレドモ、問題ガ起リマセヌノニ一々相撲ノ事ガ内務省ニ分ル譯モゴザイマセヌシ、此件モ問題ガ起リマシタカラ向フニ紹介シタノデ、是ダケノ報告ヲ得タノデス、併シ斯ウ云フ事件ガ起リマスト云フト、政府ハ其筋道ニ依ツテ之ヲ取調ベルノデアリマス、筋道ト云ヘバ即チ縣ニ紹介致シマシテ縣、當局者ノ報告ヲ俟ツテ、政府ハ其事實ノ真相ヲ知

二千圓ニナル、私ガ此前内務大臣ニ御尋シタ額ノ倍近クニナル譯デアリマス、押賣ヲシタトカ、消防協會員ガ強要シタコトハ斷ジテナイヤウニ注意シテ居ツタト言ハレマスガ、是ハ私ガ此前申シタ通りニ、警察官ガ三人四人同行致シ、消防ノ幹部ガ何人モ同行シテ一軒々々訪問致シタ、小サナ賣店マデモ行ツテ居ル、少シ金持デアルト思フト何十枚ト割付ケル、二十枚假ニ豫定シテ行ツタ家デ十枚シカ買ハナイト突返ス、此突返スト云フ行爲ハ非常ナル恐怖ノ念ヲ相手ニ與ヘル、サウシテ捨科白ヲ言ツテ居ル、何ト言ツタカト言ヘバ、何時火事ガアルカ分リマセヌト言ツテ居ル、ソレカラ飲食店或ハ料理屋其他ノ方面ニハ非常ナ強要ヲ致シテ居ル、又強要デモシナケレバ此不景氣ニ二十三萬二千圓ト云フ金ガ——殊ニ長崎ハ衰微致シタ縣デアルノニ、一體集マルト御考ヘデスカ、正當ニ相撲ノ入場券ガ二十何萬圓モ賣レタト本當ニ御考ヘデアリマスカ、ソレカラ此事ハ長崎縣ノ縣會ニ非常ナ問題ニナツテ居ル、相手ガ消防協會、警察官デアルカラ、泣ク子ト何トカ言ツテ皆泣寝入ニ致シテ居ルケレドモ、非常ナル長崎縣市民ハ憤慨ヲ持ツテ居ル、ソレデ縣會デモ非常ニ問題ニナツタ、此事ハ御承知ニナラナケレバナラヌドラウト思ツテ居リマスガ、其縣會ニドノ程度ニ問題ニナツタカト云フ事ト、是ダケノ事

ルノデアリマス、其以外ノ方面ニ付テハ政府ハ是マデ餘リ取調ヲヤツテ居リマセヌ、ソレデ政府ノ取調ト西岡君ガ實際聞カレタコト或ハ齟齬シテ居ルカモ知レマセヌ、若シ齟齬シテ居リマシタナラバ甚ダ遺憾ノ次第デアリマス、ソレカラ若シ警察官ヤ消防夫ガ、自己ノ職權若クハ地位ヲ濫用シテ、寄附ヲ強要シタト云フヤウナ事實ガアリマシタナラバ、是ハ非常ニ惡イ事デアリマス、今日ノ時代ニ於テサウ云フコトハヤルベキ事デヤナイノデアリマス、併シ政府ニ參ツテ居リマス報告ニハ、サウ云フ事ハ一切ナイト云フコトニナツテ居リマスカラ、政府ハ政府ニ來タ所ノ報告ヲ其儘率直ニ此委員會ニ述ベテ御了解ヲ求メル次第デアリマス、尙ホ他ノ事ニ付キマシテ、西岡君ノ仰セニナルヤウナ事ガアリマシタナラバ、或ハ更ニ取調ヲスルカモ知レマセヌガ、是マデノ取調ノ結果ハ以上申シタ通りデアリマス

○西岡委員 此前内務大臣ハ、十四萬圓トハ大袈裟ダ、ソナニ賣上ガアル筈ハナイト言ツテ驚カレタ、今詳細ノ報告ニ依ルト四箇所デ二十三萬二千圓、ソレニ三菱ノ二萬圓ヲ加フレバ二十五萬二千圓、十四萬圓デサヘソナ賣上ガアル筈ガナイト内務大臣ハ言ハレタノニ、二十五萬二千圓ノ賣上ガアツタト云フコトハ、果シテ當リ前ニ入場券ヲ賣ツテ、今日ノ不景氣ニ是ダケノ賣上ガ出來ルト御考ヘニナ

リマスカ

○齋藤政府委員 ソレハ分リマセヌネ、相撲ノ景氣ト云フモノハ、ヤハリ「ベースボール」ノヤウナモノデアリマシテ、人氣ガ立チマスト云フト非常ニ澤山行キマスカラ賣上高ガ多カツタカラト云ツテ、警察官ヤ消防夫ガ職權ヲ濫用シテ金ヲ集メタノデアルト云フ推定モ是モ、當ル場合モアリマセウシ、當ラヌ場合モアリマセウガ、政府ノ方デハ賣上高ガ多カツタカト云ウテ、直ニ其事實ヲ以テ官憲ノ濫用デアルト認メテ居ラヌノデアリマス、内務大臣ガ嘗テ此委員會ニ於テ十四萬圓モ上ルト云フコトハ非常ニ驚クベキ事實ダト言ハレマシタカハ知レマセヌガ、内務大臣ハ相撲ノ景氣ヲ御存ジナイカモ知レマセヌ、是ハ時ニ依ツテハ非常ニ儲カルコトモアリマスシ、損ヲスルコトモアリマスノデ、長崎ノハ非常ニ景氣ガ好カツタノカモ知レマセヌ

○西岡委員 長崎縣殊ニ長崎市ハ全國ノ經濟上ノ統計カラ御覽ニナツテモ分ルデアラウト思ヒマスガ、日本全體カラシマシテモ、昔ノ江戸、長崎ト言ハレタ時代トハ違ツテ、不景氣ノドソ底ニ墜チテ居ル、アナタハ長崎縣ノ事情ハ御承知ナイカモ知レマセヌケレドモ、安達内務大臣ハ熊本ノ人デアリ地方ノ事情ニ詳シイカラ、長崎ノ今日情勢カラ見ラレテ十四萬圓ノ賣上ニモ驚カレタノデアアル、二十五萬二

四四八

千圓モ賣上ガアツタノハ、是ハ警察ト消防ノ幹部ガ一種ノ強制的ノ方法ヲ以テ賣上ゲタモノデアルト私ハ思フノデアリマス、此事ニ關シテ今アナタニ對シドウ斯ウ言ツタ所デ仕方ガアリマセヌカラ、モウ一應詳細ニ御取調ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ私ガ前申上ゲマシタ大森事件ハドウデゴザイマスカ、私ノ申上ゲマシタ所ノ、精神病者ニナツテ、ソレカラ入院シタ、危篤ノ状態ニ立至ツテモ死亡シテモ知ラセナカツタ、是ハ責任ガ或ハ内務大臣ニ無クテ司法當局ニアルカモ知レマセヌスガ、更ニ一應御取調ヲ願ヒタイ

○齋藤政府委員 大森事件デ何故ニ住所ガ分ラナカツタカト云フコト、住所ガ分ツタナラバ何故ニ通知ヲシナカツタカト云フコトニ付テハ更ニ調ベテ見マス、是ハ辯護士ガ付イテ居リマシテモ、本人ガ生キテ居ツタナラバ分ツタカモ知レマセヌスガ、本人ガ死ンダモノデアリマスカラ、生キテ居ル中ニ辯護士ヲ付ケテ居ツタカ付ケテ居ラナカツタカ、又辯護士ガ本人ノ實家デアル長崎縣ノ何某ノ許ニ辯護料ヲ請求シタコトガアルカナイカト云フヤウナコトハ、本人ニハ分ツテ居ツタノデアリマスカ、警察署ニハ分ツテ居ラナカツタカモ知レマセヌ、分ツテ居ツタナラバ無論通知シタダラウト思ヒマス、何故ニ分ラナカツタカ、又分ツテ

ナラバ何故ニ通知ヲシナカツタカト云フコトノ此二點ニ付キマシテハ更ニ調ベテ見マセウ、ソレカラ私ハ此際ニ於テ政府委員トシテ一言希望ヲ述ベテ置キタイコトハ……

○松村委員 委員長ハ何ヲシテ居ルノデス、アナタハ不公平ナ態度ガアリマスゾ、斯様ナ議事進行ヲ妨害スルコトヲ……

○齋藤政府委員 議事進行妨害ト云フコトハナイ、質問ニ對シテ御答フスルノガ惡イノデスカ

○添田委員長 西岡君ノ御質問ガアツテソレニ對シテ答ガアル……

○齋藤政府委員 兎ニ角西岡君ノ御要求ニ付テハ尙ホ進ンデ取調ベル事項ガアリマスカラ取調マベス

○西岡委員 一言ダケ申上ゲテ置キマス、辯護料ハ泉ガ生キテ居ル十一月六日ニ遺族ノ泉榮太郎カラ長崎ヲ發送シタノデアツテ、十二月二十九日ニ死ンデ居ルノデアリマス、其處ハハツキリシテ居ルノデスカラ、其點ヲ御記憶ノ上ニ留メラレテ御取調ヲ願ヒマス

○松村委員 委員長ハモウ少シ冷靜ニ公平ニヤラナケレバイカヌト思フ、一昨日カラ議事ガ進行シナイト言ツテ私ノ質問ヲ中止シテ置キナガラ、政府委員ハ西岡君ノ順番ガ來タ時ニ答ヘルノガ適當デアアル、而モ私ガ質問ノ最中ニ議事

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第九回

ノ進行ヲ妨害スルト云フヤウナコトハ注意シナケレバイケナイ、一體政府委員ハ勞働組合法ガ分ラヌモノダカラ、ソコデコンナコトヲ持出シテ議行ノ進行ヲ妨害シタノデアアルカ、或ハ聽カレテ答辯ガ迷惑ダカラコンナ見當違ノコトヲ今ヤツテ居ルノカ、先刻カラ質問繼續最中ニコンナ迷惑至極ナコトヲシテ、是デ議事進行ガドウシテ出來マス

○添田委員長 松村君ニ御答ヲ致シマス、此問題ハ組合法ニ關係ナイコトハ承知致シテ居リマス、併ナガラ先達テ、西岡君カラ、此問題ニ付テ二三分質問ヲサセテ貰ヒタイト云フ話ガアリマシテ、ソレヲ諒トシテ委員長ハ之ヲ許シテアツタノデス、其當時取調ベマシタ結果ヲ此處デ政府委員カラ報告ヲ致シタト云フコトハ已ムヲ得ザルコト、思ヒマス、西岡君ノ御質問ニ伴ウテ已ムヲ得ザルコト、思フノデアリマス、組合法ニ關係ハ無イガ御質問ノ結果トシテ此答辯ガ生レタ譯デアリマスカラ、ソレハ御諒承ヲ願ヒマス

○松村委員 私ノ質問ノ最中デアツテ、關聯シタ事項デモ何デモナイ、松村君ト呼バレテ私ガマダ發言シナイダケデアアル、松村君トチャント指名シテ居ラレル、ソレヲイキナリ政府委員ガ飛出シテ、政府委員自ラ議事ノ進行ヲ妨害シテ居ル

○添田委員長 ソレデハ松村君御話シ下サイ

四四九

○松村委員 私ハ斯様ナ政府委員デハ、私ガ間ハントシテモ御答ガ出来ナイコトハ明瞭デアリマス、内務大臣ノ出席ヲ求メル、或ハ大藏大臣外ノ閣僚大臣ガ見エルマデハ、私ハ斯様ナ議事ヲ妨害スルヤウナ政府委員ト何デ質問應答ガ出来マスカ、又左様ナコトヲ言ツテハ過ギルカモ知レヌガ、内務次官デハ御分リニナラナイ、聽イテモ無駄デアル、唯同ジ事ヲ繰返スダケデアル、私ハ忌避スル譯デハナイガ、内務次官デハ分ラヌカラ、同ジ事ヲ繰返スコトハ御互ニ不利益デスシ好ミマセヌカラ、私ハ内務大臣ガ出席スルマデ、私ノ質問ヲ暫ク差控ヘタイト思ヒマス

○添田委員長 一寸松村君ニ一言申上ゲテ置キマスガ、政府委員ガ御分リニナラヌトカ云フヤウナ御推測ハ成ベク止メニシテ載キタイ、政府委員トシテ出席シテ居ル以上ハ總テニ責任ヲ以テ答辯スルモノト委員長ハ認メテ居リマス——時間ガ来マシタカラ休憩ヲ致シマシテ午後一時カラ開會ヲ致シマス

午後零時二分休憩

午後一時三十分開議

○添田委員長 ソレデハ午前ニ引續イテ開會致シマス——松村君ハマダ御出席ガ無イヤウデスガ、誰カ政友會ノ方デ

ルガ、今不景氣ノ爲ニ非常ナ失業ガ續出致シテ居リマス、之ニ對シテ根本的ノ對策ヲ何カ内務大臣ハ御執リニナツテ居ルカト云フコトノ安藤君ノ質問ニ對シテ、内務大臣ハソレハ、例ヘバ鮮人ノ如キモ澤山ヤツテ来テ居ツテ労働者ヲ脅威スルヤウナ風ガアルカラ、昨年ニハ四萬トカラ歸シ、毎月數千ノ人ヲ歸シテ居ルカラ、是デ多少救済モ出来テ居ル、第二ニハ地方ニ起債ヲサシテ色々ナ土木事業其他ヲ起サシテ居ルカラ、斯ウ云フコトモ失業ガ一ツノ方法ニナルト云フヤウナコトニ付テノ御答辯ガアツタノデアリマス、私ハソレニ關シテノ質問デスガ、獨リ朝鮮人ノミナラズ失業ガ都會ニ於テ續出スルト云フヤウナ故ヲ以テ盛ニ内務大臣及ビ内務大臣ノ命令ニ依ルコトデアリマセウガ、歸農ヲ勸メテ居ルノデアリマス、内地ノ労働者ニ對シテモ歸村ヲ勸メテ居ラレル、所ガ朝鮮人及ビ歸村ヲ勸メラレタル内地ノ労働者ト雖モ都會ニ於テ労働ニ携ハルコトガ出来ヌカラ、田舎ヘ歸ツテ然ラバ生業ヲ得テ居ルカト云フト、決シテ得テ居ラヌ、田舎ニモ何等仕事ガ無イノミナラズ、田舎ニ於テハ一層都會以上生活難ニ困ツテ居リマス、農村ニ是等ノ失業ガ戻ツテ来ルコトニ依ツテ、所謂農村ガ此失業ガ養フコトニ依ツテ、一層負擔ガ過重サレテ、一層農村ノ疲弊ノ原因ニナツテ居ルノデアリマス、朝鮮ニ

代ツテ、松村君ノ来ラレルマデ御質問ガアルナラ此際御願ヲシマス

〔内務大臣ハドウデスカ〕ト呼ブ者アリ
○添田委員長 内務大臣ハ今豫算總會ニ出テ居ラレルサウデス

○吉田政府委員 守屋サンノ昨日ノ御尋ノ労働學校ニ對スル補助ノコトデアリマス、其取調ノ結果ヲ御答致シタイト思ヒマス、私ノ昨日申上ゲマシタコトニ稍々間違ガゴザイマシテ、日本労働學校ニ對シマシテハ、現在ニ於キマシテモ年々百圓ヅ、ノ獎勵金ヲ社會事業調査獎勵費カラ交付シ來ツテ居リマス、ソレカラ其他ニ慶福會ヤラモ同一學校ニ對シマシテ、大正十四年十五年ニ千圓、昭和二年ニ七百圓、三年ニ五百圓四年ニ三百圓、五年ニ三百圓ト云フ風ニ致シマシテ獎勵金ヲ出シテ居リマス

○添田委員長 守屋君、内務大臣ニ御質問ガアルサウデスガ、此際ドウデスカ

○守屋委員 今松村君ガ来マスカヲソレヲ待チマセウ

○宮澤委員 此間此委員會ノ初メデアリマシタガ、我が黨ノ安藤君ノ質問ニ對スル、内務大臣ノ答辯ニ不審ナ所ガアリマスカラ御同致シマス、斯ウ云フ風ニ労働組合法モ愈々御提出ニナツテ労働者ノ爲ニ御圖リニナルト云フ御考デア

於テモ恐ラク又然リデアリマセウ、斯ウ云フ風ナ事ヲ考ヘマスト一方都會カラ労働者ヲ驅逐シ得テモ、ソレハ都會ノ多少ノ救済ニハナルカモ知レヌケレドモ、一面ニ於テ一層疲弊致スノデアリマス、農村ニ歸スガ爲ニ多大ナ弊害ヲ農村ニ及ボシテ農村ヲシテ、一層ノ困厄ニ陥レルヤウナ原因ヲ成シテ居ルノデアリマス、所謂餓ノ蠅ヲ逐フコトニ依ツテ、一遍ハ追拂フケレドモ、又ソレガ他ニ行ツテ止ツテ病毒ヲ其處ニ流スト云フヤウナ結果ヲ招來シテ居ルノデアリマスカラ、是ハ失業救済ト云フヨリハ、失業者ヲ増加スル結果ヲ招來シ、負擔力ノ少イ農村ニ對シテ一層ノ迷惑ヲ及ボスヤウナ結果ヲ今日生ジテ居ルノデアリマス、之ヲ以テ果シテ内務大臣ハ失業者救済ノ根本的ノ一手段ナリ、斯ウ云フ風ニ御考ヘニナリ、今後モサウ云フ方針ヲ御執リニナル御考デアリマスカ、之ヲ内務大臣ニ重ネテ御尋シタイノデアリマス

ソレカラモウ一ツハ地方債ヲ起シテ色々ナ事業ヲ起シテ居ルト云フ御話デアリマス、現ニオヤリニナツテ居リマスガ、是モ同様ニ國稅ノ負擔ニ惱ンデ居ル地方民ハ、地方稅ノ負擔ニ一層惱ンデ居ルノデアリマス、其増稅ノ割合ヲ見テモ國稅ノ増稅ノ割合ヨリモ地方稅ノ増稅ノ割合ノ方ガ多クテ、地方民ハ負擔ノ過重ニ惱ンデ居ル際ニ、殊更ニ國家

ガ失政ノ結果失業者ヲ續出サセテ置イテ、他方府縣及ビ市町村ニ尻拭ヒヲサスト云フヤウナ結果ヲ招來致シ、一層地方ノ負擔ヲ重カラシメルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、斯クシテ土木事業ヲ起シ、其他水利開墾ノ仕事ヲ起シテ人ヲ使フト云フコトニナリマス、是ハ擔稅力ノ無イ國民ニ更ニ過重ナル課稅ヲシナケレバナラスノデアルガ、モウ餘地ハナイノデアルカラ、勢ヒ所謂市町村債ヲ起ス、或ハ府縣債ヲ起スト云フコトニ依ツテ、一層負擔ハ過重サレルト云フ結果ニナル、而シテソレデハ救ハレテ居ルカト云フトサウデハナイ、其地方ニ府縣債ヲ以テ或ハ市町村債ヲ以テ事業ヲ起スト云フコトニナルト、殆ド全國的ニ失業者ガアルノデアリマスカラシテ、彼處ニ仕事ガ起キルト云フト、失業者ハ其仕事ノ起キルヲシイ地方ニ向ツテ密集スルノデアリマス、サウシテ其地方ガ其地方ノ負擔力ニ於テ其地方ノ失業者ヲ救濟セントシタ折角ノ事業ガ、他府縣人、他市町村民ノ爲ニ大部分ハ喰ハレルト云フ現象ヲ招來シテ居ルノデアリマス、起債シテ事業ヲ起スコトニ依ツテ、却テ其地方ノ負擔ヲ過重ニスルト云フ傾向ヲ生ジツ、アルト云フ、此事實ヲ何ト見テ居ラレルカ、現ニ私ノ方ノ廣島縣ニ於テモ一千萬圓足ラズノ縣ノ豫算デアリマスガ、縣ノ豫算モ斯ウ云フ風ナ整理緊縮ノ世ノ中デアルカラ事業

ヲ總テ一時中止致シマシタガ爲ニ、失業者ガ澤山出來テ、之ヲ救濟スル爲ニ内務省ノ御指圖デアラウト思ヒマスガ、今回大ナル港灣計畫ヲ廣島縣知事ガ致シタノデアリマス、豫算ノ上ニ於テ之ヲ見マシテモ、廣島縣ノ一部分デアル福山市ニアル設立後僅カ五六年シカ經ツテ居リマセヌ廣島縣第二師範學校デアリマスガ、此師範學校ノ如キハ非常ナ競争ガアツテ福山市ガ土地及ビ建築費ヲ寄附シテ大約三十萬圓バカリ福山市ガ負擔ヲ致シテ建築致シマシタ所謂福山師範デアリマス、是ハ設立後今年僅ニ七年、漸ク三回ノ卒業者ヲ出シテ居ル、其師範ノ維持費三萬圓足ラズノ費用ガ出シ得ナイ、賄ヒ切レナイト云フノデ、所謂縣經濟ノ縮小ヲ唱ヘテ——尤モ一面ニハ教育ノ過剩モ其理由ノ一ツニナツテ居リマスケレドモ、主ナル理由ハ縣經濟ガ持テヌ、ソレデ縣經濟縮小ノ爲ニ此師範ヲ廢止ヲサレタノデアリマス、サウシテ其半面ニ於キマシテ今回知事ガ廣島ノ關門デアリマス字品ト竝ンダ處ニ廣島港灣ヲ修築スルト云フコトデ三百五十萬圓ノ起債——利子ヲ合セマスト四百九十八萬圓、約五百萬圓、是ダケノ土木事業ヲ計畫シテ廣島縣會ニ知事ガ提案ヲシタ、之ニハ流石民政黨ノ縣會議員ト雖モ賛成シ得ナカツタ、縣會ノ情勢カラ言ヒマス、縣會ノ三分ノ二ハ民政黨議員デ占メテ居リマスケレドモ、斯ノ

如ク縣經濟縮小ヲ標榜スル一面ニ於テ斯ウ云フ事業ヲ起スト云フコトハ、縣經濟ヲ紊ルモノデアアル、又其政策ニ於テ首尾一貫セザルモ甚シイモノデアルト云フノデ、結束シテ此審議ヲ進メルコトヲ拒ンダ、ソレガ爲ニ、遂ニ一週間ニナリマスガ、十日間ニナリマスガ、毎日流會ニ次グニ流會ヲ續ケ、縣ノ豫算ト云フモノハ審議未了ニ終ツテ今日原案執行ト云フモノヲ内務省ニ願出テ居ル管ダト私ハ思フノデアリマス、其中ニ將ニ只今提案サレテ居リマスル、廣島第二師範ノ福山師範學校ノ問題モアルノデアリマスガ、只今ノ縣ノ廣島市ノ港灣修築費ト云フモノハ是ハ追加豫算デアリマス、此廣島市ノ此港灣ノ追加豫算ガ出シタ時ニ、此反對ニ逢ヒマシタ時ニハ、是ハドウシテモ知事ノ面目上及ビ或ハ中央ノ御指圖モアルカ、内務省ノ面目ヲ保テル意味デアリマスガ、本豫算ハ審議未了ニナツテモ宜シイカラ追加豫算ダケハ、ドウシテモ通シテ呉レ、而シテ五百萬圓ノ追加豫算ガ出テ居ルカラ、是ハ港灣ノ修築ニ依ツテ埋立地ガ出來ルカラ其埋立地ヲ賣リ、モウ一ツハ港灣稅ヲ取ルコトニスル、或ハ有志ノ寄付ヲ仰グ、或ハ國庫ノ補助ヲ仰グ、故ニ此事業ハ縣民ニ一切負擔ヲ掛ケヌノデアルカラ、是非賛成シテ呉レト云フノデ、所謂縣會議員ヲ欺イテ追加豫算ヲ御通シニナツタ、私共歸縣シマシテ當時ノ事情ヲ聽キマ

シテ實ニ驚イタ、亂暴ナ提案デアルト思フ、私ハ知事ニモ面談致シテ此事ヲ詰問致シタノデアリマスガ、知事ハ容易ニ聽クベクモナイ、遂ニ斯ウ云フコトノ説明ニ依ツテ、民政黨系ノ縣會議員ヲ説クコトニ依ツテ、此追加豫算ダケヲ通シタノデアリマスガ、是ハ識者ハ申シテ居リマス、財政計畫ノ上ニ於テ極メテ杜撰ノミナラズ、技術計畫ニ於テモ是ハ非常ニ杜撰デアリ、連モ豫算ハ五百萬圓、六百萬圓デ完成スベキモノデアリ、確カ昭和六年度カラ昭和十年度迄ニ五箇年間ノ繼續事業デアリマスガ、連モ是ハ出來ハシナイ、恐ラク是ハ五百萬圓、一千万圓掛ケマシテモ完成セヌデアラウ、況ヤ之ヲ技術的ニ申シマスルト、其土地ノ岩磐ノアルヤウナ關係ガアリマスカラ、之ヲ開墾スルコトニナリマスルト請負師モ豫算内デハ落札シナイ、請負ハナイノミナラズ、此計畫ハ技術的ニモ非常ニ杜撰デアリ、丁度其隣リニ字品港ト云フ港ガアルガ、其字品港ニソレダケノ金ヲ掛ケルナラバ、字品港ヲ修築スルコトニ依ツテ廣島灣ノ關門トシテ商港タルノ任務ハ十分果シ得ルノデアリマスカラ、其隣リノ字品港ヲ修築スルコトニ依ツテ十分目的ヲ果シ得ルノデアルカラ、斯ウ云フ處ニ無駄ノ經費ヲ掛ケ、而モソレガ技術上、財政上、極メテ杜撰ナルモノデアツテ、之ニ多大ノ金ヲ掛ケル、コンナ杜撰ナ豫算ヲ以

テヤルト云フコトニ對シテハ、非常ニ不賛成デアアル、斯ウ言ツテ縣民ハ齊シク反對ヲシテ居ルノデアリマス、斯ク縣民ガ齊シク反對シテ居ルノミナラズ、最モ利益ヲ受クベキ廣島市自體ノ識者ガ悉ク反對シテ居ルト云フ事實ガアリマス、知事ハ之ヲ押切ツテ今回斷行スルコトニナツテ、自然、是ハ今申シマスル追加豫算デ出シテ縣會ハ僞購的ノ提案理由ノ説明ニ依ツテ通ツタノデアリマスカラ、モウ原案執行ノ申請ニ非ズシテ、起債ノ申請ヲ內務當局ニ申請シテ來ルト思フノデアリマスガ、私共縣民ノ一人ト致シ、又縣民ノ輿論ト致シマシテハ是非是ハ中止サシテ貰ヒタイ、縣ノ輿論デアルカラ此縣ノ決議ヲ國家ガドウスルト云フ譯ニモ行キマスマイカラ、此起債ヲ許可シテ貰ヒタクナイ、起債ノ許可ノ申請ヲ退ケテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトニ依ツテ斯ノ如キ無謀ナル港灣計畫ヲ葬ツテ貰ヒタイト云フコトハ、一般、熱心ナル希望デアルノデアリマスカラ、一ツ之ヲ私共縣民ヲ代表致シマシテ、此機會ニ於テ內務大臣ニ御願申上ゲル譯デアリマスガ、前申シマスル通り直接利益ヲ受ケマスル廣島市ガ現ニ反對シテ居ルノミナラズ、縣民ガ一樣ニ反對シテ居ル事實ガアルノデアリマスカラ、此問題ニ付キマシテハ慎重ニ縣民ノ意ノ在ル所ヲ御考慮下サイマシテ起債ヲ御許シニナラヌヤウニシテ、サウ

シテ此事業ヲ一時中止シテ戴キタイ、若シ地方ガ此要求ガアリ、復タヤラナケレバナラヌト云フコトニナリマス、或ハ一箇年之ヲ延期致シマシテモ技術的ニ財政的ニ此調査ヲ直シテ、立直シテ戴クト云フコトガ、是ガ吾々ノ希望デアリ、縣民ノ希望デアルノデアリマスカラ、果シテ之ニ對シテ起債ヲ御許シニナル御考カドウカ、其御答辯ヲ御願申上ゲタイノデアリマス、若シソレヲ御許シニナル御考デアラナラバ、此際再調査ヲ爲スツテ、斯ノ如キ杜撰ナル計畫ハ許サヌト云フヤウナ態度ニ出テ戴キタイ、之ヲ私共此機會ニ於テ御願申シタイノデアリマスガ、斯ウ云フ例ハ全國ニアルデアラウト思フ、更ニ內務省ト致シマシテハ失業救濟ノ意味ニ於テ救濟費ヲ御取リニナツテ居ルシ隨テ各府縣ニ向ツテ失業救濟ノ補助費ヲ御出シニナル、所謂失業救濟事業ナルモノガ是デアリマス、其勞銀ノ二分ノ一ヲ國家ガ補助スルト云フヤウナ意味ノ是ハ救濟費デアリマスガ、其救濟費ニ依ツテ、都會ガ主デアリマスガ、各地方ニ於テ救濟事業ガ行ハレテ居ル、果シテ此救濟事業ガ國家ガ多大ノ經費ヲ支出シテ失業救濟スルト云フ、其目的ニ適フヤウニ此事業ガ遂行ガ出來テ居ルカ……

○添田委員長 宮澤サン御發言中デアリマスガ、成ベク組合法ニ緣故ノアル御質問ヲ願ヒタウゴザイマス

○宮澤委員 是ハ內務大臣ガ御答辯ニナツタノデアリマスガ、內務大臣ガ大變誤解サレテ居ルト思ヒマスカラ關聯シテ申スノデアリマス

○添田委員長 成ベク寛大ノ考ハ持つテ居リマスケレドモ、御注意願ヒマス

○宮澤委員 サウ云フ事業ニ付テ之ヲ見マスト云フト、多クハ斯ウ云フ失業救濟ノ意味ニ依ツテ行ハレル事業デアラナラバ、府縣及ビ市町村ガ直營ヲシテ戴イテ失業救濟ヲスベキ筈ノモノデアアルガ、其事業ガ動モスルト云フト、之ヲ入札ニ依ツテ請負師ニ工事ヲ行ハシテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ請負師ニ此事業ヲ請負ハスコトニ依ツテ、彼等ハ出入リノ手持ノ労働者ヲ此方面ニ使ツテ、殆ド他ノ一般ノ失業救濟スルノ舉ニ出デ、居ナイノデアアル、偶ニ失業救濟スルノ舉ニ出デ、直營ヲ致シテ居ル其事業ニ付テ見マシテモ、是ハ東京市ニ於テモ、大阪ニ於テモ、各都市ニ於テモサウデアリマスガ、此失業救濟ニ向ケラレタ費用ニ對スル労働者ノ就業歩合ガドウナツテ居ルカト云フト、例ヘバ一萬人ノ茲ニ失業救濟ガアル、一萬人ノ失業救濟ガアルケレドモ、其全部ハ採用スルコトガ出來マセヌカラ、其中ノ一割トカ五分、或ハ五百人トカ千人使フノデアリマスガ、ソレモ毎日其人ヲ使フ譯ニ行カヌカラ、今

日千人使ヒマス、翌日ハ其次ノ千人ヲ使フト云フコトニナル、サウ致シマスト云フト、此事業ヲヤリマス方ニ取リマシテハ、毎日労働者ノ額ガ變ツテ來ルノデアリマス、隨ヒマシテ額モ分ラヌ、名モ分ラヌ、況ヤ其仕事ノ勝手ハチツトモ分ラヌ、デアルカラ全ク仕事ノ能率ガ擧ラヌ、普通ノ仕事ノ能率ノ半分ハ愚カ、三分ノ一シカ仕事ノ能率ガ擧ラナイ、ダカラ斯ウ云フ風ナ失業救濟ト云フヤウナ爲ニ貰ツタ費用ニ拘束サレテ、斯ウ云フヤリ方ヲスルコトニ依ツテ、却テ無駄ノ經費ガ嵩ムト云フコトニナル、ソレカラ又失業救濟ノ方カラ申シマシテモ、毎日繼續サレテヤル仕事デアラナラバ、仕事ニ熟練モ致シマスシ、或ハ將來ヲ考ヘテ熱心ニヤルデアリマセウガ、ドウセ一日デ、又明日ハ此仕事ニハ關係ハ出來ヌ、アブレレノデアアルカラ、其日ヲチャランボランニヤツテ、一日ノ賃銀ヲ貰フ爲ニ其日ヲ暮ラスト云フヤウナ無責任ナ態度ヲ以テ仕事ヲヤツテ居ルノデアリマス、結局是ハ慈善的ニ勞銀ヲ失業救濟ニ給與スル、而モ其順序ノ廻ツテ來ル回数八十日ニ一週カ二週間ニ一週ト云フコトニナルノデアリマスカラ、労働者側ニ取ツテモ、斯ノ如キ事業ニ依ツテ仕事ヲ授ケテ貰フト云フコトハ餘リ有難クナイ、サウシテ仕事ニ間ニ合ハヌノハ當然デアリマス、況ヤ多クノ仕事ハ失業救濟ノ仕事デアリマシテモ、請

負師ニ入札シテヤラスノデアリマスカラ、殆下失業者ニハ利益ハ廻ツテ來ナイト云フヤウナ不平ヲ多ク述ベテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ事ハ失業救済ト云フ意味ノ國家ノ事業デアリマスルガ故ニ、其監督ノ地位ニアリマス内務大臣トシテ慎重ニ御研究下サツテ、之ニ依ツテ失業救済ノ目的ヲ達シ、サウシテ之ヲ事業本位ニモ考ヘ、勞働者本位ニモ考ヘ、其金ヲ有效ニ行使セラル、コトヲ希望スルノデアリマス、一體是ダケノ金ガアレバ、豫算ノ繰延ヲヤルト云フコトヲ止メテ初カラ今迄ノ通りニ國家ガ爲スベキ仕事、地方團體ガ爲スベキ仕事ヲ爲サツタナラバ斯ウ云フヤウナ計畫ハ要ラナイト思フ、又斯ノ如キ計畫ハ國家ガ失業救済資金ヲ支出シテモ、其結果ハ勞働側カラ論ジテモ、事業側カラ論ジテモ、其金ハ有效ニ使ハレハシナイ、極メテ無駄ナ失費ニ終ラントスルヤウナ傾向ガアルノデアリマスガ、果シテ内務大臣ハ之ニ對シテドウ云フ考ヲ持ツテ居ラレルカ、重テ御問スルノデアリマス

○安達國務大臣 大變長ク御尋デアリマスガ、大體御答致シマス、安藤君ニ御答シタコトガアリマスガ、不景氣對策ト云フコトヲ御答スルノニ、朝鮮人ノ歸ル數ガ増加シタコトモ、是ハ確ニ内地ニ於ケル失業問題ノ非常ナル緩和ニナツテ居ルコトハ御答致シテ置キマシタガサウ思ツテ居リマ

ス、ソレデ失業對策ノ問題ガ終ルカト云フニ、サウデハ決シテアリマセヌ、ソレモ失業緩和ノ一ツニナル、ソレカラ地方事業ヲ地方團體ヲシテ起工セシメ、サウシテ失業防止救済ヲ爲ス、是モ其話ヲシテ置キマシタガ、更ニ國家ハ地方バカリヲ以テ満足セズ、失業救済ノ爲ニ道路工事ヲ起シテ、サウシテ各地ニ國道府縣道ノ起工ヲセシメ、之ニ付キマシテハ豫算總會デ御話致シマシタガ、大體ニ於テ成ベク普遍的ニ、併ナガラ失業者ノ多イ處ヲ全國カラ選出シマシテ、國道、府縣道ノ割當ヲ公平ニ致シテ居ルノデアリマス、ソレデ是ハ進ンデ國ガ直接ニヤル、今御話ノヤウニ請負ニ付シマスルト、動モスルト失業者ノ勞働者ヲ使フ數ガ幾ラカ減ズル虞モアリマス、其邊ハ斷エズ注意致シテ居リマス、原則トシテハ何處マデモ直營ト云フコトニシテ居ルノデ、今度ノ事業ハ直轄デ政府自ラ監督シテヤルコトニ致シテ居ルノデアリマス、ソコデ問題ハ農村ニ歸農スル、ソレガ爲ニ今日疲弊シテ居ル農村ガ益々疲弊シ困憊ニ至ルト云フコトヲ能ク言ハレマス、農村ニ歸農スルコトハ事實デアリマス、又歸農スレバ今マデ一家四人デ働イテ居ツタ農家ガ一人其處ニ歸ツテ來ル、其人ヲモ收容シテ一家二人デ暮シテ、其生計ヲ困難ノ中ニ維持シテ行ク、斯ウ云フ事ハ歐米各國デハドウカト思フガ、其處ニ日本ノ美風ガアル、

昨年ノ議會ニ於テモ御話シタヤウナコトデ、東洋流ノ家族制度ノ力ト云フモノガ茲ニ發揮スル、例ヘバ紡績ノ女工ニ行ツテ居ツタ者ガ歸ツテ來ル、親兄弟ガ喜ンデ迎ヘテ共ニ働イテ行ク、成程收入ハ其割ニ増サナイデアリマセウガ、ソレヲ苦シク思ハズ、一家團欒シテ行クト云フ、其處ニ東洋ノ美風ガアル、此美風ヲ破ラナイヤウニシテ行キタイ、確ニ今日ノ失業ノ歐米ニ比シテ深刻ナラザル所以ハ其處ニアルト思フ、是ハ大變良イ事ダト私ノ思ツテ居ル所デアリマス、サレバト云ツテ、歸農スル人ガ澤山アルカラ、ソレニ依頼シテ安心シテ居ツテハナラヌ、ソレハ出來ルダゲ産業ノ發達ヲ圖ラナケレバナラヌト同時ニ、農村ノ振興ヲ圖ラナケレバナラヌガ、今日ノ失業者ノ多數ガ農村ニ歸農シテ、ソレヲ農村ノ家庭ガ喜ンデ迎レテ一家團欒シテ行クト云フ美風ガ、今日失業ノ緩和ニ非常ニ力トナツテ居ル、是ハ御互ニ誇ルベキ事デアルト思フ、農村ニ歸農シタカラソレデ宜イトハ云ヘヌ、苦シイニハ違ヒナイ、併ナガラ兎モ角今日ノ我國ノ不景氣ノ此狀態ガ、一般ノ想像ヨリ以上ニ緩和サレテ居ルト云フ、其主ナル原因ハ其處ニ在ル、是ハ我國ノ特色デアル、御互ニ自慢シテ宜イト思フ、サレバト云ツテ是デ失業救済ヲスル必要ガナイカト云フニ決シテサウデハアリマセヌ、ソレダカラ地方モ中央モ非常ナ奮發

ヲシテ起債ヲスル、農村ノ爲ニ低利資金ヲ御承知通り七十萬圓融通スル、凡ユル手段ヲ講ズル、サウシテ都會ハ勿論地方ノ農村マデモ其普及徹底ヲ期シテ居ルノデアリマス、飯ノ上ノ蠅云々ト云フ譬ノ御言葉デアツタケレドモ、失業者ノ今日ノ狀態ヲ、飯ノ上ノ蠅ト云フヤウナ風ニハ實ハ考ヘテ居ラナイ、ソレハ實ニ氣ノ毒ナモノデアリマスカラ、出來ルダケ徹底シテ防止及ビ救済ニ滿身ノ力ヲ籠メテ努力シタイト考ヘテ居リマス

次ニ地方稅ガ増加スル、擔稅力ノ無イ處ニ土木事業ヲ起サシメ、國家ノ失政ノ結果ヲ地方ニナスリ付ケルト云フヤウナ御説デアリマシタガ、私ハ今日ノ不景氣ノ原因ハ現内閣ノ失政ノ結果トハ考ヘマセヌ、昨日デシタカ一昨日デシタカ、貴族院ノ方デ長岡君ノ御尋ノ中ニ、福島縣ガ非常ニ窮乏デ、官吏ノ月給ガ拂ハレズニ居ルト云ウテ詰責セラレタ、幸ニ福島縣知事ガ來テ居リマシタカラ尋ネテ見ルト、知事ノ言フコトニハ、自分ハ一昨年ノ七月、内閣ノ變ツタ其月ニ福島縣ニ行ツタ、其月ハ給料ガ數箇月間拂ハレズニ延滞シテ居タ、ソレヲ金ヲ借入レテ拂ツタ、其後サウ云フコトガ已ムヲ得ザル時ニハ行ハレタ、ソレデ地方ノ窮乏ハ現内閣ニナツテカラダケハナイ、數年間積ツテ居ルノデアアル、ソレガ不景氣ノ爲ニ其程度ガ強クナツタコトハ否定

シナイガ、行詰リト云フモノハ決シテ一朝一夕ニ起ツタコトデアリマセヌ、長イ間ニ地方町村ノ困憊ヲ來シテ居ル之ヲ現内閣ノ責任トバカリ言フノハ、私ハ前内閣ヲ責メハ致シマセヌガ、諸般ノ施設經營上當ヲ得ザルコトガ多年ノ間ニアツテ、ソレガ累積シテ今日ノ疲弊困憊ヲ來シテ居ル、今日ノ疲弊困憊ヲ悉ク現内閣ガ責任ヲ背負ヘト云フコトハ殘酷デアアル、ソレカラ市町村ノ中ニ失業救済ノ爲ニ事業ヲ起工スル、其處ニ多方面カラ集中スルト云フ御話デアリマシタガ、是ガ全然ナイトハ申シマセヌ、サウ云フ事ガアルカラコソ、政府ニ於キマシテハ成ベク普遍的ニ或ル地方ニ失業者が集中セヌヤウニ散ス積リデアリマス、廣島縣ノコトヲ色々御話ニナリマシタ、是ハ全ク問題外デアリマスガ、能ク調査ヲ致シタ詳シイコトヲ御答致シマス、大體ニ於テ聴キマスト、福山市ノ師範學校廢止ノ問題ハ六年度ニ於テ新學級ヲ募集スルコトヲ見合セテ、本年末ノ縣會更ニ證議ヲスルト云フコトニ話ガナツテ居ルト云フコトヲ承ツテ居リマス、ソレカラ字品港ノ西側ノ方面デスガ、彼處ノ築港ノコトニ付キマシテ色々御話ヲ謹聽シテ居リマシタ、是ハ何レ起債ノ問題ガアルト思ヒマスカラ、能ク慎重ニ考慮シテ取扱フト云フコトヲ御答シテ置キマス、最後ノ方ハ元ノ御話ト同ジヤウニナツテ居リマスガ、失業救済ノ

事業ハ先程御話シマシタヤウニ直營トシ、成ベク多クノ失業者ヲ使ツテサウシテ、其失業者ガ、今日一日、明日一日ト交代スルコトハ——失業者ノ一人ガ今日モ明日モ明後日モ働クト云フヤウナコトハ、失業緩和ニナリマセヌカラ、甲ノ人ガ今日働ケバ明日ハ乙ノ人ヲ働カセルト云フコトガ當然デアラウト考ヘマス、而シテ其能率ヲ擧ゲルコトニ努メネバナラヌト考ヘテ居リマス、其邊ノコトハ御希望デアリマシタガ適當ニ按配シテ其目的ヲ達スルヤウニ努力スル積リデアリマス

○宮澤委員 委員長……

○添田委員長 チョット……是ハ組合法ニ全ク關係ガ無いノデス、ケレドモアナタガ折角松村君ノ來ラレルマデ内務大臣ニ御質問ヲシタイト云フ御希望デアリマシタカラ、組合法ニ關聯スル話ト思ツテ先ヅ御願ヲシタ譯ナノデス、デスカラドウゾ暫ク此問題ハ御遠慮ヲ願ツテ、組合法ノ問題デ進ミタイト思ヒマス、ソレデ一應内務大臣ノ答辯ノアルマデハ寛大ニ取扱ヒマシタケレドモ、此問題ニ關聯シテノ御質問ナラバ御遠慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

○宮澤委員 簡單ニ——今比較的御親切ナル答辯ヲ得マシタノデスガ、失業者ガ農村ニ歸ツテ、サウシテ日本ノ家族制度ノ美風ノ下ニ生活ヲ爲シ得ルト云フコトハ結構ナコト

ダト思ツテ居リマスガ、併シ之ニ依ツテ負擔力ノ無い、耐久力ノ無い農村ハ負擔ノ過重ニ一層惱ンデ居ルノデアリマスカラ、農村ニ對スル種々ノ救済ニ一層御努力ヲ願ヒタイ、又國家ガ今後土木事業ヲ起シテ救済スル費用モ成ベク其目的ヲ達スルヤウニ直營ニヤラシテ、成ベク多クノ失業者ヲ救済シテ行クト云フコトモ、精々御督勵ヲ願ヒタイソレカラ廣島縣會ノ問題デスガ、是ハ委員長ハ大變御答ニナルケレドモ、私共今後内務大臣ニ伺フ機會モアリマセヌシ、ヤハリ失業救済ニ關聯シタコトデアアルシ、安藤君ノ質問ニモ關聯スルコトデアリマスカラ決シテ問題外トハ申サレヌノデアリマス、廣島縣知事ニ殊更ニ斯ウ云フ起債ヲ命ジテ土木事業ヲヤレ、港灣事業ヲヤレト云フ御指圖ハ無カツタノデアリマセウカ、更ニ今道路ノ御話ガアツタノデアリマスガ、國營トシテ二千二百萬圓ノ失業救済ノ公債ヲ募集ニナルノデアリマスケレドモ、廣島縣ニハ此港灣計畫ノ外ニ百萬圓ノ道路費ト云フモノヲ公債ニ依ツテ出シテ、縣ガ道路ヲ拵ヘルコトニナツテ居ル、斯ウ云フ道路計畫ヲヤル場合ニハ大抵豫メ路線ガ決定シテ居ルモノデアリマスガ、ソレヲ唯豫算デ百萬圓取ツタケデ、今後ハ知事ノ裁量ニ依ツテ定メルト云フヤウナ、極メテ杜撰ナル豫算ノ提案デアツタノデアリマス、兎ニ角是モ論議サレテ追加豫算

ノ一ニ這入ツテ通過ヲ致シタノデアリマス、斯ウ云フコトモ黨略ニ依ツテヤラレタコトデアリマセウガ、縣民ト致シマシテハ道路モ必要デアリマスケレドモ、到底負擔ニ堪ヘ得ラレナイモノデアアルカラ、是非此事業モ中止シテ貰ヒタイ、又此起債ハ不許可ニシテ貰ヒタイト云フコトヲ切ニ申シテ居リマスカラ、此機會ヲ利用シテ冀クハ縣民ノ希望ニ副ウテ、斯ウ云フ起債ハ不許可ニシテ戴キタイト云フコトヲ内務大臣ニ重ネテ御願申上ゲテ置キマス

○西尾委員 議事進行ニ付テ申シマス、昨日日本議場ニ新聞記者ヲシカラザル新聞記者ガ見エテ居ツタノヲ私ガ發見シマシテ、直チニ守衛ニ其事ヲ傳ヘテ調査ヲシテ貰ツタノデアリマス、サウシマスト其方ハ手續上トシテハ某地方新聞ノ記者ノ資格ヲ以テ來テ居ルノデアリマスガ、其人ヲ調べテ見マスト是ハ今日勞働組合法ニ全國的反對ノ猛運動ヲヤツテ居リマス日本工業俱樂部ノ調査課長デアアル森田義雄君デアリマス、此方ハ丁度勞働組合法案ガ委員會ニ付託サレタ二月二十七日ニ新聞記者トシテノ届出ヲシテ居ルノデアリマス、是ハ何ヲ物語ツテ居ルカ、是ハ日本工業俱樂部ガ調査課長ヲシテ議院内ニ於ケル委員會ノ議事ノ進行ノ模様ヲ細大洩サズ知悉シ、反對運動ノ根本方策ヲ立テントスル所ノ「スパイ」的政策ノ現レデアルト私ハ見ルノデアリマ

ス、委員長ハソレガ形式上新聞記者ノ資格ヲ持つテ居ルト云フダケデ、之ヲ此儘本議場ニ出入ヲ御許シニナリマスカドウカ、即チ此勞働組合法ニ對シテ反對運動ノ急先鋒ヲヤツテ居ル日本工業俱樂部ノ調査課長トモアルベキ者ガ、突如トシテ地方ノ極メテ小サイ新聞ノ記者トシテ此議場ニ出テ來ル必要ハナカラウカト思ヒマス、是ハ何ト云ツテモ日本工業俱樂部ノ勞働組合法ニ對スル反對運動ノ組織的「スバイ」政策デアルト斷ゼザルヲ得ナイ、此點ニ對シテ委員長ノ意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○添田委員長 委員長ハ只今ノ西尾君ノ言ハレタヤウナ人が這入ツテ居ツタコトヲ實ハ心付キマセヌデシタ、尙ホ取調ベマシテサウ云フヤウナ人ノ入ルヤウナ場合ニハ成ベク差止メルコトニシタイト思ヒマス

○西尾委員 至急サウ云フ處置ヲ御取計ヒナサルコトヲ希望致シテ置キマス

○宮澤委員 私ノ今ノ問ニ對シテ内務大臣ノ御答辯ハアリマセヌカ

○安達國務大臣 其築港ノコトヲ許可シタトカ云フヤウナコトハアリマセヌ

○添田委員長 松村君

○松村委員 昨日内務大臣ニ伺ヒマシタ第一條、第二條ニ

イテ居ラナイ、既ニ分ツテ居ルコトデアアル、ソレバカリデナイ、特ニ伊太利ノ注意スベキコトハ「清廉ニシテ正シクアツテ國家ニ對シテ牢固タル忠誠ノ念」之ヲ勞働組合ノ目的トシテ居ル、所謂愛國的精神ト云フモノヲ勞働組合ノ主タル目的トシテ居ル、私ハ「ムツソリニ」ノヤウナ獨斷政治ハ無論否定スル者デアリマスケレドモ、ドノ位各國ノ指導精神ト云フモノガ組合法ニ現レテ居ルカト云フコトハ、露西亞ノ場合ト伊太利ノ場合ハ兩極端デアアルケレドモ、各國ハ此法案ノ第一條ニ勞働條件ノ維持改善ト云フコトハ書イテ居ラナイデモ、今ノヤウナ愛國的精神ノ發露ト云フヤウナコトヲ主タル目的ニ書イテ居ルト云フコトハ、各國ガ勞働組合ノ指導精神ニ如何ニ力ヲ入レテ居ルカト云フ明白ナル例證デアリマス、内務大臣ハ此處ニ指導精神ガ現レテ居ルト言フガ、私ハドウシテモ現レテ居ラヌト思フ、此位明確ニ指導精神ガ現レテ居ル、一例トシテ特ニ伊太利ノ立法例ヲ附加ヘテ置キタイト思フノデアリマス、今日勞働組合ノ目的ト云フモノガ、兎角物質的唯物史觀ニ流レテ居ル、是ハ餘程考ヘナケレバナラナイ、勞働組合法ハ單純ナル唯物史觀ノ物質的觀點カラ拵ヘルナラバソレハイカス、其處ヲ能ク考ヘナケレバナラヌ、尙ホ茲ニ勞資ノ協調ガ指導精神デアルト云フコトヲ屢々言ツテ居ラレマス

關聯シテ質疑ヲ續行シマス、昨日午後私ノ質問ガマダ少シ足りナカッタ所ガアリマスノデ、本案ノ指導精神ト云フコトニ付テ内務大臣ハ尙ホ能ク御了解ニナツテ居ラヌヤウニ思ハレマス、ソコデ重ネテ其問題ヲ極メテ簡單ニ先ツ御問致シタイ、抑々本案第一條ノミナラズ全部ニ於テ指導精神ガ現レテ居ラヌト云フコトヲ引イテ昨日伺ツタノデアリマス、其場合ニ各國ノ立法例ヲ引キマシテ、例ヘバ中華民國ノ如キハ特ニ産業ノ發達ト分リ切ツタヤウナコトヲ日の中ニ特ニ加ヘテ居ル、亞米利加ノ如キハ熟練ナル職工ノ養成能率ノ増進ト云フヤウナコトヲ特ニ加ヘテ居ル、露西亞ノ如キハ社會主義國家ノ宣傳ト普及實現ト云フヤウナコトヲ指導精神ニ特ニ加ヘテ居ル、斯ウ云フヤウナ例ヲ引キマシタガ、マダ内務大臣ニハ能ク分ツテ居ラヌヤウデアリマスカラ、少シ極端デアリマスガ、伊太利ノ社會立法ノ指導精神ヲ附加ヘテ置クコトガ明瞭デハナイカト思ヒマス、伊太利ノ組合法ノ指導精神ハ非常ニ極端デアリマスガ、實ニ能ク伊太利ノ國家精神ヲ發露シタ珍シキ立法デアリマス、是ハドウ云フコトカト申シマス、伊太利ノ立法ニ所謂勞働組合ノ目的ハ「經濟的的道德上ノ利益ノ保護ノミナラズ、救済、教育、道德及公民的訓練ヲ行フ」ト云フコトヲ規定シ、勞働條件ノ維持改善ナドト云フコトハ餘リ書

ガ、此問題ニ付キマシテモ一體勞働立法特ニ組合法ハ、勞働ノ協調ガ大體指導精神デアリマスカドウデアリマスカ、繰返シテ茲ニ御尋致シマス

○安達國務大臣 伊太利ノコトヲマタ更ニ附加ヘテ御話ガアリマシテ私謹聽致シマシタ、ソレハ伊太利ノ國情ニ於テサウ云フコトノ必要ヲ認メテ、伊太利デハサウ云フコトヲ書イタト思ヒマス、私ハ伊太利ニサウ云フコトヲ書イタガ爲ニ、日本ニモ勞働組合法ニ、國家ニ對シテ忠誠ノ念ヲ要スルト云フヤウナコトヲ書カネバナラヌトモ考ヘマセヌ、ソレハ國家ニ對シテ忠誠ノ念ヲ持つテ居ルコトハ日本國民トシテハ當然デアリマス、又サウ云フ意思表示ハ他ニスル場合モアルト思ヒマスカラ、必ズシモサウ云フコトヲ伊太利同様ニシナケレバナラヌトモ考ヘマセヌ、最後ノ御尋ガ私ハ御質問ト考ヘマスガ、指導精神ハ勞資協調ヲ以テ指導精神ノ主ナルモノト考ヘテ居リマス

○松村委員 極ク冷靜ニ御聽ヲ願ヒタイ、先程伊太利ハ極端デアアルガ、斯ノ始キモノモアルト云フノデ、露西亞ト伊太利ヲ對照シテ例ニ引イタ、伊太利ノ如ク日本ガ立法シナケレバナラヌト云フコトハ毛頭申シテ居リマセヌ、伊太利ノ獨斷政治ハ否定シテ居ルトマデ言ツテ居リマス、唯併シ各國ノ勞働立法ハ斯ノ如ク唯物史觀ニ囚ハレタモノデハナ

イ、物質的ノ眼點カラノミ労働立法ヲシテハイカヌト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス

尙ホ勞資協調ト云フコトヲ言ツテ居ラレマスガ、此勞資協調ト云フ言葉ハ、寧ロ或ル意味カラ申シマス、災ヲ爲ス言葉デハナイカトモ思ハレル節ガアル、勞資協調ト云フ言葉ヲ餘リニ濫用サレル、一體斯ノ如キ社會立法ヲ爲スニハ資本ト労働ダケヲ考慮シ、勞資ノ協調ダケデ宜シイカドウカ勞資協調ガ指導精神ダト言ハレマシタガ、是ダケデ社會立法ヲシテ差支ヘナイノデアリマスカ

○安達國務大臣 大體ニ於テ勞資協調ヲ目的トシ、此勞働條件ノ維持改善ト併セテ、共濟修養及ビ共同利益ノ保護増進ト云フコトヲ期サナケレバナラズ、又職業別産業別ニシテ、我國ノ労働組合ナルモノハ、斯ウ云フ方面ニ向ツテ進マナケレバナラヌト云フコトヲ茲ニ明カニシテ居リマス、此第一條ニ於テ我國ニ相應シキ労働組合ノ指導精神ト云フモノハ、十分ニ盡サレテ居ルト考ヘテ居リマス

○松村委員 資本ト労働以外ノモノハ考ヘナクテモ宜イト云フ今ノ御話デアリマスガ、私ハ資本ト労働ダケ考ヘテ居ルカラ、各種ノ社會立法ハ誤ルノデアアル、資本ト労働ト對立シテ居ルカラ社會立法ノミナラズ現内閣ノ政策ハ悉ク誤

處ニナゼ内務大臣ハ御氣付ニナラヌカ、社會トハ資本ト労働ダケデアリマスカ、重ネテ御同致シマス

○安達國務大臣 大體私ハ資本ト労働ダケト考ヘテ居リマス、アナタハ事業主トカ、何カ其處ニ區別ヲスル御考デセウガ、御意見ガアレバ其通りニ御修正ヲ願ヒタイ

○松村委員 社會トハ言フマデモナク資本ト労働ノ外ニ種々ノモノガアリマス、資本ハ分ケテ、資本家ト事業家ニスルコトモ一ツノ方法デアリ、今日マデ社會ヲ大體勞資ト分ケル、ソレガ間違ノ本デアアル、資本家ト事業家トハハツキリ分ケナケレバナラヌモノデアアル、殆ド何等ノ資金ヲ持タナイ、借金ノミデヤツテ居ル事業主モアル、之ヲ漫然資本家ト云フノハ、机ノ上デ本ヲ書時クニ、唯資本主義トカ資本家ト謂フノデアリマシテ、社會立法ヲヤル時ニハ資本ト労働、其資本モ二ツニ分ケナケレバナラヌ、更ニモツト社會ノ根幹タル民衆ノ福祉モ考ヘナケレバナラヌ、社會立法ヲヤル時ニ一番必要ナ事ハ資本ト労働ダケデハナイ、社會民衆ノ福祉、國民ノ福祉、私ガ屢々本會議デ申シマシタ「ウエル・フェア・エコノミクス」此厚生經濟、社會經濟ト云フコトニ根幹ヲ置カナケレバ社會立法ハ出來マセヌ、資本ト労働ダケヲ對立サセル社會立法ハ間違デアリマス、此點カラ先ツ勞資協調ト云フヤウナ古イ言葉ヲ除イ

ルノデアアルト云フコトヲ、此間カラ本會議デモ言ツテ居ル、日本デ一番惡イノハ資本ト労働トヲ對立サシテ居ルコトデアアル、勞資協調ダケヲ著眼トシ之ヲ指導精神トシテ、ソレニ基イテ社會立法其他ノ立法ヲヤルコトハ非常ナ誤リデアアル、其處ニマダ御考付ニナラナイヤウデアアル、例ヘバ此間ノ産業統制案ノ如キモ、今將ニ倒レントスル資本家ノ産業ヲ擁護シヨウト云フ頭カラ、資本家ニ傾イテノ立法デアルト云フコトヲ聞イタ、又或種ノモノハ労働ニノミ傾ク法案モ少クナイ、是ガ非常ニ大事ナコトデアアル、資本労働ヲ對立サセ労働ト云フ考ダケヲ以テ立法ヲスルト云フコトハ、是ガ非常ニ考ヘナケレバナラヌ間違デアルト思フガ、マダ内務大臣ハ労働ヲ對立サセテ、唯勞資協調ダケデ立法シテハイカヌト云フコトヲ御氣付キニナリマセヌカ

○安達國務大臣 ソレハ立法ノ根本精神ヲ言ウタコトデアツテ、他ニ附帯シタ事モ或ハアリマセウケレドモ、根本ハ勞資協調ニアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、私ハ是デ労働立法ノ本來ノ目的ニ差支ヘナイト思ヒマス、色々他ノ産業立法トカ何トカ御非難ガアルガ、ソレハアナタノ御意見ト考ヘマス

○松村委員 社會立法ノ意味ハ其處ニアル、ナゼ社會ト云フ字ヲ使フカ、社會トハ資本ト労働ダケデアリマセヌ、此

テ、今日ノ言葉デ申シマスナラバ厚生經濟或ハ社會聯帶ト云フ根本觀念カラ此法案ヲ立脚スルノデナケレバ、總テ資本ニ傾キ、労働ニ傾ク虞ガアリマスノデ、是ハ指導精神ト言ハレマスガ、分リ切ツテ居ルヤウデ分ラナイ、唯勞資協調ト言ハレマスガ、社會立法ノ根本精神ニ立戻ツテ考ヘラレナケレバナラナイ、指導精神ガナイト云フノハ、此間モ誰カガ申シタ如ク、資本家ノ頭ヲ撫デ、労働者ノ頭ヲ撫デ、勞資協調ト云フノハドツチニモ喧嘩サセナイト云フノデアアルガ、ソナコトデハ社會立法ハ斷ジテ相成リマセヌ、斯ク申シテモ勞資ノ協調ダケデ宜イト云フ御考デアリマスカ

○安達國務大臣 無論此法案ハ社會立法ノ根幹ニ基イテヤツタ積リデアリマス、勞資協調ト普通謂フ其資本ノ方ニ事業主ナドヲ含メテ普通勞資ト言ツテ居リマス、一向差支ナイト考ヘマス、或ハ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ雇主トカ何トカ金フコトモアリマセウガ、サウ云フヤウナ事デ此立法ガ社會立法デナイト云フコトハ私ハ言ハレナイト考ヘテ居リマス

○松村委員 重ネテ申上ゲマシテモ無益デアリマス、此立法ガ社會立法デナイトハ申シマセヌ、労働組合法ハ勿論社會立法デアリマス、社會立法デアリマスガ、指導精神ガ勞

資ノ協調ダケデハイカヌ、是ダケハ繰返シテ御注意申上ゲマス、即チ社會立法トハ勞資ノ關係ノミナラズ社會全體ノ厚生經濟ヲ基礎トスル立法デナケレバ、社會立法ノ指導精神ハナイト云フコトヲ繰返シテ御注意スルノデアリマス、斷ジテ勞資ノ協調ダケデハイケマセヌ

ソレカラ續イテ此共同利益ノ保護増進ノ問題デアリマスガ、此問題ニ關聯致シマシテ、政治ニ關スル第十二條トノ關聯事項ガ抜ケテ居リマス、之ニ付テマダ質問ガ出來テ居リマセヌカラ、此機會ニモウ少シ質問シタイト思フノデアリマス、此間社會局長官其他内務大臣ノ説明ニ依リマスト、政治其モノヲ目的トスルコトハイケナイケレドモ併シ十二條ニ觸レナイ限りハ或ル程度マデ宜シイト云フコトヲ屢々言ツテ居ラレマスガ、無論是ハ政治其モノヲ目的トスルカ、否カト云フコトハ、實ニムツカシイ認定ノ問題デアル、社會局長官ノ例示シタ八時間勞働制ノ確立ト云フヤウナコトハ、是ハ組合ノ主タル仕事ノ一ツデアリマスカラ問題ニナラヌガ、他ノ事柄デ政治其モノヲ目的トスルカ、或ハ勞働組合ノ共同利益ノ保護増進ノ爲ノ政治運動デアルカト云フコトノ區別ガ非常ニムツカシイ、故ニ茲ニ十二條ノヤウナ規定モ起ルノデアリマスガ、社會局長官ノ説明ハ非常ニ廣義ニ此第一條ヲ解釋サレル、私ハ十二條ニ關聯致シ

マシテ一體各國ノ立法例デ政治ヲ自由ニ或ル程度マデ許シテ居ル處ガアルカドウカト云フコトヲ先ヅ社會局長官ニ御同致シマス

○吉田政府委員 各國ノ立法例モ全部ノコトハ只今急ニ思出セマセヌガ、例ヘバ英國ノ如キハ政治ヲ許ス許サヌト云フモノ、問題ニ觸レズシテ、選舉ニ關スル制限ガアリマスヤウデアリマス、我國ノ今回ノ法案ニ於キマシテモ政治ヲ許サズト云フコトハ書イテナイノデアリマス、寧ロ反對ニ勞働組合ノ目的ハ是レノモノタルベシト云フ風ニ目的ヲ並ベテ書イテアリマスケレドモ、其裏ノ解釋ト致シマシテ、ソレ以外ノ目的ヲ持チ得ナイト云フ明瞭ナ解釋ガ出テ來ル譯ナノデアリマス、十二條ハ其一ツノ場合デアルト申セバ申セルコトハ御指摘ノ通りデアリマス、十二條デハ積極的ニ進ンデ政治ハイケナイト云フヤウナコトヲ法文ノ建前トセズシテ、議員ノ選舉ニ關シテ費用ヲ支出シテハナラヌト云フコトヲ書イテアル、恰モ英國ノ議員ノ選舉ニ關スル費用ノ制限ニ關スル規定ヲ若干設ケラレタノト、其建前ガ似テ居ルカト思フノデアリマス

○松村委員 例ヲ舉ゲテ伺ヒマスガ、新社會ノ建設ヲ講ズルガ如キハ如何ナルコトニナリマスカ

○吉田政府委員 單ニ新社會ノ建設ヲ講ズルト云フ事柄ダ

ケデ、ソレガ政治ノ目的ニスルノカドウカヲ切離シテ、サウ云フ文字デ直グニ解釋スルト云フコトハムツカシイト思フノデアリマス、尙ホ之ニ關聯シテ申添ヘテ置キマスカラ、サウ云フ事項ハ規約ヲ網要ニ掲ゲテ居ル健實ナル組合モアルコトデ、其健實ナル組合ノ規定致シマサル目的ガ此法文ニ該當致シマセヌモノニ付キマシテハ、本法ヲ施行スルニ當リマシテソレノ適當ニ處置ヲ致サネバナラヌト考ヘルノデアリマス、是ハ具體的ナ問題デゴザイマス、ソレ等ニ付キマシテハ當局モ調査ヲ進メテ居リマスルガ、此條項ハ組合法ノ目的ノ範圍外デアルカ、此條項ハ組合法ノ目的ノ範圍内デアルカト云フヤウナ、具體的ノ判斷ニ屬シマスコトハ、今日マダ申上グベキ時機デナイト考ヘマス

○松村委員 然ラバ「ソヴィエツト」靈西亞ヲ大ニ謳歌スルト云フガ如キ、對支問題不干渉ト云フガ如キ、帝國主義戰爭反對ト云フガ如キハドウナリマスカ、社會局長官ハ非常ニ御答辯ヲ回避サレテ居ルヤウデアリマスガ、サウ神經過敏ニナラズニ、唯サウ云フヤウナコトハ政治デアルカドウカト云フ常識的判斷デ差支ナイノデアリマスカラ、御答辯ヲ明確ニ御願致シマス

○吉田政府委員 無論政治ヲ目的トスルト云フニモ、明カニ政治ヲ目的トス、トサウ云フ風ニ抽象的ニ書イテナクテ

モ色々ナ書方デ、政治ヲ目的トスル表シ方ガアリマセウ、併シソレ等ノ文字ハ政治ヲ目的トス、斯ウ云フ用語デアツタナラバ政治ヲ目的トスルト云フコトニ付キマシテハ、其團體ガ政治ヲ目的トスルモノデアルヤ否ヤヲ其綱領ナリ規約ノ全般ニ互ツテ研究ヲシ、尙ホ其綱領ヤ規約ニ書イテアルコトバカリデナク、其綱領ガドウ云フ意味ニ運用セラレテ居ルカト云フコトヲ考ヘマセヌト、其勞働組合ガ政治自體ヲ目的トシテ居ルノデアルカ、又ハ勞働組合ノ共同利益ノ保護増進ヲ目的トスル爲ニ政治的行動ヲシテ居ルノカト云フ見極メハ附キ兼ネルト思フノデアリマス、ドウ云フ條項ガ政治ヲ目的トシテ居ルカト云フ御尋ニ對シテ、其用語ニ付テ一々ノ御返事ヲ致シマスコトハ具體的ノ場合ニ決メネバナラヌコトデアリマス、私共モ其心配ヲ致シテ居リマスケレドモ、一々ニ付テ此事項ハ政治ヲ目的トスルノカト云フ點ニ關シマシテハ今日御答ガ出來ナイト思ヒマスカ

○松村委員 然ラバ勞資ノ階級ハ徹底的ニ兩立スベカラザルガ故ニ、之ガ絶滅ヲ期スト云フガ如キコトハ、本法ニ申シマスル組合ノ指導精神ノ目的ニ適ツテ居リマスカドウデアリマスカ

○吉田政府委員 資本ノ絶對的絶滅ヲ期スルト云フコトニ付キマシテハ、先程カラ内務大臣モ言ハレマスヤウニ、勞

資ノ關係ニ於キマシテハ出來ル限リ協調ヲ保ツテ行クト云フコトヲ指導精神ト致シマシテ、ソレニ應ジテ出來ル限リ其方ニ導クヤウニ此法制全體ノ通念ガ出來テ居ルノデアリマシテ、今御話ノ如キ極端ナル考ハ指導精神ニ適ツテ居ルトハ申セヌト思ヒマス

○松村委員 サウシマスト先程長官ノ言ハレマシタ如ク本法ノ目的ノ指導精神ニ適合セザルモノハ、之ガ修正訂正ヲ命ジタ後組合トシテ認ムルト云フコトハ間違アリマセヌカ、繰返シテ御尋致シマス

○吉田政府委員 私ノ先程申シマシタノハ、指導精神ニ副ウテ居ラヌモノニ對シテ訂正ヲ命ズルト云フノデアリマセヌ、訂正ヲ命ジマスル條項ハ茲ニ明カニ條文ニ示サレテ居ルノデアリマス、第十七條ニ勞働組合ノ規約、是ハ規約ノ場合デアリマシテ、規約法令ニ違反シテ居ル場合、法令違反ト云フト、勞働組合法モ勿論含メテ居リマス、ソレニ明カニ違反シテ居ル場合、勞働組合法ノ指導精神ヲ何處ニ置イテ立案シタカト云フ、サウ云フヤウナ抽象的ノ問題デアリマセズシテ、ドノ條項ニ違反シテ居ル、例ヘバ目的ノ點カラ申シマシテ、第一條ノ解釋ト致シマシテ、政治自體ヲ目的トスルト云フコトデアリマシテ、勞働組合ニナレナイノデアリマスルカラ、ソレガ明カニ政治自體ヲ目的トシテ居ルト云

フコトデアリマシタナラバ、ソレハ第一條ノ範圍外ナノデアリマス、ソコデソレハヤハリ法令ニ違反シタモノト言ヘルト思フノデアリマス、此條項ヲ根據ニシテ、此條項ニ違反シタト云フ場合ノ明カナルモノハ法令ニ違反シタノデアリマス、是ガ公益ヲ害スルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテノ處分ヲスルニ當リマシテハ、行政廳ノ認定ニ俟ツ外ハナイノデアリマスガ、公益ヲ害スルトカ、法令ニ違反スルトカ、明瞭ナル事實ノアリマシタ時ニ變更ヲ命ズル、訂正ヲ命ズル、其結果ハ、ヤハリ指導精神ヲ實現スルト云フコトニナルト思フノデアリマス、ソレハ單ニ指導精神ヲ實現スルルダケノコトデ、法令ニ何等違反ヲセズ、又公益ヲ害スルト認メラレナイモノニ訂正ヲ命ズル譯ニハ行カナイノデアリマス

○松村委員 併シ第一條ノ規定ハ、先程屢々説明サレマシタヤウニ、指導精神ガアルト言ハレテ居ル、此指導精神ニ基イテ出來タモノデアラカト言ハレルガ、唯共同利益ノ保護増進ト云フコトノ意味ハ非常ニ茫漠デアアル、之ヲ廣義ニ解釋シ、寛大ニ解釋シマス、殆ド凡ユル事柄ガ政治其モノデアリト云フ解釋モ取リ得ル、共同利益ノ保護増進ト云フ言葉ガ餘リニ茫漠デ、抽象的ナ曖昧ナ言葉デアアルガ故ニ、サウ云フ問題ガ起ル、政治ノ例ヲ擧ゲタサウデア

ル、政治以外ノ事柄ヲ擧ゲマシテモ亦サウデアリマス、ソコテ先程英吉利ノ政治ニ關スル立法例ヲ引カレマシタガ、長官ノ言ハレル所ハ、英吉利ハ非常ニ寛大ナ法令ノヤウニ聞エマスルカ、政治ニ關シマシテサウ寛大ナ立法デアリマスカ、是ハ諄イヤウデアリマスケレドモ、先程長官ノ説明デアリ英吉利ノ法令ガハツキリ分ラナイ、更ニ英吉利以外ニ政治ヲ公ニ組合ノ運動トシテ公許シテ居ル處ガアリマスカドウカ重ネテ御伺致シマス

○吉田政府委員 政治ヲ公ニ組合構成ノ上デ公許シテ居ルト云フ國ノ立法例ハ私モ承知致シマセヌ

○松村委員 英吉利ノ状態ハドウデスカ

○吉田政府委員 英吉利ニ於キマシテモ公許スルト云フ明文ハ置カレテアリマセヌ、御承知ノ通り政治行動ニ關スル基準ハ色々ナモノガアリマス、併シ政治ヲ目的トスルト云フコトヲ公許スルト云フコトニナツテ居リマセヌ

○松村委員 私ノ見ル所デアリ英吉利以外ニハ政治ヲ餘リ組合ニ公ニ認メテ居ル處ハ少ナイヤウニ思フ、此處ガ問題ノ要點デアリマス、多クノ人ハ十二條ノミナラズ、自由ナル政治行動ヲ許スノヲ當然ノヤウニ思フテ居リマス、解釋サレテ居リマス、所ガ英吉利以外ニハ立法例ガ殆ドナイ、英吉利ノ立法例モ極メテ局限サレタモノデアルト云フコトハ

御承知ノ通りデ、此處デ讀上ゲルト長クナリマスカラ止メルガ、非常ニ局限サレタモノデアアル、是ガ多ク世ノ中ニ分ラヌカラ、組合ハ當然政治運動ヲヤツテモ差支ナイヤウナ解釋ガ起ル、殆ド日本ノ母法デアリ、先生デアアル英吉利ノ政治ニ關スル規定ニ於テモ、是ガ非常ニ局限サレテ居ル、ソレハ一二例ヲ擧ゲマシテモ、第一投票ニ關スル規定デアアルガ、組合ハ政治ニ關係スル場合ニハ、組合ノ總會又ハ代議員デ以テ決議シタ上ニ、政府ノ監督機關ノ認可ヲ經ナケレバ政治行動ヲ爲スコトガ出來ナイト云フ、十分嚴重ナル取締規定デアリマス、第二ハ多數決デ決議ヲシテモ、其中ニ政治基金ヲ積ムコトヲ拒ム者ガアツタナラバ、組合員ト雖モ、此拒ム者ヲ除クコトガ出來ナイ、政治ニ關係スル基金ノ積立ヲ拒ンダト云フ理由ニ依リマシテ其人ヲ何等制裁スルコトガ出來ナイ規定デアアル、其外政治基金ノ管理トカ、或ハ支出方法トカ云フコトニ付テ幾多ノ嚴重ナル監督規定ガアル、讀上ゲルト長クナリマスガ、斯様ナ非常ナル嚴重ナ監督ノ下ニ行ハレテ居ル所ノ政治的運動ノ許可デアアル、英吉利デサヘモ斯如ク實ニ嚴格ナル規定ノ下ニ漸ク許サレテ居ルノデアリマスガ、多クノ人ハ組合ハ當然政治行動ヲ爲シテモ差支ナイヤウニ皆思フテ居ル、此問題ハ非常ニ保守的ノヤウニ思ハレルカモ知レマセヌガ、從來今日マ

デノ質疑應答ヲ聽イテ居ルト、組合ガ當然政治運動ヲスルコトガ當リ前ノヤウニ思ハレルヤウナ應答ガ非常ニ多イ、私ハ此點ニ付キマシテ實ニ政治行動ト云フモノハ、組合カラ見ルナラバ、是ハ容易ナラヌ事デアアルガ故ニ、英吉利ナドニ於テスラ、只今申上ゲタヤウニ極メテ局限サレタル範圍内ニ於テ嚴重ナル規定ガアル、然ルニ日本ハ選舉ハ愚ロカ何デモ政治行動ヲ許シタガ宜イト云フヤウナ問答ノアルト云フコトハ、私ハ各國ノ立法例カラ考ヘテ見テ驚クノデアアル、私ハ組合ノ發達ノ爲ニハ極力同情シ、是ガ助長促進ヲ希望スルガ、唯多クノ人ガ言フガ如クニ政治行動ヲ廣ク許スト云フコトハ、組合本然ノ目的カラ申シマシテモ、組合ノ發達ノ上カラ申シマシテモ、是ハ考ヘナケレバナラヌ事デアアル、ソレ故ニ此處ニ所謂共同利益ノ保護増進ト云フコトヲ、餘リニ廣義ニ解釋スルト云フコトハ、昨日大藏關係ノ事項ニ於テ、質屋其他銀行類似ノ仕事ニ於テ誤解ガアツタト同ジヤウニ、政治行動ヲ餘リニ寛大ニ廣義ニ解釋スルト云フコトハ、組合ヲ亡ボスコトニナリハセヌカト心配シテ居リマスノデ、寧ロ十二條ノ規定ノミナラズ、モウ少シ組合ノ政治行動ヲ許スノカ許サヌノカ許スナラバ許スヤウニ、是ガ取締規定、許サヌナラバ許サヌヤウニ、十二條ニ組合ハ政治行動ヲ爲スコトヲ得ズト斯ウ書クカ、兎モ角

一條ト十二條ハドウシテモ繰返シテ質問サレタヤウニ、本案ノ大キナ不備デアルト云フコトヲ免レヌト思フノデアリマス、政府委員ノ御考ハ如何デゴザイマスカ
 ○吉田政府委員 私ノ組合ノ政治行動ニ關シマシテ、特ニ寛大ニ扱フト云フ趣意デ御答申上ゲタコトハナイ積デアリマス、若シ私ノ答方左様ニ解セラレルヤウデアリマシタナラバ、サウデハナイト云フコトヲ茲ニ改メテ申上ゲテ置キマス、區別ノ標準ヲ何處ニ置クカト云フコトニ付キマシテハ、先般來モ御答致シテ居リマスル通りニ、政治自體ヲ目的トスルト云フコトハ、一條ニ於テ明カニ是ハ認メラレテ居ラナイコトニナルノデアリマス、認メラレテ居ラナイコトガ明カデアリマス以上ハ政治自體ヲ目的トスルトヲ得ズト云フヤウナ條文ハ必要ナイト思ヒマス、目的ヲ列舉致シマシテ其範圍ヲ示シテ居ルノデアリマスルカラ、サウ云フ目的トスルトヲ得ズト云フコトハ、サウ云フ意見デアリマスルカドウカ知りマセヌケレドモ、其必要ヲ認メマシテモ、條文ヲ置クコトハ要ラナイト思フノデアリマス、尙ホ只今例トシテ御話ニナリマシタヤウニ、組合ガ政治行動ヲ爲スコトヲ得ズト云フガ如キコトニ規定致シマスコトハ、是ハ少シク行過ギデアルト思フノデアリマス、先般來モ御說明致シマシタ通りニ、現在ノ國家社會ニ於キマシテ

色々ナ目的ノ團體ガゴザイマスガ、ソレ等ノ團體ガ銘々ノ目的ヲ達スル爲ニ政治結社以外ニ、例ヘバ教育ニ關スル團體デアリマストカ、所謂社會事業ヲ主トスル團體デアリマストカ、色々ナ團體ガアリマスガ、其本來ノ目的ヲ達スル爲ニ個々ノ行動ト致シマシテ、時トシテソレガ政治的ニ行動致シマスコトハ社會ノ常態デアリマス、政治的ニハ一切行動スルコトハナラヌノダト云フヤウナコトヲ、法律ノ明文ヲ以テ規定致シマスコトハ、ソレ等ノ團體ニ對シテ今日不穩當デアルト同様ニ、勞働組合ニ對シマシテモ不穩當デアルト思フノデアリマス、目的トスル所ハ第一ノ勞働組合ノ規定ノ範圍内デアリ、其目的ヲ達スル爲メノ個々ノ行動デアルト云フコトデアリマシタナラバ、政治的ニ一ツノノ行動ガ其時々々ニ重ナリマシテモ、其行動自體ヲ禁止スルト云フノハ必要ノナイコトデアリ、又左様ナ規定ヲ設ケテハナラナイト考ヘルノデアリマス、第十二條ノコトハ英吉利ノ法制ト引較ベテ色々御論ジニナツタノデゴザイマスルガ、十二條ニ關スル限リニ於キマシテハ、是ハ極メテ顯著デアリマス——英吉利ノ選舉ニ關スル法制ト較ブベキモノト致シマスレバ、寧ロ十二條ガ較ベラルベキ此法案ノ規定デアルト考ヘルノデアリマスガ、只今御讀上ゲニナリマシタ通りニ、規定ノ致方ハ稍々違ツテ居リマス、組合ノ

政治基金ノ集メ方トカ、或ハソレニ要スル黨員ノ數デアリマストカ、組合員ノソレニ對シテ支出スル醜金ノ規定デアリマストカ、非常ニ詳細ニ規定ガ出來テ居ルノデアリマスガ、我國ニ於キマシテハ、サウ云フ選舉運動ニ關シマシテハ、此十二條ニ依リマシテ、手續ノ如何ヲ問ハズ、勞働組合ガ組合員カラ選舉運動ニ關スル費用ヲ徵收スルコトモ出來ナイ、支出スルコトモ出來ナイトナツテ居リマスノデ、寧ロ英吉利ノ法制ニ較ベマスナラバ、非常ニ簡單直截ニソレ等ノ選舉費用ニ關スル事項ニ對シテ禁止的ノ條項ヲ設ケテ居ルノデアリマス、選舉以外ノ事ニ付キマシテハ再々ノ御尋デアリマスガ、其目的ガ組合員ノ共同利益ノ保護増進ト云フコトノ範圍内ニナリマス、組合員ノ共同利益ノ保護増進ト云フコトヲ申シマスレバ、自ラ分ルト思フノデアリマス、組合員ノ共濟、修養、共同利益ノ保護増進ト云フコトヲ成ベク趣旨ヲ明カニスル爲ニ、申サバ指導精神ヲ示ス意味ニ於キマシテ、此處ニ重大ナル三ツノ例示ガサレテ居ルノデアリマス、「其ノ他共同利益ノ保護増進」ト云フコトデアリマスノデ、例ヘバ此處ニ書イテナイコトデ想像致シマス、極ク的證ニ分ルコトハ組合員ノ保護衛生ニ關スル福利施設、ソレ等モ組合員ノ共同利益ノ保護増進ニナリマセウ、或ハ組合員ノ經濟的方面カラ申シマシテ、昨日モ御

話が出タコトデアリマスガ、組合員ニ共通ノ實費食堂ヲ拵ヘルト云フコトモ組合員ノ共同利益ト云フコトニナルノデアリマセウ、其他勞働條件ニ關シマシテモ、無論八時間制度ヲ組合ノ目的トナリ得ルノデアリマシテ、此法ニ規定致シマス組合ノ利益ニ合致スルカドウカト云フコトヲ判別致シマスコトハ、自ラ方程困難デナイト思フノデアリマス、殊ニソレガ政治目的トスルノカ、或ハ條文ニ書イテアル共同利益ノ保護増進ヲ目的トスルカト云フコトヲ對照シテ考ヘテ見マス場合ニハ、其區別ハ左程困難デハナカラウト思ヒマス

○松村委員 　私ガ若シ前ニ政治行動ト云フ言葉ヲ使ヒマシタナラバ訂正シテ置キマス、適當ナ言葉ガナイノデ政治行動ト云フ言葉ヲ使ヒマシタガ、其意味ハ今長官ノ言ハレルヤウナ意味トハ全ク違フノデアリマス、常識的ニ違フ詳シク説明ヲ要シナイト思ヒマス、唯長官ノ説明デ益々分ラナクナルノハ、私ガ新社會ノ建設ト云フヤウナコトヲ例ニ舉ゲテ聽キマス、ソレダケデハ政治運動デアルカドウカ分ラヌト御言ヒニナル、サウシテ長官自ラハ此處ニ共濟トカ修養トカ云フ例示ガアルト云フガ、ソレハ共濟修養類似ノコトハ書イテナイ、「共濟、修養其ノ他類似ノ共同利益ノ保護増進」ナラ宜シイガ、類似トモ何トモ書イテナイ、

「其ノ他共同利益ノ保護増進」ト云フノナラドシナ事デモ共同利益ノ保護増進デアル、チツトモ例ニナラナイデハアリマセウカ、共濟ナドト云フコトハ今マデヤツテ居ツタ事ヲ掲ゲタダケデアアル、修養ト云フコトモ大體今マデヤツテ居ツタ事ヲ主トシテ掲ゲタノデアアル、是カラ先キ無限ニアル組合員ノ共同利益ノ保護増進ト云フコトヲ考ヘル場合ニ於テハ、今長官ノ舉ゲラレタ共濟トカ修養ナドト云フコト、ハ沒交渉デアリマシテ是ハ何ニモ例ニナリマセウ、共同利益ノ保護増進ト云フコトハ無限ニアルノデアリマス、ダカラ問題ガ起ル、今ノ長官ノ説明ノヤウナコトデハドウシテモ分ラナイ、第十二條ト第一條ノ問題ハモウ少シ徹底的ニ之ヲ規定シテ置ク必要ガアル、政治行動ヲ許スナラバ許スデ取締規定ヲ要スル、許サヌナラバ十二條ノ規定ダケデハ不明瞭デアアル、一條ト十二條ノ關係ハドウシテモ長官ノ説明デハ分ラナイ、斯ウヤウナ問題ガ出テ來タ時ニ、此處ニ内務大臣ガ居ラレナケレバ責任アル御答辯ハ願ハレヌ、長官ノ今ノヤウナ説明デ益々分ラナクナル、共同利益ト云フコトハ共濟トカ修養トカ云フ意味ノコトデアリマスカ、重ネテ御伺致シマス

ニ類似ノコトダケト云フ建前デハナイノデアリマス、其最モ主ナルモノ、例示ト致シテ共濟修養ト云フコトガ掲ゲテアルノデアリマス、併ナガラ共同利益ノ保護増進ナラバ何デモ目的ニシ得ルカト申シマス、ソレハソウ行カナイノデアリマス、政治自體ヲ目的トスルノハ共同利益ノ保護増進ト云フ目的トハ違フカラ、政治自體ヲ目的トスルコトハ出來ナイト申上ゲテ居ル、同時ニ尙又假令政治デナクシテ共同利益ノ保護増進ヲ目的トスル事柄デ共濟修養以外ノ事柄デアリマシテモ、無限ニ共同利益ノ保護増進ナラバ何デモ目的トシ得ルカト申シマス、ソレハサウデハナイノデアリマシテ、例ヘバ他ノ法規ニ觸レルヤウナ事ヲ目的トスルコトハ無論出來ナイノデアリマス、デスカラ斯様ナ書キ方ヲシテアレバト云ツテ、茫漠トドシナ事デモ共同利益ノ保護増進ナラ認メルト云フ趣意デハアリマセウ、其境界ヲ決定シマスコトハ又規定ニ違反シテ居ルカ居ラヌカカト云フコトヲ決定シマスコトハ、必ズシモ御心配ニナル程ムツカシイコトデハナイト思ヒマス

○田子委員 　關聯シテ一寸一言御伺シタイト思ヒマス、十二條ノ問題ニ關聯シテ松村君カラ政治行動ヲ禁止スル條文ヲ設ケテハドウカト云フ質問ガアリマシタガ、ソレニ對シテ社會局長官ハソレハ他ノ一般ノ規定デモ許サレタル事項

ダカラ禁止シナイ、サウ云フ條文ハ無用ダト仰シヤイマスガ、條文ニ依リマスト選舉費用ノコトガアリマスガ、組合員デナク、法人タル組合トシテ衆議院議員又ハ北海道會、府縣會、市町村會等ノ議員ノ選舉運動ヲ爲スコトハ構ハヌノデスカ

○吉田政府委員 　費用ノ事以外ニ政治運動ヲスル、選舉運動ヲスルト云フコトノ御尋デアリマスガ、先達テソレニ似タ事デアリマシテ、選舉ノ際ニ組合ノ持つテ居リマス機關紙或ハ雜誌等ニ於テ、或候補者ヲ推稱スルヤウナ記事ヲ掲ゲルノハドウカト云フ御質疑ガアリマシタノデ、之ニ對シマシテハ雜誌ガ平素カラ發行セラレテ居リ、機關紙モ平素ヨリ發行セラレテ居ル、ソレガ共同利益ノ保護増進ヲ目的トスルモノデアリマシタナラバ、或ル選舉ノ時ニ選舉關係ノ記事ヲ掲ゲマシテモ、ソレハ政治自體ヲ目的トスルモノデナケレバ宜シカラウト御答ヲ致シタノデアリマス、稍々具體的ニ其趣旨ヲ御答致シタノデアリマス、今日モ左様ニ考ヘテ居リマス、組合ガ組合トシテ選舉運動ヲスルト云フ今總括的ノ御尋デアリマスガ、組合ガ組合トシテ選舉運動ヲスルト云フコトモ、政治自體ヲ目的トシナイコトガアリ得ルト思ヒマス、例ヘバ七時間制ト云フモノガ其時ノ非常ニ眞剣ナ時事問題ニナツテ居ツテ、サウシテ其爲ニ選舉運

動ヲスル、或ル候補者ガ其政見ヲ持ツテ居ルガ爲ニ後援スルト云フヤウナ場合モアリ得ルト思フノデアリマスガ、其選舉運動ニ組合自體ガ從事スルト云フ場合ニハ、組合自體ガ政治ヲ目的トスルモノト見做サレル場合ノ方ガ多イト思フノデアリマス、サウ云フ考ヲ以チマシテハツキリサウデナイト云フ認定ノ付キマスル場合ニハ、ソレハ認メラレル行働ト思ヒマスガ、例ニ御舉ゲニナリマシヤウニ、組合自體トシテ選舉運動ヲスルト云フガ如キコトハ、多クハ第一條ノ違背ニナル場合ノ方ガ多カラウト考ヘマス、尙ホ微妙ノ點ニナリマスト私ニ申達ヒガアリマシテモナリマセヌシ、ニ重大ナ事デアリマスルカラ、今日御答シマシタコトデ宜シイト思ヒマスガ、尙ホ熟考致シマシテ、或ハ説明ノ訂正補足スルコトヲ御承認願フカモ分リマセン

○田子委員 私ハ後デ御調ベニナツテ是ナラバ間違ナイト云フ御答辯ヲ得テ、尙ホ御質問申上ゲテモ宜シウゴザイマス、尙ホ選舉運動ニ關シマシテ費用ヲ出シテハイケナイト云フ明文ガ此處ニアリマスガ、當選サセルマデノ費用、例ヘバ衆議院議員ニ當選サセルマデノ費用ヲ出シテナクテモ、代議士ノ生活費ヲ出ス、勞働組合ノ共同利益ノ保護増進ニナリサウナ代議士ニ生活費ヲ組合費カラ支出スルニ付キマシテハ如何デゴザイマスカ

○吉田政府委員 選舉運動費用デアリマセズシテ、或特定ノ人、其人ガ代議士デアリマスカ、或ハ市會議員デアリマスカ、ソレ等ノ人ノ生活費用ヲ補給スルコトハ、此處ニアリマス選舉運動ニ關スル費用ノ支出ト云フコトニハナラヌト思ヒマス、併シソレガ此組合ノ目的トスル所ガ政治ヲ目的トスル結果デアル場合ニハソレハイケマセヌ、併シ今日生活費ヲ出スト云フ場合ニ、多クハサウデアリマスケレドモ、ヤハリ出來ルカ出來ヌカト云フ一般ノ分別ヲ致シマスルナラバ、政治ヲ目的ニ致シテ居ルノデアルカ、或ハ政治ハ目的ニシテ居ラズシテ、組合員ガ第一條ニ書イテアリマス共同利益ノ保護増進ヲ目的トシテ居ツテ、其時々ノ一ツツノ行動トシテ、所謂常識ノ意味デノ政治的ノ行動ヲスルト云フ場合ニハ認メラレルト云フ、一ツノ標準ヲ色々ナ場合ニ當嵌メテ解釋スレバ、適當ナ決定ガ其處ニ得ラレルト思フノデアリマス

○田子委員 突然御尋シタノデ御研究ガ足ラヌノデハナイカト思ヒマスカラ、ドウカ斯ウ云フノハ大切ナ事デアリマスカラ、後デ能ク御研究ノ上ニ、内務大臣ニモ伺ハナケレバナラヌ重大ナ問題ト初メカラ考ヘテ居ツタ問題デアリマスカラ、或ハ突然這入ツタ條文デ御研究ハドウカト思ヒマスカラ他日御答ヲ願ヒマス

○守屋委員 今田子サンカラモ御話ガアリマシタガ、此第一條ノ目的ヲ達スルガ爲ニスル政治運動ハ、他ノ團體ノ例モアルコトデアリマスカラ御認メニナル、併ナガラ第十二條ノ規定ニ書イテ居ルコトハ是ハ全然認メナイ、サウシマスト第十二條ノ規定スル以外ノ政治運動デモ、第一條ニ關聯スル政治運動ト認メラレナイモノガアル、ソレハヤハリ御認メナラナイ御方針ノヤウニ考ヘル、即チ第十二條ダケノ政治運動ヲ禁ジテ居ルノデ、後ハ組合ノ目的ヲ達スル個々ノ政治運動トシテ御認メナルト言ツタ方ガ分リ易イ、サウデナイト中間ニ別ナモノヲ設ケナケレバナラス、即チ第一條ノ目的ヲ達スルニ必要ナル個々ノ政治運動ハ構ハヌ、併シソレト見做サレナイモノデアツテ、第十二條ノ規定以外ノモノガ假ニアルトシマス、ソレハ御禁ジニナル方針ト見ナケレバナラヌガ果シテサウ云フモノハドウ云フヤウナ風ノモノヲ御禁止ニナルト云フ御考ナカ、其點ガハツキリシナイ、此法案ヲ施行シマシテモ第十二條ノ政治運動ハ禁止スルノデ、他ノ目的ヲ達スル個々ノ政治運動ナラバヤツテモ宜イト世人ガ誤解シハシナイカト思フノデアリマス、此點ニ付テモ田子サンノ御依頼モアツタヤウデアリマスカラ、御調査ノ時ニハツキリ御調ベニナリマシテ、第十二條以外ニ於テ禁止シタル政治運動ノ種類ハ何デアルカ、或

ハ第一條ノ目的ノ政治運動ト同ジ運動ト見做シテ全然禁ジナイ御方針デアルカ、其點ヲ明瞭ニ後デ御調ベニナツテ御答願ヒタイト考ヘマス

○吉田政府委員 承知致シマシタ

○松村委員 第一條ノ問題ハ内務大臣、大藏大臣ノ來マスルマデ保留致シマシテ第二條ニ移リマス、細カイコトヲ先ニ伺ヒマスガ、「前二項ノ規定ニ依リ届出デタル事項ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ日ヨリ一週間以内ニ之ヲ届出ヅベシ」トアリマスガ、是ハ主タル事務所又ハ行政官ガ違ツタ場合ニハドウ云フ届出ノ手續ヲナサイマスカ

○吉田政府委員 一寸御尋ノ要旨ヲ聽漏シタカモ知レマセヌガ、斯ウ云フコトデゴザイマシタカ、主タル事務所ヲ變更シタル場合……

○松村委員 主タル事務所監督ノ行政官廳ガ變更シタル場合、如何ナル手續ヲスルカ

○吉田政府委員 監督行政官廳ガ變更致シマシタ場合ニハ變更セラレタ監督行政ノ官廳ガ届出ヲ受ケル先デアリマス

○松村委員 主タル事務所ヲ變更シタル場合ハ……

○吉田政府委員 主タル事務所ヲ變更シタル場合ニハ最初ニ届出マシタ事務所其處カラ變ツタト云フ、其處ニ居ナイト云フ届出ヲスレバ宜シイ、新シク移ツタ所カラサウ云フ届

出ヲスレバ宜シイ

○松村委員 ソレハ言フヲ俟タヌノデアリマス、私ノ聽ク所ハ届出事項ヲ全部網羅シテ届出ナケレバナラヌノカ、即チ主タル事務所ガ變ツタ場合ハ前事務所ハ單純ナ届出ヲ以テ宜シイカ、變ツタ方ノ事務所ニ、唯變更シタト云フ届出ダケデ宜シイカ、同時ニ届出事項ノ全部ヲ網羅シナケレバナラヌノデアリマス、普通ノ場合ノ届出ノ手續ヲ聽イテ居ルノデアリマス

○吉田政府委員 新シイ所ニ於キマシテハ全部ノ届出ノ事項ヲ網羅セネバナラヌト思ヒマス、従前ノ管轄官廳ニ對スル届出ハ、變更シタコトヲ届出デレバ、其他ノ事ハ届出テアルノデアルカラ差支ナイト思ヒマス

○松村委員 簡單ナ事デアリマスガ、行政官廳ノ變ル事ハ餘リアリマセヌガ、組合ハ發達ノ過渡ニ於テハ随分事務所ガ移ルモノデアアル、随分煩雜ナ規定ガアル爲ニ氣ガ付カズニ違反スル虞ガアル、ソレダカラ屢々變ル少サイ労働組合ノ事務所ノ如キハ、是ガ變更シタ場合ニハ、寧ろ變更シタル方ノ主務官廳ニ届出レバ新シイ事務所ノ官廳カラ元ノ官廳ノ方ニ事務所ヲ移轉ヲ知ラシテ貰フトカ、何カ登記ノ手續ニ於テ簡便ナル方法ヲ考ヘテ置ク方ガ、小サナ組合ノ爲ニハ實益ガ多イト思ヒマス、登記手續デアリマスカラ、茲ニ

詳シク答辯ハ願ハナクテモ宜シウゴザイマスガ、施行細則ノ場合ニ於キマシテ組合ノ登記手續ヲ簡便ニスルト云フ御趣旨ヲ研究ヲ願ツテ置キマス

○吉田政府委員 諒承致シマシタ

○松村委員 ソレカラ先程カラ例證ヲ舉ゲマシテ今日日本ノ労働組合ノ綱領規約ヲ伺ツタノデアリマスケレドモ、是ハ斷ジテ御答ガナイ、ソコデ若シ本法ニ違反スル者アル者ニハ、其規約ヲ其時ニ見テ吟味シテイケナイモノハ訂正若クハ撤回ヲ命ズル、斯ウ言明シテ居ラレルノデ能ク意味ハ判リマシタガ、併シ多クノ場合ニハ差支ナイト思ヒマスガ、現在ノ組合中ニハ本法ノ目的、届出事項等ニ違反シテ居ル規約綱領ノアルモノハ必ズシモ少イトハ言ハレナイ、是ハ實際本法施行後ニハ可ナリ問題ガ起リ得ル、是ハ餘程御注意爲サラヌト折角組合法ヲ持ヘテモ色々ナ問題ガ起ツテ來ルト思ヒマス、唯茲ニ問題トナリマスノハ、從來ノ説明ニ依リマスト本法ノ目的以外ノ組合ハ組合デアツテモ本法ノ所謂組合デナイカラ、ソレニ付テハ默認シテ居ル、斯ウ云フ事ヲ屢々言ハレテ居ル、要スルニ本法ガ施行サレテモ、是ハ本法ニ依ツテ届出ナイ組合ガ非常ニ多クアツテモ、ソレハ差支ナイト屢々言ハレテ居リマス、又西尾君ノ質問ノ言外ノ意味モ、ドウモ斯ウ大シタ恩典ノナイモノナ

ラバ届出デズニ置ク方ガ宜イデハナイカト云フ意味モ含マレテ居ル、私ノ見ル所デモ實際此組合法ダケデハ取締規定ガ嚴重デアツテ恩典ガ少イカラ、本法施行ノ曉ニ於テ、立法者ガ考ヘルト全ク違ツタ結果ヲ來タスト云フコトヲ私ハ恐レテ居ル、又ソウ云フヤウナコトハ杞憂カモ知レヌガサウ云フ感じガスル、寧ろ此規定ニ對シテハ届ケナイ方ガ宜イト云フコトガ起リ得ルト思フ、サウ云フ場合ヲ先ヅ第一ニ當局ハ御想像ナスツテ居ラレナイカドウカ

○吉田政府委員 本法ノ建前ハ前ニモ申シタト思フノデアリマスガ、届出ノ有無ニ依リマシテ本法ヲ適用スルヤ否ヤヲキメルノデハナイノデアリマス、届出ヲセズトモ労働組合ニ對シマシテハ、一切ノ本法ノ利益並ニ本法ニ規定スル制限ガ適用ニナルノデアリマス、届出ヲシテモシナクトモ適用スルノデアリマス、届出ト云フノハ既ニ出來テ居ル組合ニ對シテ届出ノ義務ヲ負ハシタノデアリマシテ、是ハ第二條ノ届出モ左様デアリマス、其他ノ規定ノ届出モ左様デアリマス、組合デアアルニ拘ラズ届出ヲシナイト云フコトニ依ツデ、本法ノ規定ノ適用ヲ免レル譯ニハ參ラヌノデアリマス、前ニ御答シタ事ガアルト存ジマスガ、唯届出義務ヲ本法ニ於テ命ゼラレテ居リマシテ、届出ノ義務ヲ怠ツタ者ニハ處罰ノ規定ヲ設ケテ置キマシテ、届出義務ヲ強制スル

ト云フ建前ヲ取ツテ居ルノデアリマス、氣ニ入ラヌカラ届出デナイト云フヤウナ意味ノ御心配ハ、法制ノ建前デハ避ケラレルコトニ致シテアルノデアリマス、適用ヲ受ケルコトヲ望ム者ガ多イカ少イカト云フ御見込ニ關シマシテハ、是亦前ニモ御尋ガアツタノデアリマスガ、本法ニ依リマスレバ、ソレニ依ル色々ナ義務モ課セラレルノデアリマスカラ、其點窮窟トモ考ヘマセウ、併ナガラ第一條ニ依ツテ公認セラレタ組合トシテ活動スルト云フコトハ、公認セラレザル本法以外ノ事實上ノ一般組合ノ如キモノトハ、餘程精神的ニ又社會的ニ於キマシテモ利益ノアル事ニ御氣ガ附カウト思ヒマスノデ、第一條ノ適用ヲ受ケル組合ト受ケナイ組合ノ間ニハ無形ノ利益トシテハ大キナ開キガアルト思ヒマス、其他組合員ノ利益ニナリマス規定モ二三アリマスコトハ御承知ノ通りデアリマス、私共ハ必ズシモ本法ノ適用ヲ受ケルコトヲ多クノ組合ガ苦ニスルト云フコトハナカラウト思フノデアリマス、併ナガラ是ハ見込ニ關スル事デアリマスカラ……

○松村委員 私ハ本法ガ出來テモ恩典ガ少ナケレバ現在ノ組合、將來起リ得ル組合ハ何トカ本法カラ逃レヤウトスルコトガ止ムヲ得ザル人情デアルト思ヒマス、是レ本法ガ同僚各員カラ指摘サレタル缺陷アル故デアリマス、ソレ故ニ

今日在ルモノデモ、將來ノモノデモ、本法ノ規定ヲ受ケザラントスルニハ譯ハナイ簡單デアリマス、第一條ノ目的ニ反シテ本法ニ適合シナイ目的ヲ拵ヘサヘスレバ、本法ニ所謂労働組合デナイヤウナ事ニナリ得ル、又サウ云フヤウナ事ヲ希望シテ本法ノ適用ヲ受ケナイ組合ガ非常ニ多ク出来ルト云フコトハ想像スルニ難クナイ、是ハ私バカリデナイ、組合ノ多數ノ人々ニ聽イテ見マシテモ餘リ大シタ恩典ガナイカラ、何トカ此法規ニ觸レナイヤソニト考ヘテ居ル人ガ少クナイノデアリマス、今西尾君ハ此席ニ居ラヌケレドモ此間カラ話シタ所デハ、折角組合法ガ出来マシテモ、此規約ヲ如何ニシテ免レルカ如何ニシテ免レル組合ヲ作ランカト云フコトニ苦心スルト云フヤウナコトデアツテハ、本法ノ施行ノ目的ガ達セラレズ何等ノ效果モ奏サナイ、少クトモサウ云フ虞ガアルト云フコトハ明白デアリマス、即チ本法ハ不完全デアル、本法ハ組合ニ十分恩典ヲ浴セシメナイト云フ所ニ問題ガアル、況ヤ之ヲ届出デ「ブラツクリスト」ニ載セラレテ、監督サレ處罰サレル規定ノ多イ組合ナラバ、寧ロ届出ナイ方ガ實益ガ多イト云フコトハ、是ハ否定スルコトハ出来ナイ問題デアリマス、ソコデ必ズ本法施行ノ曉ニ第一條ノ目的ニ適合シナイコトヲ拵ヘテ届出ナイ組合ガ非常ニ多ク出来ルトハ想像デナイ、現

ニ組合ノ人モ言ツテ居ル、故ニ此第二條ノ規定ニ付テハモウ少シ考慮ヲ要スルノデハナイカト思フデアリマス、要點ハ本法其モノニ缺陷ガアルカラサウ云フ弊害ガ生ズルデアリマス、本法其モノヲ修正シ改メナケレバ其弊害ヲ除クコトハムツカシイノデアリマス、少クトモ此第二條ノ規定ニ何等カノ考案修正ヲ必要トスルト思フデアリマスカ、如何デアリマスカ

○吉田政府委員 之ニ付キマシテハ二ツノ規定ノ建前ヲ想像シ得ルト思フデアリマス、此法制ニ規定シテアリマスヤウナ、届出ヲ以テ義務トスルコトヲ組合ノ成立要件トシナイト云フ建前ガ一ツデアリマス、私共ソレガ宜シト考ヘテ斯様ニ立案致シテアリマス、今一ツハ届出タモノニ限ツテ組合法ヲ適用シヨウ、届出デザルモノニハ適用シナイト云フコトニ致シマスルト、望ム者ニ適用シ望マザルモノニ適用シナイト云フコトニナリマス、ソレデモヤハリ御話ノヤウニ望マザルモノガ大部分デアリマスレバ、丁度御話ト同ジヤウナ結果ニナルノデアリマスカレドモ、併ナガラ此労働組合法ノ建前ヲ何處ニ置クカト云フコトデ決スベキ問題デアルト思フデアリマシテ、此法制ノ建前ト致スベキハ、労働組合ト云フモノヲ法ノ上デ認メテ、サウシテ労働組合ニ對シテ現在ノ社會トシテノ必要ナル保護ヲ與ヘル

ト同時ニ、又労働組合ニ對シテ據ルベキ基準ヲ與ヘル、行動ノ最大ノ限界ヲキメテ其範圍外ニハ超シテハナラヌ、又行動スルニ付テハ是レノ規律ニ從ヘト云フヤウナ基準ヲ與ヘル、此二ツノ事ガ労働組合法ノ制定致スニ付テノ必要ナコトデアルト考ヘルデアリマス、保護ダケヲ與ヘテ基準ヲ與ヘナイノモ宜シクアリマセヌ、基準ダケヲ與ヘテ何等保護ハ與ヘナイト云フコトハ組合立法ノ趣旨ト違サカリマスガ何レモ必要ナコト、考ヘルデアリマス、基準ヲ與ヘルト云フ立場カラ考ヘマスレバ、凡ユル組合ニ對シテ總テ基準ヲ與ヘルコトガ望マシト考ヘルデアリマス、保護ヲ與ヘルト云フ立場カラ考ヘマスナラバ、國家ノ望ム所ノ組合ニ對シテ保護ヲ與ヘルト云フコトデ足リル譯ナノデアリマス、此二ツヲ調節致シマシタノガ此規定ノ建前デアルト考ヘルデアリマス、デアリマスカラ組合法ノ適用ヲ受ケルコトハ同時ニ先程カラモ申ス通り一定ノ保護ヲ受ケルト同時ニ規律統制ヲ受ケルト云フデアツテ、サウシテ此法ニ規定スル範圍ニアルモノニ對シテハ當人ノ望ムト望マザルヲ問ハズ、統制ヲシヨウト云フコトニナルノデアリマスカラ、此種ノ二ツノ目的ヲ併セ行ハウトスル爲ニ、又其二ツノ目的間ニ最モ都合ノ好イ調節ヲ保ツコトノ爲ニハ、斯ウ云フ建前ノ方宜シト考ヘテ居ルノデアリマ

ス

○松村議員 保護ト基準ト言ハレマスガ、組合ソレ自體ノ人ハ保護トハ思ハナイ、其所ガ政府ト組合ノ人ノ見方ノ違フ所デアル、保護ラシキ保護規定カ十分ニナイカラ、ソコデ保護ト基準ノ中、保護ハ大シテ問題ニナラナイ、非常ニ是ニ依ツテ恩惠ヲ受ケルト政府ハ見テ居ルガ、組合ノ方ハサウト思ハナイ、保護ハ問題ニナラナイ、基準ダケガ問題ニナル、故ニ尙ホ多少徹底シテ保護ヲ與ヘ之ト同時ニ基準ヲ一層ハツキリサセヨウト云フ所ニ歸著スル方方宜シイノデハナイカト思ヒマスガ此點ニ關スル各國ノ立法例デアリマスガ、政府ノ出シタモノヲ讀ミマシテモ色々違フヤウデアルガ、佛蘭西ノ如キハ、組合ハ定款名稱ノ如何ヲ問ハズ其氏名ヲ届出ルコトヲ要ストナツテ居ツテ絶對規定ノヤウニナツテ居ル、佛蘭西ノミナラズ、其外ノ國ニ於テモ絶對規定ノモノガ随分少クナイ、即チ組合デアル以上ハ目的ノ如何ヲ問ハズ之ヲ届出サセルト云フコトガ、是ガ基準ヲ與ヘ監督上カラ非常ニ宜イヤウニ思フデアリマスガ、其點ハ如何思ハレマスカ——私ノ言葉ガ足リナカツタガ、佛蘭西ノ目的ノ如何ヲ問ハズ管理又ハ指導者ノ氏名ヲ届出ルコトヲ要スト云フ絶對規定デアル、其外ノ國ニモ斯ウ云フヤウナ絶對規定ノアル所ハマダ澤山アル、中華民國ノ如キ必ズ

認可ヲ受クベシト云フ認可規定デナクトモ、佛蘭西ハサウ云フ規定ヲ設ケテ居ル、外ニモマダアリマス

○吉田政府委員 佛蘭西ノ組合法ニ於キマシテモ御承知ノ通り組合ト云フモノ、定義ハキメラレテ居ルノデアリマス、殊ニ第一條ノ目的ニ關シテ規定ヲキメテ居ルノデアリマス、佛蘭西法ノ第三條ニアリマスノハ設立者ハ定款其他名目ノ如何ヲ問ハズト云フ意味ト考ヘマス、表面ニ何ト書イテアラウトモ、此組合法ニ該當スルモノハ届出ヲ要スルト云フノデアリマス、日本ノ法律ニハサウ云フ名目ノ如何ヲ問ハズトカ、名義ノ何タルヲ問ハズト云フ字ハハイツテ居ナイガ、苟モ第一條ノ組合法ノ適用ヲ受ケル組合デアラバヤハリ届出ノ義務ガアル、名目其他ニ偽ガアルトカ、或ハ間違ツテ居ルトカ、或ハ法制ノ規定ニ違背スルトカ云フヤウナコトデアラナラバ、ソレヲ正シク書直スナリ、或ハ變更ヲ命セラレル、サウ云フヤウナコトガ起ツテ來ル、名義ニ依ツテ免レラレナイト云フ趣旨ガ佛蘭西法第三條ノ趣意デアルト思フ、或團體ニ對シマシテ規則ヲ設ケテ届出ヲ命ズル場合ニ於キマシテハ、ドウシテモ其團體ノ目的本質ト云フモノヲ最初ニキメテ、ソレ等ノモノ、届出ヲ要スルト云フコトデアナクテハナラヌコトハ何レノ國ノ法制ニ於テモ同様デアラウト思フ、佛蘭西法ノ第三條ハサ

ウ云フ廣イ意味デ一切ノ労働組合ハ此法律ヲ離レテ居テモ何デモ組合ナラバ一切届出サセルト云フヤウナ趣意ト考ヘナイ前ノ社會局私案ニ於キマシテハ單ニ労働條件ノ維持改善ノミヲ目的トスル組合ガ認めラレテ居ツタガ、理論的ニハ是ヨリ或ハ廣イ範圍ニ適用サレルカモ分リマセヌ、併ナガラ前ニモ御説明申シマシタヤウニ、労働條件ノ維持改善以外ニ多クノ組合ニ於テ組合員ノ共濟修養其他共同利益ノ保護増進ニ付テ何等カノ仕事ヲシテ居ルノガ常態デアル、實際ニ於キマシテハ適用組合ノ數ト云フモノハ前ノ社會局案ノ場合ト今回ノ場合ト事實違ハヌト思フガ、併シ建前ノ上ニ於テハ違ヒ得ルコトニハナツテ居ル、大體組合ト云フ本體ヲ備ヘテ居レバ届出ネバナラヌト云フ義務ヲ負ハセル建前ヲ採ルノガ宜シト思フ

○松村委員 佛蘭西法第三條ハハツキリ「職業組合ハ」ト書イテアツテ此労働組合以外ノコトハ何ニモ書イテアリマセヌ、今長官ノ説明ノ一般組合ノコトハ第三條ニ書イテ居ル、而モ其届出ハ指導者又ハ定款ニ變更アル毎ニ之ヲ更新スベシト云フヤウナ嚴重ナ規定デアル、労働組合以外ノ一般組合ノ規定デハナイ、更ニ佛蘭西法第一條ト日本ノ第一條トハ違ツテ居ル即チ經濟上、工業上、商業上並ニ農業上ノ利益ヲ研究保護スルト云ツテ、組合ノ目的ガ非常ニ茫漠

廣汎デアルカラ、労働組合ハ如何ナル組合デアツテモ第一條ノ規定ニ當嵌マルノデアリマス、其處ガ違フ日本ノ組合ハ細カク書イテ居ルガ爲ニ第一條ニ當嵌ラヌ組合ガ澤山出來ル届出デナクテモ宜イト云フ組合ガ澤山出來テ來ル、佛蘭西法ト日本トハ根本的ニ違ツテ居リマス、佛蘭西ハ皆絶對ニ届ケサセルト云フ趣旨カラ第一條ト第三條ニ關聯ガアル、日本ハ第一條ヲ細カク規定シテ居ルカラ、ソコデ届出ノ問題ガ面倒ニナルノデアリマスカラ、只今ノ佛蘭西ノ説明トハ全ク違ツテ居リマス、其間ノ連絡ニ付テハ佛蘭西ト日本トハ立法ノ精神ガ全ク違ツテ居リマス

○吉田政府委員 此佛蘭西法ノコトハ詳シク申上ゲズトモ十分御承知ダト思ツテ實ハ申上ゲマセヌデシタガ、佛蘭西デ職業組合ノ目的ヲ第一條ニ規定シテ居リマスルト共ニ、第二條ニ「同一若ハ類似ノ職業、特定ノ生産品ノ製造ニ協力スル互ニ相牽連スル職業又ハ同一ノ自由職業ニ従事スル者ハ自由ニ職業組合又ハ團體ヲ組織スルコトヲ得」ト云フコトニ致シマシテ、團體ヲ組織シ得ル場合ヲ、サウ云フ所謂産業別職業別ニ近イモノニ限定致シテ居ルノデアリマス、隨テ法制ノ上ニ於キマシテハ一般組合ト云フモノハ認メラレテ居リマセヌ、事實一般組合モアルニハアリマス、ソコデソレ等ノ關係ハ日本ノ今度採ツテ居ル法制ノ建前ト

餘リ變ラナイノデアリマス、サウシテ佛蘭西法ノ適用ヲ受ケマスモノハ第三條ノ第一項ニ「職業組合ノ設立者ハ定款其ノ他名目ノ如何ヲ問ハズ組合ノ管理又ハ指導ニ任スル者ノ氏名ヲ届出ルコトヲ要ス」トアルノデアリマシテ、ソレ等ノ點デハ佛蘭西法ノ建前ト、本法ニ規定シテ居リマス建前トハ根本的ニ違ツテ居ル所ハナイト考ヘルノデアリマス

○松村委員 モウ少シ能ク御研究ヲ願ヒタイ、佛蘭西ノ第一條ト日本ノ第一條トハ非常ニ違ツテ居リマス、日本ノヤウニ細カク規定シテ居ラヌ、第一條ノ目的ニ付キマシテハ根本精神ガ違ツテ居リマス、隨テ第三條ノ所謂職業組合ノ設立者ト云フコトハ日本ノ第一條ニ於ケルソレト根本ニ於テ違ツテ居ル、此根本的相違ヲ前提トシマシラバ、今ノ御説明デハ諒解出來マセヌ、更ニ續イテ伺ヒマスルガ、前ノ社會局原案第二十六條ニハ、多分私ノ記憶ニ誤リガナケレバ、コンナ規定ガアツタヤウニ思フ、第一條ノ定義ニ合シテ居ラナイ、組合組織ヲ禁止ス、其定義ニ合セザル労働團體ニ對シ組合ノ名稱ヲ用フルコトヲ禁止スト、斯ウ云フ規定ガアツタノデアルガ、是ハ少シ思想ガ古過キルカラ社會局原案第二十六條ヲ修正サレタト聽ク、私ハ修正サレタ方ガ宜イト思フガ、少ク共大正十四年ニ出マス前ノ社會局

原案ニハサウ云フ嚴格ナ規定ガアツタノデアリマスカラ、是ハ餘程考ヘナケレバナラヌ、更ニ大正九年ノ農商務省案ニモヤハリ同ジヤウナ意味ノコトガ書イテアル、サウ云フヤウナ古イ思想ヲ除カレタト云フコトハ私ハ非常ニ結構ダト思フ、賛成デアルガ、併シ除ク以上ハソコニ第一條ト第二條ノ連絡ノ上ニ於テモウ少シ綿密ニ規定ガナケレバナラヌ、單純ニ今ノヤウナ規定ヲ除キマス、折角組合法ガ出來テモ組合ガ發達シナイ、ドシテモ是ハ第二條ノ規定ト全體ノ規定トガチグハグデアルカラサウ云フ問題ガ起ル、要スルニ本法ガ不完全ナル爲ニ折角斯カル規定ヲ設ケマシテモ、此規定ヲ遁レントスル組合ガ益々増加スルト云フコトハ明白デアリマス故ニ、第二條ニ關聯シテ、此點カラ見テモ本法全體ノ修正ヲシナケレバナラヌト思フノデアリマス

○添田委員長 今ノハ御質問ニナツテ居ラナイヤウデスガ……

○松村委員 要ハ全體ガ不完全デアルガ故ニ、第二條ノ規定ハ是ハ無意味デアル、全體ヲ修正スルカ、或ハ第二條ノ規定ヲ修正スルカドチラカデナケレバ折角本法ヲ施行シテモ組合モ發達セズ、本法ヲ遁レル組合ガ非常ニ多クナル、ソレデモ尙ホ長官ハ本法ハ完全デアツテ、之ニ依ツテ目的

ヲ貫徹スルコトガ出來ルト御考ニナルカ強辯ナサルカ

○吉田政府委員 實際ハ眞ノ労働組合デアツテ、單ニ本法ノ適用ヲ免レルガ爲ニ規約ノ上、或ハ綱領ノ中ニ或ル事項ヲ入レルト云フガ如キモノニ對シテハ、先程私ノ援用致シマシタ労働組合ノ規約法令ニ違背シ、又ハ公益ヲ害スルト云フ條項ニ當ル場合ガ主デアラウト思ヒマス、ソレ等ノモノハ變更ヲ命ジ得ルデアリマス、是亦届出ヲスルトセザルトヲ問ハズ、本法ノ規定ガ適用ニナリマス以上ハ、届出ヲ致シマセズトモ、此第十七條ヲ適用スルノハ少シデ差支ハナイデアリマス、又先程カラノ御尋ノ本法ノ適用ヲ免レントスル組合ノ方ガ大部分デアラウト云フコトハ、是ハ御推測デアリマセウガ、私共ノ推測スル所デハサウ云フモノモ無論アリマセウケレドモ、ソレガ大部分デアルトハ考ヘラレナイデアリマス、尙又第二條ノ規定ノヤウナ趣旨ノ、届出主義ト云フモノハ、組合ニ基準ヲ與ヘルト云フ立場カラ考ヘテ、殊ニ此趣旨ニ重キヲ置カナケレバナラヌト考ヘルノデアリマシテ、決シテ強辯デハアリマセズ、左様ナ建前ガ宜シイト考ヘテ居ルデアリマス、ソレカラ尙ホ申添ヘテ置キマスガ、社會局原案ト云フモノニ組合ノ禁止ノヤウナ規定ガハイツテ居ツタト云フ御指摘デゴザイマスガ、私共左様ナモノヲ世間ニ發表致シマシテ世間ノ意見

ヲ問ウタトカ、議會ニ提案シタコトガナイト云フコトハ確ニ申上ダレマス、内輪ニ或ハ研究ノ段階トシテサウ云フモノガアツタカト思ヒマスケレドモ、誰モ只今記憶致シテ居リマセヌ

○松村委員 皆新シイ方デハ記憶ナサラヌノハ御尤モデアリマス、ソレハ社會局ニ歸ツテ能ク立案サレタ人ニ聽カレ、バ成程ト肯カレル、御歸リニナツテ御調ベヲ願ヒタイ、社會局自ラハ此問題ヲ相當重大視シテ第二十六條ノ規定シタノデ、是ハ簡單ノヤウデ而モ注意スバキ問題デアリマス、故ニ重ネテ御調ベヲ願ツテ置キマス、第二條ニ付キマシテハ尙ホ伺ヒタイコトガアリマスガ、是ハ内務大臣ガ來マシテカラ、今ノ長官ノ問答ヲ基礎ニ致シテ伺ヒマス、内務大臣ガ來ルマデ保留シテ置キマス

○中谷委員 今ノ問題ニ關シマシテ、初メテ出テ來テ御尋スルノハナンデスガ、暫ク御許シテ願ヒマス、今ノ松村君ノ御尋ハ頗ル重要性ヲ帯ビタ點ト思フノデアリマス、段々ト速記録ヲ讀ンデ見マスト云フト、吉田政府委員ノ御答ニ依ルト、第一條ノ此條件ニ合致シナイ組合ハ將來ト雖モヤハリドシノ成立シ又増加スルカモ知レヌト云フヤウナ御答ノヤウニ見エマスガ、サウシテヤハリ質問應答ノ内容ヲ見マスト云フト、本法ニ於テ労働組合ハ殆ド何等ノ保護ヲ

衆議院委員會労働組合法案外一件委員會第九回

受ケテ居ラヌト云フコトニ相成ツテ居ルヤウデアリマス、現ニ各委員ノ御質問ニ依ツテモ、労働組合ト云フモノハ本法ニ於テハ第十三條ニシカ保護ノ規定ハナイカト云フ質問ガアリマシテ、ソレニ對シテサウデヤナイ、保護ノ規定ガアルノデアルト云フ御答モナイノデアリマスカラ、結局保護ヲ受ケナイヤウナ労働組合ハ今後改メテ組合トシテ、ソシナ束縛ヲスル必要ガナクナルト思フノデアリマス、サウシマス、先程松村君ハ今ノ十六條デアルカ、第一條ト申シマスガ、此條件ニ合シナイモノハ組合タル名稱ヲ用キテハイカヌト云フ、洵ニ是ハ保守的ノ意見デアルカモ知レマセヌガ、併シ保守的デアラウガ何デアラウガ、別ト致シマシテ、サウ云フ規定ガナイナラバ、一切労働法ト云フモノハ、制定ノ趣旨ガ分ラヌト思フ、何ノ必要アツテ労働法ヲ御制定ニナルノデアリマスガ、此労働法ニ依ツテ労働者ハ何等ノ保護ヲ受ケナイ、受ケレバ第十三條ノ「唯労働組合ノ組合員タルノ故ヲ以テ之ヲ解雇スルコトヲ得ズ」ト云フ規定ダケデアアル、而モ組合ニ這入ラナクテモ、組合トシテ存立ガ出來ルナラバ、是ハ労働法ヲ作ル理由ガ分ラナクナル、ドウ云フ一體目的ヲ以テ労働法ヲ御作りニナルノデアルカ、是ハ根本的ノ問題デアリマスガ、ドウモ今日マデ質問應答ヲ速記録ヲ拜見致シマシテモ不明瞭デアルト思ヒマ

スノデ御答ヲ載キタイト思ヒマス

○吉田政府委員 此勞働組合法案ノ制定ノ目的ニ關シテハ當初カラ再々内務大臣カラモ御説明ニナツテ居ルノデアリマスルガ、勞働組合ニ對シマシテ——無論結社ノ自由ト云フコトハ憲法ニ保障セラレテ居ルノデアリマスルカラ、勞働組合ノミナラズ、他ノ結社ガ法律命令ニ違背セザル限リ自由ニ出來得ルノデアリマスルケレドモ、勞働者ガ第一條ニ掲ゲテアリマスルガ如キ目的ヲ以テ團結ヲ致シマシテ、サウシテ銘々ノ自治的ニ利益ヲ保護増進シヨウト云フコトニ對シマシテハ一方社會的ニ可ナリ障害ガアルノデアリマス、ソレハ我國ノミデハアリマセヌ、勞働運動、勞働團體ノ結成ト云フコトニ關スル障害ガアル、又其運動ニ付テモ色々ナ障害ガアル、ソコデ此法律ニ於キマシテ勞働組合ト云フモノヲ認メテ、サウシテ勞働組合ニ加入スルコトニ對スル社會上ノ左様ナ障害ヲ除クト同時ニ無軌道無制限ニ、結合ヲ結成サレテモ又組合ガ無軌道無制限ニ活動セラレテモ困リマスノデ、ソレニ對シテ據ルベキ一ツノ基準ヲ與ヘタ、此二ツガ最モ重大ノ本法立案ノ趣意デアリマス、隨テ只今ノ松村サンノ御尋ノ中ニモアリマシタヤウニ、届出デ、希望スルノデナクトモ、基準ヲ與ヘルト云フ意味カラ其組合ニ對シテ組合法ヲ適用スルト云フ必要モ起ツテ來ルノ

デアリマス、望ムカラ保護ヲ與ヘル、望マナイカラ保護ヲ與ヘナイ、望ムカラ基準ヲ與ヘル、望マナイカラ基準ヲ與ヘナイト云フヤウコトマデハ國家ノ建前トシテ致スコトハ出來ナイノデアリマス、尙ホ私ガ前ニ御答ヲ致シマシタ本法適用外ノ組合ト云フモノガアリ得ルデアウト云フ答辯ニ對スル御批評ガアツタノデアリマスガ、本法適用外ノ組合ト申シマスルノハ第一條ノ初メノ組合ノ目的デアリマス、「勞働條件ノ維持改善及組合員ノ共濟、修養其ノ他共同利益ノ保護増進ヲ目的トスル」ト云フ點カラ申シマスルナラバ多クノ組合ニ於キマシテ大抵皆此目的ニ合致シテ居ルノデアリマス、現在アリマスル組合ハ勞働條件ノ維持改善ト云フコトハ無論組合トシテハ目的トシテ書イテアリマセウガ、アリマスマイガ、ソレヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、其他ニ於キマシテ尙ホ勞働條件ノ維持改善トハ違ツタ方面カラ、銘々保護増進ヲスルト云フコトハ組合運動ノ自然ノ傾向デアリマスノデ、ソレハ持ツテ居リマス、唯此法制限致シマシテ、ソレ等ノ組合ニハ本法ヲ適用シナイト云フモノガ著シク——此法案デ設ケラレマシタ點ハ、同一又ハ類似ノ職業又ハ産業ノ勞働者ノ團體、所謂産業別、職業別ノ區別ナノデアリマス、是ハ産業別職業別ナイ組合モ只今マデ二百程アリマス、ソレハ今マデアリマスル經

過規定ニ依ツテ認メテ、産業別、職業別タラズトモ今ノ基準ヲ與ヘルト云フ建前カラ致シマシテ、本法ガ適用サレマスルナラバ、本法ヲ適用後ニ於キマシテハ産業別、職業別組合以外ノ所謂一般組合ト云フモノガ新タニ出來マシテモ、ソレニ對シテ本法ハ適用セラレナイノデアリマス、本法ノ所謂勞働組合デハナイノデアリマス、併ナガラサウ云フモノガ絕對ニ出來ヌガラウト云フコトハ無論私ハ請合ヘヌト思ヒマス、サウ云フモノハ多少アルト思フノデアリマス、法ニ斯様ナ基準ヲ示シ、又産業別職業別組合ニ限リマシテ本法ノ利益ヲ與ヘルト云フコトニ致シテアリマスノデ、本法規定ノ趣旨カラ申シマシテ、又實際ノ今マデノ組合運動ノ發達ノ傾向カラ致シマシテ、一般組合ト云フノハ皆ナ非常ニ小サナ組合ガ多イノデアリマス、數ハ相當アリマスガ、組合員數ト云フモノハ少イノデ、組合運動ノ極ク初期デアリマス、各地方々々、何町々々、何村々々ノ勞働組合ト云フヤウナコトデ出來ルモノガ大部分デアリマスノデ、一定ノ確實サヲ持ツテ至リマスレバ、ソレハ必ず大體ニ於キマシテ産業別職業別ニ分化スルノハ組合運動ノ自然ノ傾向デアリマス、隨テ恐ラク産業別職業別タラザル一般組合ガ殖エルダラウト云フヤウナコトハアリマスマイカト思ヒマス、只今デモ一般組合ト云フモノハ絶エズ産業別職

業別ニ分化シツ、アルノデアリマス、一向本法ノ趣旨トスル所、目的トスル所ガ不明瞭デアルトハ考ヘマセヌノデアリマシテ、是ハ再々ノ機會ニ内務大臣カラモ私カラモ既ニ申上ゲテアルコトデアリマスガ、折角ノ御尋デゴザイマスカラ、極ク概要ヲ申上ゲテ置キマス

○中谷委員 是モヤハリ委員カラ色々質問セラレテ居リマスガ、此無産黨ニ屬スル人々ノ意見トシテハ、本法案ハ却テ保護ノ性質ヨリモ取締ノ性質ヲ持ツノデアルカラ、反對デアルト云フ意見ガ多イノデアリマスガ、サウシマスルト、マサカサウ云フ惡意ヲ持ツテスル人ハナカラウト思ヒマスルガ、現在アル此一般の組合ハ即チ職業別産業別ナイ所ノ一般組合、現在アル組合ハ本法ノ適用ヲ受ケテ、而モ殆ド保護目的ノ規定ガナクシテ、取締的ノ拘束的ノ規定ガ多クシテ、サウシテ勞働運動ノ爲ニ不便デアル、寧ロ本法ノ適用ヲ受ケナイ方ガ宜シト云フ考ヲ持チマシテ、現在アル組合ガ解散ヲ致シマシテサウシテ新ニ此第一條ノ目的ノ一部分デアルトカ或ハ此目的ニ反シマシテ、所謂職業別産業別ト云フコトヲシナイデ、一般の勞働組合ヲ作ツタト云フヤウナ場合ガアツタナラバ如何致シマスカ、是ハサウ云フコトガ絕對ニナイト云フコトモ言ヘヌト私ハ考ヘマスガ、即チ本法適用後ニ於テ一般の組合ガアル、其組合ハ

本法ニ依ツテ、労働組合ト看做サレル、サウシテ労働組合ノ規定ニ依ツテ色々取締ヲ拘束ヲ受ケル、ソレガ不便デ仕方ガナイカラト云フテ一遍解散手續ヲ取りマシテ、組合法ニ依ラザル組合ヲ作ルト云フコトガアリ得ルト思ヒマス

ソレカラ第十三條ガ唯一ノ保護規定デアルト言ハレマスルガ、茲ニ所謂労働組合ノ組合員タル故ヲ以テ——労働組合ト云フノハ今ノ御話デアリマスルト、本法ノ所謂労働組合デアルト云フ御話デアリマスカラ、即チ是ハ本法ニ依ル組合員デナイ以上ハ、ヤハリ第十三條ノ規定ノ適用ハナイト考ヘマスカラ、組合ト云フモノヲ拵ヘテモ、其行動ヲ羈束セラレル不利益コソアレ、他ニ意味ハ殆ドナイ、ソレデ誰ガ一體サウ云フ拘束ヲ受ケル組合員ニナル希望ヲ持ツカ、是ハ最モ重大ナ問題デアルト思フノデアリマス、實益ガナイヤウナ法律ヲ作ツテ、而モ法律ヲ受ケナイヤウナ組合ガ澤山出來ル、或ハ現在アル本法ニ合致シタル組合ガ解散手續ヲシテ、新ニ本法以外ノ組合ヲ作ルト云フ結果ガ現ハレマシタラ、折角御希望ノ立法ノ趣旨ト云フモノハ貫徹セラレヌコトニナリハセヌカト思ヒマス、同ジコトノヤウデアリマスガ、尙ホモウ一ツ御考ヲ伺ヒタイ

○吉田政府委員 第一段ノ御尋ニ付キマシテハ、經過規定ノ明文ニアリマス通りニ、經過規定ノ第二項デアリマス、

第一項ニ施行ノ期日ヲ定メテ居リマス、第二項ニハ第一條ニ掲ゲル事項ヲ目的トスル労働者ノ團體又ハ其聯合團體ニシテ、本法施行ノ際、本法施行前ニ現ニ存スルモノハ本法ノ労働組合ト看做スト云フノデアリマス、前ニ解散致シテ居リマシテモ、十一月一日ニ現存……

○中谷委員 其後ニ解散シタラドウナルカ

○吉田政府委員 其後ニ解散スレバ組合ハ消滅致シマス、ソレハ經過規定ノ間デハナイノデアリマシテ、其後ハ此經過規定ノ有ルト無シト問ハズ、組合法ノ適用セラレマシタ後デ解散シタ組合ハ解散ノ届出ヲ要シマス、サウナレバ一遍組合ハ無クナリマスガ、併シ事實解散ハセズニ、解散シタルガ如ク装フト云フノデアリハ解散ニハナラナイノデアリマス

○中谷委員 解散ヲシテ復タ組合ヲ作ツタラ……

○吉田政府委員 ソレハ規定ノ關スル所デアリマセヌ

○中谷委員 作ツタ場合ニドウスルカト云フノデス

○吉田政府委員 作リマシテモ本法ノ適用ヲ受ケナイ、アナタハ第十三條ヲ非常ニ輕ク御考ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、労働組合ニ加入シタルノ故ヲ以テ解雇セラレルト、労働組合ニ加入シタルノ故ヲ以テ解雇出來ナイノトソレハ大變ナ違ヒデアリマス、ノミナラズ私ハ決シテ第十三

條ノミガ組合員ノ受ケル利益デアルト云フコトハ、曾テ御説明申上ゲタ覺エハアリマセヌ、第一條ニ依リマシテ、法ノ上デ認めラレタ法認ノ組合デアルト云フコトモ、一ツノ利益デアリ、又其他第十三條以外ニ於テ、労働組合ノ各種ノ免稅ノ規定デアルトカ、産業組合法等ノ面倒ナ手續ニ依ラズシテ色々營利的施設ノ出來ル事トカ、法人ニナルコトノ出來ル利益デアルトカ、擧ゲレバ數多ノ利益ガアリマスカ、其中デ最モ實質的ノ利益ハ第十三條デアルト申シテ居ルノデアリマス、労働者ノ方カラ申シマスナラバ、労働組合ノ結成ニ對スル保護ノ愈々厚カラントヲ希望スルノハ無理カラヌコトデアリマス、併ナガラ労働問題産業問題ヲ考ヘマスル際ニ、労働者ノ保護ノミニ著眼スル譯ニハ參ラヌ、是ハ御諒解ニ難クナイト思フ、又ソレニハ一定ノ限界ガナケレバナラヌ、又如何ナル組合ニ對シテ保護ヲ與ヘルカト云フコトニ對シテモ一定ノ限界ガアルコトハ極メテ當然デアルノデアリマス、又同時ニ労働者トハ常ニ利害關係ニ於テ反對ノ立場ニ立ツテ居ル人ハ、労働者ノ團結權ト云フモノニ對シマシテ出來ルダケ制限ガ多イ方ヲ望マレルト云フコトモ極メテ自然ノ傾向ナノデアリマス、又規律ヲ多クシヨウ、制限ヲ多クシヨウ、産業上ノ實際上ノ理由ニ基イテ左様ナ主張ヲセラレルノモ極メテ自然ダト考ヘマ

ス、國家ト致シマシテ其間ニ立チマシテドウ云フ制度、ドウ云フ規定、ドウ云フ制限、ドウ云フ保護ガ最モ中正デ適當デアルカト云フコトヲ判斷シナケレバナラヌノデアリマシテ、此組合法案ニ規定シテアリマスル程度ハ、保護ト致シマシテモ統制ト致シマシテモ適當ナルモノト考ヘマシテ、茲ニ立案シタモノデアリマス

○中谷委員 御尋シタイコトガアリマスケレドモ、松村君ノ御質問ヲ妨ゲマスカラ次ノ機會ニ譲リマス

○松村委員 第二條ノ質問ヲ終リマシテ、第三條ニ移リマス、第三條第七ニ「代表者其他ノ役員」トアリマスガ、是ハ第三條ニ限ラナイノデアリマスケレドモ、本法ハ用語ガ非常ニ不統一デアル、或ハ代表者ト言ヒ、或ハ理事ト言ヒ、或ハ役員ト言ヒ、非常ニ用語ガ不統一デ不徹底デアルガ爲ニ、是ハ將來色々當該主務官廳ガ取扱上非常ニ不便ガ起リハシナイカ、茲ニ申シマス代表者ト云フ意味ハドウ云フ意味デアリマスカ、ト云フノハ組合ノ規約其他ニハ代表者ト云フコトヲハツキリ規定シテ居ラナイモノガ澤山アル、何ヲ代表者ト本法デ言ハレルノカ、先ヅソレヲ伺ヒマス

○吉田政府委員 用語ハ不統一デナイト思ヒマス、理事ト申シマスノハ法人組合ノ執行機關デアリマスル理事ノコト

ヲ申シテ居リマス、理事モ代表権限ガアリマスルカラ法人
 労働組合ニ付キマシテハ理事ハ代表者ニナルノデアリマ
 ス、茲ニ代表者ト書イテアリマスノハ理事ノミニ限ラズシ
 テ組合ヲ代表スル者ト云フ意味デアリマス、代表者ト致シ
 マシテハ法人ニ付キマシテハ事實理事ガ代表デアリマスカ
 ラ問題ガナイノデスガ、法人以外ノ組合ニ於キマシテ、何人
 ガ代表スルカト云フコトハ、ソレハ此處ニアリマスル代表
 者其ノ他ノ役員ニ關スル規定デ取極メラレルベキコトナ
 デ、殆ド總テノ組合ニ於テ代表者ト云フモノハ定マツテ居
 ルト思ヒマス、組合員ガ組合ノ行動ヲスル上ニ於キマシテ、
 代表者無クシテ行動シ得ルト云フコトハ實際出來ナイノデ
 アリマスカラ、ソレニ關スル規定ヲ設ケルヤウニ此第三條
 デ規定シテアルノデアリマス、何人ヲ代表者トスルカト云
 フコトハ規約ニ記載シナケレバナラヌト云フコトニナツテ
 居リマス、其規約ニ依ツテ代表者ガ如何ナル手續ニ依ツテ
 ドウシテ定マルカト云フコトガ定マルノデアリマス、定メ
 ル手續等ニ付キマシテハ法人ノ場合ハ別ト致シマシテ、
 一般ニハ拘束ヲ致シテ居リマセヌ、ソレニ關スル規定ヲ設
 ケルコトヲ命ジテ居ルノデアリマス、代表者以外ノ役員ト
 致シマシテハソレハ色々種類ノモノヲ規定シ得ルノデア
 リマス、先達テ或ル労働組合ノ規約ヲ御讀上ゲニナリマシ

タガ各種ノ役員ト云フモノヲ定メテ居ルノデアリマスガ、
 役員ノ種類ハ何ト何ニ限ルト云フ細カイコトヲ規定致シマ
 セヌシ、如何ナルモノヲ役員トスルカト云フコトハ、代表
 者以外ニ於キマシテモ組合ノ自由決定ニ委シテ居ルノデア
 リマス、無論此規定ガ不明瞭デアルト云フナラバ、明瞭ニ
 シテ貫ハナケレバナリマセヌ、其規定ガ本法ノ精神ニ反ス
 ルヤウナ規定デアリマシタナラバソレハ變ヘテ貫ハナケレ
 バ、ナラヌノデアリマス、サウデナイ限りハ組合ノ自治ニ委
 セルト云フ趣旨デゴザイマス

○松村委員 此間モ例ニ上ゲタ通り役員ニ關スル規約ガ十
 數箇條モアリ、何百人ヲ網羅シテ如何ナル者ガ役員デア
 ルカ分ラナイモノガアリマスガ、是ハ届出デル時ニドウ云フ
 程度マデ役員ト届出デルカ知ラヌケレドモ、中々實際ノ點
 カラ申シマスト手續ノ上ニ於テ可ナリ面倒デア
 ル、又代表
 者ト云フモノハ法人ハ成程理事決メマスケレドモ、法人
 以外ノ組合員ニ付キマシテハ總會ノ決議事項ニシテ置カヌ
 ト、誰ガ代表スルカ分ラヌ、争ガ絶ヘヌ、イヤソナ事ハ
 ナイ、俺ガ代表者デア
 ル、此頃ノ過渡期ノ日本ノ組合ノ中ニ
 ハ代表者ニ關スル争ガ多イノデ、ソレガ分裂ノ動機トモナ
 ルコトガ多イ、是ハ組合ノ内部ノ事デアリマスカラ、立法
 上ソコマデ踏込ムコトハ出來ナイケレドモ、矢張此理事ト

カ、代表者ノ選任方法ニ付キマシテハ、組合内部ノ規定ガ
 ナイモノガ多イカラ、何カ總會ノ決議事項ニスルトカ、何
 トカ、ソコニ規定シテ置ク方ガ宜イノデハナイカト思フノ
 デアリマスガ、ソレ迄ヤル必要ハ毫モナイト御考デアリマ
 スカ

○吉田政府委員 代表者ノ明瞭デアルト云フコトハ、役所
 ニ取リマシテノミナラズ組合ニ取ツテモ最モ必要ナコト、
 思ヒマス、ノミナラズ第二條ニ於キマシテモ、總テノ場合
 ニ組合ノ代表ト云フモノハ、組合ニ取ツテ最モ重イモノナ
 ノデアリマスルカラ、代表者ノ決定ノ仕方ガ不明瞭デア
 ルト云フコトハ、餘リ心配ヲ置ク必要ハナイト思フノデア
 リマス、現ニ代表者ヲ何人ニスルカト云フコトハ、現在行
 レテ居ル労働組合ニ付テ見マシテモ、非常ナ明瞭ナ規定ヲ
 置イテ居ルノデアリマスガ、選任ノ手續規定ニ付キマシテ
 ハ、ソレハ總會ノ決議ニ依ルトカ、何トカ云フ方法デア
 リマセウガ、ソレハ總會ノ決議ニ依ツテヤルモノデア
 リマセウシ、其他モアリマスガ、ソレハ斯ウ云フヤウニス
 ルト、規定スル必要ハアルマイト思フ、ソレ等ノ規定ハ組合ノ規
 定トシテ必要ナコトハ勿論デアリマスノデ、代表者其他役
 員ニ關スル規定ヲ設ケシムルト云フコトニナツテ居ルノデ
 アリマス、其規約ト云フモノハ届出ヲ要スルノデアリマス

カラ、此程度ノ決メ方ガ最モ妥當ナ所ダト思ヒマス、是デ
 不明瞭ニナルヤウナコト、ハ思ヒマセヌ

○松村委員 意見ノ相違デアツテ強ヒテ御伺致シマセヌ
 ガ、ヤハリ法人ト爲スカ、爲サヌカト云フ事、組合ノ代表
 ヲ決定スルト云フコト、此二ツノ事項ハ少クトモ第八條ノ
 總會ノ決議事項、若クハ總會ノ決議事項トシテ置ク方ガ
 明瞭デアリ、是ハ組合自身ノ爲ニモ本法施行ノ曉ニモ非常
 ニ便宜ガ多イト思フ、併シ強ヒテ是ハ固持スルモノデア
 リマセヌガ、左様ニシタ方ガ宜イト思ヒマスカラ、一應茲
 ニ申上ゲタノデアリマス

○吉田政府委員 一寸私申添ヘテ置キタイト思ヒマスガ、
 個々ノ代表者、一人々々ヲ決メルコトハ總會ノ決議事項デ
 ハナイノデアリマスケレドモ、先ニ參リマシテ、第八條ニ
 付テ御覽ニナリマス通りニ、代表者ノ定メ方ハ是ハ規約ニ
 決メサセテ居ルノデアリマス、代表者ニ關スル規定、サウ
 シテ其組合ノ規定ヲ變更スルト云フコトハ、第八條ニ依
 リマシテ、總會ノ決議事項ニナツテ居ルノデアリマス、サウ
 云フ方法デ總會ハ規約ニ關係ヲ持テ居リ、代表者ニ關係ヲ
 以テ居ルノデアルト云フコトハ言ヘルノデアリマス、是ハ
 先程洩ラシマシタカラ申添ヘテ置キマス

○松村委員 規約ヲ變更スルコトハアルケレドモ、規約ヲ

定メルコトハ決議事項ニナツテ居ラナイ、是ハ第三條ニ規約ヲ變更スル場合ハ總會ノ決議事項ニナツテ居リマス、規約其モノハ全然總會ニ關係ガナクナル、株式會社デモ其他ノ法人ノ場合デモ、規約ヲ定メルト云フコトハ總會ヲ開カズニ決メルト云フコトハオカシト思フ、變更事項ダケナラバドウモ今ノ説明デ益々却テ分ラナクナツテ來マシタガ、如何デアリマスカ

○吉田政府委員 只今ノハ設立ノ時ノ場合ニ該當スルト思フノデアリマス、設立ノ手續ノコトハ此處ニ書イテアリマセヌガ、組合ノ設立ト云フコトハ組合ト致シマシテ、最モ重イコトナノデアリマス、設立ノ場合ニハ丁度出來上ツタ組合ノ總會ニ該當スルヤウナ手續ヲ經ルノガ極メテ普通デアルト思ヒマス、サウシテ設立ノ際ニハ届出ヲ要スル其届出ニハ規約ヲ加ヘテナクテハナラナイノデアリマス、ソレハ第二條ニ規定シテアルノデアリマス、二週間以内ニ設立シタラ其規約ヲ届出ル、其規約ト云フモノハ第三條ニ規定メテ居ルノデアリマス、設立以後ノ規約ト云フモノハ總會デ決メル、設立後ノ規約ニ較ベテ、モウ少シ重イモノト考ヘテ差支ナイノデアリマス、此組合ノ出來マスルニハ是非規約ガナケレバナラス、出來タ組合ノ規約ノコトヲ第八條ニ決メレバ足ルノデアリマス

○松村委員 然ラバ何故ニ此第三條ノ場合ニ民法ノ規定ヲ皆準用シナイノデアリマスカ、準用スル必要ハナイノデアリマスカ

○吉田政府委員 第三條ハ御覽ニナリマスル通りニ規約ノ記載事項ヲ規定シテ居リマス限リテ記載事項ヲ列擧致シテ置キマスレバ、ソレデ足リルト思フノデアリマスガ、民法ノ規定ヲ準用スルト云フヤウナ問題ヲ起サナイト思ヒマス

○松村委員 組合ノ規約變更ト云フ簡單ナ事デサヘモ組合ガ總會ノ決議事項ト決メテ居ルノデアリマス、而モ第三條ニ記載事項ヲ定メテ居ル、然ルニ總會其モノヲ拵ヘルト云フコトニダケ民法、或ハ其他ノ規定ヲ準用シナイト云フコトハ、是ハ立法ノ精神カラ言ツテ私ハドウカト思フ、簡單ナル變更事項デサヘモサウ行ツテ居リマスカラ、總會其モノニ對シテ何故ニ規定ヲ設ケズ、是ハ組合デヤツテドウ云フ方針ヲ取ラウト勝手ダト云フコトハ、第二條ニ規定スル精神カラ申シマシテモドウデスカ、立法技術ノ上カラ簡單ノヤウデアアルガ、考慮ヲ煩シタイト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○吉田政府委員 御尋ノ趣旨ガ判明致サナイノデアリマスガ、總會ニ關スル規定ノ所デ御覽ニナリマスデセウガ、總

會ト云フモノハ第八條ニ依ツテ決議事項ト云フモノヲ定メラレテ居リ、總會ト云フモノハ組合ノ最モ大切ナル機關デア

ルト云フコトハ、極メテ明瞭デテルト思ヒマスガ、總會ニ代ルベキ總代會ト云フコトヲ決メルコトモ出來ルノデアリマス、無論、規約ノ中ニモ總會ニ關スル、組合ノ構成ニ關スル規定ト云フヤウナ所デ、總會ニ關スル規定ヲ用ユルト思フノデアリマスケレドモ、何故民法ヲ準用スルト云フコトヲ御必要ト御考ニナルノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒマセヌト、一寸御答ガ致シ兼ネマス

○松村委員 私ハ創立總會ニ準ズベキ何カ規定ガナケレバ不便デアラウト思ヒマス、私モ此問題ハ突嗟ノ問題デアリマスガ、ヤハリ何カ此處ニ準用規定ガナイト云フト、幾多ノ不便ガ起ル、其結果届出タ事項ニ付キマシテ、取消ス問題ガ起ルデ、幾多ノ實際上ノ不便ガ起ルノデハナイカト心配致スノデアリマスガ、尙ホ此點ハモウ少シ、長官ニ限ラズ社會局自身ニ於キマシテ御取調ヲ願ヒマシテ、必シモ會社設立ト同ジヤウナ規定ヲ茲ニ準用シヨウトハ思ヒマセヌガ、何等カ茲ニ準用規定ヲ必要トスルヤウニ思ヒマスガ、尙ホ私モ研究致シマス社會局自身ニ於キマシテモ、此點ニ付キマシテハ、モウ一段研究ヲ願ツテ置キマス

○田子委員 委員長、今ノ第三條ニ一寸關聯シタコトデス

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第九回

○添田委員長 田子君

○田子委員 此組合ガ發達シテ、組合ニ財産ガ出來ルトツレガ爲ニ役員ノ仲間ニ大分内輪揉メナドヲ生ズルトカ、金ノ行方ガ不明ダト云フヤウナ、餘程組合發達ノ上ニ障害ノヤウナコトニナルト承知シテ居リマスガ、本法ニ依リマスルト「組合費其ノ他會計ニ關スル規定」ト云フモノガアリマシテ組合財産ノ管理ニ關スル規定ガナイヤウデアリマスガ、第十五條ニ依リマス、行政官廳ハ勞働組合ニ對シ其ノ業務若ハ財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシムルコトヲ得トアリマス、財産ノ狀況ハ報告サセルコトガ出來ルガ、此管理ニ付テハ何等ノ届出モサセズニ居ラレルノハ、何カ深イ御考ガアツタノデアリマスカ

○吉田政府委員 組合費其ノ他會計ニ關スル規定ト云フモノヲ是非規約ノ中ニキメサセルコトニナツテ居リマス、スノデ、今ノ御話ノヤウナ場合ニ、ドウ云フ規定デソレヤツテ居ルノカドウ云フ方法デヤツテ居ルノカト云フ事ハ大體承知シ得ルト思ヒマス、尙ホ又財産ニ關係ノモノト致シマシテハ第八條ノ組合總會決議事項ト云フ中ニ「豫算ヲ定メ又ハ決算ヲ承認スルコト」ト云フノガアリマス、今一ツ必要ト認メマシタナラバ行政官廳ガサウ云フ取調ヲシ得ルト

云フ、三ツノ關係事項ガ茲ニゴサイマスノデ、大體組合デドウ云フ會計方法ヲ執ツテ居リ、ドウ云フ經理ヲ致シテ居ルカト云フコトハ明瞭ニナルヤウニナツテ居リマス、此程度デ宜シカラウト考ヘルノデアリマス

○田子委員 ソレハ間違デハアリマセヌカ、會計トカ組合費トカ云フノハ規定ガアルカラ判リマスガ、財産ト云フ事ニ付テハ組合ハ如何ニシテ財産ヲ管理スルカト云フ規定ガナイカラ、帳簿ガナクトモ一向構ハナイト云フコトニナル、基金ノ廢止又ハ設置ニ付テハ條文ガアリマスカラ判ル、財産ノ管理方法ハ何等規定シテナイ、吉田サンモ御承知デアリマセウガ、内務省私案ノ大正九年ノ時分ニハ此點ハ大變重要ダト云フノデ、第三條ノ第一項第十號ハ「組合財産ノ管理ニ關スル規定」ト云フコトヲ特ニ書イタノデアリマス、是ハ組合ノ發達ニハ——金ノ無イ内ハ人ガ集ツテ來マセヌガ、大分財産ガ出來タトナルト組合員ガ澤山入ツテ來ル、會費モ殖エテ又財産ガ一層殖エル、今度ハ役員ハドウモ財産ノ管理ハドウスルモノカ一向判ラナイ、内輪揉メヲシテ折角發達シテ來マシタ組合ガ却テ分裂シタリ衰微シタリスルヤウナ形ガアル、デアアルカラ唯會計豫算、決算ヲ見テ居ルカラ宜シイト云フ御考デハ一寸御答辯ニナラスシ、ソコマデ深ク思ヒヲ致シテ居ラヌノカト思フ、深い

御考ガナケレバ斯ウ云フ事ハ大事ナコトデアリマスカラ、御入レニナツテ置ク方ガ私達ハ宜イヤウニ考ヘマス、基金ト歳入歳出豫算ト決算ト是ダケハ規定シテアル、ソレカラ第十五條ニ於テ財産ノ狀況ハ見ルコトガ出來ル、又其報告ヲサセル事ガ出來ル、是ダケハアリマスケレドモ、其規約ニ如何ニシテ財産ヲ本組合ハ管理スルカト云フ規定ガナケレバ、ソレハ周圍ダケ廻ツテ大事ナ所ガ抜ケテ居ルト云フコトニナル

○吉田政府委員 此程度デ十分デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、組合ノ會計ニ關スル監督方法ヲドノ程度ニ致スカト云フコトハ、御指摘ニナル通り可ナリ問題ニナルコトデゴザイマス、十分考ヘテ居リマス、第八號ニアリマス「組合費其ノ他會計ニ關スル事項」ト云フノハ、御考ノヤウニ組合ノ收入支出ダケノ狭イ意味デハナイノデアリマス、組合費其ノ他會計ニ關スル事項ト申シマスモノハ、會費ハ勿論ノ事、基金、資金等ノ管理方法ニ付キマシテモ會計ニ關スル事項トシテ規約ニ定ムベキ所デアルト私共考ヘマシテ、其趣旨デ是ガ書イテアルノデアリマス、收入支出ダケノコトヲ意味スルモノガ會計ト云フ風ニ考ヘテ居リマセヌ

○田子委員 以前ノ大正九年當時ノ案ニハ「組合費加入金

及會計ニ關スル規定」其次ニ「財産ノ管理ニ關スル規定」斯ウ竝ベテアリマス、是ハ普通ノ用例デアアリマセヌカ、市制デモ町村制デモ會計ト財産管理トハ皆別ニ考ヘテ居

ル——是ハ富田君カラデモ宜シウゴザイマス、私ハ法文ノ末ヲ爭フノデナイ、財産ヲ無茶苦茶ニサレテ組合ガ潰レルト云フ事ヲ憂ヘルノデス

○吉田政府委員 内務省私案ニ於テハ御指摘ニナリマシヤウニ「組合費加入金及會計ニ關スル規定」「組合財産ノ管理ニ關スル規定」ト云フヤウニ竝ベテ書イテアリマスノデ、此場合ニ於キマシテ組合財産ノ管理ニ關スル規定ヲ、九號ニアリマス會計ニ關スル規定ノ中ニ見テ居リマセヌコトハ御話ノ通りデアリマスガ、今回「組合費其ノ他會計ニ關スル規定」ト云フ極ク一般ノ規定ヲ致シマシタ趣意ハ、只今私ノ申上ゲマシタ通りニ、會計ニ關スル規定ト云フモノ、中ニ資金基金ノ管理方法等ヲ含メマスル意味デ茲ニ書イテアルノデアリマス、餘リ用例ニ違ツテ居ラヌト考ヘマス

○田子委員 サウ云フヤウニハツキリ頭ニ入レテ居ラレ、バ宜シウゴザイマス、サウシマスト十五條ノ財産ノ狀況ノ報告ヲ爲サシムル時分ニハ、或ハ一ツノ形式デモ示シマシテソレヲハツキリスル事ガ出來ルヤウナ報告例デモ御作り

ニナリマスレバ、私ノ趣旨ハ能ク通ルト思ヒマス、サウ云フコトニナサル御考デゴザイマセウカ

○吉田政府委員 十五條ハ必ズシモ定期報告ヲ總テノ組合ニ對シテ徵スルト云フ意思デナイノデアリマシテ、報告ヲ爲サシムル權限ヲ行政官廳ニ附與シテ居ルノデアリマス、總テ定期ニ一切報告セヨト云フヤウナ所謂御示ノヤウナ報告例ト云フヤウナモノニ依ツテ、年々ノ會計ヲ報告サセルト云フヤウニ一齊ニヤル積リデ此規定ハアルノデハナイノデアリマス、無論權限ハサウ云フ風ニ行使出來ナイコトハアリマスマイト思フノデアリマスガ、必要ノ都度都度報告ヲ徵スル事ガ最モ必要ト考ヘマシテ、第十五條ノ規定ハ出來テ居ルノデアリマス、報告例ニ依ツテ現在ノ有ユル組合カラ一齊ニ財産報告ヲ徵スルト云フガ如キ豫想ヲ只今持ツテ居ルノデアリマセヌ

○田子委員 會計ニ財産管理ガ這入ラヌト云フコトハ私明瞭ダラウト思ヒマスガ、十五條ノ讀方ヲ私ハ問ウテ居ルノデハナイ、是ダケノ權限ヲ持ツテ居ルカラ、報告例デモ示シテ、財産ヲ正確ナラシメルヤウニスル意思アリヤ否ヤト云フコトデス

○吉田政府委員 無論此法律ノ建前カラハサウ云フ風ニスル途モアルノデアリマスガ、一切ノ組合ニ對シテソレヲヤ

ラウト考へテ居ル譯デハナイノデアリマス

○松村委員 今ノ問題ハ簡單ナヤウデ相當重大デアリマス故ニ、モウ少シ役所デハ之ヲ研究シテ修正ヲシナケレバカヌト私ハ思フ、第三條ノ今ノ事ニ付キマシテハ、白耳義ノ組合法第八條其他ノ規定ヲ参照サレマシテ、モウ少シ御研究ヲ願ヒタイ、白耳義ノ組合法第八條ハ、組合ノ會計ノ事ニ付キマシテハ、實ニ理想的ナ規定ヲシテ居リマス、今此處デ之ヲ論ズルト又長クナリマスカラ、略シマス、ソレカラ本法ノ第十五條ニ付キマシテハ、後デ論ジマスガ、此組合法ハ非常ニ「ユルフン」デアルカラ第十五條ノ規定モ「ユルフン」ナノデアアル、即チ會計報告ヲ爲サシムルコトヲ得ト云フノデ、報告ヲ取ルカ取ラヌカ、ソレハ行政官廳ノ勝手ノヤウナ規定デアリマス、是ハヤハリモウ少シ與ヘルモノヲ與ヘテ、取締ルモノヲ取締ラナケレバ、ヤハリ本法ノ趣旨ガ徹底シナイト云フ意味ノ一ツニモナリマス、英吉利ノ千八百七十一年ノ組合法第十六條ヲ御覽ニナリマスト、組合ノ收入、基金、財産支出ハ必ズ一年一回提出明示スルコトヲ命ジテ居リマス、英吉利ニ限ラズ、組合ヲ十分ニ保護スル以上田子君ノ言ハレルヤウニヤハリ組合財産ノ管理ニ付キマシテハ、國家ガ進ンデ之ヲ保護スルコトガ必要デアアル、組合ヲ強制スルヤウデアアルガ組合員ノ共同利益

四九二

ノ爲ニ組合財産ノ管理ト云フコトニ付テハ、モウ少シ本法ニ親切ニ書イテ置キマセヌト、組合ノ代表者其他ガ幾多ノ問題ヲ生ジマスカラ、私ノ今舉ゲタ英吉利組合法第十六條、第十五條ニ付テハ白耳義法ノ第八條其他ニモ同ジヤウナ規定ガ澤山アリマスカラ、之ヲモウ少シ御研究ヲ願ヒタイ、本法ノ規定デハ餘リ簡略過ギマスカラ、將來組合員ノ保護ガ十分デアリマセヌ私ハ此機會ニ研究ト調査トヲ御願シテ置キマス、更ニ第四條ニ進ミマシテ、「其ノ規約ニ法人タルコトヲ定ムルモノハ之ヲ法人トス」トアルガ、其法人タルノ效力ハイツカラ發生致シマスカ

○吉田政府委員 規約ニ法人ト定メタ其時カラ組合ハ法人トナルノデアリマス

○松村委員 定メタ其日デアリマスカ、或ハ之ヲ届出タル日デアリマスカ、明確ニ御答ヲ願ヒタイ

○吉田政府委員 定メタ日デアリマス
○松村委員 届出デナクトモ定メタル日ヨリ效力ガ發生シマスカ、内部デ法人ト定メタダケデ、第三者其他ニ對抗出來マスカ、若シ損害賠償其他ノ問題ガ起ツタ時ニ、其理事者ハ單ニ法人ト定メタダケ外部ニ何等ノ公示方法モセズ、届出モセズシテ、如何ニシテ第三者ガ之ヲ法人ト認メルコトガ出來マスカ

○吉田政府委員 法人ノ成立ノ時期ハ、只今御答致シタ通りデアリマス、第三者ニ對スル關係ハ第五條第六條ヲ御覽ニナルト、法人タル勞働組合ハ其ノ設立ノ日ヨリ二週間以内ニ主たる事務所ノ所在地ニ於テ左ノ事項ノ登記ヲシナケレバナラヌ、登記ヲシナイ間ハ他人ニ對抗スルコトガ出來ナイ、是デ只今御尋ノ點ハ規定シテ居ルノデアリマス

○松村委員 第三者ノ問題ハ第六條デ分リマスガ、唯法人ト云フコトヲ内部的ニ定メテモ是ハ不明瞭デアルカラ、其間ニ多少ノ時日ガアツテ幾多ノ問題ガ生ズルカラ、ドテラニ定メテモ宜イノデアリマスカラ、届出ノ日ノ方ガ明瞭デアリト思ヒマスガ、其必要ハナイト御考ニナリマスカ

○吉田政府委員 此點ハ商法ノ會社ニ關スル規定モ同ジナノデアツテ、第三者ニ對スル關係デ登記スルノデアアルカラ、内部ニ於テハ、其前ニ法人格ガ發生シテモ、一向差支ナイト考ヘマス、斯様ナ取扱ノ方ガ組合ノ趣旨ニモ副ヒ、又第三者ノ保護ノ趣意ニモ副ツテ宜シト思ヒマス

○松村委員 然ラバ此法人格ヲ組合ニ與ヘル實益ノ問題ニ付テハ此間カラ度々説明ガアリマシタガ、不明瞭ノ所ガ多イ、不明瞭ノ點ガ多イコトハ本法其モノ、效果ガ薄弱デアアルガ故ニ、當局ハ組合ニ法人格ヲ與ヘルコトニ依ツテ、幾多ノ實益アリト見ルガ、外デハ却テ法人格ヲ與ヘラレルガ

故ニ幾多ノ束縛ヲ受ケテ實益ガナイ、假ニ法人格ヲ得ズトモ現在ニ於テ餘リ不便ガナイノデアアルカラ、強ヒテ法人格ノ恩典ニ浴スルコトヲ希望シナイト云フ考ガ、非常ニ組合ノ人ニ多イノデアリマス、例ヘバ社會民衆黨ノ松永君ノ如キハ、此位ノ程度ノ組合法ナラ法人格ヲ受ケルコトハ寧ロ組合ノ爲ニ非常ニ不利益デアアル、實益ハナイト云フコトヲ言ウテ居リ、斯ウ云フ論者ハ非常ニ多イ、是亦本法ノ内容ト關聯スル問題デアアルガ、是マデノ一二ノ説明デハ、吾々カラ見ルト大シタ實益ガアルヤウニハ思ハナイ、尙ホ此機會ニ於テ法人格ヲ與ヘル實益ヲ明快ニモウ一應御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○吉田政府委員 法人格ヲ與ヘマス實益ハ、是ハ左様ニ輕視スベキモノデハナイト思フノデアリマス、組合ガ法人デアルト組合側カラ考ヘレバ契約其他ノ取引ヲ爲スニ付テ權利關係ヲ明確ナラシムル爲ニ、法人タルコトハ非常ニ便利デアルト思ヒマス、此組合ノ法人格ガナイ場合ニハ勿論民法ノ規定デ、色々權利關係ヲ定メル方法モナイデハアリマセヌガ、法人トスレバ組合自身ガ權利ノ主體トナリ、財産ヲ所有シ、取引ノ主體トナルコトハ、組合ノ活動上最モ便利デアルト考ヘルノデアリマス、尤モ法人格ヲ此法律デハ強制スル建前ハ採ツテ居リマセヌ、規約ニ於テ法人タ

ルコトヲ定メ、其他ハ組合ガ望ムモノニハ法人格ヲ與ヘルト云フ建前ニナツテ居リマス、今迄ハ勞働組合ハ民法ノ規定ニ依ラズシテ公益法人タルノ資格ヲ取得スル途ガナカウタカラ、ソレニ對シマシテ新ニ法人格ヲ必要ニ應ジテ取得出來ルト云フコトニ致シマシタコトハ、組合ノ取引ノ上カラ考ヘテ、非常ニ有益デアルト考ヘマス、又組合ト取引ヲスル第三者ノ爲ニモ安心シテ組合ト取引シ得ルコトガ出來テ、第三者ノ利益モ保護セラレ、ソレニ依ツテ又組合モ責任アル取引ガ出來ルヤウニナリマスカラ、是ハ餘程ノ利益ト考ヘルノデアリマス

○松村委員 意見ノ相違ニナルヤウデアリマスガ、現ニ組合ノ多數ノ人ハ法人格ヲ受ケルコトハ實益ナシトハツキリ言ツテ居ル、松永君ノ如キハ社會民衆黨ヲ代表シテ明確ニ言ツテ居ル、此程度ナラ受ケナイ方宜イト云フコトヲ書イテ居ル、其他ニモ其意見ヲ持ツテ居ル人ハ非常ニ多イ、更ニ獨逸ノ組合ノ如キハ隨分發達シテ居ルガ、法人格ヲ受ケナイ組合ノ方ガ多イ、受ケルモノハ極メテ少イ、是ハ獨逸特有デアルガ、要スルニ實益ガ少ケレバ、法人格ヲ受ケナイコトハ、日本バカリデハナイ、アレ程權利思想ノ發達シテ居ル獨逸ノ組合ニ於テモ法人格ヲ受ケテ居ルモノハ非常ニ少イ、何故ナラバ法人格ヲ受ケルコトニ依ツテ得ル恩

典利益ガ極メテ少イカラデアアル、長官ハ本法ノ效能ヲ並ベラレルガ、組合側ノ人ハ其效能ヲ信ジナイ、ソレ故ニ法人格ヲ受ケナイト云フヤウナコトデアリマス、是モヤハリ本法ガ甚ダ不完全デアルト云フコトニナルノデ、結局ハ意見ノ相違ニナリマスガ、此法人格ヲ受ケナイ組合ガ多イト云フコトハ、偶々以テ本法ノ不完全デアルト云フ明確ナル立證ニナルト思フ、是レ以上申シマシテモ意見ノ相違ニナリマスガ、現ニ組合ノ多數ニ斯様ナ意見ノアルト云フコトニ對シテハ、當局トシテ大ニ考ヘナケレバナラヌ問題ダト思フノデアリマス

○吉田政府委員 外國ノ例ヲ御舉ゲニナリマシタデ、此場合必ズシモ外國ノ例ヲ引ク譯デハアリマセヌガ、英吉利ハ登記組合ノ方法ヲ行ツテ居ルヤウニ思ヒマス、法人格ヲ受ケル利益ト云フコトハ組合全體ノ問題ト多少ノ關聯ハアリマスケレドモ、私ノ只今申上ゲテ居ルノハ、法人格ヲ受ケル直接ノ利益ノコトヲ申上ゲタノデアリマス、此組合法ガ或ハ勞働者ノ側ノ人々ニ於テ、不満足デアルト云フ意見ヲ持ツテ居ル人ガ澤山アルコトモ承知致シテ居リマス、又法人格ヲ左様ニ有難ク思ハナイヤウニ言ツテ居ル人モアリマセウガ、法人格ト云フ問題ヲ此組合法全體ノ價值ト結付ケテ論ズル必要ハナイノデアリマス、法人格ハ、勞働組合

ガ權利義務ノ主體トナル法律上ノ途ヲ開クト云フコトニ依リマシテ法人格ヲ受ケル利害ヲ考ヘレバ足リルノデアリマス、尙又勞働組合ガ法人格ヲ取得スルト云フコトハ今回始メテ開カレタ制度デアリマスカラ、施行當初カラ、此制度ヲ利用スルト云フコトハ或ハ少イカモ分リマセヌ、併ナガラ組合ガ段々發達シテ參リ、財産ヲ持チ、又取引ヲスルト云フコトニナツテ參レバ法人格ガ有ルノト無イノトノ便不便ハ自カラ明瞭デアリマス、段々ニ法人格ト云フ制度ヲ利用スル組合ガ殖エルコトヲ期待シテ居リマス

○松村委員 私ハ今長官ガ英吉利ノ例ヲ舉ゲラレタコトヲ聽イテ啞然トスル、社會局ノ方々ハ一體英吉利組合法人格ノ歴史ヲ能ク御研究ニナツタノカ、是ハ重ネテ申上ゲテ置タガ英吉利ノ例ヲ舉ゲラレタコトハ非常ナ間違ヒデアリマス、英吉利ガ何故法人格ヲ與ヘタカト申シマス、千八百七十一年迄ハ組合ニハ訴訟權モ所有權モ否認サレテ居ツタ、左様ナ保守的ナ英吉利ノ組合法律ガアル、ソコデ組合ヲ保護スル必要ガアル、或ハ千九百年ノ「タフ・ヴェール」事件ノ如キ英吉利ハ組合ニ對シテハ日本ヨリモモツト憲法其他ノ法律上幾多ノ制限規定ガアツタカラ、特ニ法人格ヲ與ヘテ組合ヲ擁護シタ、組合トシテハ組合自身ノ必要ノ爲ニ權利ノ爲ニ法人格ヲ取ラナケレバ非常ニ不利益デアルカラ組

合ハ喜ンデ法人格ヲ取ツタ譯デアアル、然ルニ日本ノ如キハ別ニ所有權モ訴訟權モ否認サレテ居ラナイ、ソレヲアナタガ英吉利ノ例ヲ舉ゲラレルト云フコトハ非常ニ面白クナイ、私ハ茲ニ英吉利ノ立法例ヲ論ズルモノデハナイガ、アナタノ今ノ言ハ全ク詭辯デアアル、獨逸ト英吉利ガ法人格ヲ與ヘタ徑路ハ全ク違フノデアリマス、此點ハ敢テ申上ゲマセヌガ、モウ少シ研究サレタ上デ例ニ舉ゲテ貫ヒタイ、之ヲ例ニ舉ゲラレルトハ意味ヲ成シマセヌ

○吉田政府委員 我國ニ於テモ丁度同ジヤウナコトデアリマス、全體法人格ヲ認メルメヌト云フコトノ差別ノ分レルノハ、例ヘバ民法ニ規定シテアリマス、公益法人ノ如キモノデアリマスガ、ソレ等ノモノガ法人格ヲ持ツテ居ルト居ラヌトデハ、非常ニ組合ノ目的ヲ達スル上ニ付テノ便、不便ガ著シク違フノデアリマス、無論法人格ヲ持ツテ居ラヌ組合等ニ於テモ、民法ノ規定ニ依レバ組合ノ利益ノ爲ニ財産ヲ置クコトハ出來マスガ、組合自體ガ權利ノ主體トシテ財産ヲ持チ、取引ノ主體ニナルト云フコトハ出來ナイノデ非常ナ不便ヲ被ツテ居ルノデアリマス、勞働組合ガ財産的ニ發達シナイ間ハ法人格ノ有ル無イト云フコトハ左程利害ニ關係無イノデアリマスケレドモ、段々ニ之ガ財産ヲ所有スルヤウニナリ、或ハ權利義務ノ主體トナリ、訴訟ノ主體

ニナルヤウニナツテ來マス、法人格ノ有ルト無イノトデ
ハ大變ニ活動ノ上デ便利ガ違フノデアリマス、私ハ其例ヲ
申上ゲタノデアリマス、其趣ガ英吉利ト無論ソツクリ同ジ
デハアリマセヌケレドモ、稍々同ジ趣ノモノト思フノデア
リマシテ決シテ、詭辯ヲ弄シテ居ル譯デハナイノデアリマ
ス

○松村委員 私ハ餘リ斯ウ云フ英吉利ノ立法例ナドヲ論ジ
タクハナイガ、英吉利ノ例ヲ研究シナイ人ニ對シテナラバ
サウ云フ説明モ宜シウゴザイマセケレドモ——何故英吉利
ガサウ云フ法人規定ヲ置イタカト云フトモト英吉利デハ勞
働組合ノ財産ガ盜難ニ遭ツテモ訴權ガ無イト云フ程保護サ
レテ居ラナカツタカラ、法人格ヲ與ヘルヤウニナリ、組合
モ喜ンデ法人格ヲ取ツタ、日本ノ規定ト英吉利ノ規定ハ違
フ比較ニナリマセヌ、ソレモ能ク研究シテ表ハレルナラバ
兎モ角、其時々々ニ其處デ調ベタ程度デ仰セラレルノデハ
英吉利ノ立法例ガ分ル筈ガアリマセヌ、是ハ餘計ナコトデ
アリマセケレドモ、全ク英吉利ガ法人格ヲ與ヘル迄ハ組合
ハ或種ノ不利益ナ立場ニ立ツテ居ツタカラ、ソコデ之ヲ救
助スル必要上、訴權竝ニ所有權ノ問題バカリデナク、或ハ
團結權サヘモ色々ナ束縛ガアツタカラ、之ヲ保護スル爲ニ
法人格ヲ與ヘルヤウニナツタノデアリマス、其點ハ簡單ナ

問題デアルケレドモ、強ヒテ是ハ固執ナサラヌ方ガ宜カラ
ウト私ハ思ヒマス

○守屋委員 チヨツト法人格ヲ認メタコトニ付テ疑ノアル
所ヲ御尋シテ置キタイト思ヒマス、法人トスルコトガ利益
デアルトスルト、總テノ労働組合ヲ法人ニナサツタ方宜
カラウト思フノデアリマス、所ガ之ヲ任意的ノ規定ニシマ
シテ希望シナイモノハ法人格ヲ取得シナイコトニシタト云
フコトヨリ見テモ、法人格ヲ得ルト云フコトニ依ツテ或ル
種ノ不利益ヲ生ズル場合ガアルコトヲ豫想サレテ居ルノデ
アラウト思フ、其豫想サレテ居ル點ヲ承知致シタイノデア
リマス

○吉田政府委員 是ハ法人格ヲ取得スルト、取引ノ上、或
ハ組合ノ諸種ノ行動ノ上ニ便宜デアルニ相違ナイノデアリ
マスガ、法人格ヲ取得スルト其後ニ於テハ取引ガ確實デア
ルガ、ソレニハヤハリ相當ナ手續ヲ件フコトデアリマス、
隨テ法人格ヲ取得スルコトハ自分ノ所ハ必要ガ無イト考ヘ
ル組合モ多數アルノデアリマス、殊ニ財産モ所有シテ居ラ
ズ、又經濟的ノ立場モ十分ニ確立シテ居ラナイヤウナ組合
ニ於キマシテハ、法人格ヲ取得スルト云フコトノ利益ハ、
サウデナイ組合ニ比レバ遙カニ薄イノデアリマス、デス
カラ是非ドノ組合デモ法人格ヲ持ツテ居ラナケレバナラヌ

ト云フ所謂強制法人制度ニスル必要モナカラウト考ヘマ
ス、ソコデ所謂任意法人ト云フコトニ致シテ其必要ヲ認メ
ル組合ニ對シテノミ其途ヲ開クト云フ程度ニ止メタ次第デ
アリマス

○守屋委員 只今ノ御説明ニ依ルト法人ヲ設立スル手續ガ
面倒デアル、ソレカラ取引關係ナドニ付テモ法人トシテ活
動スル場合ニ頗ル面倒ナ事ガ多イカラ不便ダト云フヤウ
ナ、不利益ダケヲ仰シヤツタヤウデアリマスガ、ソレ以外
ニ、法人労働組合ガ法人タラザル労働組合ヨリモモツト重
大ナ不利益ヲ受ケルト思フ點ヲ仰シヤツテ戴キタイ、ソレ
ハ御認メニナリマセヌカ

○吉田政府委員 ドウ云フ不利益デゴザイマセウカ、御指
摘ヲ願ヒマシテ申上ゲマス

○守屋委員 政府委員ハ御知リニナツテ居ナガラ申サレナ
イノデアラウト思ヒマスカラ申上ゲマスガ、法人ニナリマ
スト法人ノ役員ノ行動ニ對シテ法人ハ責任ヲ負ハナケレバ
ナラナイ、デスカラ法人ノ役員ガ指導シテ同盟罷業ナドヲ
ヤリマシテ、資本主ニ損害ヲ與ヘタ場合ニハ、法人ガ其責
ニ任ジナケレバナラヌト云フコトニナツテ來ル、サウ云フ
場合ニ法人ノ財産状態ガ明カニナツテ居ル、隨テ法人ノ賠
償責任ト云フモノガ確實トナル、サウ云フ點ニ於テ法人タ

ル労働組合ガ法人タラザル労働組合ヨリモ活動ノ拘束ヲ受
ケ易イ、ソレガ労働組合カ法人トナルコトヲ欲シナイ大ナ
ル理由ノヤウニ私ハ承知致シテ居リマスガ、其點ハドウ云
フヤウニ御考ニナリマスカ

○吉田政府委員 法人タラザル労働組合ニ於キマシテモ先
程御説明申上ゲマシタ第三條ニ於キマシテ、代表者其他ノ
役員ニ關スル規定ガゴザイマスシ、又假リニ其規定ガナイ
ニ致シマシテモ、代表者ト云フモノガ自然ニ定マツテ來ベ
キモノデアリマスシ、不當ノ行爲ヲ組合ガシタ、或ハ組合
員ガシタト云フコトノ爲ニ、代表者或ハ團體ト云フモノニ
責任ガ及ブ關係ハ略々同ジナノデアリマス、唯法人程關係
ガ明確ニ參ラナイ、是ハ利益不利益ノ側共ニ、法律關係ガ
法人タル場合ニハ明確デアリ、法人タラザル場合ニハ明確
デナイ、隨テ其點ヲ特ニ指シテ爭議スル場合ニ、責任ノ歸
屬ガ明瞭ニナリ過ギテ困ルカラ、法人タルコトヲ望マナイ
ト云フ考ヲ持ツ組合ガアルカモ知レマセヌガ、私ハサウ云
フ場合ハ無用ナリト思ツテ居リマス

○守屋委員 是ハ能ク御調べヲ願ヒタイノデアリマス、サ
ウ云フコトガアルカラ社會局案デハ前ノ十三條ニ於キマシ
テ、労働組合ノ役員又ハ組合員ガ労働條件ノ維持改善ノ爲
ニ起シタ所ノ爭議ナドニ付テノ賠償責任ヲ免除シテ居ラレ

ル法人タル労働組合ニ付テ此規定ガアリマセヌト云フト、非常ナル迷惑ヲ法人ガ蒙ル、法人タル労働組合ハ將來茲ニ申シマセヌヤウニ、共濟其他ノ共同ノ利益ノ爲ニ仕事ヲスル建前ニナツテ居ル、其資金關係ガ明カニナリ、ソレカラ其財産ノ歸屬關係ガ明確ニナツテ居ル、而シテサウ云フ場合ニ第七條ニ依リ民法第四十四條ノ規定ハ、法人タル労働組合ニ之ヲ準用ストアリマスガ、此規定ハ御承知ノ通りニ理事其他ノ代表者ガ爲シタル行爲ニ付テ、法人ガ損害賠償ノ責任ヲ負フト云フ趣旨ナノデマリマス、此規定ノ適用カラ當然法人タル組合ノ重役、竝ニ代表者ガ爲シタル不法行爲ニ付テハ、法人ガ損害賠償ノ責任ヲ擔ハナケレバナラヌト云フコトニナル、此點ハ法人タル労働組合ニ對シテ不利益デス、此點ヲ排除シヨウト云フコトカラ、即チ前ノ十三條ノヤウニ賠償責任ノ免除規定ヲ置イテ、責任ヲ免除シヨウト云フ方策ヲ講ジテ居ルノデアル、然ルニ其規定ヲ社會局案デハ御除キニナリマシタカラ、ソレデ民法第四十四條ト云フモノガ生キテ行ク、法人タル労働組合ノ理事及ビ代表者ノ爲シタル不法行爲ニ付テ法人ガ責任ヲ負ハナケレバナラヌト云フコトニナレバ、ソコニ色々ナ不利益ナコトガ起ル、政府委員ハ法人トナル組合ガ多クナリマセウト言ハレテ居リマスガ、其點カラ私ハ恐ラクソナ事ハナイダラウ

ト思フ、前ノ社會局案ノ第十三條ノ免責規定ト云フモノガ若シアツタラ、其缺點ガ除去サレマスカラ、法人タル組合ガ多クナツタカモ知レナイ、併セガラ此度ノ法案デハソレガ削除サレテ居リマスカラ、ソコデ責任ヲ追窮サレルノデアル、隨テ法人トナレバ資金ヤ財産ノアル法人ナドハ、損害賠償ノ責任ガ恐ロシクテ、手モ足モ出ナイト云フヤウナコトニナリハシナイカ、サウ云フヤウナコトカラ折角法人ト云フモノヲ御認メニナリマシタガ、健全ナル労働運動或ハ組合運動ト云フヤウナモノヲ爲ス上ニ付テモ、大ナル障礙ニナリハシナイカ、此點ニ付テハ恐ラク労働組合側ノ人々ハ大ナル遺憾ヲ持ツテ居ルコトデアラウト私ハ考ヘマスガ、政府委員ハ其點ニ付テドウ云フ風ニ御考ヘニナリマスカ

○吉田政府委員 従前ノ社會局案ノ第十三條ニアリマシタ如キ免責規定ノコトニ付キマシテハ、先般モ御説明申上ゲタノデアリマスガ、其規定ノ今適用サレタ事例ハマダ裁判ノ上ニナイノデアリマス、是ハ必ズシモ組合ニ従前法人格ガナイカラ適用サレナカツタトハ思ハナイ、今後法人格ヲ取得スルヤウニナレバ、大イニサウ云フ事例ガ起ル處ガアルト云フコトモ、隨テ私ハ餘リ考ヘナイノデアリマス、尤モ法人タラザル組合ト雖モ、民法ノ只今御擧ゲニナリマシ

タ第四十四條ハ適用ガナイコトハ勿論デアリマスガ——前ノ十三條ニ於テハソレ等ノ場合ニ於テ組合ガ責ヲ負フト云フコトヲ、此前五十七議會デアリマシタカ、其時ニハ一應規定サレマシテ、ソレニ對シテ、但シ労働爭議ノ爲ニヤツタ場合ニハ此限りニ非ズト云フ、除外ヲ致シテ居ツタノデアリマスガ、其前段ノ方ハホンノ注意的ノ意味ヲ持ツテ居ル、主トシテ第二段ノコトヲ言フ爲ニ、此條文ノ拘束ハ受ケルモノト思ヒマス、前段ノ規定ガナケレバ其通りニハナラナイト云フヤウナ、民法ノ解釋モ付クマイト思ヒマスガ、兎ニモ角ニモ法人タルガ故ニ、是カラハ權利義務ノ關係ガ明確ニナツテ、爭議ニ依ル責任ヲ組合ガ負フダラウトカ

〔委員長退席、由谷理事著席〕

組合ガ差押ヘデモサレラダラウトカ、爭議ノ損害ニ付テ訴ヘラレラダラウト云フヤウナ事ガ、組合ガ法人ニナツタガ爲ニ殖エルデアラウト云フコトハ、私共ハ餘リ豫想致シテ居リマセヌ、ソレカラ又法人組合ガ非常ニ殖エルダラウトハ、私ハ必ズシモサウ考ヘテ居ラナイ、中々殖エナイカモ知レマセヌ、併ナガラ法人タル組合ガ段々發達致シマシテ、財産ヲ持チ取引關係ガ複雑ニナツテ行キマスレバ、法人タルコトガ便利デアルコトハ疑ヒナイコトデアリマスカ

ラ、段々ニハ殖エテ行クデアラウ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○守屋委員 政府委員モ前ノ御答辯ヲ幾ラカ緩和サレテ居ルヤウデアリマスカラ、私ハ追窮致シマセヌガ是ハモツト本當ニ能ク考ヘテ下サラナケレバナラヌ點デアツテ、前ノ社會局案ノ第十三條ヲ除イタノハ、サウ云フ事例ガ日本ニ於テ事實起ツテ居ナイカラ問題ニナラナイ、斯ウ云フ御説明デアリマシタケレドモ、ソレハ法律上ニ於テサウ云フ問題ガ起ルトカ起ラナイト云フコトヨリモ、日本ノ組合ト云フモノハ發達ノ道程ニアツテ、サウシテ金ノナイ組合ガ多イノデアアル、假ニ民法上ノ不法行爲ノ規定ニ該當スルヤウナ行爲ヲシテ損害賠償ノ判決ヲサレマシテモ、其權利ヲ行使シ得ルダケノ資産ヲ持ツテ居ル組合ガ果シテドレダケアツタカト申シマスルト、事實殆ドナイノデアリマス、資産ノナイ所ニ向ツテ訴訟ヲ起シテ損害賠償ヲ請求スルナドト云フ事例ハアルベキコトデヤナイ、是ハ賢明ナル資本家が能ク知ツテ居ルコトデアアル、隨テ事實ナイト云フコトハ法律上ニ爭議ノ責任ガナイトカ、又ハ資本家ガ組合ノ責任ヲ問フ考ガナイト云フ意味デヤナイノデ、訴訟ヲ起シテモ實效ガナイカラサウ云フ事實ガ起ラヌト云フコトニナツテ來タノデアアル、ケレドモ本法ニ依ル法人格ヲ與ヘマスル

ト、第一條ニ依ツテ労働組合ノ目的ハ御承知ノ通り廣クサレ共濟事業トカ或ル場合ニ於テハ共同利益ノ爲ニ必要ナル事業モヤラセル、其純益ニ付テハ所得稅營業收益稅ヲ免ズルト云フコトニ依ツテ相當ノ資金ガ組合ニ集マルモノト考ヘラレル、サウナツテ來マス組合ニ財產ガアリマスカラ所謂不法行爲ニ對スル損害賠償ノ責任ヲ果スダケノ能力ヲ持ツコトニナル、サウ云フ場合ニ民法第四十四條ニ該當スル爭議ガ起リ來ツタト云フ場合ニ於テハ、賢明ナル資本家側ニ於テ法人タル組合ノ責任ヲ問フト云フ事實ガ新シク起ツテ來ルダラウト思フノデアリマス、サウ云フコトヲ考ヘマスルト組合ヲ法人トシテ保護スルコトハ今マデ御述ベニナツタヤウニ各種ノ利益ガアリマセウ、アリマセウガソレト同時ニ不利益モ伴フモノデアルト云フコトハ御認メニナルベキモノト考ヘルノデアリマスガ、ソレハドウデセウカ

○吉田政府委員 第十三條ノ削除サレマシタ理由ハ今マデニ事例ガナイカラト云フ理由ダケデナイト云フコトハ、是モ何人カノ御問ニ對シテ御答致シマシタト思フノデアリマスガ、十三條ノ規定ハ組合ノ關係致シマシタ爭議ニ付テノ組合或ハ其代表者ノ責任ト云フコトニ限ツテヤラセテ居ルノデアリマス、申セバ是ハ爭議責任トシテハ非常ニ一部分

シカ規定致シテ居ラヌ跛足ナモノデアアル、爭議責任ノ歸屬ト云フコトニ付キマシテハ私共決シテサウ云フコトハ輕イ問題ト考ヘテ居ラナイノデアリマスガ、今度ノ組合立法ニ必ズシモソレヲ入レヌデモ宜シイ、爭議立法全體ノ問題トシテ十分考究スベキデアリマシテ、事例ガマダナカツタト云フコトハ是ハ申添ヘノ程度デアルカラ其點ハ餘リ重ク御考ヘニナラヌヤウニ願ヒタイト思ヒマス、組合ノ權利義務ノ關係ガ明確ニナルト云フコトハ、ソレハ組合ニ於ケル本來利益デアルコトデアアルニ違ヒナイノデアリマスケレドモ、若シ自分ノ負フベキ責任ヲ免レル爲ニ不明確デアルコトヲ希フノガ利益デアルトスルトカ、責任ノ歸屬ガ明瞭デアルトシマスルナラバ、法人格ヲ取得スルノガ利益デナイト言ヘバ、其負フベキ責任ハ無クナリマスト同様ニナツテシマフ、ソレガ不利益デアルカラト云フコトデハ御認メニハ參ラナイト思フノデアリマス

○守屋委員 法人格ヲ労働組合ニ付シマスルト云フト、所謂役員ト云フモノノ範圍ガ限定サレルト云フコトニナルダラウト考ヘマスガ、ソレハ如何デスカ

○吉田政府委員 或ル程度ニ限定サレルト考ヘマス、代表者ハ理事デナクテモ、監査役ヲ置クコトガ出來ルト云フ規定ガアリマスガ、是ハ民法ノ法人ニ付テモ御承知ノ通り、

理事監事等ノ外ニ各種ノ役員ヲ置クコトヲ妨ゲテ居ルノデハナイノデアリマス、代表者ノ職務權限ガ限定セラレルト言ヘバ限定セラレルノデアリマスケレドモ、其他ノ役員ヲ置クコトガ出來ナイト云フ意味ノ限定デハナイノデアリマス

○守屋委員 サウスルト解釋問題ニナリマスガ、労働組合ノ役員又ハ役員タリシモノト云フ、此規定ノ適用上ニ疑問ヲ生ジテ來ルコトニナリマスガ、法人ト認メラレテ居ル労働組合ノ役員又ハ役員タリシモノト、法人タラザル労働組合ノ役員又ハ役員タリシモノトノ間ニハ餘程ノ違ガ生ジテ來ル、恐ラク法人タラザル労働組合ハ其規約ニ於テ役員ト云フモノヲ設ケマスカラ、餘程澤山ノ人ヲ役員ト御認メニナツテモ宜カラウト考ヘルノデアリマス、法人タル労働組合ノ役員ト云フモノハ先ツ代表者ト云フモノニ限定ヲスル、理事デアルトカ或ハ監事デアルトカサウ云フモノニ限定サレルト云フコトニナリマスカラ、法人タラザル労働組合ノ役員ガ廣汎ニ互ルノ同様ノ意味デ考ヘル譯ニ行カヌ、ヤハリ役員ノ數ガ減ツテ來ル、數ガ制限サレテ來ルト云フコトガ事實デヤナイカ、ソレカラ又左様ニ内務當局デモ御考ニナツテ法人格ヲ御認メニナルノデハナイカ、役員ト云フモノハ名前サヘ付ケレバ宜イ、サウシテ何人モノ理

事トカ監事トカヲ置イテソレヲ役員ニナサルト云フ御考デアリマスガ、マサカサウデナイト思フガ其點ハドウデアリマスカ

○吉田政府委員 理事監事ノ役員タルモノ、或ハ最重要ナル役員等ハ是ハ問題デナイノデアリマス、同時ニ法人タラザル組合ノ代表者タルモノト、法人組合ノ代表者タルモノト云フコトモ問題ガナイト思ヒマス、是ハ法人タル組合ト法人タラザル組合トヲ問ハズ、役員ニ關スル規定ハ第三條ニ依ツテ設ケルノデアリマス、其第三條ハ兩方ノ組合ニ對シテ適用ノアル規定ナノデアリマス、併シ實際ニ法人タル組合ト法人タラザル組合トデハ、ソレハ法人タル組合ノ方ガ整頓シテ居ルト云フ關係上、法人タル組合ノ方ガ役員ニ關スル規定ガ明瞭デアリ、正確デアル場合ガ多イノデアリマセウ、其爲ニ無駄ナ役員ト云フモノハ法人タル組合ニ少イダラウト思ヒマス、事實サウデアリマセウケレドモ、法人タラザル組合モ本來役員ノ機能ヲ全ウシ、組合ノ働キヲ全ウスルガ爲ニ、役員ノ構成權限ト云フモノハ、サウアルベキデアアル、實際ノ問題ト致シマシテハサウ行カヌカモ知レマセヌガ、併ナガラ法人タル組合ハ役員ノ數ヲ制限スル、サウ云フ趣旨デハ毛頭アリマセヌ、其他ニモ必要ナル役員ヲ置イテ宜イノデアリマス、唯名義ダケヲ持ツテ職務

モ權限モ何モノナト云フモノハ私共役員ト認メナイノデア
リマス、其組合ニ於テ特殊ノ任務ニ在ル人々ヲ一定ノ名稱
ヲ付ケテ役員ト致シマスト云フコトハ、ソレハ法人タル組
合デモ、法人タラザル組合デモ、同ジコトニナツテ居ルコ
トデアルト思フ

○守屋委員 私ハ勿論法人タル労働組合ノ利益ヲ認ムルモ
ノデアリマス、又ソレガ任意的ノ規定トシテ此處ニ採ラレ
ルト云フコトハ結構ナコトダト考ヘマス、併シ其一面ニ於
テ今ノ労働組合ト云フモノハ、労働運動殊ニ労働組合ヲ擴
張スルト云フコトニ用ヒラレテ居ル、而シテソレヲ當局ニ
於テモ御認メニナツテ居ルダラウト考ヘマスガ、サウ云フ
點カラ考ヘマスルト、法人ニナルト、役員ノ數ハ制限サレ
且ツ責任關係資産關係ガ頗ル明白ニナツテ來ルト云フコト
ハ餘程ノ利益ノヤウニ感ズルダラウ、隨テ當局ガ御考ヘニ
ナツテ居ラレルヤウニ労働組合ガ法人ニナルト云フコトハ
將來サウ頻出スルヤウナコトハ日本ニモナカラウ、是ハ獨
逸デモ英吉利デモ同ジコトデアリマシテ、サウ之ニ重大ナ
ル意味ヲ持タセルコトハ出來ナイダラウト考ヘマスガ、ソ
レハ本法案ヲ施行シマシテカラ二年ナリ三年或ハ五六年經
ツテ見ナゲレバ分ラヌコトデアルカモ知レヌ、意見ノ相違
デアリマスカラ此程度デ私ノ質問ハ打切ツテ置キマス

○松村委員 民法第四十四條ヲ此第七條ニ準用シタト云フ
コトニ付テ守屋サンカラ御話ガアリマシタガ、私モ其事ニ
付テモウ少シ聞キタイノデスガ、ソレハ後ニ譲リマシテ、
産業組合ノ理事ニ民法第四十四條ノ規定ヲ準用シテ居リマ
スカ伺ヒマス、マダ赤子ノヤウナ是カラ伸ビヨウトスル、
而モ未ダ秩序モ整ハナイ労働組合ノ理事ニ之ヲ準用スルト
云フコトハ何カ特殊ノ理由ガアリマスカ、其理由ヲ伺ヒタ
イノデアリマス

○吉田政府委員 産業組合ニ付テハ只今取調ベサシテ居リ
マス、四十四條ノ規定ハ御覽ノ通り法人ハ理事其他ノ代理
人ガ其職務ヲ行フニ付テ他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責
ニ任ズル、是ハ事理ノ當然デアアル、幼稚ダカラ之ヲ免除ス
ルト云フ譯ニハ參リマセヌ、労働組合ノ中ニ法人タルモノ
ヲ認メマスル以上ハ四十四條ヲ準用スルコトガ無理ダトハ
考ヘマセヌ、産業組合ノコトハ只今取調ベテ居リマス

○松村委員 私モ唯記憶ニ殘ツテ居ルコトデアリマスガ、
産業組合ノ理事ニ民法四十四條ノ規定ノ準用アルヤヲ疑
フ、寧ロ民法ノ準用規定カラ言ウナラバ缺ケテ居ルモノガ
澤山アル、ソナ寧ロ必要ナモノヲ除イテ斯ウ云フヤウナ
規定ヲ設ケルコトハドウカト思ヒマスガ其點ハ如何デス
カ、尙ホ私ハ取調ベマシテ後カラ伺ヒマス

ソコデ第四條ニ戻リマシテ、此處ニ申シマス法人ト云フ
ノハ法理上下ウ云フ法人デアリマスカ、一應伺ツテ置キマ
ス

○吉田政府委員 法理上ト申シマス、ドウ云フ意味ノ御
質問デアリマスカ、兎ニ角労働組合ハ労働組合トシテ、民
法ノ形式ノ型ニ依ラズシテ法人タリ得ルト云フ新ラシイ種
類ノ法人デアリマスカ、習慣法規ト申シマスヤウデアリマ
スガ、ヤハリ法人ト申シマシテモ、法人格ノ認メラレル所
以ハ私法上ノ權利義務ノ主體トナリ得ルト云フ點デ認メラ
レテ居ルノデアリマス、別ニ法權ヲ特ニ附與スルト云フヤ
ウナコトハナイノデアリマス

○松村委員 公法上ノ法人デモ私法上ノ法人デモナイノデ
アリマスカ

○吉田政府委員 公法上ノ法人ト云フ意味次第デアリマス
ガ、多分御尋ノ意味ノ公法上ノ法人デアリマセヌ

○松村委員 財團法人、社團法人デモアリマセヌカ
○吉田政府委員 財團法人、社團法人ト云フ區別ハ民法ノ
規定ヲ採用致シテ居リマス、何方社團法人デ何ガ財團法人
デアルト云フコトハ、法人ノ性質トシテ、財産ヲ主トシテ
認メテ居ル法人デアルカ、或ハ社員ヲ主トシテ認メテ居ル
カト云フ意味デ、財團、社團ト云フ言葉ヲ使ヒマスナラバ

社團ニ屬スベキモノデアリマス

○松村委員 尙ホ是ハ面倒ナ問題ニナリマスカラ是以上ハ
伺ヒマセヌガ、本法ノ規定ノミナラズ此組合法人ヲ今御話
ノヤウニ民法ノ社團法人ノ型ニ當嵌メヨウト云フヤウナ精
神ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、是レ以上詳シ
ク論ジマスト法理論ニナリマスカラ申シマセヌガ、ドウモ
民法ノ社團法人ノ型ニ當嵌メヨウト云フ心持ガアルヤウニ
私ハ思フ、今御話ノヤウニチヨツトシタコトデアツテモ此
法人ハ社團デモナイ、財團デモナイ、ヤハリ一ツノ新シイ
社會法ノ何ト申シマスカ吾々ノ言葉デ申シマス、社會法
人デアリマス、是ハ民法其他現在ノ規定デハ取扱上時ニ矛
盾ガ起ル、今御話ノヤウニ強ヒテ之ヲ社團法人ノ型ニ當嵌
メルヤウナコトニ、強要セヌヤウニ、セネバナラヌ、此準
用規定ハ已ムヲ得マセヌケレドモ、準用規定デナイ所ハサ
ウ云フコトニスルノガ必要デナイカト思フ、茲ニ新ラシイ
社會法人ニ對スル何モ規定ガ無イカラ已ムヲ得ナイノデア
リマスケレドモ、社會立法ハ殊ニ其處ニ眼點ヲ置イテ御考
ヘニナラヌト、準用規定ノ上ニ於キマシテモ非常ニ間違ヲ
生ズルト思ヒマスノデ、是ハ餘計ナコトデアリマスガ、必
ズシモ社團法人ノ型ニ當嵌メズニ、社會法人トシテ新シイ
意味ノ法人ト致シマシテ御考ヲ願ツテ置カヌトイカヌト思

フノデアリマス

○吉田政府委員 先程ノ御尋デアリマシタ産業組合ノ理事ノ責任ノコトデアリマスガ、産業組合法ノ第三十二條ニ民法ノ第四十四條ヲ準用致ス規定ヲ置イテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ此法人ヲ強ヒテ社団法人ノ型ニ當嵌メテ來ルト云フヤウニ御考ヘノヤウデアリマスガ、サウ云フ積リデハアリマセヌ、労働組合ハ組合員ヲ以テ作成スルモノデアリマシテ、自然社団法人ト非常ニ類似シタ構成ヲ持ツテ居ルモノデアリマスカラ、自然社団法人ノ規定ガ準用セラレルモノデアリマシテ、決シテ社団法人ノ型ニ當嵌メルノデアアリマセヌ、労働組合法人タル働キヲスル上ニ於テ又労働組合ガ組合タルノ働キヲスル上ニ於テ、是レダケノ規定ヲ將來トモ十分ダト云フ譯ノモノデアアルマイト私共考ヘテ居リマス、ソレハ御注意ノ如ク段々完璧ヲ期セナケレバナラヌト思ヒマス

○猪野毛委員 議事進行ニ付テ一言シマス、モウ午後五時ヲ過ギマシタガ、先刻文部大臣ハ直グ來マスカラト言ツテ其處ヲ去ラレルシ、内務大臣モチヨツトチヨツト言ツテ行カレタノデアリマシテ、此處ヘ顔ヲ出サレタ時間ハ、内務大臣ハ自分ノ所管デアリマスニモ拘ラズ極ク僅カデアリマス、吾々ハ成ベク議事ノ進行ヲ急イデ致シタイト思ツテ居

五〇四

リマスケレドモ、大體ニ於テ此根本問題ヲ、力アル所管大臣カラ伺ハナイト、箇條々々ニ移ツテ部分的ノ事ヲヤルノニ非常ニ不便ヲ感ズル、先ヅ基礎觀念ヲ拵ヘテ、ソレカラ部分的ノ事ヲ伺フ方ガ都合ガ好イト思ヒマス、實際ノ所ヲ見テ居リマス、文部大臣ノ如キハ豫算委員會ニ行クト言ツテ行カレタノデスガ、行ツテモ用ガナカツタノデス、海軍大臣ダケカラレテ自分ハ遊ンデ居ルヤウナ有様デス、ソレカラ國立公園ノ委員會デアリマスガ、是モ内務大臣ハ二時間モ、公園ノ漫談ノヤウナ質疑應答ヲヤツテ居ルノデス、外ノ委員會ニ行カレルコトモ宜シウゴザイマスケレドモ、何トシテモ此法案ハ非常ニ重要ナ問題デアリマスカラ、時間ノ公平ナル分配ヲ大臣ニシテ貰ヒタイ、文部大臣ハ顔ダケ見セテ何等質疑應答ハヤラズ、内務大臣ノ如キハ十分カ二十分話ヲシタマケデ、外ノ委員會ニ行クト二時間モシンミリヤツテ居ラレル、サウ云フヤリ方ヲ爲サル、ノナラバ、此方ノ方モ魚心ニ水心デ、自然長引クヤウニナルコトヲ恐レル、ダカラドウカ委員長カラソレムコトヲノ議員カラ希望ノアツタ大臣ニ對シテ成ベク早ク來ルヤウニ一ツ促シテ戴キタイト思ヒマス、ドウモ實際責任アル大臣ガ居ズシテ政府委員トカ政務官バカリニ承ルノハ如何ニモ吾々ハ物足りナイ、丁度オ寺ニ參ツテ住職ニ會ヘズ伴僧ヤ

何かニ會ツテ話ヲ聽イテ居ルヤウデアアル、何トカーツ其邊御諒承ヲ願ヒタイ、至急一ツ來ルヤウニシテ戴キタイ

○添田委員長 猪野毛君ニチヨツト申上ゲマス、御趣意ノ點ハ委員長モ同感デアリマス、成ベク大臣ノ出席ヲ促シテ居リマス實ハ先程以來内務大臣ノ出席ニ付キマシテ屢々促シテ居ル、所ガ今安藤君ノ御話ノ如ク國立公園ノ方ニ出席致シテ居リ、又豫算委員會ハ内務大臣ノ出席ノアルマデ休憩ヲスルト云フ工合ニ、豫算委員會デモ之ヲ要求シテ居ルヤウデアリマス、サウ云フ譯デアリマシテ出來ルダケコチラモ盡力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、併シ只今ノ根本問題ニ付テト云フ御話デアリマスガ、根本問題ノコトニ付テハ、今日猪野毛君ハ初メデアリマスケレドモ、先達來大分質疑應答ガアツタ、又内務大臣ハ今日ハ僅カノ時間デアリマスケレドモ、今マデ數時間ヅ、此會ニハヤハリ臨ンデ居ル、デアルカラ此點ダケ御承知ヲ願ツテ置キタイ

○猪野毛委員 今ノ御言葉ハ洵ニ御結構ナコトデ、成程私ハ初メテ今日參ツタノデアリマスガ、今此速記録ヲ讀ンデ見マスノニ、根本問題ニ一向觸レテ居ナイ、少シハ觸レテ居テモ要領ヲ得ナイ、是ハ私バカリデハナイ、以前聽イテ居ツタ人モヤハリドウモ根本ニ觸レテ居ナイ、觸レテ居テモ要領ヲ得ナイカラ是デハ満足出來ヌト言ツテ居ルデハア

衆議院委員會労働組合法案外一件委員會第九回

リマセヌカ

○添田委員長 内務大臣ノ出席ヲ要求スルコトハ同感デアリマスカラ出來ルダケ要求シテ居リマス、ソレカラ文部大臣ハ今直グニ呼びニヤルコトニ致シマス——ソレデハ六時半マデ休憩ヲ致シマス

午後五時二十七分休憩

午後六時五十分開議

○添田委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス

○中谷委員 十三條ノ「雇傭者ハ労働者ガ労働組合ノ組合員タルノ故ヲ以テ之ヲ解雇スルコトヲ得ズ」之ニ關聯シテ御尋致シマス、本法ガ未ダ實施セラレザル以前ニ於テ斯様ナル理由ニ依ツテ使用者ガ労働者ヲ解雇スルト云フヤウナコトハ、政府トシテハ別ニ之ヲ取締ルコトハ出來ナイカト思ヒマス、併シ既ニ政府ガ本法案ヲ提出スルト云フコトニナリマシタ趣旨カラ申シマスレバ、ヤハリ組合員デアルカラ之ヲ解雇スルト云フコトハ餘リ好マシクナイ、之ニ依ツテ爭議ガ勃發スルコトニ付テハ私ハ好マシクナイコト、思ヒマスガ、ソレニ對シテ政府ハドウ云フ御考ヲ持ツテ居ラレマスカ

○吉田政府委員 私共トシマシテハ本法ノ趣旨ニ規定シテ

五〇五

アル意味ノコトハ適當デアラウト考ヘテ居リマスノデ、事業主、雇傭主ガ單ニ勞働組合ニ加入シタマケノ理由ヲ以テ使用人ヲ解雇スルコトハ好マシクナイト考ヘテ居リマスケレドモ、法令ノ根據モ何モナイコトデアリマシテ、現在ソレニ對シテ何等ノ取締等ヲ加ヘテ居リマセヌ、之ニ對シテハ事實上ノ問題トシテ見テ居ル譯デアリマス

○中谷委員 實ハ斯ウ云フ事件ガアツタコトハ内務省ノ方デモ能ク御分リデアリマセウガ、尼ヶ崎市ノ大日本紡績工場ニ於キマシテ最近勞働爭議ガ勃發致シテ居ル、其原因ハ女工ノ一人鍋倉アサエト云フ女工デ、見廻ノ職務ヲ持ツテ居ツテ、數百ノ女工ノ衆望ヲ集メテ居ル人デアリマスケレドモ、此女ガ勞働組合ニ加入シテ居ルト云フ故ヲ以テ、二月五日ニ人事係ノ者ガ組合脱退ヲ強要シタ、所ガ同人ガ之ヲ拒ムト工場内ノ或ル部屋ニ監禁シテ戸ヲ鎖シテ外出スルコトヲ禁ジテ居ルト云フヤウナ事實ガアルト云フコトヲ訴ヘテ居リマスガ、左様ナ事實ガアリマシタデセウカ御伺致シマス

○吉田政府委員 私ハ今御舉ニナリマシタ事實ヲマダ承知致シマセヌ

○中谷委員 内務大臣ハ如何デアリマスカ

○安達國務大臣 承知致シマセヌ

マセヌガ、私ハドウシテモ是ハ御調査ニナツテ、之ニ對スル内務大臣トシテノ取締、或ハ部下ノ知事又ハ警察部長ニ對シテ相當ナル解決策ヲ執ラナケレバナラヌト考ヘル次第デアリマス、段々詳シイ報告ガアリマスルガ、要スルニ鍋倉アサエニ同情シタ女工三十二名ニ對シテハ、ウヲ二月十七日社宅内ニ監禁シ、其他ニ二百名ノ爭議團員ガ殘リマシタガ、之ヲ堀ト堀ヲ廻ラシタル社宅ノ中ニ監禁シテ、外部トノ交通ヲ禁ジテ居ル、サウシテ七十名カラノ巡查ガ工場内ニ這入ツテ之ヲ警備シテ居ル、其中又女工三十二名ガ監禁ヲ逃レテ、大阪ノ金屬勞働組合出張所ニ集合シテ保護ヲ求メタ、所ガ兵庫縣ノ警察部ノ巡查等ガ大阪市ニ參リマシテ、泣叫ブ是等女工ヲ「トラツク」ニ載セテ、全部尼ヶ崎ノ社宅内ニ運搬シタト云フ事實デアリマス、實ニ甚シキ是ハ人權蹂躪デアアル、又此報告ニ依リマス、爭議團ニ參加シテ居ル職工四十名ト云フモノハ、一警察署カラ數警察署ニ所謂鹽廻シノ方法ニ依ツテ、今尙ホ留置、拘禁ヲ加ヘテ居ルト云フコトデアアルガ、此勞働法案ノ審議ヲ致ス際ニ於テ、斯ノ如ク警察ガ不當ノ干涉ヲ試ミマシテハ、吾々議員トシテドウシテモ是等ノ事實ニ付キマシテ詳細ナル報告ト、之ニ對スル内務大臣ノ確乎タル所信及ビ之ニ對スル處置ヲ、御調査ノ上此委員會ニ報告セラレントヲ要求致ス

○中谷委員 此事實ハ相當ニ根據ガアルト思ヒマスガ、マダ聽カナイト云フコトナラバ已ムヲ得マセヌガ、内務大臣ニ於テハ斯ル事實ガアツタカ否カラ至急御調査願ヒタイノデアリマス、ドウ云フ譯デスウ云フコトヲ申スカト云フト、大體本委員會開會以來問題トナツテ居リマス點ハ、此勞働組合法ガ制定セラレテモ此勞働組合ニ加入シナイ、勞働組合トシテ法認セラレナイ組合ガ多數ニ存在スルト云フ質問應答ガアツタノデアリマスガ、ドウ云フ譯デサウ云フコトニナルカト申シマス、此勞働組合法ト云フモノハ法認組合ニ對シテ利益ヲ與ヘテ居ラヌ、利益ヲ與ヘテ居ルト見ラレテ居ル點ハ即チ第十三條デアアル、是ガ唯一ノ法認組合ニ對スル利益ノ規定デアリマス、其他ニモ先程由谷委員カラ多少利益ノ點ヲ御話ニナリマシタガ、問題ニナラヌト思フ、最モ組合ニ對シテ利益ヲ與ヘルト思ハレル點ハ此點デアアル、サウスルト今日ニ於テモ斯ウ云フヤウナ理由ヲ以テ女工ヲ解雇シ、剩ヘ監禁シタト云フヤウナ事實ガアツタコトハ、本案審議上重大ナル關係ヲ生ジテ居リマス、尼ヶ崎ノ大日本紡績ハ二千名ノ職工ヲ有シテ居ルト云フ大工場デアリマスカラ、是等ニ付テ本法案ヲ審議スルニ當ツテハ必ズ報告ヲ受ケテ居ルベキモノト信ズルノデアリマス、知ラナイト云フコトニ付キマシテハ、敢テ怠慢ナリトハ申シ

次第デアリマス

○安達國務大臣 早速調査致シマス

○松村委員 漸ク内務大臣ノ御出席ヲ得マシタノデ、引續キ質疑ヲ繼續致シマス、先程御斷リ致シマシタヤウニ、私ハ殆ド同ジ質問ヲ繼續シナイ方針デ居リマスケレドモ、内務大臣ガ居ラヌ爲ニ、長官其他トノ問答ノ一部ヲ簡單ニ繰返シテ、其都度根本問題ヲ伺ヒタイト思ヒマス、豫メ御諒承願ヒマス

質疑ニ入ルニ先チマシテ、平凡ナ事ノヤウデヌガ一寸伺ツテ見タイ事項ガアル、ソレハ先程ノ勞資ノ問題、ソレニ關聯シテ伺ヒタイ、資本ト勞働、ソレニ經營ヲ加ヘテ産業ノ本體トナス、是ガ本案ノ如キ社會立法ニハ重大ナル關係ガアリマスノデ、特ニ申上ゲル、此三ツノモノハ近代思想ニ依リマス、之ヲ國際的ノモノデアルト言ツテ居リマス、勞働立法、社會立法ハ大體國際的ノ見地カラ立テラレル、其爲ニ國際聯盟ニモ入り、又國際聯盟關係ノ社會立法ニモ年々出掛ケルト云フノハ此意味デアリマス、ソコデ内務大臣ニハツキリ御伺シテ置キマス、本案ノ根本問題トシテ、此三ツノ産業要素ガ三ツ共國際的ノ性質ノモノデアアルカドウカト云フコトヲ豫メ御伺スルノデアリマス

○安達國務大臣 先刻來度々詳シク御講釋ヲ拜聽シテ居リ

マスガ、吾々ハ普通ノ考デ勞資協調ト言ツテ居リマス、學者ノ解釋トシテハ色々ナモノガ這入ルカモ知レナイガ、吾々ノ今マデ言ツタ勞資ノ資ノ中ニハ無論御話ノヤウナモノガ含マレテ居ルト考ヘテ居ル、成程國際的ニ勞働問題ハ絶エズ開カレテ居リマスガ、同時ニ我國ハ我國トシテノコトヲ考慮シ、我國獨特ノ特色モ考慮シナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○松村委員 具體的ニ伺ヒマスガ、資本ハ國際的ニ流動スルモノト御考ヘデアリマスカ、經營モ亦或ル程度マデ勞働モ亦國際的ニ流動スルモノト御考ヘデアリマスカ
○安達國務大臣 ソレハ國境ノ影響ヲ受ケルコトが大分アリマスカラ、資本ハ國際的デ、國境ナシトモ言ハレマス

○松村委員 經營ハ如何デアリマスカ
○安達國務大臣 經營亦然リデアリマス
○松村委員 勞働モヤハリ同ジデアリマスカ
○安達國務大臣 サウデス
○松村委員 其處ガ一昨日カラロヲ酸ツバクシテ聽イテ居ルコトデアルガ、内務大臣ハ肝心ナ所ヘ行クト、産業ノコトハ御分リナイト見エテ逃避サレル、問題ハ其處ニアル、資本ハ國際的デ國境ハアリマセヌ、現内閣ノ失政ノ結果デ

アルカ、昨年來多額ノ金ガ國外ニ流レテ居ル、是ハ明白ナル事實デアアル、斯ノ如ク資本ニ國境ハアリマセヌ、經營モ亦其通りデアリマス、日本ガ支那ヘ行ツテ經營スル、亞米利加ガ日本ヘ來テ經營スル、斯ノ如ク明ニ國際的デアアル、勞働モ果シテ資本ト經營ト同ジヤウニ國際的ニ國境ナク動キマスカ、内務大臣ハ左様デアリマス御答ニナツタ、内務大臣ハ本當ニサウ御考ヘニナツテ居リマスカ、勞働ハ確ニ資本ト經營ト同ジク國際的ニ移動致シマスカ
○安達國務大臣 國際的ニ移動ハ致シマセヌ——國際的ニ移動スルコトモアレバシナイコトモアリマス、資本デモ亦然リト思ヒマス

○松村委員 先程ノ説明ト大變違フ、是ハ常識的デ簡單ナヤウデアアルガ、大臣ハ現ニ御分リニナツテ居ラナイ、御分リニナツテ居ラナイカラ社會立法、産業立法ヲヤリマス時ニ間違ガ起ル、資本ハ國際的ノモノデ國境ハナイ、經營モサウデアアル、ケレドモ勞働ハ、成程國際會議ニ行ク時ニハ國境ハナク相談スルガ、勞働位國內のナモノハナイ、勞働ガ國內的デアルト云フコトハ御分リニナリマセヌカ
○安達國務大臣 ソレデ言ツタデアリマセヌカ、ソレハ國際的ノコトモアレバ國內的ノコトモアル
○松村委員 私ガサウ言ウタカラ訂正サレタノデアアル、是

ハ簡單ナコトデアアルガ社會立法ヲスル時ニハ非常ニ大事ナコトデアアル、資本ト經營ハ移動スルガ、勞働ハ國際的ニ移動シナイ、ソレガ爲ニ移民問題ガ起リ色々ナ問題ガ起ル

〔發言スル者多シ〕

○添田委員長 靜肅ニ願ヒマス
○松村委員 是ハアナタ方モ能ク御聽キナサイ——社會立法、産業立法ヲスル時……

〔發言スル者アリ〕

○添田委員長 工藤君靜肅ニ願ヒマス
○松村委員 委員長、工藤君ハ今朝カラ妨害ニ來テ居リマス

○添田委員長 アナタハ質問ヲ續行シテ下サイ
○松村委員 質問デナク委員長ニ注意スルノデス、今朝カラ妨害ニ來テ居ルデハナイカ——ソコデ國際會議ナドニハ行キマスガ、勞働ニ國境ガナイヤウナ考デアルカラ非常ニ間違フ、ナゼ佛蘭西ノ資本ガ外國ニ逃ゲルト御考ヘニナリマスカ、是ハ簡單ナヤウデアアルガ内務大臣ニハ分ラヌト思ヒマスカラ、社會局長官ニ御伺スル、ナゼ佛蘭西ハアレ程資本ト經營ガ逃ゲタカト云フ簡單ナ事實、社會局長官ハ御分リニナリマセヌカ
○吉田政府委員 何故ニ佛蘭西ノ資本ガ外國ニ逃ゲルカト

云フコトガ若シ勞働立法ニ關係ガアリマスナラ御指示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松村委員 社會局長官モ分ラヌ、組合法ニ關係ガアリマスナラ御指示ヲ願ヒタイト云フ、社會局長官ガ分ツテ居レバ答辯出來ル筈デアアル、佛蘭西ノ資本ガ逃ゲルノハ、色々理由ガアルガ、一番ノ理由ハ佛蘭西ノ勞働運動ガ過激デアルト云フコトデアアル「サンデカリヅム」ガ過激デアルト云フコトノ爲メデアアル、是ガ爲ニ國內事業經營ガ危険デアルト云フコトヲ多クノ人ガ認メ、佛蘭西ノ勞働運動ガ過激デアルト云フコトガ一番大キナ根幹ノ理由デアアル、是ガ勞働組合運動ト關係ナクテ何デアリマスカ、其位ナ簡單ナ事實サヘ分ラズニ社會立法ヲスルカラ間違フト云フ例ヲ茲ニ擧ゲタノデアアル、内務大臣、社會局長官ハ、社會立法ヲサレル時ニ此位ノ關係ガ分ラナケレバ、折角社會立法ヲ爲サレテモ、日本ノ資本ト經營ガ支那ニ逃ゲル、何ノ爲ニ逃ゲルカ考ヘナケレバナラヌ、是ハ大事ナコトデアアル、實ニ簡單ナ事ノヤウデアアルガ、只今ノ内務大臣並ニ社會局長官ノ答辯デハ一向分ラヌカラ、茲ニ先ヅ前提トシテ一言此問題ヲ質疑シタノデアリマス

ソコデ本論ニ入りマシテ、第一條ノ此共同利益ノ保護増進ト云フコト、政治ノ關係ヲ、内務大臣ノ留守中ニ社會局

長官ト問答シタノデアリマスガ、長官ノ言フ所ニ依リマス
ト、此十二條ノ選舉ニ關スル費用ヲ取ツテハイカヌケレド
モ、其以外ノ事ナラバ政治其モノヲ目的トシナケレバ大概
宜シト言フ、ソコデ私ハ例ヲ舉ゲマシテ茲ニ聽イタノデ
アリマスガ、内務大臣ガ留守デアツタカラ遠慮シテ御答辯
爲サラナカツタノカ、便宜上御答辯爲サラナカツタノカ、
其處ハ分ラヌガ「階級闘争ヲ目的トシテ新社會ノ建設ヲ期
スルト云フガ如キ事柄」或ハ「ソウイェット」露西亞ヲ擁
護ズルト云フカ如キ事柄「或ハ對支不干涉ト云フ事柄」
「帝國主義ノ戰爭反對ト云フヤウナ事柄」斯ウ云フ例示シ
タル事柄ニ付テ、是ガ政治運動デアルカドウカト云フコト
ヲ伺ツタノデアリマスガ、社會局長ハ分ラヌト言ツテ御答
ガナイ、此問題ニ付キマシテ責任アル内務大臣ニ先ヅ御伺
ヲ致シマス

○安達國務大臣 政治ノ目的デ行動スルコトハ宜シウアリ
マス、ソレデ若シ組合ノ規約カ何カニ今御舉ゲニナツタヤ
ウナ事ガアリマシテ、ソレガ愈々政治的行動デアルト認め
タ場合ハ、此法案ガ通過致シタ曉ニハ、私ハソレ々取締
ヲシヨウト考ヘテ居リマス

○松村委員 私ハ非常ニ慎ンデ、是ハ何處ノ何カト云フコ
トヲ言ハナイ位ニ組合ニ遠慮シテ、組合ノ爲ニ質問シテ居

ルノデアリマス、ソレ故ニ具體的ニ伺ツタノデアリマス、
「ソウエツト」露西亞ノ擁護ト云フガ如キコト、對支不干
渉ト云フガ如キコトハ、政治運動デアルカドウカト云フコ
トヲ實例ニ付テ具體的ニ伺ツタ、其時々々ドウスルトカ云
フコトデナイ、是ハ政治運動デアルカドウカト云フコトヲ
具體的ニ伺ツテ居ル、具體的ニ御答ヲ願ヒタイ

○安達國務大臣 政治的ニ關係ノアル事ハソレ々取締ヲ
シヨウト考ヘテ居リマス、私ハ其處ハ明カニシテ置ク積
リデアリマス、此法律ガ成立致シマシタ曉ニ於キマシテ
ハ……

○松村委員 私ハ具體的ニ聽イテ居ル、「ソウイェット」露
西亞ヲ擁護スルト云フガ如キ政綱規約、對支不干涉ト云フ
ガ如キ政綱規約、階級の闘争ヲ目的トシ新社會ノ建設ヲ期
スルト云フガ如キ規約、是ガ政治運動デアルカドウカト云
フコトヲ判斷シナケレバナラナイ、其位ノ判斷ガ内務大臣
自身ニ出來ナイデ、將來本法ガ施行サレタ曉誰ガ判斷シマ
スカ、ソレガ政治デアルカ否カト云フコト、ソレヲ内務大
臣自ラガ御答辯出來マセヌカ

○安達國務大臣 此處デハ大體ノ法文ニ依ツテ御答スルヨ
リ外アリマセヌ、斯ウ云フ場合、ア、云フ場合ト云フヤウ
ナコトヲ此處デ私ガ豫メ御答ヘスル必要ハナイ、此法案ガ

通過致シマシタ曉ニ——愈々法律トナツタ時ニ、之ニ違反
スルヤウナ事ガアツタラ、其時ニ自然ニ取締ラスルノガ當
然ト思ヒマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○松村委員 實ニ責任アル内務大臣ノ言葉トシテ是ダカラ
分ラナイ、此間ハ他ノ人ノ質問ニ對シ例ヘバ八時間労働制
ノ如キハ明カニ共同利益ノ爲ノ政治行動デアルト云フコト
ヲ度々例示シテ居ラレル、ソレ故ニ今度ハ此方カラ斯ノ如
キ事ハ政治ニ關係ガアルカドウカト云フコトヲ例示シテ聽
イテ居ル、ソレガ御答出來ナイト云フコトハドウ云フ譯デ
アルカ、餘リニ無責任デハナイカト思フ、ソレデモ御答出
來マセヌカ

○安達國務大臣 先刻御答ヘシタ所デ明瞭ト考ヘマス

○松村委員 是ハ大事ナコトデアアル、政府ハ幾多ノ例示ヲ
スルガ、コチカラノ例示ニ對シテハ判斷能力ハナイノデア
リマスカ

○田子委員 今松村君ノ御質問ノ政治ト労働組合トノ關係
デアリマスガ、其事ハ先程大臣ノ御留守ノ間ニモ御尋ヲ致
シマシタガ、社會局長官ノ御答辯ハ尙ホ考ヘテト云フコト
デ留保サレタガ、事重大デアリマスカラ、内務大臣ニ私カ
ラ重ネテ御尋致シタイト思フノデアリマス、第十二條ニ依
リマスレバ、「労働組合ハ衆議院議員又ハ北海道會、府縣

會、市會、町村會其ノ他之ニ準ズベキモノ、議員ノ選舉運
動ニ關シ費用ヲ支出シ又ハ其ノ費用ニ充ツル爲組合員ヨリ
金錢ヲ徵收スルコトヲ得ズ」之ヲ見マスレバ衆議院議員其
他ノ議會ノ議員選舉ニ關シテ選舉運動費ノ支出スルコト
、費用ヲ取立テルコトハ禁ジテアリマス、然ラバ労働組
合個人ノ資格デナク、労働組合ノ資格ニ於ケル選舉運動
ハ、本法ニ於テ禁ズルノ趣旨ナリヤ否ヤ此點ヲ御伺シタ
イ

○吉田政府委員 其點ニ付キマシテハ先程申シマスル如ク
大要ヲ御答致シタノデアリマスガ、尙ホ事ガ非常ニ正確ナ
御尋デゴザイマシタノデ、萬一間違ガアルトイケマセヌノ
デ、暫ク考慮ノ時間ヲ御與ヘ願ヒタイト云フコトデ、餘地
ヲ殘シテ御答シテアルノデアリマス、只今内務大臣ノ御即
答ヲ御求メニナリマスレバ、内務大臣ハ御答ニナルカモ知
レマセヌガ、先程ノ程度デ今晩ニデモ明日ニデモ御答ヲス
ルコトガ出來マスレバ仕合セト思ヒマス

○安達國務大臣 只今政府委員ガ御答シタヤウナコトヲ御
答シテアリマスナラバ、其通りニ取計ツテサウシテ留保シ
テ置キマス

○田子委員 條文ヲ讀上ゲマシタカラアナタハムツカシク
御考ヘニナツタラウト思ヒマスガ、左様ナコトデハナイ、

労働組合ハ政治運動ヲヤツテハイカスト解釋セラレルカド
ウカ、ソレガ法文トドウ云フ關係ニナツテ居ルカ、是ダケ
ノ事ヲ御答願ヒタイ

○安達國務大臣 政治ヲ目的トシテ行動ヲ爲スコトハ宜シ
クナイト斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○田子委員 私ハ二段ニ分ケテ御尋シヨウト思ツタノデ
ス、第一番ハ選舉運動ヲ組合ハ爲シ得ルヤ否ヤ、第二點ハ
政治運動ヲ爲シ得ルヤ否ヤ、此二ツヲ御尋致シタイ

○安達國務大臣 政治的行動ヲ爲スコトハ全然宜シクナイ
ト思フ、選舉ハ無論イケマセヌ、政治ヲ目的トスル……

○田子委員 先程ノ御答辯ト違ツテ居リマスガ此場合追窮
ハシナイ、今夜能ク御考ヘニナツテ、明日御取消ニナツテ
モ一向私ハ厭ヒマセヌ、附則ノ第二項ニ依リマス「第一
條ニ掲グル事項ヲ目的トスル労働者ノ團體又ハ其ノ聯合團
體ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノハ之ヲ本法ノ労働組
合ト看做ス」本法ニ依ル労働組合ニ非ザルモノヲ法ノ力ニ
依ツテ労働組合ト看做ス、是ハ内務大臣ノ職權デナクシ
テ、立法府ノ職權デ労働組合ト看做ス、斯ウ規定ニナツテ
居リマス、只今政治運動ニ付テ明答ヲ得マシタガ、一例ヲ
舉ゲテ内務大臣ノ御信念ヲ確メタイ、日本労働總同盟ノ規
約綱領ニ依リマス「一、我等ハ團結ノ威力ト相互扶助

ノ組織トヲ以テ經濟的權利ノ増進並知識ノ啓發ヲ期ス、
二、我等ハ斷乎タル勇氣ト有效ナル戰術トヲ以テ資本家
階級ノ壓迫迫害ニ對シテ徹底的ニ鬭争センコトヲ期ス、
三、我等ハ労働者階級ト資本家階級トガ兩立スベカラザル
コトヲ確信ス、四、我等ハ労働組合ノ實力ヲ以テ労働者階
級ノ完全ナル解放ト自由平等ナル新社會ノ建設ヲ期ス」是
ハ新シイ規約デアリ、主義綱領ダラウト思フ、是ハ社會局
カラ御配付ニナリマシタ昭和六年二月主要労働組合規約集
ト云フ中ニ採録サレテ居リマスガ、本法ニ依ルト此附則第
二項ハ此組合ニ適用セラレマシテ、組合ト看做サレルノデ
アリマセウカ、ドウデアリマセウカ之ヲ伺ヒタイ、恐ラク
内務大臣ハ其時十一月一日ニナツテ考ヘルト云フ御答辯ガ
アルカモ知レマセヌガ、本法ハ内務大臣ノ考デナク、労働
組合ト看做ス、斯ウ云フヤウニ法デ規定スルノデアリマス
カラ、立法府ノ意思ニ依ツテ決定サレルト思ヒマスカラ、
此點ハ内務大臣ハ本案ヲ提出サレルニハ必ラズ御考ヘニナ
ツタラウト思ヒマス、殊ニ我國トシテハ大キナ組合デアリ
マスカラ、内務大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○安達國務大臣 組合ト看做ス積リデアリマス、併シ其目
的ニ付キマシテハ、私ハ其時ニ當ツテ考慮シテ最善ノコト
ヲ致シタイ、先日モ御答シマシタガサウ云フ考ヲ持ツテ居

リマス

○田子委員 松村君カラ屢々労働組合法ノ指導精神ト云フ
コトヲ述ベラレマシテ、各國ノ立法例ヲ舉ゲ、我國ノ労働
組合法ニハ何等ノ指導精神ガナイ、斯ウ云フヤウナ御質問
ニ對サレマシテ、内務大臣ハ即チ我國ト致シマシテハ、勞
働條件ノ維持改善ト共同利益ノ保護増進ガ其根本精神デア
ル、是ハ各國ト違ツテ特ニ書イテアル、此事ガ我國ノ特別
ナ労働組合法デアル、而モソレハ勞資協調ノ精神ヲ以テ行
クノダ、斯ウ云フヤウニ御答辯ニ相成ラレタコトハ御記憶
デアラウト思フ、而シテ只今労働總同盟規約ヲ讀上ゲマシ
タガ、此労働總同盟ヲ労働組合ト認メルト云フ御趣旨デア
リマスガ、此三項ニ依ルト我等ハ労働者階級ト資本家階級
トガ兩立スベカラザルコトヲ確信ス、斯ウ明カニ書イテア
ル、アナタノ今マデ労働組合ノ我國ノ特色精神ト言ハレタ
コトト、此綱領トノ關係ハ全ク相反スル、資本家階級ト
労働者階級トハ對立ガ出來ナイ、ドチラカ之ヲ倒サナケレ
バナラヌト云フ趣旨ガ現レテ居ルヤウニ見エルノデアリマ
スガ、内務大臣ハ之ヲ組合ト認メルト云フ御趣旨ハ何處ニ
アルノデアリマスカ

○安達國務大臣 附則ノ第一條ハ、現在サウ云フモノガア
ルノヲ、是デ認メテ行カウト云フ考カラデアアル、第一條ノ

衆議院委員會労働組合法案外一件委員會第九回

産業別、職業別ガ違ツテ居ルコトハ分リ切ツタ話デアリマ
ス、ソレデ其内容ニ付キマシテハ私ハ不穩當ノコトガア
リ、法規ニ違反スルヤウナコトガアリ、勞資協調ノ趣旨ニ
缺ケルヤウナコトガアレバ、其時ニ當ツテ考慮シテ最善ノ
手段ヲ執ルト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス

○田子委員 サウ云フ御答辯ヲ爲サツテ、一時逃レヲ爲サ
ラウト云フコトハイ、イナイ初メニ申上ゲタ通り、ソレハ
内務大臣ノ御考デハイケナイ、本法ノ労働組合ト看做スノ
ハ、帝國議會ハ法律ノ力ニ依ツテ労働組合ト看做スノデア
リマスカラ、内務大臣ハ御提案ノ當時ニ大體ノ御考ガナケ
レバイケナイト思フ、アナタガ認メルノデハナク、法律ガ
看做ス、斯ウ云フモノガアツタナラバ届出口、登記シロト
云フノデハナク、斯ウ云フモノハ労働組合ト看做スト、法
律ノ力デ看做スノデアリマスカラ、是等ハ這入ルカ這入ラ
ナイカ豫メ御考ヘニナランケレバナラヌト思ヒマス

○安達國務大臣 幾度繰返シテモ同ジコトデアリマスカラ
結局意見ノ違ニ歸著致シマス

○田子委員 例ガ大キイノデアアナタハ御心配ニナツテ居ル
ト思ヒマスカラ、ソレデハ今ノ事ハ尙ホ能ク御考ヘニナツ
テ明日御答ニナツテモ宜シウゴザイマスガ、全國労働組合
同盟規約、其綱領ニ依リマス「一、吾等ハ團結ノ威力ヲ

以テ労働條件ノ向上ヲ圖リ進ンデ労働階級ノ解放ヲ期ス、
一、吾等ハ鞏固ナル組織ト有テナル戦術トヲ以テ資本家階級ノ搾取ト壓制ニ對シテ徹底的ニ闘争センコトヲ期ス、
一、吾等ハ階級的立場ニ立テ無産階級の政治勢力ノ擴大ヲ期ス」斯ウ云フ風ニ掲ゲテアリマス此全國労働組合同盟規約ニ依ル此組合ハ如何ヤウニ御取扱ニナルノデアリマス

○安達國務大臣 ソレモ同ジデアリマス

○田子委員 同ジトハドウ云フコトデアリマスカ

○安達國務大臣 ヤハリ認メテ行クノデス、唯其規約ノ内容ニ付キマシテハ、ソレハ法律施行ノ場合ニ於テ考慮シテ行ク……

○田子委員 内務大臣ノ御趣旨ハ此團體ノ實質ヲ認メテ、此労働組合法ノ條文ノヤウニ訂正サセルト云フ御趣旨デスカ

○安達國務大臣 一寸聽落シマシタガ……

○田子委員 内務大臣ハ此團體ノ實質ハ認メル、併ナガラ書イテアル綱領トカ目的トカニ、此本法ニ抵觸スルコトガアルカラ、之ヲ内務大臣ノ力デ訂正ヲ命ズルト云フ御趣旨デアリマスカ

○安達國務大臣 第一條ニ當嵌ルモノト大體認メテ居リマ

スカラ、ソレデ其法律ニ違背スル所ノアリマス所ダケハソレハ考慮スルト云フ……

○田子委員 ソレハ本法ニ依ル組合ハ労働條件ノ維持改善ト、共同利益ノ保護増進ト云フ二點ヲ掲ゲテ居ル、先刻ノ労働組合同盟規約ニ依リマス、共同利益ノ増進ナドト云フコトハナイ、無産階級ノ政治的勢力ノ擴大ヲ期ス、團結ノ威力ヲ以テ云々、労働階級ノ解放ヲ期ス、或ハ資本家階級ノ搾取ト壓制ニ對シテ徹底的ニ闘争センコトヲ期ス、斯ウ云フヤウナ動カスコトノ出来ナイヤウナ本法第一條ニ背馳シテ居ル所ノアナタノ所謂勞資協調ナドト云フモノデハナイ、資本家階級ノ搾取ト壓制ニ對シテ徹底的ニ闘争センコトヲ期ス、無産階級ノ政治的勢力ヲ伸ベル、斯ウ云フヤウナモノヲ此組合法ノ中ニ這入ツテ居ル組合ト見ルノダト云フ御意思ハ私ニハ呑込メナイ

○安達國務大臣 大體ノ目的ガ労働條件ノ維持改善トカ、或ハ共同利益ノ保護増進ト云フコトガ皆含マレテ居ル、總同盟ナリ其他ノ規約第何條ガドウトカ云フコトニ付キマシテハ、ソレハ皆法律ガ實現スル場合ニ於テハ、最善ノ考慮ヲスルト云フコトデ明白ヂヤアリマセヌカ

〔「明瞭々々」ト呼ブ者アリ〕

○田子委員 考慮ナサルコトハ一向構ハナイガ、本法ノ附

則第二項ト云フノハ法ノ力デ組合ト看做ス、内務大臣ガ看做スノヂヤナイ、法ガ看做ス、ダカラ立法府ノ權限デアル、

此法ニ依ツテ看做スト云フ大キナ事實ヲ茲ニ認メタ時分ニハ、現在ノ組合ガ這入ルカ這入ラナイカト云フコトハ、内務大臣ハ明瞭ニ御答アルベキ筈デ、ソレヲ御答ニナラナイト云フコトハ、吾々カラ申シマスレバ、内務大臣ガアチラニモ、コチラニモ引張ラレテ、殆ドアナタノ信念ト云フトモ、アナタガ労働組合ト云フモノガドウ云フモノダカト云フコトモ一向分ラズ、唯皆ニ引摺ラレテ斯ウ云フモノヲ御出シニナツタト斯ウ思フノデアリマス、其信念ヲ御確メスル爲ニ茲ニ質問ヲ致シタノデアリマヌカラ、モウ少シ眞面目ニ御答辯ヲ願ヒタイ

○安達國務大臣 眞面目ニ信念ヲ言ヒ表シテ居ル

○猪野毛委員 先程内務大臣ハ松村君ノ資本及ビ労働ニ國境有ルカ無シヤト云フ問ニ對シテ申サレルノニハ、有ル場合モアリ無イ場合モアル、斯ウ云フ御答デアツタヤウデアリマスガ、然ラバ斯ウ云フ場合ハ國境ガアル、斯ウ云フ場合ハ國境ガナイト云フ具體的ノ例證ヲ擧ゲテ、アナタノ意思表示ヲ明カニシテ載キタイト思ヒマス

〔「ソナナ事ハ労働組合法ニ關係ナイヂヤナイカ」ト呼ブ者アリ〕

衆議院委員會労働組合法案外一件委員會第九回

○安達國務大臣 斯ウ云フコトハ全ク労働組合法ニ關係アリマセヌ

○猪野毛委員 松村君ノ質問ニ對シテ内務大臣ハ資本及ビ労働ニ國境有ル場合ト、無イ場合トアルト明言ヲサレテ居テ、私ガ如何ナル場合ハ國境ガアル、如何ナル場合ガ國境無キカト御尋スルト、此組合法ト何等關係ガナイト仰シヤルノハ、一體ドウ云フコトデスカ、是ハアナタノ労働法案ニ對スル根本基礎觀念ト云フモノガ非常ニ違ツテ居ルノデス、今民政黨ノ諸君カラ、助け船ガ出タノデ、直チニ之ニ乗ラレタヤウデアアルガ、是ハ非常ニ關係有ルノデアルト云フコトハ、現ニ組合員ニナル所ノ資格ノ一ツトシテ、外國人デモ之ニ這入ツテ宜シイト云フコトヲ、政府委員デアアルカアナタデアアルカ御答ニナツタヤウデアアル、然ルニ茲ニ重大ナル實例ガアル、支那ノ今日ノ労働組合ト云フモノハ非常ニ赤化シテ居ルコトハ露西亞ノ「ソヴイエツト」ノ主義ガ茲ニ這入ツテ居ル、アナタノ仰シヤルヤウナ外國人ガ這入ル規定ヲ設ケナイカラ斯ウ云フコトニナツタノデス、ソレカラ又伊太利ハ今日「ムツソリーニ」ガ英雄政治ヲ布イテ斯ウ云フモノヲ撲滅シマシタケレドモ、獨逸ノ詰リ「サソニカリズム」ガ伊太利ヘ這入ツテ、サウシテアノ伊太利ノ労働界ニ赤化シテ收拾スベカラザルモノニシタノデ、然

ルニ今「ムツソリ」ニガ出テ、斯ウ云フ團體ヲ皆撲滅シテシマツテ、所謂專制英雄政治ヲ布イテ事務局ヲ收拾シテ居ルト云フコトノ状態デアル、ソレカラ露西亞ノ今日ノ状態ナドヲ考ヘテ見レバ、日本ノ労働界ヘ手ヲ伸バンテ居ル、彼等ハ國境ナシト云フ考ヲ以テ、アナタガ資本及ビ労働ニ國境ナシト云フコトニナレバ、思想ニモ即チ國境ナシト云フコトニ私ハ歸著シナケレバナラヌト思フ、是ハ非常ニ重大ナ事デアルカラ、即座ニアナタノ御答辯ヲ願フコトハ、アナタモ答ヘラレルニ御骨ガ折レルカ知りマセヌガ、労働及ビ資本ニ國境ナシトカ、又思想ニ國境ナシト云フコトヲアナタガ内務大臣ノ地位ニオイデニナツテ、此社會思想ノ險惡ナル時ニ於テ申サレルト云フコトハ、是ハ樞密院、貴族院ニ對シテモ、亦國家全體ニ取ツテモ、アナタノ爲ニモ、内閣ノ爲ニモ宜クナイノデス、此處ハ一ツサウ遽ニ斷定ヲ下サレズトモ宜イ、考ヘテ次ニ返答スルト云フコトデ吾々ハ責メマセヌカラ、慎重ニ一ツ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、アナタハ今ノヤウニ國境ガアルヤラ、ナイヤラ分ラヌヤウナコトヲ言ヒマシタケレドモ、アル事トナイ事トアル、斯ウ云フノダカラ、ナイト云フ場合ハドウデアアルカト吾々ガ責メテ行クト、アナタガ内務大臣トシテ非常ニ是ハ拔差ノ出來ヌコトニ立至ルト思フ、吾々ハ今日ノ日本

ノ労働界ガ只今田子君ガ言ハレマシタ通り、全國労働總同盟トカ、或ハ日本労働總同盟ノ綱領ト云フヤウナモノ、中ニハ、許スベカラザルモノガアルト思ツテ居ル、此處ニ西尾君モオイデニナリマスガ、是ハ本會議ニ於テ私ハ今ノ綱領ヲ讀ムテアアナタニ質問シタノデアルケレドモ、アナタハ此法案ガ實施サレタ時ニ篤ト考慮スルト云フコトデアツタ、アナタハサウ此處デ斷定ヲシテ早マツタ所ノ意見ヲ發表サレルコトハ、餘程是ハ御考ヘニナツタ方ガ宜カラウト思ヒマス、私共ハ今日ノ日本ノ労働社會ノ惡化シタト云ハウカ、墮落シタ部分ノ存在シテ居ルト云フコトハ、一ツハ日本ノ或ル非常ナ惡性ノ資本家ガ、労働者ノ人格ヲ無視シテ、奴隸ノ如ク之ヲ扱ツタト云フ事ト、モウ一ツハ他動的ノ新思想ニ囚ハレテ外國カブレヲシテ、所謂露西亞ノ方カラ魔ノ手ガ労働階級ニ入り、組合全精神ヲ乗取ルト云フコトハ、アナタハ内務大臣デアラセラレルカラ能ク御存ジノコトデアアル、斯ウ云フヤウナ次第デアリマスカラ、向フノ手ガ此方ヘ伸ビル、伸バサス、伸バサセヌト云フコトハ、將來非常ニ考ヘナケレバナラヌ、只今田子君ニ對スル答辯ハ、洵ニアナタハ早マリ過ギタヤウナ所ガアリマスカラ、篤ト一ツ御考ヘテ願ヒタイト思フ

○田子委員 モウ一ツ御尋シテ置キタイ、今御尋シタ事ニ

付テ内務大臣ガ御答ガ出來ナイノハ、第一條労働條件ノ維持改善ヲ目的トスル労働者ノ團體、又ハ其聯合ヲ謂フ、此原案ヲ急ニ改竄シテ、共済トカ修養其他共同ノ利益ノ保護増進ト云フヤウナコトヲ加ヘラレテ、ソレヲ又補正スル爲ニ附則ヲ附ケタ爲ニ斯様ナ結果ニナリマスカラ、少クトモ社會局カラ御廻シニナツタ位ナ大キナ組合ニ對シテノ取扱方ニ付テ、此委員會ノ終了セザル以前ニ於テ内務大臣ノ御所見ヲ明瞭ニシテ置キタイト思フノデアリマス、此事ヲ注文シテ私ノ關聯事項ハ終リマス

○安達國務大臣 是ハ最初カラ明確ニ申上ゲテ居リマス、附則ノ方ハ現在ノ労働組合ヲ認メテ行ク、第一條ハ今後ノ條件ヲ具備シテ、サウシテ組合ヲ作ラナケレバナラヌト云フコトガ明白ニ出テ居リマスカラ、是デ私ハ十分盡クシテ居ル考デ居リマス

○田子委員 附則ノ第二項ハ第一條ニ掲ゲテ居ル目的ヲ持ツタ労働者ノ團結デナケレバイケナイ、其點ハ御分リデアリマス

○安達國務大臣 其通りデアリマス

○田子委員 只今讀上ゲマシタノハ此第一條ニ入ラヌモノガ澤山アル、ソレヲ何故ニ此法ニ係ツテ労働組合ト認メルカト云フコトヲ伺ヒタイ、アノ綱領等ヲ御讀ミニナツテ照

合セテ明快ナル御答辯ヲ願ヒタイ

○安達國務大臣 實際ノ所ハヤハリ這入ツテ居ルノデスカラ少シモ差支アリマセヌ、ソレカラ規約ノ中ニ於テ、穩カナラザル所ガアレバ、私其點モ申上ゲテ置キマス、是ガ法律トナツタ曉ニ考慮スルコトガ最も必要ナコトト考ヘテ居リマス

○守屋委員 私モ一言此事ニ付テ承ツテ置キマスガ、第一條ニ關聯シ今田子君ガ附則ノ解釋ニ付テ疑問ヲ出サレタヤウデスガ、今舉ゲラレタ日本労働總同盟トカ、或ハ全國労働組合同盟トカ、或ハ其他ニモツト過激ナ左翼組合ノ一般的労働組合聯合ト云フモノハ附則ニハ含まレナイト云フヤウナコトニ、私共ハ虚心坦懐ニ之ヲ讀ンデ居ツタノデスガ、内務大臣ハ之ヲ含ムト仰シヤル、含ムト仰シヤレバ、當然此労働組合法ニ認メラレル所ノ労働組合トナルノデアツテ、其規約ヲ變ヘルトカ、或ハ直ストカ云フヤウナコトハ、法律施行ノ際ニ内務大臣ガ十分考ヘルト仰シヤツテモ考ヘラレナイコトナノデアアル、ドウ云フ權能ヲ以テ内務大臣ハソレガ直セルト御考ヘニナツテ居ルノカ、ドノ條文ヲ一體御適用爲サラウトスルノカ、若シ其條文ヲ適用シテ直サナケレバナラナイモノナラ、ソレハ本法ノ労働組合ト御認ニナラナイ方ガ宜クハナイカ、勞資協調ノ精神カラ言ツ

テモ、御認ニナルノカ間違ツテ居ヤシナイカ、法律ヲ施行スル際ニ御直シニナル、而モ直ス必要アルモノヲ一度勞働組合トシテ其實體ヲ認メ、ソレヲ又御直シニナルト云フノデアルカ、ソレニ該當スル適當ナル法期方何處ニアリマスカ

○安達國務大臣 其組合ノドレガ悉ク當嵌マルカト云フヤウナコトヲ茲ニ申上ゲルコトハ早計デアリマス、ドノ組合ニ付テモ當嵌マルトハ申シマセヌ、ソレカラサウ云フ場合ニ法規ハドレデ取締ルカト云フ、ソレハ十八條ニ規約綱領ガ安寧秩序ヲ紊ルトカ、公益ヲ害スル時ハ、行政官廳ハ解散ヲ命ズルコトヲ得トアリマス

○守屋委員 ソレナヲ御認ニナラヌ方宜イ、公益ヲ害スル時ハ取消ヲ命ジ又ハ法令ニ違反スル時ハ規約ヲ變更スルコトガ出來ル、或ハ安寧秩序ヲ害スル時ハ主務大臣ハ組合ニ解散ヲ命ズルコトガ出來ルト云フ第十六、第十七、第十八ノ各條ヲ適用シテ、ソレヲ直サウト云フ御考ナラバ、何故初メカラ御認ニナルノデアルカ、御認ニナラレル根據ガナイト思フ

○吉田政府委員 只今迄ノ御質問ハ第一條ト、附則ノ第二項トノ法律的ノ關係、竝ニ其法律的ノ解釋ヲ御尋ノヤウデアリマスカラ、私カラ當局ノ見テ居リマス所ヲ御答致シテ

置ク方ガ御質疑ニ御便宜ダト思ヒマス、第一條ニ於キマシテハ、勞働組合ノ目的ヲ、只今御指摘ニナリマシタ通りニ「勞働條件ノ維持改善及組合員ノ共濟、修養其ノ他共同利益ノ保護増進」ト云フコトヲ目的ニ致シテ居リマス、ソレヲ目的ニ致シマシタ、同一又ハ類似ノ職業又ハ産業ノ勞働者ノ團體、又ハ其聯合ト云フコトガ第一條ノ全體ノ要求ニ適ツタ勞働組合ノデアリマス、ソレハ本法ニ謂フ勞働組合デアリマスカラ問題ハアリマセヌガ、目的ハ勞働條件ノ維持改善竝ニ其他ノ共同利益ノ保護増進ト云フコトニアリマシテモ、ソレガ産業別又ハ職業別ニナツテ居リマセヌモノハ第一條ノ其點ニ合致シナイノデアリマス、目的ハ第一條ニ掲グル事項ヲ目的トシテ居ツテサウシテ産業別、職業別ニナツテ居ラナイモノニ對シマシテ附則第二項ノ適用ガアルノデアリマス、ソコデ先程カラ例ニ御舉ゲニナリマシタ勞働總同盟或ハ組合同盟ハ、是ハ聯合團體デアリマスカラ、聯合團體デアツテ異種ノ産業ノモノヲ含ンデ居リマス、ソレ故ニ産業別、職別ト云フ見地カラ申シマスカラ第一條ハ其儘ニ適用ニナラナイノデアリマスカレドモ、併シ目的ガ勞働條件ノ維持改善ニアル、又其外ニモ現ニ共同利益ノ保護増進ニ關スル事項ヲ目的トシテ行ツテ居ル、是ハ規約ノ一々ノ條文デ是ガ明瞭デナイ

○猪野毛委員 議事進行ニ付テ申上ゲマス、先程カラ吾々ハ二時間ノ間モ待チマシタノハ内務大臣トノ質疑應答ヲシタイカラデアリマス、ソレデスカラ社會局長官トノ質疑應答デハ満足ガ出來ヌ、斯ウ云フ意味デ二時間モ待ツテ居ツタノデアリマス、然ルニ内務大臣ハ満足ニ答辯モセズシテ去ラレテ、社會局長官デハ吾々ハ今ノ事柄ハ質問應答スル價值ガナイ、又長官デハ吾々満足セヌ、ダカラ内務大臣ガ去ラレルノナラバ散會ヲシテ貰ヒタイ

○添田委員長 一寸委員長カラ申上ゲマス、内務大臣ハ御承知ノ通り今晩閣議ガアルト云フコトハ初メカラ分ツテ居ツタ譯デアリマス、ソコデ此會ヲ今晚モ引續イテ開會ヲスルコトニナリマシタカラ是非共此方ヘ出テ貰ヒタイト云フコトデ、ソレデハ行カウト云フコトノ約束デ來マシタ譯デアリマス、ソレデ委員長トシテモ今暫ク此處ニ出席ヲシテ質問應答ノアルコトヲ期待致シテ居ツタノデアリマス、所ガ只今閣議カラ非常ニ急グ事項ガアルカラ來テ貰ヒタイ、斯ウ云フ注文ガ來タノデソレデ内務大臣ハ立去ラナケレバナラヌヤウナ譯ニ相成ツタノデアリマス、其點ハ委員長ノ執ツタコトニ付テハ御了解ヲ願ツテ置キマス

○猪野毛委員 只今ノ續キデアリマスガ、内務大臣ガ急用ガ出來テ御歸リニナルコトハ不満足デハアリマスカレド

モ、私共ハ是ハ止ムヲ得ヌトシマシテ社會局長官ガ殘ツテ居ツテ、押問答シタ所デ、午前午後ヤツタコトヲ又内務大臣ニ聞クコトハ、熱シテハ水ニシ、水ニシテハ熱スルト云フヤウナコトデ、時間ヲ空費スルダケデ何等效果ガナイ、議事進行上何等ノ價值ガナイト云フコトニナリマスカラ、社會局長官トノ質問應答ハ最早ヤ要ハナイト云フコトニナル、此點ヲ御考慮ヲ願ヒタイ

○加藤委員 本日ハ私共ハ午前十時カラ内務大臣ノ御出席ヲ要望シ、委員長ヲ通ジテ之ヲ請求シ、待タサレテサウシテ不承々々條文ノ小サイ問題ニ付テ質問應答ヲシテ居ツタノデアリマス、午後ニナツテ五時半、私ハ委員長ニ對シテ——本日ハ聽ク所ニ依リマスト云フト兩院議長ガ新聞記者諸君ヲ招待シテ居ルト云フコトヲ聽イテ居リマスシ、本夕ハ重要ナル閣議モ御アリニナルト云フコトモ聞イテ居リマスシ、吾々ハ内務大臣ガ出席ヲ致サレマセヌト云フト待チニ待ツタ此質問應答ガ出來マセヌカラ、散會ヲセラレテ明日午前十時カラ御開キニナツタラドウカト云フコトヲアナタニ申上ゲタ、所ガアナタハ、内務大臣ハ出席スルカラ待ツテ呉レト言ハレテ、サウシテ待チニ待ツテ來ラレテ、サウシテ今ニナツテ内務大臣ハ質問ノ重點ニ觸レルト云フト、今度ハ急用ガ出來タカラ歸ルト云フ、今委員長ノ御説

明ニ依リマスト云フト、閣議ノアルコトモ分ツテ居ツタ、分ツテ居ツタコトヲドウシテ内務大臣ガ來ルト言ツテ御取扱ヒニナツタノデアリマセウカ、左様ナ考デ議事進行ヲセシムルナドト云フコトハ委員長トシテドウ云フ考デアリマスカ、吾々ハ今晚ハ十一時マデモ、十二時マデモヤラウト云フ考ヲ持ツテ内務大臣ニ出席ヲシテ戴イタ、戴イタノニ内務大臣ハ倉皇トシテ御逃ゲ出シナル、是ハドウ云フ譯デアアル、與黨ノ諸君ハ時々吾々ニ對シテ質問ガ重複スル、イヤ長イ、學理的ダ、學者ノ議論ダ、斯ウ云フコトヲ言ハレマシテ、其不熱心ト云フコトハ私ハ實ハ遺憾ニ堪ヘナイ、明日ハ何時カラ御開キニナルカ、ソレハ委員長ノ權限デアリマスカラ宜シウゴザイマスガ、必ズ内務大臣ノ御出席ヲ願ヒマス、出席シテ戴カナケレバ吾々ハ質問應答ヲスルコトガ出來ナイ、此事ヲ能ク御了解下サイマシテ必ズ内務大臣ニ出席シテ貰フ、斯ウ云フコトヲ御了解シテ戴キマシテ、今晚ハ是デ散會セラレンコトヲ望ミマス

○添田委員長 今晚ハ是デ散會シマス、明日ハ午後一時カラ開會致シマス

午後八時散會

一〇 第五十九回帝國議會 院 勞働組合法案外一件

(勞働組合法案(政府提出)) 委員會會議錄(速記) 第十回

會 議

昭和六年三月七日(土曜日) 午後一時五十五分開議

出席委員左ノ如シ

- | | |
|------------|------------|
| 委員長 添田敬一郎君 | 理事 山谷 義治君 |
| 理事 三宅 馨君 | 理事 守屋 榮夫君 |
| 理事 多田 滿長君 | 理事 猪野 毛利榮君 |
| 理事 宮澤 裕君 | 理事 猪野 毛利榮君 |
| 榊谷 寅吉君 | 濱野 徹太郎君 |
| 谷 原 公君 | 櫻内 辰郎君 |
| 飯塚 春太郎君 | 栗原 彦三郎君 |
| 久留 義郷君 | 長尾 半平君 |
| 清水 徳太郎君 | 田 中 貢君 |
| 堀内 良平君 | 仲井間宗一君 |
| 加藤久米四郎君 | 堀切 善兵衛君 |
| 田子 一民君 | 松村 光三君 |
| 中谷 貞頼君 | 西岡 竹次郎君 |
| 西尾 末廣君 | |

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第十回

同日委員守屋榮夫君理事辭任ニ付其ノ補闕トシテ猪野毛利榮君理事ニ當選セリ

出席政府委員左ノ如シ

- | |
|--------------|
| 社會局長官 吉田 茂君 |
| 社會局部長 富田愛次郎君 |

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

勞働組合法案(政府提出)

勞働爭議調停法中改正法律案(政府提出)

○添田委員長 會議ヲ開キマス、今日ハ内務大臣ガ出席ヲスル管デアリマスガ、只今貴族院ノ分科會ニ於テ説明スル爲ニ其方ニ參ツテ居ルヤウデアリマス、ソレカラ豫算委員會ノ方ニモ出席シナケレバナラヌコトニナツテ居リマス、ソレガ濟ミ次第ニコチラヘ來ルコトニナツテ居リマスガ、ソレ迄ノ間政府委員トノ質問應答デ此會ヲ繼續シテ行キタイト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○猪野毛委員 昨日懸案ニナツテ、ソレ切リニシテ置キマシタガ松村君ノ質問ノ前ニチヨツト——成ベク大臣ト思ヒ

マシタガ、大臣が居ナケレバ社會局長官デモ結構デアリマス、昨日御伺致シテ置キマシタ、即チ資本及ビ労働ニ國境アリヤ否ヤト云フコトニ對シテ内務大臣ハ有ルコトモアリ無イコトモアル、斯ウ云フ不得要領ナ御答辯デアリマシタ、然ラバ如何ナル場合ニハ有リ、如何ナル場合ニハ無イカト云フ例證ヲ的確ニ舉ゲテ下サイト云フコトヲ御願ヒ致シテ置キマシタ、是ハ社會局長官ガ答辯シテ下サツタラ結構デアリマスカラ、其例證ダケヲ承リタイト思ヒマス

○吉田政府委員 場合ニ依リマシテ私ノ所管トシテ御答スベキ範圍デナイヤウナコトニ互ルカモ知レマセヌガ御尋デアリマスカラ、私ノ考ヘテ居ル事ヲ申上ゲマス、大臣ハ昨日左様ニ申上ゲマシタ、是ハ……

○猪野毛委員 チヨツト待ツテ下サイ、私ノ考ダケデト云フコトデハイカナイ、大臣トアナタトノ中間ノ意見ト云フコトデナケレバ承知出来ナイノデアリマス、アナタノ言ウタ事ヲ、大臣ガヤツテ來テ又引繰返サウナコトヲ言フカモ知レヌ、ソレデハ「ブラス」シテ「マイナス」スルヤウナモノデ、一向議事ガ進行出来ナイ、アナタノ仰シヤツタ事ハ大臣ノ意思ヲ發表サレタモノトシテ私ハ承ツテ置キタイノデアリマス

○吉田政府委員 サウ云フ意味デ御聽キ下サレテモ結構デ

バ、ナイ場合モアル、斯ウ云フ意味デアリマス、労働ニ付キマシテモ略々同ジデアリマスガ、労働者ハ御承知ノ通りニ人間ガ出テ行ク、行カヌノ問題デアリマスカラ、資本ヨリハモウ少シ國境ノ影響ヲ受ケルコトガ多イト思ヒマス、我國ニ於キマシテモ現ニ支那人労働者等ノ問題ニ付テ八年來識者ノ最モ心配シテ居ル所デアルノデ、又我國ノ労働者ガ亞米利加ニ行ツテ労働スルト云フコトニ付テモ、多年問題ガ起ツテ居ルヤウナ場合ニハ、國境ノ制限ヲ受ケルコトガ多イト思ヒマス、併ナガラ我國ノ労働者ガ他國ニ行ツテ働ク場合モアルシ、又他國ノ労働者ガ我國ニ來テ働ク場合モアルノデアリマス、サウ云フ意味デ國境ト云フコトガ影響スル方面モアリ、シナイ方面モアル、斯ウ云フ意味デアリマス

○猪野毛委員 サウ致シマスト今ノ御話カラ申上ゲマシタラバ、日本ノ労働組合ニ外國人ノ加入スルコトハ差支ナイト云フコトニ一致スル譯デアリマスカ

○吉田政府委員 ソレト直接ノ關聯ハナイノデアリマスケレドモ、日本ニモ外國人労働者ガ來得ルノデアリマスカラ絶對ニ來ナイ、來ル虞ハナイト云フ風ニ斷定ハ出來兼ネルト思ヒマス、現ニ支那人労働者等ニ於キマシテモ、支那人ハ内地ニ於キマシテモ自由ニ方々ニ從事スルコトノ出來ナ

アリマス、資本ニハ國境アリト考ヘ得ベキ場合モアリ、國境ナシト考ヘ得ベキ場合モアルト云フ風ニ大臣ガ御話ニナリマシタガ、例ヘバ資本ガ外國ニ流動スルニ付キマシテ、金ノ輸出禁止ヲ致シマスルト云フヤウナ國境ヲ標準ニ致シマシタ一定ノ制限、是ハ金ダケデハアリマセズ、他ノ物デモサウ云フコトガアリ得ナイトハ言ヘナイノデアリマス、國家的ノ必要カラ致シマシテ、サウ云フモノ、國境ヲ越エテ外ハ流動スルト云フコトヲ制限スルト云フ必要ヲ國家ガ感ズル場合デアルノデアリマス、是ハ有ル場合ノ方ノコトデアリマスガ、併シ何等サウ云フ拘束ヲ加ヘナイト云フコトデアリマシタナラバ、是ハ國際經濟ノ原則ニ依リマシテ有利ナ所ニ資本ガ自然ニ流動スルト云フ傾向ヲ持ツト云フコトハ否定出来マセヌノデアリマス、併ナガラソレニ對シマシテハ國家ノ必要カラ相當ノ制限ヲ加ヘル場合モ起リ得ルデセウシ、サウデナクとも其國々ノ環境ニ依リマシテ、容易ニ外國ニ資本ノ流レテ行ク場合モアレバ、又容易ニ外國ニ資本ノ流レテ行カナイ場合モアリマス、資本ガ經濟上ノ原理カラ申シマシテ自由ニ流動シ得ベキモノデアリマシテモ、銘々ノ國デ違ツタ考ヲ持チ、違ツタ事業ヲ行ツテ居ルノデアリマスカラ、ドンノ、サウ自由ニ流レテ行クト限ツタモノデハナイ、ソレガ資本ニ國境ノアル場合モアレ

イ建前ノ規定ガ出來テ居リマスケレドモ、サレバト云ツテ支那人労働者ガ絶無デハナイノデアリマス、斯様ナ譯デアリマスカラ、實際ニ於テハ我國ニモ外國人労働者ノ這入り得ル場合ハアルノデアリマスケレドモ、労働組合ノ問題ヲ考ヘマス場合ニ於キマシテ、我國ノ現狀カラ考ヘマスナラバ、歐羅巴ノ如ク互ニ境ヲ接シテ居ル國トハ違ヒマシテ、故ラニ外國人ハ労働組合員ニナルノ資格ナシト云フ規定ヲ設ケル程ノ必要ハナイデアラウ實際上ノ必要ハナイデアラウ、又實際上ニ必要ガ無イノナラバ故ラニサウ云フ規定ヲ設ケテ置クト云フコトハ却テ考フベキコトデハナイカト云フ意味デ、外國人労働者ノ加入資格ニ關スル規程ハ此法案ノ中ニ這入ツテ居ラナイノデアリマス

○猪野毛委員 私ノ案ズルノハ、労働其モノニ國境ナク日本ニ這入ツテ來ルト云フ點ヲ案ズルノデハナク、其思想ガ日本ニ這入ツテ來テ、所謂惡イ思想ガ日本ニ傳染シハセヌカト云フコトノ憂ナンデス、是ハ日本バカリデハナイ、今マデモ労働運動ガ外國カラ這入ツテ來マシテ、其國ノ労働界ヲ攪亂シタノミナラズ、延イテハ政界ヲ攪亂シ、延イテハ其國家ノ顛覆ノ基ヲ作ツタト云フ苦イ經驗ヲ嘗マデ居ル、昨日モ申シタ如ク伊太利ノ如キハ獨逸ノ「サンデカリズム」ニヤラレタ、最初ハ労働團體或ハ労働組合ノ方ニ

新思想が這入りマシテ、是ガ段々政治的ニ變化ヲシテ來テ、サウシテ伊太利ノ政治ト云フモノヲ過激化シテシマツタ、今ノ支那ノ如キモサウデス、盛ニ露西亞カラ労働者ノ指導者ガ這入ツテ來テ居ル、サウシテ支那ノ労働組合ヲ指揮スルト云フカ教育スルト云フカ、蒙古ノ如キハ特ニ此狀態ガ激シクアリマスガ、即チ一直線ニ政治ニ來ズシテ労働組合或ハ労働指導者ト云フヤウナ形ヲ以テ侵入シテ來ル、斯ウ云フコトヲ考ヘル時ニ於テ、日本ガ他ノ歐羅巴諸國ノ如ク國境ガ相接シテ居ラヌト云フヤウナコトデ、心配ハナイト云フ御話デアリマスガ、思想的ニ斯ウシテ流レテ來ルモノハ、大陸ノ接續デアラウガ、海ヲ隔テテ居ラウガ、此交通往來ノ頻繁ナ時ニハ大シテソレガ援トモナラナイ、昨日モ申シタ如ク露西亞ノ赤イ思想ハ日本ノ労働界ニモ這入ツテ來テ居ル、是ガ非常ナル禍ヲ爲シテ居ルト云フコトハ、悉ク眞面目ナル労働者モ、資本家モ認メテ居ル、然ルニ政府ニ於キマシテ之ヲ御認メナク、此處ニ何等制限ヲ加ヘナイト云フコトハ、洵ニ後日ニ禍ヲ貽シハシナイカト私ハ憂ヘル、強イ規定ハアリマスケレドモ、斯ウ云フ事ニ付テハ殆ド何等嚴格ナル規定ヲ作ラヌ、斯ノ如ク外國カラ日本ノ労働界ニ這入ツテ來ル所ノ思想ヲ今日樂觀シテ、後日ノ爲ニ心配ナシト云フダケノ的確ナル證據ヲ茲ニ擧ゲ得ラ

レマスカ
 ○吉田政府委員 私ノ只今マデ申上ゲマシタコトハ、外國カラ我が國體ト相容レザル、或ハ我國ノ産業ノ爲ニナラザル思想ガ這入ツテ來ナイト云フ意味ハ一ツモ申上ゲナカッタ積リデアリマス、左様申上ゲタヤウニ御聽取デゴザイマシタナラバ、私ノ申上ゲヤウガ惡カツタノデ、サウデハナクシテ、私ノ申上ゲマシタノハ、労働組合ノ組合員タルノ資格ヲ得シメル、得シメヌト云フ問題ニ付キマシテハ、現在外國人ガ我國ノ労働組合員トシテ組合員ノ中ニ加ハツテ居ルノ故ヲ以テ困ツテ居ルヤウナ現象ハナイ、左様ニ申上ゲテ居ルノデアリマス、又ソレモ我國ハ外ノ國ト較ベテサウ云フ虞ハ割合ニ少イデアラウト思フノデアリマス、労働組合ノ組合員トナルト云フコトハ、即チ此法律ニ規定シテアリマス種類ノ労働組合ニ、正式ニ法律ニ認メラレタル組合員トシテ、此法律ニ規定スル利益ヲ享ケ、茲ニ此法律ニ規定ヌル拘束ヲ受ケルト云フコトナノデアリマス、我國ノ労働組合、ソレニ於キマシテモ只今御心配ノ點ニ付キマシテ十分ナル注意ヲ要スル點ノアリマスコトハ、至極御同感デゴザイマス、我國ノ國體ト相容レザル思想、我國ノ國體ト相容レザル産業經濟ニ關スル考ヘ方ト云フガ如キモノガ、我國ノ産業界、我國ノ思想界ニ對シテ憂フベキ傾向ヲ

及ボス虞ノアリマスコトハ、全然只今御述べニナリマシタト私御同感デゴザイマス、ソレヲ防グ一ツノ手段トシテ、外國人ハ日本ノ労働組合ニ加入スルコトガ出來ナイト云フ風ナ意味ノ禁止規定ヲ置クコトハ、ソレハ必要ガアリマスマイト思フノデアリマス、ソレハ外ノ方面、例ヘバ労働組合ノ關スル限リニ於キマシテハ、労働組合ノ目的ナリ、或ハ其活動ナリ、ソレ等ニ關シマシテ此方ニ規定スルコトニ依リマシテ、保護ヲ與ヘ、又十分ナル基準ヲモ與ヘル、尙ホ此法律ダケデアリマセヌ、其他ニモウ少シ取締方面カラ考ヘタ嚴重ナ法律、例ヘバ、治安維持法、治安警察法デアルトカ、或ハ刑法等ノ法律ノ規定ニ依リマシテヤント途ガ出來テ居ルノデアリマス、勿論法律ノ規程ダケデソレヲ防止スルト云フコトヲ考ヘテモ、尙ホ一危險デアリマスカラ、其點ハ思想問題ト致シマシテ、有ユル方面カラ國民ニサウ云フ思想ヲ持タナイヤウニ、日本ニハ日本トシテ最モ適切ナル考ヲ以テ、我國ノ産業界ノコトニモ臨ミ、社會上ノ問題ヲモ解決シテ行クト云フコトハ、是ハ政治全般ノ仕組ガ、サウ云フ風ニ其點ヲ重ンジテ構成セラレナケレバナラヌ、活動モサウセラレナケレバナラヌト思フ、外國人ガ我國ノ労働組合ニ加入出來ル方出來ヌカト云フコトハ、只今差當リノ所、當分ハ私ハサウ云フ點ハ論議ノ必要

モ餘リ多クナイコトデアルト考ヘマス、併シ左様申シタカラト申シマシテ外國カラ這入ツテ參リマス各種ノ思想ノ影響ト云フモノヲ輕視シテ居ル意味デハサラ一ナイノデアリマス
 ○猪野毛委員 輕視シテ居ナイト云フ御話デアアルノデアリマシテ、心配ハアルト云フコトデアリマシタガ、一先ツ労働組合ノ會員ニナル形ヲ以テ注入シテ來テ、其毒ガ日本ノ組合員ニ傳染シテカラデハ最早遲イノデス、吾々ガ此法律ヲ制定スル精神ハ、昨日モ内務大臣ノ御話ガアツタガ、法律ガ制定サレテカラ考慮スルト言ハレルガ、法律ガ出來テカラ其弊害ヲ認メテ、後カラ直スヤウナコトデハ最早遲イ、此災害ヲ豫メ防グ所ニ法律ノ價值ガアル、私共ハ露西亞其他アノ邊ノ危險ナル思想ヲ持ツテ居ル者ガ、日本ノ労働組合ニ這入ツテ來ル時ニ於テ、是ガ危險デアアルカナイカト云フヤウナコトハ容易ニ測リ知ルコトガ出來ナイ、名前ヲ變ヘル、或ハ其他ノ方法ヲ以テ幾ラデモ身分ヲ韜晦スルコトガ出來ル、ソレデ眞面目ナ類ヲシテ日本ノ組合ヘ這入ツテ來テ、相當時期ガ經ツタ時ニ愈々本音ヲ現シテ、其毒ヲ傳染シタ時ニハドウシマス、其時ハ最早遲イ、他ノ思想トハ違フ、露西亞或ハ獨逸等ニ起ツタ所ノ「ソシアリズム」トカ「サンヂカリズム」ニ染ツタナラバ、是ハ恰度女ガ節

操ヲ破ラレタト同ジヤウナモノデ、取返シガ附カナイ、今マデ澤山此思想ニ羅ツテ監獄へ入ラレ、或ハ執行猶豫ナドニナツタ人間ガアルガ、私共ノ知ツテハ範圍ニ於テハ心カラ改過遷善ノ實ヲ擧ゲタ者ハナイ、已ムヲ得ズ當分ノ間我慢シテ居ラウ、モウ少シ經テバ吾々ノ社會ガ來ルカラ、其時ニ頭ヲ上ゲルカラ今ハ少シ我慢シテ居レト云フヤウナ考デス、内務省トシテハ此點ヲ普斷カラ非常ナ金モ使ツテ心配ヲサレテ居ル、然ルニ今回作ル所ノ内務省カラ出シタ此法案ニ、斯ウ云フ點ガ餘リ樂觀ニ過ギテ居ルヤウニ私共ハ感ジマス、内務大臣ガ御出デニナツタラ尙ホ此點ニ付テハ詳シク承ルコトニシテ、今日ハ是ダケ先ヅアナタ方ノ御相談ノ素地ヲ作ラレル餘地ヲ與ヘテ置イテ私ノ質問ハ暫ク止メルコトニ致シマス

○宮澤委員 私ハ第一條附則一條ニ付テ松村、田子兩君ノ質問ニ關聯シタ質問ヲ願ツテ置キマシタガ、ソレヲ留保シタ儘ニ御聞ニナツタカラ、ソレノ發言ヲ御許シ願ツタノデアリマスガ、其前ニ今同志猪野毛君カラ、質問サレタ所ノ、本組員タル者ハ外國人デモ宜シイ、又筋肉勞働ヲヤルバカリデナク、組合ノ役員ニモナルコトガ此規定ニ依ルト出來ルガ、猪野毛君モ申シタ通り、ソレガ外國人デアルコトヲ以テ之ヲ斥ケル意味デハナイガ、之ニ伴フ惡思想ノ

傳播ヲ非常ニ恐レテノ御意見デアラウトハ私モ考ヘマシガ、外國ノ立法例ヲ見テモ、或國ニ於テハ外國人ヲ單純ナ勞働者トシテモ——役員トシテハ固ヨリデアリマスガ、勞働者トシテモ之ニ加入ヲ許サヌヤウナ立法例モアルシ、普通ノ組員トシテハ許スガ、役員トシテハ許サヌト云フヤウナ立法例モアルヤウニ聽イテ居リマス、我國ニ於テハ外國ト異ツタ特殊ナ事情ガアリマスカラ、特殊ナ組合法ヲ制定スルノデアアル、我國ノ美風良俗ガ此組合法ニ依ツテ汚サレヌヤウニ、十分周到ノ注意ノ下ニ制定シタモノデアアルコトハ、内務大臣モ仰セラレテ居ルノデアリマスガ、動モスルト惡思想ガ、——今申シマスヤウナコトガ我國ニ流入シマス際ニ、之ヲ無制限ニ勞働者及ビ役員ニマデ加入スルコトヲ許シマス時ニ、今ノ猪野毛君ノ御質問ハ杞憂デハナイト思フ、私モ此國籍ノ問題ニ付テ時機ヲ俟ツテ一ツ質問ヲ申上ゲヤウト思ヒマスガ、序ニ之ヲ附加ヘテ社會局長官ノ御考ヘ置ヲ願ヒタイ

ソレカラ本論ノ質問ニ入りマスガ、附則一條ニ於テ本條ノ一條ノ目的ヲ具備スル團體又ハ勞働團體ハ組合法ノ組合ト看做スト云フコトニナツテ居リマスガ、私共多少色々ナ組合ヲ知ツテモ居リ、友人モアリマスガ、一般ニ穩健著實視サレテ居ル勞働總同盟ノ如キニシテモ、其規約ヲ檢討ス

ル時ニ相當過激ナ意味ノ目的ガアル、又極メテ穩健ヲ裝ウテ居リマスケレドモ、内容ニ於テハ危險ナコトガアル、甚シキハ其文字ノ上ニ於テモ、或ハ戰術、「スローガン」最後ノ目的デアルトカ、或ハ吾々ガ究極ノ勝利者デアルトカ、或ハ突撃、勞資永久ニ協調スベカラザルモノデアルカラ吾々ハ飽クマデモ團結ヲ以テ吾々ノ主張ヲ通シテ最後勝利者タラントスルノデアルト云フヤウナ、或ハ直接、或ハ婉曲ニ斯ウ云ツタヤウナ過激思想ガ稍々モスルト此規約ノ中ニ現レテ居ルノデアリマス、勞働總同盟既ニ然リデアアル、況ヤ他ノ各種ノ組合ノ規定ヲ見ル時ニ、此一條ノ目的ニ低觸シナイ組合ガ果シテドレダケアルカ、内務大臣ハ其際ニ十分ニ考慮スルト云フ御話デアアルガ、其儘組合法ニ適合スル組合ガ果シテドレダケアルカ、此附則一條ヲ御設ケニナツタ譯ハ、必ズシモ窮窮ナ法律的解釋ニバカリ因ハレテ經濟的事實ヲ無視スルコトハ、法ノ運用上宜シクナイト云フ御苦心ノ存スル所デアルト云フコトハ存ジテ居リマスガ、看做スト云フ文字ヲ使ツタ以上ハ、看做サレルモノガ果シテドレダケアル御見込デアアルカ、實例ハドウ云フヤウナモノデアアルカト云フコトヲ社會局長官ニ伺ヒタイ

○吉田政府委員 外國人勞働者ノ問題ニ付キマシテハ、猪野毛君ノ御尋ニ對シテ申上ゲタ通りニ、我國ノ勞働運

動、或ハ思想界ガ外國カラノ影響ニ依ツテ、憂フベキ結果ヲ來ス虞ガアリハシナイカト云フ憂ガ時ニアル點ニ付テ、只今御質問ニナリマシタ御二方ト全然御同感ト申上ゲテ宜カラウト思ヒマス、茲ニ問題ニナツテ居ルノハ、外國人ノ勞働者ガ勞働組合ガ組員タルノ資格ヲ享有スルカドウカト云フコトデアリマシテ、今マデ多少トモ我國ノ勞働運動ニモ、思想界ニモ、外國ノ我方團體ト相容レザル、又ハ我國ノ産業界ニ取ツテ憂フベキ影響ヲ多少ナリトモ受ケテ居ルトスレバ、是ハ勞働組合ノ正組員——法ニ謂フ所ノ組員ノコトヲ斯ウ申サセテ戴キマス、サウ云フ資格ヲ以テ外國人ガ勞働組合ニ關係シタト云フコトカラ、サウ云フ風フニナルノデハナクシテ、將來モ恐ラクサウデアアルマイト思ヒマス、所謂潜在的ナ運動トデモ申シマスカ、人目ニ立タナイヤウナ方法ヲ以テ色々ナ思想普及ノ手段ヲ執ル、サウ云フコトガ行ハレルコトガ最も多イノデハナイカト思ヒマス、將來ト雖モサウデアラウト思フノデアリマス、ソレハ外國人ガ我國ノ法ヲ所謂勞働組員タルノ資格ヲ取得出來ルカ出來ヌカト云フ問題トハ寧ロ別ニ考慮シナイ、却テ正鵠ヲ失ヒハシナイカト思ヒマス、表向キ勘定シテ、正組員ノ届出ヲ見テ、其中ニ外國人ガ這入ツテ居ナイカラト安心スベキ筋合デハナイノデアリマス、只今マデノ我國

ノ労働組合ノ現状ニ鑑ミマシテ、斯ル外國人労働者デ組合員トシテ正式ニ這入ツテ居ル者ハ先ヅ絶無ダト申上ゲテ宜イト思フノデアリマス、其點デ外國人ハ我國ノ労働組合ニ加入スル資格ヲ認めナイ、労働組合員ノ受ケル利益ヲ認めナイト云フコトハ、御二方ノ御質問ニナツテ居リマス點ニハ餘リ關係ノナイ問題デアルト思フノデアリマス、ノミナラズ、是ハ勸告ノコトデアリマスカラ、入レテモ入レヌデモ我國ノ任意デアリマス、第三回ノ労働會議デアリマシタカデ、外國人労働者ト内國人労働者ト云フモノハ、成ベク差別ヲ設ケナイヤウニト云フ勸告ガアツタノデアリマス、是ハ勸告ガアリマシテモ、我國ノ存立ノ必要上已ムヲ得ナイト致シマスレバ、ソレハ外國人労働者ト内國人労働者トノ間ニ區別ヲ設ケルコトハ何モ遠慮スル譯ノモノデハナイノデアリマスケレドモ、サウ云フ勸告ガアルトナシトニ拘ラズ、サウ云フ差別待遇ヲシナクテモ宜シト考ヘルノデアリマス、私共ノ考ニ依リマスレバ、正組合員タルノ資格ヲ與ヘルカ與ヘヌカト云フ問題ハ、外國人ト内國人ト云フモノヲ區別シテ考ヘルコトガ餘リ必要ナカラウト思フノデアリマス、寧ロ取締ニ基準ヲ與ヘルト云フ意味カラ申シマスルナラバ、サウ云フモノガ表向ニ顔ヲ出シテ居リ、表向ニ組合員トナツテ居レバ、却ツテ取締方ガ行ハレ易イノデア

アリマスケレドモ、潜行的ニ來ラレマスルサウ云フ思想運動等ハ、恐ルベキモノデアルト考ヘルノデアリマス、私共モ深く御質問爲サル方々ト憂ヲ共ニ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、外國人労働者ヲ組合員トシテ認メルカ認めヌカト云フ問題トハ、區別シテ考ヘルコトガ必要ダト思ヒマス

五二八

ソレカラ其次ニ御尋ニナリマシタノハ、附則第二項ノ事ヲ御指示ダラウト思ヒマス、附則第二項ニ依リマスト、只今マデニアリマス労働者ノ團體デアツテ、第一條ニ規定スル目的ヲ有スルモノハ、第一條ノ後段ニアリマス同一又ハ類似ノ職業又ハ産業ノ労働者ノ團體ニアラズト雖モ之ヲ本法ノ労働組合ト看做スト云フ意味ノ點ニ關スル御質疑デゴザイマシタ、昨日モ其御話ガ出テ居ツタノデアリマスガ、是亦其附則第二項ニ依リマシテ、労働組合ト看做サレマス結果ハ、先般來モ度々申上ゲテ居リマス通りニ、其組合員ガ労働組合員トシテノ此法規ニ規定スル保護ヲ受ケル、其組合ガ又保護ヲ受ケルト同時ニ、ソレニ對シマシテ第十六條以下ノ各種ノ基準ガ與ヘラレルト云フコトニ意味ヲ持チマスケレバ、サウ云フ事ニナルノデアリマス、看做サレマス結果ハ本法ノ適用ヲ受ケルト一口ニ言ヘバサウ云フ結果ニナルノデアリマシテ、如何ナル組合ヲ看做スカト云フ

ト、ソレハ第一條ニアリマス所ノ労働條件ノ維持改善並ニ是ト併セマシテ共濟、修養其他共同利益ノ保護増進ヲ目的ト致シマス労働者ノ團體ナノデアリマス、規約ダケデハ一或ハ綱領ト申シマスルカ、多クノ労働組合デ綱領ト云フモノヲ持ツテ居リマスガ、規約綱領ト云フガ如キモノハ、其組合ノ目的トスル所ヲ知リマスノニ最モ貴重ナル材料デアリマスコトハ申スマデモナイノデアリマスガ、單ニ規約綱領ダケニ依ツテソレヲ判斷スルト云フ譯ニハ參ラナイノデアリマス、例ヘバ今例ニ御學ゲニナリマシタ労働總同盟ノ如キ、是ハ規約綱領カラ考ヘマシテモ、労働條件ノ維持改善並ニ組合員ノ共濟、修養其他共同利益ノ保護増進ヲ目的トスルト考ヘラレルノデアリマスガ、併ナガラ規約綱領ヲ離レテ、労働總同盟ナルモノ、實際ノ事業、目的トシテ居ル所ノ平生ノ活動ヲ見マスレバ、ソレハ當ニ労働條件ノ維持改善モ致シテ居リマスシ、又其他此處ニ書イテアリアマス共濟、修養、共同利益ノ保護増進モ目的ニ致シテ居ルノデアリマスカラ、ソレハ本法ノ一條ニ規定スル事項ヲ目的トシテ居ル労働者ノ團體デアルト考ヘテ差支アリマスヌ、尤モソレダケニ致シマシテモ、各種ノ労働團體ニ於キマシテ、先般來モ申上ゲマスル通り、組合ノ目的トシ得ル事項以外ノ事項ヲ只今マデ目的ノ一部ニ勘定シテ居リマシタモ

ハモアリマス、又サウデナクテモ、此法律ニアリマス所謂十七條ノ規定、十七條ニハ「労働組合ノ規約法令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルトキハ行政官廳ハ其ノ變更ヲ命ズルコトヲ得」ト云フ明文ヲ設ケテアルノデアリマス、此適用ニ當リマシテ、今マデニアリマスソレ等ノ労働團體ノ規約ト云フモノガ法令ノ定ムル所ニ違反ヲシテ居ル、或ハ明カニ公益ヲ害スルモノデアアル、又ハ第十六條ニアリマスカラ労働組合ノ會議ノ決議ガ法令ニ違反スル、或ハ公益ヲ害スルト云フガ如キ場合ニハ、ソレノ決議ニハ取消、規約ニハ變更ヲ命ズルコトガ、此法律ノ中ニ規定ニナツテ居ルノデアリマスカラ、例ヘバ總同盟或ハ組合同盟ノ下ノ條項ガ法令ニ違反シ、或ハ公益ヲ害スルト云フコトハ、此法令ヲ適用スル場合ニ初メテ政府ニ於テ認定スベキモノナノデアリマス、無論法令ヲ適用スル準備ト致シマシテ、只今豫メ私共ノ所ニ於キマシテモ調査研究ハ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、其點ハ先般申上ゲマス通りニ、ドノ組合ノドノ規約ノ箇條ガ違反スルト云フコトハ、只今申上グベキ時機デナイト考ヘマシテ差支ヘテ居ルノデアリマスガ、畢竟右ノ十六條、十七條ノ如キ規定ヲ適用スルニ付キマシテモ、ソレガ労働組合デアルト看做サレタ後、本法ノ規定ノ適用ヲ受ケル範圍ノ團體デアルト云フコトガ決マツタ後デ

ナケレバ、十六條モ十七條モ發動出來ナイノデアリマス、本法ノ適用ノ範圍外ニアリマス團體ニ對シテハ、ソレハ無論社會ノ公安ヲ害シ秩序ヲ紊ルト云フ事由ガアリマスレバ、治安維持法ナリ、治安警察法ナリ、刑法ノ規定ナリ、サウ云フモノハ何時デモ發動出來マスケレドモ、只今アリマス組合ノ規約等ニ付キマシテハ、全協系ノ所謂非合法組合ヲ除キマシテ、只今例ニ御舉ゲニナリマシタ組合ニ對シマシテハ、取締方面、警察方面カラ其規約ノ變更ヲサセテ居ラズ、ソレヲ其儘ニ國家ハ公認シテ來テ居ルノデアリマス、無論其中ニ全然手落ガナイト云フコトヲ私ハ御請合申上ゲル譯デハナイノデアリマス、労働組合法ノ第十六條、第十七條ニ依リマシテ基準ヲ與ヘル爲ニハ、ソレ等ノ組合團體ト云フモノガ、只今申シマス通りニ附則ノ第二項ニ依リマシテ、本法ノ適用ヲ受クルモノト云フコトニナラナケレバナラス、又規約ニ色々ナ事ガ書イテアリマシテモ、労働條件ノ維持改善ヲ目的トシ、又組合員ノ救済修養、其他共同利益ノ保護増進ヲ目的ト致シテ居リマスモノハ、其組織形態ガ産業別、職業別デアリマセズトモ、此附則第二項ノ規定ニ依リマシテ、是ガ労働組合ト認メラレ、労働組合ト認メラレル上ハ、本法ニ規定シテ居リマス各種ノ労働組合ニ對スル基準的法規ガ、初メテ其處ニ適用ニナルト云フ效

果ヲ發揮スルノデアリマス、法律ノ規定ニ該當シマシテ、其規約ガ法律命令ニ違反シテ居ル、或ハ明カニ公益ヲ害スルト云フ時ニハ、行政官廳ハ無論其變更ヲ命ズルノデアリマス、ソレハ從前カラモ再三御質問ノアツタ點デゴザイマスガ、昨日來ノ御質問デ又御不明ノ點ガ生ジタカト思ヒマスノデ、稍々詳シク御答ヲ申上ゲタ次第デアリマス

○宮澤委員 私ハ是ハ内務大臣ニ御聽スルノハ、少シ無理ダト思ヒマシタカラ、社會局長官ニ御聽スルノデアリマスガ、今申サレタ位ノ事ハ私モ心得テ居ルノデアリマス、唯附則ノ二項ニ於テ是等ノ事項ヲ目的トスル労働者ノ團體及ビ其聯合團體デアツテ、本法施行ノ際現ニ存スル既存ノ組合ニシテ此目的アルモノヲ之ヲ看做スト云フノデアリマス、文字ハ特ニ「看做ス」ト云フ字ヲ使ツテアル、私ハ此法律的用語ニ重キヲ置イテ、其儘ソツクリ看做シ得ル組合ガ何處ニアルカ、ドノ位アル御見込デアアルカ、大體組合法ヲ適用スルコトニシテ、現存ノ組合ノ大部分ニ對シテ法律的ノ重荷ヲ與ヘル、サウシテ而モ之ヲ統制ノ下ニ立タセルト云フ御苦心ハ分ツテ居ルノデアリマス、其モノヲ組合法ノ埒外ニ置イテ、放縱ナル眞似ヲサセルヨリハ、之ヲ一定ノ羈束ノ下ニ置イテ統制アル行動ヲヤラスト云フコトノ御苦心ハ分ツテ居ルノデアリマスケレドモ、此附則第二項ノ

文字ガ「現ニ存スルモノハ之ヲ本法ノ労働組合ト看做ス」ト云フ文字ヲ特ニ御使ヒニナツテ居ル、何等改竄ヲ求メズ、訂正ヲ要求セズシテ、其儘組合法ノ組合タルコトノ出來ル組合ガ、果シテドノ位アル御見込デアアルカト云フ質問デアリマス

ソレカラ尙ホ猪野毛君ノ質問ニ關聯シタ事項デアリマスガ、組合タル者ハ寧ロ之ハ取締リニ便宜デアアルガ、恐ルベキモノハ潜行的ノ行動ヲ爲ス者ガ怖イト云フコト、是ハ固ヨリデアアル、潜行的ニ悪思想ノ傳播ヲヤル者ガ、色々ノ煽動ヲヤル事ハ大イニ取締ラナケレバナラス、是ハ當然ヤラナケレバナラス事デアリマスガ、ソレハ組合法以外ノ事デアアル、ソレハ私ハ承ツテ居ナイ、是ハ組合法以外ノ事デ、組合法ヲ制定スル、シナイニ拘ラズ、當局官憲ハ常ニ之ニ注意シテ取締ラナケレバナラス重大問題デアアル、私共ノ言ヒマスノハ、組合法ニ付テノ議論デアリマスガ、組合員タリ及ビ組合ノ指導者タル役員ニナツテ、此地位、此關係ヲ利用シテ、組合員ニ悪思想ヲ傳播シ、及ビ組合員ヲ指導スル上ニ於テ、其役員ガ比較的善良ナル我ガ労働者ヲ惡化サスヤウナ憂ハナイカ、ソレニ對シテ組合法制定ニ先ツテ、猪野毛君ノ言フガ如ク、當局ハ考慮シテ立案ヲスル意思ハナイカト云フコトノ質問デアリマス、潜行的煽動者ノ

コトハ組合法ノ存否ニ拘ラズ、始終是ハ注意シナケレバナラヌ問題デ、是ハ當然デアリマス

○吉田政府委員 附則第二項ニ依リマシテ、是ハ「看做ス」ト云フ行政處分ヲ要スルノデアリマセヌ、是ハ田子サンデアリマシタカモ、既ニ昨日御指摘ニナリマシタヤウニ「看做ス」ト云フ別段ノ行政處分ヲ要スルノデナクシテ、第一條ニ規定シテ居リマス目的ヲ持ツテ居ル労働者ノ團體ハ、此附則ノ規定ニ依ツテ當然看做サレルノデアリマス、是ハ宮澤君モ御氣付ニナツテ居ルコトナノデアリマス、其看做サレル組合ガ幾ツ位アルカト云フ御尋デアリマスガ、只今マデ労働組合ト致シマシテ、立ツテ來テ居ル組合ハ、看做サレルモノガ多イト私ハ考ヘマス、數字のニソレガ幾ツト云フ正確ナルコトハ、只今此組合法ヲ今茲ニ施行スルト云フ時期デアリナイノデアリマスカラ、何十何組合アツテ、何十何組ハ看做サレナイノダ、サウ云フヤウニ振分ケテ御答スルマデノ時期ニ至ツテ居リマセヌケレドモ、労働團體トシテ、非合法的ナル目的、非合法的ノ行動ヲ致シテ居ラナイモノハ、是ハ看做サレルノデアリマス看做サレルト云フコトニ依リマシテ、此第二項ノ法律的效果ノ發生スルコトニ依リマシテ、第十六條、第十七條ガ直チニヤハリ其瞬間カラ發動シ得ルノデアリマス、本法施行ノ日カラ直チニ

第十六條、十七條、或ハ十八條等ノ規定ハ發動シ得ルカヲ生ズルノデアリマス、看做サレル時間ト、是等ノ法律ノ中ニ書イテアリマス規定ノ發動シ得ル時間トハ同ジナノデアリマス、ソレヨリ前ニ週ツテ、御前ノ所ニハ看做シテヤル、御前ノ所ニハ看做シテヤラヌト云フヤウナ、處分デ振分ケルト云フ建前ヲ執ツテ居ラナイノデアリマシテ、本法ノ適用ヲソレ等ノ組合ハ當然受ケル、無論届出ノ義務ハアリマス、届出義務ハ本法施行日カラ一箇月以内ニ届出ナケレバナラヌト云フ義務ハゴザイマスガ、届出義務ハ履行セズトモ、第一條ニ該當スル組合ニ對シマシテハ、直チニ第十六條以下ノ組合監督ニ關スル規定ガ發動シ得ルコトニナツテ居リマス、其點モ可ナリ工風ヲ致シマシタ上ニ、兩方ノ關係ヲ付ケテアル積リデアリマス

ソレカラ尙ホ外國人勞働者ノ點デアリマスガ、先程カラ申上ゲマシタ事デ略々御了解ニ足ルコト、考ヘルノデアリマスガ、只今ノヤウナ潜行運動ト云フヤウナ問題ニ考ヘ及ビマス時ニ——只今現ニ其必要ガアルト云フノデアリマセヌ、外國人ヲ是非組合員ニ加ヘテ置ク必要ガ積極的ニアルノダト云フ風ナ意味デ申スノデハナイノデアリマスケレドモ、サウ云フ問題モ併セ考ヘマスト云フト、組合員トシテ本法ノ羈絆ノ中ニ入ルモノデアリマシタナラバ、ソレガ

ガ、我國ト致シマシテハ左様ナ規定ヲ置キマスコトハ只今必要ハナイト云フ考ヲ、當局トシテハ持ツテ居ル次第デアリマス

○宮澤委員 然ラバ此「看做ス」ト云フ文字ノ解釋ガ、私ノ信ジテ居リマスノト多少違フノデアリマスガ、御説ノ通りト致シマスレバ、先ヅ此組合法デ大體組合法ノ組合ト看做シテ置イテ更ニ十六條十七條ノ如キ條文ヲ適用シテ、其目的ヲ此組合法ノ目的ニ合致セシムルヤウニ訂正セシメル、指導スルト云フ御考ノヤウナ話デアリマスガ、サウ致シマスル場合ニ、先ヅ看做シハシタガ、此訂正ニ應ゼナカツタ、改正ヲセナカツタト云フヤウナ場合ニハ、御取扱ハドウナルカ、法ノ威信ハドウナルカ、何トカ文句ヲ言ウテソレナラ御免蒙ル、サウ云フ勞働組合ノ範疇ノ下ニ嵌込メマレタクナイ、折角デアアルガ其勸告ニハ應ジ兼ヘル、訂正ハ致シ兼ネマスト言ツタ場合ニハ、看做シハシタガ、此組合法ノ條文ノ適用ハ出來ヌ組合ガ其處ニアルト云フコトニナツテ、法ノ威信ニ係リハセヌカト思フノデアリマス、斯ウ云フ場合ニハ實際上下ウ云フ御取扱ニナリマスガ

○吉田政府委員 サウ云フ場合ニ對スル考ヲ無論考慮致シテ置カネバナラヌコト、思フノデアリマスガ、此法律ニ規定ノアリマス事項ニ付キマンテハ、例ヘバ第十七條ニ依リ

組合ノ行動ニナツテ現レ、或ハ憂フベキ結果ヲ招來スルト云フ虞ノアリマス時ニ、此組合法ナリ、或ハ他ノ法律命令等ノ發動致シマス上ニ於キマシテモ、表面ヘ出テ居ル者ノ方ガ取締ニハ便宜ナノデアリマス、我國ノ組合ヲ基礎ニシテ何カノ思想的宣傳ノ道具ニデモソレヲ使ハウト考ヘル外國人ノアリマシタ場合ニハ、組合員ニナルコトヲ願フヨリハ、寧ロ組合員タラズシテ、裏ノ方カラ色々引掻キ廻スト云フ戰法ヲ執ル方ガ、只今マデノ經驗デ豫想シ得ル事ト思フノデアリマスガ、其點カラ考ヘマシテモ、組合員ニ這入ツテ居ツテ責任アル地位デ何かヤツテ居ルト云フト、責任ノナイ地位ニ法ノ上デ追込マレテ、ドウシテモ責任アル地位ニ立テナイ建前ニ法ノ上デナツテ居ルト云フトトデハ、餘程違フト思ヒマス、ソレ等ノ思想運動ナリ、或ハ我國ニ取リマシテ、憂慮セネバナラヌヤウナ運動ヲ致シマス者ノ關係カラ考ヘマシテモ、強ヒテ茲ニ組合ニ加入出來ナイ規定ヲ置キマスノハ、我國ト致シマシテハ餘リ必要ガアリマスマイカト思フノデアリマス、是ガ歐米各國ノヤウニ、隣接シテ境ヲ接シテ居リ、又容易ニ人種ノ見別ケノ付カナイヤウナ人達デ構成シテ居ル國ガ、國境入亂レテ在リマスト云フヤウナ場合ニハ、組合員ニ這入ツテ來ルコトモ禁ジテ置ク實益ノ大イニアル場合ガアラウカト思フノデアリマス

マシテ行政官廳カラ變更命令ヲ受ケテ、ソレニ服從シナイト云フ者ニ對シマシテハ、行政執行法ヲ適用スルコトニナツテ居ルノデアリマス、尙ホ又事柄ニ依リマスレバ、組合ノ行爲トシテ安寧秩序ヲ紊ルト云フヤウナ事柄ノ場合ニハ此處ニアリマス通り解散命令ヲ發シマスル場合モアルノデアリマス、ソレハ法ニ於テサウ云フ命令ヲ發スルト云フヤウナ場合ニ付キマシテハ、結末ノ付ク途ハドノ法律ニモソレハ備ツテ居ルノデアリマス、併シ後段ニ御尋ニナリマシタヤウナ、組合法ノ適用ヲ免レヤウト思ツテ、ドシテ組合法適用ノ範圍外ニ出ル、詰リ先般モドナタカノ御質問デアリマシタガ、單ニ組合法ノ適用ヲ免レルダケノ餘分ナ條項ヲ入レルトカスルヤウナモノハ、ソレハ絶無デアラウトモ思ハレマセヌ、サウ云フモノモ或ル場合ニハアルカモ知レマセヌガ、ソレダカラト云ツテ組合法ノ適用ヲ排除セザレル譯デハナイノデアリマス、ソレモ當人ガ欲スルト欲セザルト問ハズ此法律ノ第一條ノ規定ニ依リマシテ勞働者ノ勞働條件ノ維持改善及組合員ノ共濟、修養其ノ他共同利益ノ保護増進ヲ目的ト致シマスモノハ勞働組合ト看做サレルノデアリマシテ、看做サレテ居ラヌ、又看做サレナイト云フヤウナ主觀的ノ理由ヲ申入レマシテモ、適用ヲ免レル譯ニハ參リマセヌ

○宮澤委員 私ハ今ノ御話デアリマスルガ、新シク看做シテ置イテ、ソレガ組合法ニ違反スルヤウナ組合デモ、從來ノ儘之ヲ斯ウ云フ風ナ條項、規約ヲ付ケテ持續シテ行キタイ、此組合法ノ適用ヲ受ケルガ爲ニ目的ノ變更ヲシタクナイト云フヤウナ場合デアリマス、新シク組合法カラ離脱セシガ爲ニ組合法ニ違反スル條項ヲソレニ加ヘルト云フニ非ズシテ、是マデヤツテ居ル通りニ此モノヲ持續ケテ行キタイ、而モ此儘ノ状態ヲ持續ケルコトニ依ツテ何モ刑法ニモ牴觸セヌ、治安維持法ニモ背反シテ居ラヌ、何等サウ云フ取締ヲ受ケテ居ラヌ、組合法トシテ之ヲ認メテ、組合法ノ從來通りノ組合デアレバ維持出來ルノデアリマス、解散命令モシテ居ラヌノデアリマス、其程度ノモノニ對シテ一旦組合法ハ看做スト看做シタガ、併シ目的ヲドウシテモ組合法ニ合致スルヤウニ訂正スルコトニ應シナイト云フヤウナ場合ニハ、果シテドウナサルカト云フノガ私ノ質問致ス所デス、更ニ組合法ヲ離脱センガ爲ニ新シク此目的ニ副合シナイヤウナコトヲ書添ヘテ、此埒外ニ出デントスルモノニアラズシテ、從來カラアルモノニシテ訂正シナケレバ其目的ガ違フカラ、此組合法ニ入ルベカラザルモノガ其條項ヲ改メルコトヲ應ジナカツタ場合ニ、政府ハ看做シハシタガ、之ヲ組合法ノ組合ニスルコトガ出來スト云フヤウナ場

合ニドウナサルカト云フコトデアリマス
 ○中谷委員 議事進行ニ付テ一寸……
 ○添田委員長 今ノ答辯ガ濟ンデカラニシテ下サイ
 ○吉田政府委員 是ハ目的ガ那邊ニ存スルカト云フ判斷ガ第一ナノデアリマス、此附則第二項ニ書イテアリマス通り、第一條ニ掲ゲル事項ヲ目的トスル労働者ノ團體又ハ其ノ聯合團體デナケレバ附則ニ依ツテ労働組合ト看做サレナイノデアリマス、(宮澤委員「サウ云フ組合ヲ看做サレルカ看做サレナイカト云フノデアリマス」)然ルニ此目的ガ那邊ニ在リマスルカト云フコトハ無論當初ニ申上ゲマシタ通りニ、組合ノ規約綱領等モソレヲ參考ト致シマスル最重要ナ事項ニ違ナイノデアリマススケレドモ、今マデハ何等規約ニドウ云フコトヲ定メル、綱領ニドウ云フコトヲ定メルト云フ準則ガナイノデアリマス、今度ハ法律ニアリマスガ、目的ヲ是非書分ケナケレバナラヌト云フ制限モアリマセウシ、規約ヲ是非置カナケレバナラヌト云フ制限モアリマセヌデ、申セバ野育チデヤツテ居ツタ組合デアリマス、ソコデ規約ニ色々書イテアツテモ、皆多クハ只今マデノ所謂労働團體ト申シマスモノハ、實際ノ働キニ鑑ミマシテ、ソレガ「労働條件ノ維持改善及組合員ノ共濟、修養其ノ他共同利益ノ保護増進ヲヤツテ居ル、又ソレヲ目的トシテ日

常活動シテ居ル、ソコデ規約ガ或ハ組合ノヤツテ居ルコトニ副ハナイモノモアリマセウ、是ハ規約ガ組合ノヤツテ居ルコト、違フト云フ意味デ、修正サレルモノモアリマセウ、併ナガラ目的ガ全然第一條ニ要求スル労働組合ノ目的ニ合致イタサヌモノハ、ソレハ労働組合デハナイノデアリマス、本法ノ労働組合デハナイ、隨テ附則ニ依ツテモ看做サレナイノデアリマス、此多クノ組合ハ實際ヤツテ居リマスコト、又組合ノ綱領ト云フヤウナモノハ、組合ノ事業目的其儘ヲ掲ゲルト云フ趣意デ出來テ居ラヌモノガ多イノデアリマス

今一ツノ宣言ヲ具體的ニデモ附ケテ拵ヘタト云フヤウナモノモアルノデアリマス、組合結成ノ具體的ノ、所謂此處ニアリマスル所ノ保護増進ト云フヤウナ事業目的ト云フヤウナ意味デ書イテナイノモアリマスノデ、ソレ等ニ付キマシテハ無論組合ノ目的ニ合致スルカドウカト云フ點ノミナラズ、先程申上ゲマシタ通り法令ノ規定或ハ公ノ秩序、善良ノ風俗或ハ此公益ト云フヤウナモノニ反スルト云フヤウナ意味デ、訂正ヲ命ゼラレルモノモアリマセウ、又組合ノ目的ト致シマシテ若干餘分ノモノガ附イテ居ル、重要ノ目的ガ「労働條件ノ維持改善及組合員ノ共濟、修養其ノ他共同利益ノ保護増進」ト云フコトデアツテモ、今マデ基準ヲ與

ヘラレテ居リマセヌ結果、其他ノ附帶的ノ——主タル目的トスルカドウカ、附帶的ノ何カ目的ラシイモノガ附イテ居ルモノモアルノデアリマシテ、ソレハ本法ヲ適用シ、ソレ等ノ組合ハ本法ノ組合ト看做ス際ニ、看做サレルモノニ付キマシテ本法ニ依ル統制ヲ與ヘル、看做サレザルモノハ本法ノ統制ハ與ヘラレナイノデアリマス、ソレ等ニ付テ労働組合法以外ニ於テ若シ必要ガアレバ治安維持法、サウ云フ法律ガ發動スルコトガ出來マセウ、看做サレタモノハ此組合法ヲ發動スルコトガ出來ナイ、法理的ニハサウデアリマスガ、實際ノ取扱ト致シマシテ、個々ニ總同盟ノ此條項ヲドウスルカ、或ハ組合同盟ノ此條項ハドウスル、是ハ目的ノ範圍内デアアルカ外デアアルカ、或ハ法令ノ規定ニ違反スル、公益ヲ害スルモノデアアルカト云フヤウナ御尋ニ自然ニ及ブト思フノデアリマスガ、ソレニ對シテハ今日御答ヲスベキ時期デナイト考ヘテ居ルノデアリマス
 ○中谷委員 内務大臣ノ御出席ニナラナイ理由ハドウ云フコトデスカ、私ハ居リマセヌデシタカラ御伺シマス
 ○添田委員 貴族院ノ分科會ニ出席ヲ致シテ居ルノト、ソレガ濟メバ豫算總會ノ方ニ出ナケレバナラヌ、斯ウ云フ理由デアリマス
 ○中谷委員 今本會議ノ議員ノ自席ニ安達内相ガ居ラレタ

ノデスガ、サウスルト御約束ト違フヤウニ思ヒマスガ、如何デスカ

○添田委員長 ソレハ私ノ聞キマシタ所デハサウ云フコトデアリマス、本會議ノ方ハ内務大臣主管ノ法律案モ出ルノデアリマスガ成ベク……

○中谷委員 昨日ノ御約束モアリマスカラ、是非共コチラニオイデヲ願ヒタイト思ヒマス、サウ云フ態度デハドウモ委員會トシテ洵ニ審議ヲ進メル上ニ於キマシテ支障ヲ來シマス、委員長ニ對シテドウモ頗ル内務大臣ノ態度ガ怪シカラヌト思ヒマス

○添田委員長 理事守屋君ハ理事ヲ辭任セラレマシタ、仍テ其補缺ヲ私ガ指名シテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○添田委員長 ソレデハ猪野毛利榮君ヲ理事ニ指名致シマス

○田子委員 簡單ナコトデアリマスガ、十七條ノ規約變更ヲ命ゼラレタ場合ニ應ジナケレバドウスルカト云フ質問ニ對シテ、長官ハ行政執行法ニ依ルト仰シヤイマシタガ、ソレハ何條デドウ爲サルノデスカ

○吉田政府委員 行政執行法ノ第五條第二號デゴザイマス、「強制スベキ行爲ニシテ他人ノ爲スコト能ハザルモノ

ナルトキ又ハ不行爲ヲ強制スベキトキハ命令ノ規定ニ依リ二十五圓以下ノ過料ニ處スルコト」是ハ執行法デアリマス

○田子委員 其中ノドノ文句デ之ヲ取締ラレルノデスカ

○吉田政府委員 ソレハ一ツノ場合シカナイノデアリマス、「強制スベキ行爲ニシテ他人ノ爲スコト能ハザルモノナルトキ」ト云フ……

○田子委員 行政官廳デ之ヲヤルノデスカ

○吉田政府委員 組合ノ規約ヲ組合ガ變更スル、斯ウ云フ趣意デアリマス

○守屋委員 是ハ餘程重大ナ問題デゴザイマスカラ私ハ内務大臣ノ御答辯ヲ得タイト思ヒマスガ、今日ハ見エテ居リマセヌカラ、政府委員ノ御答デモ宜シウゴザイマス、此組合法ハ指導精神ヲ持ツテ居ルト、幾度モ繰返シテ内務大臣ハ申サレマシタ、其指導精神ノ一ハ勞資協調ノ精神デアルト、ハツキリ仰シヤツテ居リマスガ、ソレハ政府委員モ御認ニナルデセウカ

○吉田政府委員 同様ニ考ヘテ居リマス

○守屋委員 内務大臣ハ安藤君ノ質問ニ對シマシテ此指導精神ハハツキリ述べラレテ居ルノデアリマス、ソレハ大分前ノコトデアリマスカラ記憶ヲ新ニシマスル爲ニ、私ハ全

部ヲ此處デ讀ミマス「今日ノ産業ノ状態殊ニ「ストライキ」ノ状態、此「ストライキ」等ノ弊害ヲ此處デ矯正シナケレバナラス、是ニハドウシテモ労働運動ヲシテ經濟的運動ニ進メナケレバナラス、資本家モソレニ依ツテ私ハ安心ガ出來ルト思フ、今日ノヤウニ放任シテ置クノコソ、思想ノ惡化セル場合ニ於テ「ストライキ」ヲ惡用シテ、サウシテ一種ノ詭激ナル思想ヲ持ツタ人ナドガハイリ込ンデ、一種ノ暴動化スルヤウナコトガアリマスカラ、サウ云フモノヲ一方除キタイト云フコトデ、今日労働組合法ヲ提案シテ、サウシテ労働者ニ地位ノ安全ヲ與ヘテヤツテ其赴ク所ヲ指示シテ産業平和ヲ圖リタイ」斯ウ仰シヤツテ居ル、即チ勞資協調ノ精神デアルト云フコトヲ御認ニナツテ居ルノデアリマス、一條ニ於テハサウ云フ御精神ハハツキリ御認ニナツテ、産業別職業別ノ労働組合竝ニ其聯合ヲ御認ニナツテ居ル、所ガ其附則ノ方ニ行キマス、其第二項ノ組合ト云フモノハ悉ク此第一條ノ指導精神ニ合スルモノデアルト云フヤウニ御認ニナリマスカ、今マデノ御説明ニ依リマスト其精神ニ付テハハツキリト御辯明ニナツテ居ラレナイ、昨日此處デ吾々同士カラ質問ヲシマシタ一般労働組合、聯合ノ綱領ヲ政府委員ハ非常ニ輕ク見テ居リマスガ、是コソ其ノ指導精神デアアル、ソレヲ輕ク見ラレ、コトニ

ハ承服出來ナイ、或ル場合ニ於テハ指導精神ヨリモ更ニヒドイコトヲシテ居ル、勢ノ赴ク所幹部ノ意見ナドハ徹底シナイ場合ガアリマスカラ、下ニ行クトモツトヒドイ行動ヲスルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、而モ其綱領ナルモノ、中ニ現ハレテ居ルモノハ決シテ勞資協調ノ精神デハナイ、全然階級闘争デ行カウトイフノデアアル、サウスルトサウ云フ組合ノ聯合ヲ御認メニナルトナレバ、附則第二項ニ於テハ、第一條ノ指導精神ト云フモノヲ拋棄シテ居ルノデアアル、是ノ點ハ政府委員ハ言明サレルコトハ出來ナイカモ知レマセヌカラ内務大臣ニハツキリ言明シテ戴キタイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、労働組合ノ指導精神トシテ第一條ニ取ツタ所ノ方針ハ附則第二項ニ於テハ完全ニ拋棄サレテルヤウニシカ見えナイ、其點ニ付テハドウ云フ風ニ御考ニナリマスカ

○吉田政府委員 内務大臣カラモ御説明ガアラウト思ヒマスガ、只今ノ御尋ニ對シテ御答致シマス、第一條ニアリマスル範圍指導精神ハ無論此法案全體ヲ通ジテ見ルベキデアルト思ヒマス、取締ニ關スル規定モ其一部分デアリマス、第一條モ無論大切ナル指導精神ニ關スルコトデアリマス、是ニ於キマシテ御覽ノ通り「労働條件ノ維持改善及組合員ノ共済、修養其他共同利益ノ保護増進ヲ目的トスルト云フ

コトガ指導精神ノ働キデアルト思ヒマス、其目的ノ書キ方ガ前ノ社會局案ト稍々違ツテ居リマスルコトモ、是ハ再々申上ゲマス通りデアリマス、其次ニ同一若クハ類似ノ職業若ハ産業ノ労働者ノ團體又ハ其團體ノ同一若ハ類似ノ職業若ハ産業ニ依ル聯合團體ヲ謂フ、又ハ種別ニ依ル所謂産業別職業別ノ區分デアリマス、是自身ガ指導精神ト云フ譯ニハ參リマスマイガ、是モヤハリ一ツノ指導精神ヲ表ハス建前デアルト申シテ差支ナイト思フノデアリマス、併ナガラ再々申シマスル通りニ、只今マデハ左様ナ構成ト云フモノヲ労働組合ニ對シテ國家ハ要求シテ來テ居ラナイノデアリマス、殊ニ産業別職業別ト云フ構成ヲ何等要求シテ來テ居ラナイノデアリマス、從テ今マデノ労働組合ハサウ云フ種別ニナツテ居ラナイト云フコトハ是ハ申スマデモナイノデアリマス、ソコデ此組合法ヲ制定スルニ當リ、之ヲ施行スルニ當リマシテハソレ等ノ組合ヲモ含メテ指導精神ノ適用ヲ受クベキ組合ノ中ニ入レルト云フコトガ最モ指導精神ヲ發揚スル上ニ於キマシテ、其方カラ申シマシテモ必要ヲ感ズルノデアリマス、ソコデ産業別職業別ナラズトモ本法ノ規定ノ適用ヲ受ケテ、サウシテ第一條ノ目的ハ問題ハナイノデアリマスガ、産業別職業別ナラザルモノヲモ認メルノデアリマス、サウシテ他ノ條項ヲ適用シテ、本法ノ目的ハ

労働者ノ地位ハ労働者ノ地位トシテ之ヲ認メルト共ニ、其行動ガ法ノ規定スル範圍以外ニ逸脱シナイヤウニ其決議規約等ヲ法ノ精神ニ合致スルヤウニト云フノデ寧ロ指導精神ヲ發揚ノ便宜ノ爲カラ餘程附則第二項ハ重キヲ爲シテ居ルモノト考ヘテ居リマス

○守屋委員 只今ノ御答辯ニ依リマス、第一條ノ根本精神タル協調ノ精神ヲ保存シテ居ルカノ如ク又失ツテ居ルカノ如ク、ドチラカ分ラヌコトニナリマス、假ニサウ云フ指導精神ヲ徹底サレルトイフ御考ナラバ、モツト御考ノ仕方ガアツタデアリマセウ、既存ノ組合ニ付テハ其指導精神ヲ拋棄スル御積リニシカ見エナイ、其等ノコトハイヅレ大臣カラ承リマス、アナタニ承ツテモ答辯ニ御困リト思ヒマスガ一旦指導精神ヲ拋棄シテ置イテ、アトデ之ヲ公認シテカラ再ビ之ヲ回復シヨウトナサルト、申サレマスガ其ノ組合ガ言フコトヲ聽カカケレバドウスルコトモ出來ナイ、併シ組合ハ公認サレタノデスカラ第十三條ノ權利ハ——協調ノ精神ヲ持ツテ居ナイ一般労働組合聯合ニモ與ヘラレソレニ基イテ活動スルコトニナルノデアアル、此點ハモツト御考ニナツタ方ガ良クハナイカ、解釋ノ仕方ニ依ツテハ、法文ハ必ズシモサウナツテ居ラナイト思ヒマスガ、是ハ議論ニナルカラ其程度ニ致シテ置キマス

モウ一ツ新シイ質問ヲ之ニ關聯シテ申上ゲマス、吉田政府委員ハ此間労働組合ノ政治行動ニ付テ説明ヲサレマシタ時ニ、組合ノ目的以外ノ政治行動ヲ爲スコトハ、組合ノ目的ノ範圍外ニ出ヅルモノデアルカラ、ソレハ認メナイ、ソレハ政治結社ノヤルベキモノデアルト言ハレテ居リマス、サウ致シマス、其ノ綱領ナリ規約ニ依ツテ所謂協調ノ精神ヲ以テ將來指導サレテ行クベキ組合法第一條ノ目的以外ノ政治行動ヲヤラウト云フコトヲ目的トシテ居ルモノガアリ、其労働組合ノ組合員ハ原則トシテ、何々無産黨ノ黨員トスルト云フ規定ヲシテ居ル組合ガアルトスレバ、ソレハ所謂労働組合ノ目的以外ノ政治行動ヲスルモノデアツテ、サウ云フモノヲ附則ニ依ツテ認メルコトニナリマス、トヤハリ指導精神ト矛盾ヲ來シヤシナイカト考ヘマス、其點ハドウデスカ

○吉田政府委員 ヤハリ第一條ノ目的ノ範圍外ノ目的ヲ持ツテ居ル組合、政治行動モアリマスガ、其他ニモ色々御尋ノ御趣旨ト同ジ目的ヲ持ツテ居ルモノガアリ得ルノデアリマスガ、組合ノ目的ヲ第一條ニ於テ斯ノ如ク限定シテ居ルカラ、其他ノ目的ト云フコトモ一寸言及シタノデアリマスガ、附加的ニ持ツテ居ル各事項ガ規約綱領ノ上ニ出テ居リマスモノニ付キマシテハ、具體的ニドノ組合ノドノ條項ガ

該當スルトハ申シマセヌガ、ソレ等ハ此労働組合法ガ施行セラレルニ當ツテ整理セラルベキモノデアルト思ヒマス

○守屋委員 サウ云フ組合法第一條ノ根本精神、所謂資協調ノ根本精神タル目的ノ政治行動ハ嚴禁スル趣旨ニ全然背反シテ居ルモノヲ御認メニナルト云フヤウニ仰シヤルコトハ御説明ノ間違ハナイカ從來シバ、具體的ノ例デ以テ政府委員ハサウ云ウ疑ノアル一般労働組合聯合ヲ認メルト仰シヤツテ居ル、ソコニ再考ヲ要スルコトハナイカ、一般労働組合聯合ヲ事實上ノ存在トシテ認メルト云フコトハ、憲法ノ結社ノ自由ニ於テ許シテ居ルカラ差支アリマス、併ナガラ組合トシテ公認サレ、サウシテ第十三條ノ恩惠モ受ケルニ付テハ相當ニ考慮サレテ宜シイノデアアル、サウ云フコトヲ全ク考慮サレズニ組合法ノ第一條ノ規定ノ精神ニ當符ラヌモノヲ附則デ公認シテ置イテ後ハ監督規定ノ適用デ以テ取締ルコトニサレテモ、之ニ對シテ組合ハ過料ヲサヘ取ラレルコト覺悟ナラバ宜シイノデアアル、而モ公認ノ名譽トソレニ伴フ所ノ利益ハ之ヲ永久ニ獲得スル、何故ニサウ云フ不合理ナコトヲオヤリニナラナクチャナラヌカ、労働組合法制定ノ指導精神ヲ何故サウ云フ風ニ輕々シク拋棄ナサル必要ガアルカト云フコトヲ承ツテ置キタイノデアリマス、是ハ議論ニナリマスカラ内務大臣ニ承ラウト

思ヒマスガ、政府委員トシテ御考慮ガアリマスナラバ、此機會ニ承ツテ置キタイト考ヘマス

○吉田政府委員 第一條ノ目的ヲ持ツテ居ラヌモノハ、再々申上ゲマスル通りニ附則第二項ノ適用ヲ法律ノ上デ受ケナイノデアリマス（「解散ヲ命ゼラレルデセウ」ト呼フ者アリ）解散ヲ命ゼラレマセヌ、ソレハ治安警察法ノ規定ニ觸レルヤウナモノデアリマスレバ結社禁止ノ處分ヲ食フノデアリマスガ、今迄結社禁止ノ處分ヲ受ケテ居ラヌモノニ就キマシテハ、只今御話シニナリマシタヤウニ憲法ノ結社自由ノ原則ニ依テ違法デナク存在シテ居ル團體デハアリマセウケレドモ、其目的トスル所ハ労働條件ノ維持改善並組員ノ共濟、修養、共同利益ノ保護増進ニ過ギナイト致シマスレバ、ソレニ對シテハ附則第二項ノ適用ハ同時ニナイノデアリマス、從テ決シテ労働組合ノ目的トシテノ目的ヲ持ツテ居ラヌモノヲ無條件ニ附則第二項ノ規定ニ依テ之ヲ労働組合ト看做スト云フ說ハドウシテモ立チマセヌ——只今守屋サンハ左様ニ御話シニナツタヤウニ聽キマシタ

○守屋委員 私ハサウ言ツテ居リマセヌガ……
○田子委員 今ノ労働組合ヲ認メルカ認メナイカト云フ問題ニ就テ、社會局長官ハ斯フ云フコトヲ御存知デセウカ、「インターナショナル・トレードユニオン、ムーヴメント」

ニアリマス數字モ正確デアルト無シト問ハズ、現在結社ヲ禁止セラレテ居ツテ表面ニハ團結ヲ認メラレテ居ナイモノガ、陰デヤツテ居ルモノモ相當アリマス、或ハ又労働組合ノ中ニ入ツテ無意識ニヤツテ居ルモノ、或ハ潜行的ニ合同シテ居ルモノ等ヲ想像致シマシテ、其數ヲ出シタモノト考ヘルノデアリマス、只今ノ所謂共產目的ニシテ居リマスルヤウナ結社ト云フモノハ一ツモ認メラレテ居ラナイノデアリマス

○田子委員 私ハ自分ノ順當ノ時分ニ爭議調停法ト併セマシテ、共產運動ト組合運動トノ現在ノ状態並ニ共產運動ト、政治運動トノ現在ノ状態、私達ハ雜誌トカ新聞デチヨイ／＼見ルダケデ、大部分ハ承知セヌノデアリマスガ、此組合ノ法ヲ議スルニハ重要ナル事項ト思ヒマスカラ、適當ナ機會ニ其係ノ方ノ出席ヲ求メテ御説明アルヤウニ希望致シテ置キマス

○吉田政府委員 今ノ御希望ハ委員會開會ノ當初ニモドナタカラカ御座イマシテ、ソレハ當該ノ局ニ通ジテ居リマス係員カラ何時デモ委員會ノ都合ニ依リマシテ出席致シテ御説明申上ゲルコトニナツテ居リマスカラ、御諒承ヲ願ヒマス

○田子委員 序デニ願ツテ置キマスガ、私ノ質問ノ中ニハ

ノ昨年ノ「レポート」ニ千九百三十年ニ於ケル日本ノ労働組合員ノ數ヲ三十萬八千人ト掲ゲ、其中共產黨ニ屬スルモノ二萬四千四百五十二人、「サンチカリスト」六千八百人、「アムステルダムインターナショナル」系統ノモノ三萬八千六百八十人ト掲ゲテ居リマス、是ハ外國ノモノデアリマスカラ與太ガ多イト思ヒマスガ、現在ノ組合ヲ御認メニナルト云フ御精神ヲ徹底スルニハ勿論斯ウ云フコトモ調ベタマラウト思ヒマスガ、之ヲドウ云フ風ニ御考ニナリマスカ
○吉田政府委員 現在迄組合ヲ持ツテ居ルト考ヘラレルヤウナモノニ於キマシテ、所謂國家ノ存在ノ基礎ヲ危クシ、治安警察法ノ規定ニ依リマシテ結社禁止ヲ命ゼラレルト云フヤウナ種類ノモノモ、是ハ綱領ニ可ナリ穩當ナコトヲ書イテ居ツテサウ云フコトヲシテ居ルモノモナイデハナイト思ヒマス、ソレ等ノ團體ハ現在ニ於キマシテモ日本ノ結社トシテ認メラレテ居ナイノデアリマス、今アリマスル多クノ所謂非合法的ナ活動ヲ潜行的ニヤラウトスル人々ハ既存ノ組合ニ向ツテ働キカケテ居ルカモ知レマセヌ、又前ニ結社禁止ヲ命ゼラレマシテ解散致シマシタモノガ、組合員トシテ方々ニ散在的ニマギレ込ンデ居ルモノガアルカモ知レマセヌ、併ナガラ團結トシテ認メラレテ居リマスモノハ、ソレハ皆合法的ノモノト考ヘテ宜シイノデアリマス、ソコ

金一封ノ現在ノ狀況、私ノ手ニ貰ツテ居ルノハ、實ニ資本家ノ出シタヤウナモノデアリマス、自分デヤツテ居ルモノモ多少知ツテ居リマスガ、此狀況ヲ御調ニナツテ居ル向キデアリマスカラ、幸ヒ詳細ニ御知ラセテ願ヒタイト思ヒマス

○吉田政府委員 金一封ノ狀況ヲ統計的ニ整理致シマシタモノハ私共ノ所ニハ實ハ完全ナモノハアリマセヌカラ、警保局トモ打合セマシテ、御參考ニナルヤウナ物がゴザイマスレバ、御届ケ致シマス

○守屋委員 附則ニ依リマシテ、一般労働組合ノ聯合ヲ御認メニナル、サウスルトソレハ公認サレタ組合デスカラ、今後組合運動ヲ起シテ職業別・産業別ノ公認サレタ労働組合ハ勿論、此労働法ノ適用ノ範圍外ニアリマスル事實上ノ一般の労働組合ト云フモノヲ加盟シ合同シテ行ク自由ヲ認メラレテ居ルモノト思ヒマス、其點ニ付テハ法律ノ解釋トシテ私ハ間違ハナイト思ヒマスガ、政府ハサウ云フ一般労働組合聯合ノ内容擴張運動ニ付テドウ云フヤウニ御考ニナツテ居ルコトデセウカ

○吉田政府委員 此附則ニ依リマシテ、認メラレマシタ聯合體ノ事ニ付テノ御尋デアリマシタガ、附則ニ於キマシテハ、其聯合體ノ構成ガ第一條ノ所謂産業別、職業別ニ構成

サレテ居ラヌト云フモノヲ認メルノデアリマスカラ、詰リ同種ノ産業別以外、例ヘバ團體自體ガ、同種ノ産業團體ヲ構成シテ居ラナイノデアリマスカラ、異種ノ産業團體ガ、ソレニ加ツテ來ルト云フコトハ、附則ニ依ツテ認メラレル事實ナノデアリマス、從テ異種ノ産業團體ガ加盟シテ來テ大キクナルト云フコトハアリ得マス、併ナガラ法律ノ適用ヲ受ケラレナイ所謂一般組合、産業別、職業別ナラザル單一組合、是ハ從前カラ認メラレテ居リマス、此附則ノ適用ヲ受ケテ居ル組合、是ハ申サバ本法ノ一般組合デアリマスカラ、ソレハ聯合體ニ加入出來マセウケレドモ、本法施行後ニ出來タ、所謂事實上ノ聯合組合ト云フモノハ、ソレ自體ガ組合デハナイノデアリマスカラ、縱令聯合體ニ友好關係ヲ保ツコトニナリマシテモ、ソレハ法律上聯合體ノ構成分子デナイ、斯ウ云フ解釋デアリマス

○守屋委員 現在一般労働組合聯合トシテ指導的精神ヲ持つテ居ルモノハ先ヅ三ツノ系統ニ分ケテ行クデアラウト考ヘマスガ、此三ツノ系統ト云フモノガ此儘存続シテ行クモノト御考ヘニナリマスガ、或ハ英吉利邊リノヤウニ最後ニ於テハ全國的ナ一般組合、一般労働組合聯合ト云フヤウナ大キク結合ニナルヤウナ趨勢ヲ持つテ居ルモノト御考ヘニナリマスガ、ソレハ御見込デスカラ或ハ御分リニナラヌカ

モ知レマセヌガ、併シ労働運動ノ事ニ付テ専門的ニ御研究ニナツテ居ラレルコトデアリマスカラ、参考ノ爲ニ伺ツテ置キタイト考ヘマス

○吉田政府委員 大體三ツニ分類出來ルト云フ御話ハ、多分右翼、中間、左翼ト云フヤウナ事ヲ意味シテ居ラレルコト、思フノデアリマスガ、ソレハ内容ニ付キマシテハ右翼團體ニ屬スル組合ノ内容ガ矢張時ノ變遷ト共ニ變ツテ行クカモ知レマセヌ、右翼團體ト云フモノハ現在モアルシ將來モアリ得ルコト、思ヒマス、左翼團體ニ付キマシテモ、此團體ガ左翼運動ヲスルト云フコトノ事實ニ付テハ動キガアリマセウガ、矢張左翼團體ト云フモノガサウ急ニ無クナルトハ思ヒマセヌ、同様ニ其中間ニ立ツ團體モ多クアリマセウ、ソレ等ガ段々ニ激成セラレテ行ツテ段々大キク右翼左翼ト云フ區分ノナイ一ツノ團體ニナツテシマフデアラウト云フヤウナ豫想ハ中々立難イト思ヒマス、實際矢張各團體各労働運動者ノ心持ニソレノ特色トスル所ガアツテ、右翼ノ考ヲ持つ人々左翼ノ考ヲ持つ人々、中間的ノ考ヲ持つ人々、ト云フモノガ將來モ存続シテ行クト考ヘマス

○守屋委員 サウシマスト、違ツテ指導精神ヲ持つテ居ル三系統ノ労働組合聯合ノ間ニ互ニ鬭争ヲ始メテ來ルト云フヤウナコトモ矢張御豫想ニナツテ居ラレルデセウカ

○吉田政府委員 之ヲ鬭争ト申シマシテ宜シイノデアリマスカドウデスカ、ソレ等ノ意見ヲ異ニスル人々ノ間ニ意見ヲ異ニスルコトニ依ツテノ議論ガ分レ、或ハ組合ノ離合集散ガ行ハレルト云フヤウナ現象ハアラウト思ヒマス

○守屋委員 今ノ労働組合運動或ハ労働争議指導ノ方式トカ云フヤウナモノニ付テモ、サウ云フ指導團體ノ間ニ争ガアルト云フヤウニ私共ハ考ヘルノデアリマス、ソレガ爲ニ争議ト云フモノガ複雑ニナル、或ハ悪化スルトカ云フヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、其點ニ付テノ御考ハ如何デセウ

○吉田政府委員 例ヘバ或ル産業等ニ於キマシテ或ル主張ヲ持チマシタ組合ノ今マデ主トシテ働イテ居リマシタ場所ニ對シテ外ノ主張ヲ持つタ組合ガ其場所ニ這入りタイト云フ場合モ、是ハ私共ト致シマシテ規定致シマセヌ、サウ云フ事ノ爲ニ紛議ヲ起シタコトモ是マデモアルト思ヒマスガ、將來モ是ハナイトハ言ヘナイト思ヒマス

○守屋委員 サウ云フ現狀ニ於キマシテ第十三條ガ違ツタ意味デ一層重大ニナリハシナイカト考ヘマス、雇傭主ハ労働者ガ労働組合ノ組合員タルノ故ヲ以テ解雇スルコトヲ得ズトナツテ居ルガ、異ツタ組合相互ノ争、指導精神ノ異ツタ労働組合ノ間ニ於ケル争、是ハ資本家ト何モ關係ガナイ

コトデアルガ、其爲ニ雇傭主ガ迷惑スルナラバ組合員タルノ故ヲ以テ解雇スルコトヲ得ズト云フ規定ヲ以テ律スル必要ハナイト思ヒマスガ、本規定ハサウ云フ例外ヲ認メテ居リマセヌカラ、サウ云フ場合デモヤハリ此規定ノ適用ヲ受ケルト考ヘマスガ、ソレデ少シモ支障ガナイデセウカ

○吉田政府委員 ソレハ最モ重大ナ點ニ觸レタ御尋デアルト思ヒマス、此十三條ノ規定ニ付キマシテハ從前社會政策審議會ニ於テモ其他ニ於テモ、其點ニ觸レテ可ナリ精細ニ考究ヲ續ケテ來テ居リマスノデ、其結果ヲ十三條ノ解釋トシテ申上ゲテ見タイト思ヒマス、十三條ノ規定スル所ハ單ニ或ル人間ガ労働組合ニ屬スルノ故ヲ以テ解雇スルト云フコトヲ禁ジテ居ルノデアリマス、他ニ解雇スベキ正當ナル事由ガアリマスレバ解雇スルコトヲ妨ゲナイノデアリマス、隨ツテ只今御想像ニナリマスガ如クニ或ル工場ニ二ツノ系統ヲ異ニスル組合ガアル時、是ハ三ツ以上アル所モ現ニアリマスガ、左様ナ場合ニ於テソレ等ノ組合員ノ間ニ種々紛議ノ絶エマセヌ爲ニ工場ノ秩序ヲ維持スルニ困ツテ居ルト云フ實情デアリマスタラバ、工場ノ秩序ヲ維持スル必要上組合ニ屬スル者デ解雇サレテモ是ハ已ムヲ得マセヌ、是ハ單純ニ組合員タルガ故ノ解雇デハナイ、斯様ナ解釋デアリマス

○守屋委員 サウ云フ解釋ヲ押シテ行カレヤウト云フコトデアレバソレモ一ツノ方法デアラウト考ヘマスカラ是ハ強ヒテ申シマセヌ

我國ニ於ケル勞働組合ガ國際的ニ結成スルト云フコトハ現ニアルコトデアリマス、所ガ國際的ノ結成ヲシマス時ニ、其指導機關トシテ現ニ莫斯科ノ勞働組合聯合ト「アムステルダム」ノ國際勞働組合聯合トアルノデスガ、莫斯科ノ國際勞働組合聯合ニ關係スルコトハ勿論御認ニナラヌト考ヘルガ、併シ「アムステルダム」ニアル國際的勞働組合聯合ニ付テ、政府ハ無制限ニドシテ組合デモ希望ニ應ジ参加スルコトヲ御認ニナリマスカ

○吉田政府委員 外國ノサウ云フ聯合ニ加盟スルコトヲ認メルカ認メヌカト云フ問題ハ、國內ノ秩序保安ノ維持ノ上カラ是ガ有害デアルカ無害デアルカト云フコトニナルト思ヒマス、之ニ付テハ保安ニ關スル規定ガ適用ニナリ、尙治安警察法モ適用ニナリマス、只今ノ如キ狀態ニ於テハ「アムステルダム」ニアル「インターナショナル」ニ加盟スルコトハ左程重大ト考ヘテ居リマセヌ、是ハ我國ノ勞働組合デアリマセヌカラ本法ノ所謂勞働組合デアリマシ、又本法ノ所謂聯合體デモナイノデアリマス

○守屋委員 ソレハ勿論國法ノ範圍内ニ於テハ今政府委員

ル、上ニ於テ、政府ハ牽制ヲ受ケ、制限ヲ受ケ無ケレバナラヌ規定デモアルノデアリマスカ

○吉田政府委員 先程私ノ申上ゲマシタノハ國際勞働條約デハゴザイマセヌノデ、勞働會議決定サレマシタ勸告ナノデアリマス、左様ニアリタイト云フ希望ヲ表白シテ來テ居ルノデアリマス、此組合法ヲ立案スル上ニ付キマシテ、此勸告ノ趣旨ヲ容レルト容レザルトハ日本政府ノ見ル所ニ依ツテ之ヲ決シテ宜シト思ヒマス、併ナガラ此勸告ニ對シマシテハ私共モ不同意デハナイト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、併ナガラソレニ拘束ヲ受ケ、又ハ束縛セラルト云フヤウナコトデゴザイマセヌ

○猪野毛委員 國際勞働會議ノ尊重サレルコトハ誠ニ國際的ニハ結構デアリマセウケレドモ、勞資ノ觀念ニ付テ國際勞働會議ノ考ヘテ居ルコト、安達内務大臣ガ此委員會ニ於テ明言サレタコト、ハ全然違ツテ居ル、即チ安達サンハ勞資温情主義ト云フヤウナコトヲ言ハレテ居ルガ、國際勞働會議ハ利益ノ分配主義デ行ツテ居ル、即チ全然違ツテ意見ニナツテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ違ツタ所ノ意見ノモノヲ時々參考ニサレタリ、又此會議ニハ資本家代表ガ行キ、或ハ勞働者ノ代表ガ行ク、或ハ役人ノ代表者ガ行ツテ會議ヲ大變ニ尊重サレテ居ルヤウデアリマスガ、斯ウ言フ

ガ仰シヤツタ通りデアルト思ヒマス、併ナガラ國際的組合ノ加入ヲ認メルコトニナレバ「アムステルダム」ノ國際勞働組合聯合ノ精神ト云フモノハドウ云フ風ニ變化スルカ分ラナイ、今ハ比較的穩健ナル態度ヲ執ツテ居ラレマスカラ、ソレニ加入スルニ付テハ政府ハ之ヲ許ス御考デアルコトハソレデ宜カラウト思ヒマス、併ナガラ國際的ノ勞働組合ニ加盟スルコトニ付テハ、將來幾多ノ問題ガ起ツテ來ルノデヤナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、隨ツテ現在ノ取締規定ダケデ將來之ヲ十分取締ツテ行クコトハ困難ナコトデアナイカト思ヒマス、其點ハ如何デアリマスカ

○吉田政府委員 ソレ等ノ外國ノ勞働團體ニ我國ノ勞働組合ガ加盟スルコトニ付キマシテハ將來ハ兎ニ角、現在ニ於キマシテモ深甚ノ注意ヲ要スルコトヲ考ヘマス、絶エズ警察方面或ハ私共ニ於キマシテモ注意シテ居ル所デアリマシガ、ソレニ對スル制限規定等ヲ直チニ設ケルコトハ如何カト思ツテ居リマス、御話ノ通り最モ注意シテ居ラナケレバナラヌト考ヘテ居ル次第デアリマス

○猪野毛委員 先程社會局長官ノ御言葉ニ依リマス、國際勞働會議ノ方カラモ國籍上差別的待遇ヲシテ吳レルナト云フ希望ガアツタカラダト云フコトデアリマシタガ、國際勞働會議カラ、日本ノ勞働組合ニ關シ、即チ此法律ヲ作ラ

點ニ付テ長官ハドウ云フ御考ヲ御持チニナツテ居リマスカ

○吉田政府委員 國際勞働會議ナリ、或ハ勞働會議ニ審議セラレマスル諸條約案ナリ、ソレ等ノ勞働會議ノ働キニ付キマシテハ、「ヴェルサイユ」條約ニ規定セラレテ居ルノデアリマシテ、其條約ニハ日本モ加盟致シテ居ルノデアリマス、其條約ニ規定セラレルダケノコトハスル義務ヲ國際的ニ持ツテ居ルノデアリマス、併ナガラ一ツノ問題ニ付キマシテ、産業上ノ問題、或ハ勞働上ノ問題、或ハ社會的ノ色々ナ立法等ニ付キマシテ、國際勞働會議決定ヲ致シマスル條約、勸告等ニ於キマシテモ、我國ノ國情トシテ、ソレノ採用ガ出來ルモノモアリマスレバ、出來ナイモノモゴザイマス、一ツノ勸告ナリ、條約ナリヲ採用スルト否トハ、ソレハ各締盟國ノ見ル所ニ任セラレテ居ルノデアリマス、今日我國ニ於キマシテ、採用致シマシタ條約ハ十二、三モゴザイマスガ、其他ニ採用致サナイ條約モ澤山ニアルノデアリマス、ソコデ是等ノ何レヲ採用シ、何レヲ採用セザルベキカト云フコトハ是ハ其國ノ國內ノ事情ニ依リマシテ、我國ノ存立ノ必要ト云フコトニ鑑ミマシテ、我國ノ見ル所ニ依ツテ決定シテ宜イノデアリマス、其處マデハ束縛ヲ受ケテ居リマセヌ、併ナガラ一ツノ條約、例ヘバ勞

働保險ニ關スル問題デアルトカ、ソレ等ノ條約ヲ採用スベキモノトシテ、之ヲ御批准ニナリマシタ以上ハ、是ハ條約ノ趣旨ヲ守ツテ行カナケレバナリマセヌ、之ヲ採用スルト否トハ我國ニサウ云フ條約ヲ採用スルニ付テノ權限アル機關、我國デハ樞密院ト云フコトニナツテ居リマスガ、其處ヘ御諮問アラセラレマシテ、愈々是ハ宜イト云フコトニナツテ採用致シマス、是ハ見合スベキモノト思ツタラ採用致シマセヌ、併ナガラ國際勞働會議ノ構成ニ對シマシテ、例ヘバ會議ニ對シテ代表ヲ出シマストカ、或ハ向フニ相談ノ根據トシテノ事務所ヲ置クトカ、ソレ等ノコトハ條約上我國ノ守ルベキ義務デアリマスカラ、守ツテ居リマス、サウシテ我國ノ必要トスル所ヲ以テ會議ノ席上ニ於テ充分ニ主張ヲシ、反對スベキモノハ反對ヲシ、賛成スベキモノハ賛成ヲスルヤウナ態度ヲ執ツテ居ルノデアリマス

○猪野毛委員 先日來工業俱樂部、即チ日本ノ資本家代表ノ連中ガヤカマシク言フノハ、所謂社會局案ノ根底ト云フモノハ大體國際勞働會議等ヘ行ツテ、即チ向フノ燒直シダト云フ先入觀念ガ彼等ノ頭ヲ深く刺戟シテ、サウシテ吾々ガ見テモ、是ハ資本家ノ方ガ無理ダト云フヤウナコトマデモ言ツテ居ルヤウニ思フ、ドウモ私共ガ考ヘマスノニ、斯ウ云フ法律ヲ制定スルニ付テ、日本ハ餘リ經驗ガナク、外

國ノ例ヲ參考ニシテヤラレルノデアリマセウケレドモ、此事柄バカリデハアリマセヌガ、大體向フニ引摺ラレルヤウナ氣ガシテナラヌ、華盛頓會議デモ「ヴェルサイユ」會議デモ、倫敦會議デモ、是等ノ會議ニ行ツタ後ノコトヲ考ヘテ見マスト、日本ノ利益ニナツテ歸ツテ來タコトハ大概ナイ、外ノ問題デモ大概日本ノ都合ノ惡イコトヲ規定サレル、サウシテウヲ無理強ヒニヤラレル、之ヲ聞カヌ時ニハ國際信義ヲ破ルトカ、戰爭ニナツテモ構ハヌト云フヤウナコトデ、色々嚇カサレテ、アベコベニ日本ノ軍人迄モ向フノ説ニ賛成シテ來ルト云フヤウナ過去ノ歴史ノ歴史ニナツテ居ル、故ニ法ノ制定デモ、又政府委員ノ説明デモ向フノコトハ極ク輕イ一ツノ參考位ノ意味ニシテ戴イテ、亞米利加ガ斯ウダカラ斯ウ、英國ガ斯ウダカラ斯ウト云フテ、何ダカ向フニ權威ガアツテ、ソレニ倣ヒ從ツテ行カナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ時々見ルコトガアル、斯ウ云フ點ハ一ツ將來ニ於テモ些細ナコトデアリマスケレドモ、餘程影響スル所ガ多イカラ、注意シテ貰ヒタイト思ヒマス、ソレカラ丁度私居ナイ時デアリマシタガ、大體既設勞働組合ト云フモノハ優先權ノヤウニシテ、之ヲ認メルヤウナ方針ト承ツテ居ル、一例ヲ舉グレバ辯護士ナドデモヤハリサウデス、今日ノヤウナムズカシイ辯護士試驗課目ヲ最初ニ出

來タ代言人ト云フカ、三百ト申シマセウカア、云フ者ニ課スト到底出來ナイケレドモ、當時法律ノ事務ヲ取扱ツテ居ル者ハ辯護士ト看做スト云フヤウニ優先權ヲ與ヘテ居ツタ、從ツテ今マデアル所ノ勞働組合ガ相當ニ訓練、相當ニ經驗ヲ經テ居ル、又ヒドイコトモナカッタト云フノデ認メルヤウナ口吻デアリマシタケレドモ、此無産黨ノ宣言綱領ヲ見ルト、實ニ容易ナラヌモノガアル、是ハ社會局長官モ勿論デアリマスガ、大臣ガ居ナイナラバ、警保局カラ誰カ來ラレテ、非常ニ關聯ヲシテ居ルカラ、私共ハ嚴格ニ質問ヲシ、又答モシテ戴キタイト思ツテ居リマス、昨日モ問題ニナツテ居リマシタガ、現ニ無産黨ノ宣言、綱領ト云フモノハ今日茲ニ儼然トシテ存在シテ居ル、詰リ此旗印ヲ立テ、彼等ハ前進ヲスル、サウシテ酷イコトヲ言ウテ居ル、勞資ハ絶對ニ之ヲ對立ストカ、資本階級ヲヤツ、ケルトカ、新社會ヲ建設スルトカ「ソヴェツト」ノ彼等ノ言フノト一緒ノコトヲ公然トヤツテ居ル、之ニ對シテ政府ノ答辯ト云フモノハ、是ガ善イトモ、惡イトモ言ハヌ、アヤフヤナコトヲ言フテ居ル、苟モ斯ウ云フ問題ノ時ニ斯ウ内容ノモノヲ突出サレタラ、是ハ宜イトカ、惡イトカト云フ判斷ヲシテ委員ニ答辯スベキモノデアラウト思フ、法律ガ出來テシマツテカラ、是ガイカヌ、アレガイカヌト言フタ所デ、最

早遲イ、苟モ茲ニ一ツノ法律ガ制定サレル時ニ於テハ、現實ニ斯ウ云フ規約ガ此組合ニアルガ、是ハドウダト云ウタラ、是ハ組合法ニ違反ヲシテ居ル、又法案ノ上ニ於テ不都合デアルト云フコトヲハツキリ此處ニ明言ヲシナケレバナラヌデアリマス、吾々ガ大臣ガ居ナクテハ困ルト云フノハ、斯ウ云フ點ニ付テ主管大臣ノ嚴格ナル明答ヲ聽キタイカラデアリマス、此基礎觀念ガ出來ナケレバ、吾々ノ質問モ如何ナル程度マデ突込ンデ宜イカ、モツト進ンデ突込モウカト云フコトノ匙加減ガアルガ、主管大臣ノ腹底ガスツカリ分ツテ居レバ、モウ眼光紙背ニ徹シテ、十ノ所ヲ一ツ尋ネテ而シテ其ノ一ツヲ聽イテモ分ルト云フコトニナリマス、然ルニ主管大臣ハ一向出テ來ズ、來テモ答辯ガ出ナイト云フヤウナコトデ況ンヤ無産黨ノ宣言綱領ト云フモノニ對シテ何等今迄ニ満足セシムル所ノ答辯ヲヤツテ居ナイ、露西亞「ソヴェツト」政治ノヤウナモノト殆ド同一ノ宣言綱領ヲ掲ゲテアツテモ之ヲドウスルカト云フ茲ニ一ツ答辯ガナイ、此件ハ警保局ノ人デモ來ラレテ話サレタ方ガ宜イノデアリマス、資本家ガ非常ニ旋毛ヲ曲ゲテ喧シク言フノハ此處デアル、即チ日本ノ内務省ハ、無産黨ガ斯ウ言フ酷イコトヲ言ウテ居ル、本當ニ酷イカ、酷クナイカ私ハ批評ハシマセヌガ、資本家ハ實ニ酷イト言フ、斯ウ云フ國ヲ破

壇スルヤウナコト、社會ヲ混亂スルガ如キ斯ウ云フ酷イモノ
 ノヲ公然旗印ニシテ前進ヲシテ居ツテモ、内務省ハ組合ノ
 宣言綱領ヲ抛ツテ置ク、サウシテ今又斯ウ云フ組合法ヲ出
 スト云フノデ、工業俱樂部ナドガ喧シク言フ、私共ノ考デ
 ハ是ハ長官ニ聽イテモ宜イ、茲ニ全國勞働組合同盟或ハ日
 本勞働組合總聯合、或ハ又日本勞働總同盟ノ綱領斯ウ云フ
 モノヲ眼ノ前ニ突付ケテ、此内容デ許スカ許サヌカト云フ
 コトヲ聽キタイ、又是ガ治安ニ弊害ガアルカナイカト云フ
 コトヲ聽キタイ、是ガ法律ニナツテシマツテカラ考慮スル
 ト云フ内務大臣ノ言葉デハ満足ガ出來ヌ、今現在此處ニア
 ナタ方ノ配ツタ參考書類ノ中ニアル、サウシテ組合ハ此旗
 印デ「メーデー」ナドニ於テモ大ニ演説ヲシ、歌ヲ歌ヒ、
 サウシテ、大ニ示威運動ヲヤツテ居ル、如何デセウ

○吉田政府委員 國際條約ノコトニ付テハ、外ノ方面ノ條
 約ニ付キマシテハ、何モ申上ゲラレナイノデアリマスガ、
 國際勞働條約ニ關シマシテハ、從前カラ國際勞働條約ノ審
 議ニ加盟シテ居ルガ爲ニ、我國ノ產業界ガソレガ爲ニ不利
 益ヲ被ツタト云フヤウナコトハナイト思ヒマス、採用スベ
 キモノハ採用シ、採用スベカラザルモノハ採用シナイト云
 フ、最モ我國トシテ嚴正ナル立場ヲ執リ得テ居ルト思フノ
 デアリマス、是ハ第一ニ條約ノ審議セラレマスル際ニ、我

國カラ事業家、勞働者、政府、此三方面ノ代表ガ參リマシ
 テ、ソレゾレ見ル所ニ依リマシテ、十分ナ意見ヲ申述ベ得
 ルノデアリマス、申述ベマシテモ、不幸ニシテ政府ナラ政
 府代表ノ申シタ主張ガ、容レラレズシテ、或ハ留保サレテ
 シマツタト云フヤウナコトデアリマシテモ、之ヲ批准スル
 トセザルトノ權限ガマダ後ニ殘ツテ居ルノデ、我國ノ現狀
 トシテ適用シ難イヤウナモノハ、批詢致シテ居ラナイ、我
 國トシテハ批准ヲ致シテ宜シイモノニダケシカ御批准ニナ
 ツテ居リマセヌ、隨テ國際勞働會議ニ參加シテ居ルガ爲
 ニ我國ノ產業界ガ脅威ヲ受ケルト云フヤウナ弊害ハ事實ハ
 ナイト考ヘマス、尙ホ又我國ニ於キマシテ、色々ナ社會政
 策上ノ立法ヲスルニ付テ、外國ニ引摺ラレルヤウナ傾向ガ
 アルト云フ御觀測デアリマスガ、是又御氣付キノ通りニ、
 吾々ト致シマシテハ、我國ノ產業界、我國ノ國家ノ立前ト
 云フモノニ最モ重キヲ置キマシテ、ソレ等ノ問題ヲ考ヘナ
 ケレバナラヌコトハ勿論デアリマス、併ナガラ現代ノ產
 業、或ハ現代ノ勞働組織ト云フモノハ、マダ我國デ起リマ
 シテカラ、日ガ淺イノデアリマスカラ、ソレ等ノ問題ヲ考
 慮スルニ付キマシテ、外國ノ持ツテ居ル先例、法規等ヲ斟
 酌、參照スルト云フ必要ハアルト考ヘマス、尙ホ是モ矢張
 御氣付キノ通りニ、是等ハ參考、斟酌ト云フ程度ニ止メテ

置クコトハ勿論デアリマス、外國ガ斯ウデアアルカラ、日本
 モ斯ウデナケレバナラヌト云フ豫斷ヲ以テ掛ルコトハ、最
 モ戒メナケレバナラヌト云フコトハ御同感デアリマス、サ
 ウ云フ心持デ執務ヲ致シテ居ル積リデゴザイマス
 ソレカラ最後ノ御話ノ中ニアリマシタ施行ニ關スル附則
 ノ二項ノ適用ニ付テ政府ノ決心ト云フコトデアリマス、
 ソレニ關スル御尋デアリマスガ、是ハ内務大臣カラモ御尋
 ガアリマスレバ、能ク御話ニナルコト、思ヒマスガ、問題
 ヲ二ツニ分ケテ考ヘル必要ガアリハシナイカト思フ第一
 ハ、丁度御話ノ中ニアリマシタ治安ニ害アリヤ否ヤト云フ
 點デアリマス、治安ニ害アリヤ否ヤト云フコトハ、此勞働
 組合法ガ施行ニナルトナラザルトハズ、現在ノ問題デア
 リマスコトハ御指摘ノ通りデアリマス、併シ私共ノ所デ
 資料トシテ御配リ致シマシタ、所謂既成組合ノ勞働總同盟
 デアリマセウガ、或ハ組合同盟デアリマセウガ、ソレ等ノ
 組合ノ規約、綱領ト云フモノハ、是ハ可ナリ何レモ出來タ
 時期ハ相當ニ古イノデアリマスガ、現在モソレ等ノ規約ハ
 續イテ規約トナリ綱領トナツテ繼續致シテ居ルノデアリマ
 スガ、只今ノ經過ニ於キマシテハ、治安ニ害アリトシテ今
 迄マダ禁ジラレテ居ラナイノデアリマス、是ハ警察當局
 ノ考フベキ問題デアリマスカラ、私ガ御説明ヲスル權限ハ

ナイ譯デアリマスケレドモ、今迄認メラレテ來テ居ルモノ
 ニサウ云フ意見ノ差トデモ申シマスカ、サウ云フ治安ニ害
 有リサウナト思ハレル人モアルヤウナ條項ガ入ツテ居ル
 ガ本法施行ノ關係ニ付キマシテハ、治安ニ害アリヤ否ヤト
 云フコトハ、現在モアル問題デアリマス、施行後デハ問題
 ガ繼續致シマス、本法施行ニ付キマシテハ、此處ニ第十七
 條以下ニ書イテアリマス、組合ノ規約ガ組合ニ違反スル、
 公益ヲ害スルト云フ場合ニハ、其變更ヲ命ジ得ルノデアリ
 マスガ、(猪野毛君「從來ノ法令デセウ」ト呼フ)從來ノ法
 令モ此規定モ合セテノコトデアリマス、從來ノ法令ニ更ニ
 此規定ガ加ハル譯デアリマス、ソレニ依リマシテ本法施行
 ノ際ニ於キマシテ、政府ト致シマシテハ、此十七條ノ規定ノ
 命ズル措置ヲ執ルト云フコトハ、是ハ先達カラ内務大臣ガ
 申シテ居ラレル、然ラバドノ組合ノドノ條項ガ此規定ニ該
 當スルヤ否ヤト云フ御質問ニ對シテハ、是ハ私共モ十分只
 今モ調査シツ、アリマスケレドモ、非常ニ具體的ノ問題デア
 リマシテ、或ル組合ガ或ハ組合ノ解散ヲ命ゼラレ、或ハ
 規約ノ變更ヲ命ゼラレルト云フ具體的ノ問題デアリマスカ
 ラ、ソレデ今日此規定ヲドノ組合ニ向ツテドウ云フヤウニ
 發動スルト云フヤウナコトハ、申上ゲル時期デナイト考ヘ
 マシテ申上ゲマセヌガ、今日組合ノ持ツテ居リマス規約ノ

中デ公益ヲ害シ法令ニ反スルト云フモノガアリマスナラバ、ソレ等ニ對シテハ、此組合法ノ命ズル所ニ從ツテ適當ナ處置ヲ執ルト云フコトハ、是ハ明カニ申上ゲテ居ルノデアリマス

○猪野毛委員 有レバト云フコトデアリマスカ、有ルカ無イカ、之ヲ御覽ニナレバ直グ御判斷ガ付ク、此所ニ宣言綱領ガ出テ居リマス、之ニ有リマスカ有リマセヌカドウデス、アナタ御一人ノ御返事ハ御骨ガ折レルカモ知レマセヌケレドモ、私共ハ内務大臣初メ政府ノ御方々ガ、此無産黨ノ宣言綱要ヲ、是レナリ認メルカ認メナイカト云フコトデ、アナタ方ノ腹ガ半分以上分ル、之ヲ「バロメーター」ニ質問應答ヲヤリタイト思フ、サウシテ内務大臣ヲ引張り出シテ、内務大臣ノ思想トカ勞資觀ヲ私共聽キタイト思フ、成ベク時間ヲ省イテ、要點ガ直グ分ルダケノ物指ヲ入レテ見タイト思フガ、一向物指ヲ入レサセナイ、之ヲヤレバ一週間モ二週間モ掛ラナイデモ、二三日位濟ムカモ知レマセヌ、議事進行上斯ウ云フコトハ非常ニ政府ノ方デモ考ヘナケレバナラヌ、ソレデスカラ警保局ノ方ニ御出ヲ願ツタラ如何デス

○吉田政府委員 警保局ノ職員ニソレ等ノ規約綱要ニ付キマシテノ意見ヲ御聽取ニナリマスコトハ、私共一向異存ハ

アリマセヌ、先程モ御注文ガアリマシテ、警保局ノ特高方面ノ非合法運動ト云フモノニ付テノ御話ヲ御聽キニナリタイト云フコトデアリマシテ、委員會ノ御都合ニ依リマシテハ、何時デモ私共御仲介ノ勞ヲ吝ミハ致シマセヌ

○猪野毛委員 ソレデハ明後日承ルコトニ致シマシマス
○中谷委員 只今ノ問題ニ關聯シテ承リタイト思ヒマス、今ノ勞働組合ノ規約法令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルトキハ云々ト云フ法令、又十六條ノ勞働組合ノ會議云々ノ法令、此法令ハ本法ヲ含ムト云フ今ノ御答辯デアリマスルガ、サウスルト此本法ノ第一條ノ目的及職業ノ同一性、之ニ違背スルヤウナコトニナツタ場合ニハドウナルデスカ
○吉田政府委員 是ハ場合ニ依ツテ違ヒマシテ、本法ト云フノニハ又此附則ヲモ含ンデ居ルノデアリマス、附則ニ依ツテ認メラシマシタモノハ職業別、産業別デアリマセズトモ本法ニ違反シテハナラナイノデアリマス、共點ノ御尋ヂヤナイカト思ヒマス

○中谷委員 其後ニデス
○吉田政府委員 其後ニハ職業別産業別ニ非ザル組合ガ假ニ出來タト致シマスレバ、ソレハ本法ノ適用ノナイ組合デアリマス、隨テソレニハ十七條モ適用ニナリマセヌ
○中谷委員 ソレハ私ノ質問ガ御分リニナラナイノデス、

詰リ本法ニ依ツテ成立シタ後ニ此組合ノ規約ガドウモコンナ手續イモノデヤイカヌ、モウ少シ手嚴シイモノニシヤウト云フノデ、此目的ノ中ニ書イテアルヤウナモノヲ削ツテ、サウツテ此目的以外ノコトヲ決議スル、例ヘバ共同利益ノ保護増進ナント云フコトハイカヌト云フノデ、之ヲ削ツテシマフト云フヤウナ事態ガ發生シタ場合ニドウスルカト云フノデス、詰リ本法ニ依ツテ認メラレタル組合ガ、其後ニ於テ第一條ニ規定セラレテ居ル所ノ保護増進ニ關スル所ノ目的條項ヲ決議ニ依ツテ削除シテシマウ、或ハ同一職業類似ノ職業ト云フモノノ範圍ヲ擴大シテシマフ、他ノ職業ヲ加ヘルト云フコトヲ規約ヲ以テキメテシマツタ場合、

サウ云フ場合ニハドウナリマスカ
○吉田政府委員 本法ニ依ツテ認メラシマシタ組合ガ、自己ノ決議ニ依リマシテ、本法施行後ニ勞働組合トシテハ働カナイ、ヤハリ自分等ハ是カラハ政治團體トシテ働クノダト云フ意思ノ下ニ、スツカリ内容ヲ變更シテシマフト云フコトナラバ、ソレハ勞働組合ヲザルニ至ルノデアリマス、サウ云フ極端ナ明瞭ナ場合ハ……隨テ本法ノ適用ノ範圍外ニナツテシマフノデアリマス、併ナガラ勞働組合トシテ本法ノ規定ニ違背スルヤウナ決議ト云フコトハ、ヤハリ十六條ニアリマスル法令ノ規定ニ違背シ、又ハ公益ヲ害ス

ル決議ヲシタト云フコトニ當ル場合ガアリマス、勞働組合トシテ立ツテ居ルモノガ此法令ニ違反シタ決議ヲスルト云フヤウナ場合ニハ、其決議ニ對シテハ十六條ノ規定ニ依リマシテ、行政官廳ハ決議ノ取消シガ出來マス
○中谷委員 ソレハ無論デアリマスガ、私ノ言フノハ、サウスルト第十六條ニ依ツテ決議ガ本法ノ第一條ノ目的以外ニ立ツ、或ハ同一事業ト云フモノノ複數事業ニシテシマフト云フヤウナ場合ニハ、第十六條ニ依ツテ行政官廳デハ之ヲ取消サズシテ、自然ニソレハ時効ニナツテシマフト云フコトニナリマスカ
○吉田政府委員 取消得ル場合モアリマセウガ、今御示シニナリマシタダケノ理由デ、之レカラハ我が組合ハ一般組合トシテ立ツテ行ク、或ハ組合トハ違ツテ別ノ政治團體トナルト云フ意思ヲ以テ其組合ノ構成ヲ缺イテシマウト云フコトハ、本法ノ所謂勞働組合トシテノ消滅デアリマス、併シナガラ本法ハ勿論茲ニ第一條ニ規定シテ居リマスル以外ノ勞働者ノ團結ト云フモノニ對シテ、之ヲ禁止スルト云フコトハナイノデアリマスカラ、ソレ等ノ團體ハ他ノ治安ニ關スル各種ノ法令ニ違反セザル限り憲法ノ保障ニ依リマシテ、日本國民ハ拵ヘ得ルノデアリマス、ソレハ本法ニ適用スル範圍ヲ左様ニ限定ヲ致シマシタ結果、本法ニ依ツテ既

存ノ組合ニ移變ツテ、サウナルモノモアレバ新タニ出來タ
組合デ、サウデアアルモノモアリマス、御尋ノ通りデアリマ
ス

○中谷委員 私シハ速記録ヲ堪念ニ拜見致シマシタカラ、
今ノ吉田サンノ御話ヲ承ハツテ居リマス、只今ノ御答辯ノ
中ニ政治團體ニナル意思ヲ以テト云フ御話ガアリマスガ、
サウ云フ意味デハナイノデアリマス、要スルニ第一條ノ勞
働組合ノ定義ニ依レバ、是ハ二ツノ要件カラ成ツテ居リマ
セヌカ、只今ノ御答辯ニ依ルト即チ産業又ハ職業、同一又
ハ類似ト云フコトガ一ツ、モウ一ツハ即チ是ハ労働條件維
持改善及共同ノ福利増進、共同ノ利益ノ保護増進ノ二ツニ
ナツテ居ル、其一ツヲ途中デオロシテシマツタ場合ヲ言
フ、サウスルト此法令ト云フモノハ第十六條第十七條ノ此
法令ガ本法ヲ含ムモノデアルトシタ場合ニハドウ云フ取扱
ヲスルカ、サウ云フ場合ニハ第一條ニ依ツテ組合ハ自然ニ
本法以外ノ組合ニナル、ソレニ對シテハ十六條十七條ノ適
用ガナイト云フコトニナリマスカ、其點ニ付テノ御答辯ヲ
承ハツテ置キマス

○吉田政府委員 ソレデハ御説ノ點ダケニ付テ極メテ簡潔
ニ申上ゲタ方ガ分り易イカト思ヒマスガ、労働組合ト致シ
マシテ存續シテ行ク上ニ付テハ第一條ノ要件ヲ備ヘテ居ラ
承ハツテ置キマス

本ノ民法ガ始マツテ以來會テナイコトデアアル、法律行爲ノ
無効ト云フコトハアルケレドモ、意思表示ノ有效無効ハア
リ得ナイ、字句ノ問題デアリマスガ、字句モ亦必要デアリ
マスカラ伺ヒマス、意思表示ノ無効ト云フコトハドウ云フ
コトデアリマスカ

○吉田政府委員 意思表示ノ無効ト云フコトガナイトハ私
共ハ考ヘマセヌノデスガ、詰リ意味ハ、解雇ノ意思表示ヲ
致シマシテモ、意思表示ヲナサザリシト同様デ、解雇ハ通
常雇傭者ノ意思表示ニ依ツテナサレテ居ルノデアリマス
ガ、意思表示自體ハ、意思表示セラレザリシト同様ナリ
ト、斯ウ云フ意味デアリマス

○中谷委員 ソコデ此意思表示ハ今ノ御話ノ通り、之ヲセ
ラレザリシモノト同一ト法律ガ之ヲ認メテ居ル、然ルニ雇
傭者ガ、此意思表示ヲシテ解雇シタ者ニ對シマシテ、其就
業ヲ事實上拒ムト云フ場合ガアリ得ルト思フ、其場合ニハ
ドウシテ一體本法ノ規定ノ精神ヲ貫カウトナサルノデアリ
マスカ、例ヘバ、私ノ聽キマスノハ、此雇傭契約ノ無効ト
云フ場合ハ、是ハ民法ノ精神カラ言ウテモ、雇傭契約ガナ
クナツタト云フコトヲ法律デ表ハス譯デアリマスカラ、ソ
レニ付テハ疑義ハナイノデスケレドモ、意思表示ノ無効ト
云フコトハ、法律ノ言葉ニ澤山ハナイ——要スルニ解雇ノ

ナケレバナラヌ、是ハ其通りデアリマス、本法ノ労働組合
トシテ存續シテ行ク爲ニハ、第一條ノ要件ヲ備ヘテ居ラナ
ケレバナラヌ、労働組合トシテ外ノ目的ヲ附加ヘルナラ
バ、労働組合トシテ違法ナノデアリマス、併シナガラ御尋
ノ場合ガサウデナク、他ノモノニナツテモ何ンデモ構ハヌ
ノデ、自分ノ所ハ何モ政府ノ謂フ労働組合ノ範圍デナクテ
自分ノ考ヘル所ニ依ツテヤルノダ、政治ハ先程一例ニ舉ゲ
タニ過ギマセヌガ、營利團體ニナル、或ハ法規ノ認ムル以
外ノ組合ニナツテイ、ノダト云フノデ、第一條ノ規定ニ違
ツタヤリ方ヲ致シマスレバ、ソレハ本法ノ規定ノ適用ノ規
定外ニ當然出テシマウ、労働組合トシテハ十六條十七條ノ
規定ヲ受ケマスルケレドモ、労働組合デナイモノハ是ハ適
用ノシヤウガナイト云フコトデアリマス

○中谷委員 第十三條ノ問題モ一二項ニ付テ承リマスガ、
文句ノ問題ニナルガ、第十三條ノ第三項デス、「前二項ノ
規定ニ違反スル解雇ノ意思表示又ハ雇傭契約ノ約款ハ之ヲ
無効トス」之ガ此間中カラ質問應答ノ非常ニヤカマシイ問
題ニナツテ居ツテ能ク承知致シテ居リマスガ、解雇ノ意思
表示ノ無効ト云フコトハドウ云フコトヲ意味致シマスカ、
法律行爲ノ無効ト云フコトハ日本デ、法制上アルコトハ御
承知ノ通りデアリマスガ、意思表示ノ無効ト云フコトハ日

意思表示ヲシテ、扱テオ前ハ來テハイカヌト言ツテ就業サ
セヌト云フコトヲヤツタ場合、之ニ對スル效力ハドウナリ
マスカ

○吉田政府委員 意思表示ノ無効ト云フコトハ、民法ノ中
ニモ方々ニ條令ガアリマス、例ヘバ九十三條ニモ意思表示
ハ無効トスト云フ規定ガゴザイマシテ、是ハ新シイ條令ヲ
創設シタ譯デハナイノデアリマス、ソレカラ只今ノ御尋デ
アリマスガ、此無効ノ意思表示ヲシテ、サウシテ雇傭者ニ
於テ従業員ノ労働ニ就クコトヲ拒ンデシマツタト云フヤウ
ナ場合、閉出シテシマツタヤウナ場合ニハ、ドウシテソレ
ヲ強制スルカト云フ御尋デアリマス、是ハ事實サウ云フコ
トモアリマセウ、解雇ノ意思表示ガ無効デアアルニモ拘ラ
ズ、雇ツタ方デハ有效ナリト主張スル、詰リ双方ノ見解ガ
違ツテ居リマシテ、オ前ハ明日カラ來テハナラヌ、仕事ヲ
サセヌト云フコトガアリマセウガ、ソレハ双方ノ間ニ今マ
デ結バレテ居ル労働雇傭契約ニ對スル履行ノ違反ニナルノ
デアリマス、其職工ハ、雇傭契約ニ定メタ所ニ依ツテ、毎
日一定ノ仕事ヲシテ、ソレニ對スル給料ヲ貰フ權利ヲ持ツ
テ居ル、雇主ト致シマシテハ、ソレニ一定ノ仕事ヲサセル
勝利ヲ持ツテ居リ、尙ホ仕事ヲサセルコトニ依リマシテ、
一定ノ報酬ヲ支拂フト云フ義務ヲ持ツテ居ルノデアリマ

ス、ソレ解雇ノ意思表示ガ無効デアリマスレバ、ソレ等ノ雇傭關係ハ從前通り、解雇ノ意思表示ヲセラレザリシモノト同一デアリマスカラ、ソレヲ拒ンデ就業サセナイ、又就業サセナイ爲ニ或ハ金ヲ拂ハナイト云フコトニナリマシタナラバ、雇傭契約ノサウ云フ違反ニ關スル責ヲ、ヤハリ民事的ニ事業主ガ負フト云フコトニナリマセウ、又ソレニ付テ暴力等ヲ用キマシタナラバ、或ハ刑事上ノ責任ヲ伴フコトモアリマセウ、併ナガラ、サウ云フ無効ノ意思表示ヲシタ、法ガ禁ジテアル意思表示ヲシタト云フ場合ノ制裁法規ハ此處ニ設ケテアリマセヌ、是ハ從前カラ色々御尋モアツタ點デアリマスガ、労働者ガ、組合員タルノ故ヲ以テ解雇スルト云フコトハ、本法ニハ禁ジテ居ルノデアリマスケレドモ、其違反ニ對シテ處罰ヲ以テ臨ムト云フコトハ、目下ノ我國ノ社會通念トシテ行過ギテ居ルコトデアラウト云フノデ、其點ハ十分考究ノ上デ、サウ云フ強制方法ト申シマスルカ、罰ヲ以テソレヲ制裁スルト云フ手段ヲ執ラナカツタノデアリマス

○中谷委員 サウスルト此十三條ハ獨立シテ居リマス、「雇傭者ハ労働者ガ労働組合ノ組合員タルノ故ヲ以テ之ヲ解雇スルトコトヲ得ズ」ト云フ此獨立シタル法條ハ、殆ド力ガ無クナツテシマウヤウニ思フノデスネ、例ヘバ、「前二項

ノ規定」ト云フ時ニデスネ、雇傭者ガ労働組合ノ組合員タルノ故ヲ以テ之ヲ解雇スル」意思表示ハ無効トシ得ル特ニ此十三條ヲ、第一項第三項ト獨立シテ規定シテアルト云フノハドウ云フ譯デスカ

○吉田政府委員 ソレハ餘程違フノデアリマス、前ノ規定ノ建前ト致シマシテハ其解雇ノ意思表示ノ民事的效果ヲ規定スルニ止マツテ居ルノデアリマス、國家トシテ、労働組合ノ組合員タル故ヲ解雇シテハナラヌト云フコトヲ言ヘルカ言ヘナイカ、ソレヲ禁止スルト云フ意思ハ何等表ハレテ居ナイ、サウ云フ解雇ヲシテモ無効ダゾト云フコトヲ民事的ニ宣言シタニ止マツテ居ルノデアリマスカ、今回ノ此法案ニ於キマシテハ解雇ヲ禁止シテ居ルノデアリマス、國家意思トシテ此雇傭契約ノ條項ヲ入レルコトヲ禁止ノ意思ヲ表シテ居ルノデアリマス、隨ツテ解釋スル人ニ依リマシテ、第三項ノ無効ト云フ規定ハ要ラヌデハナイカ、此國家ノ禁令ニ違反シタ法律行爲デアルカラ、意思表示シテモノレハ當然無効デアアル、公ノ秩序ニ違反スルヤウナ意思表示ハ無効デアアル、隨ツテ要ラヌデハナイカト云フヤウナ議論ガ或ハ立ツカモ知レマセヌ、併ナガラ事ヲ明瞭ニ致シマス爲ニ、同時ニ司法上ノ效果カラモ、茲ニ書イテ置キマスコトハハツキリ致シマスト云フ意味デ附加ヘテアルノデアリ

マス、前ノ規定ト建前トシテハ完全ニ違フノデアリマス
○中谷委員 一番大切ナ條文デアリマスカラ重ネテ御尋ネ致シマスガ、此労働組合ト云フモノガ、本法ニ於テ認メラレルト云フコトガ利益デアルト云フコトノ殆ド百中九十九マデノ論據ハ此十三條ニアルト思ヒマス、ソレハ政府ノ答辯ハ他ニモ色々アルト云フコトデアリマスガ、併シハ意見ノ相違デハナイ、斯ウ云フ最モ重大性ヲ帯ビテ居ル禁止規定、國家ノ意見ヲ以テ禁止シヨウト云フ所ノ禁止規定ニ對シテ、之ニ對スル強制方法ガナイト云フヤウナ先例ト申シマスカ、サウ云フ一體立法例ガ他ニアリマスケセウカ、即座ニ御答出來ナイカモ知レマセヌガ、多少サウ云フ立法例ガ他ニモアルカモ知レマセヌガ、ドウモ斯ウ云フ重大ナル禁止規定ニ對シテハ、此禁止ヲ破ツタ時分ニ強制方法ガナイト云フコトデ、直チニ民事上ノ救済方法ニ委ネテシマウト云フコトハ、洵ニ微力ナル労働者ニ對シテ、之ヲ民事上ノ救済方法ダケニ任シテ置イテ、折角法ガ斯ノ如ク儼然トシテ此解雇ヲ禁止スルノ規定ヲ設ケテ置キナガラ、ソレニ對スル救済方法、強制方法ヲ全然設ケナイト云フコトハ、ドウモ吾々ハ不思議ニ思フ、サウ云フ立法例ニ付テ御答ガアレバ承ツテ置キタイト思ヒマス

○吉田政府委員 國家デ禁止規定ヲ置イテ居リマシテ、サ

ウシテソレニ對シテ罰則ノ規定ヲ設ケテ居ラヌト云フモノハ可ナリ澤山アルヤウニ記憶シテ居リマス、是ハ根本問題デアルダケニ、労働運動或ハ組合ノ團結權ト云フモノヲ考ヘル上ニ付キマシテ、考ヘ方ニ依リマシテ非常ニ各人所見ヲ異ニシ得ル問題ナノデアリマス、一番此規定ニ對スル所謂右翼的ノ考ヘ方ヲ致シマスレバ、雇傭契約ニ基イテ、人ヲ使ウ場合ニ解雇スルトセザルトキハ、民法ノ雇傭契約ノ建前カラ見レバ、殆ド事業主ノ任意ナノデアリマス、サウ云フ契約ニ關スル自由ヲ制限スル事最モ甚ダシイノデアアルカラ、今日ノ民事上ノ取引ニ於テ斯ノ如キ解雇ヲ禁ズルト云フノハ甚ダ怪シカラヌト云フ意味ノ議論ガ非常ニ強イコトハ御承知ノ通りデアリマス、又同時ニ禁ズルト云フマデニ至ラズトモ、前ノ法制ノヤウナ風ニ、其解雇ノ意思表示ヲ無効トスレバ、デヤナイカト云フヤウナ議論ガ其次ニ來ルコト、思ヒマス、更ニ進ンデイヤ無効トスルダケデハ足ラヌ、サウ云フ解雇スルコトハ出來ナイト云フ禁令ヲ置ク必要ガアルト云フ議論ガ其次ニ來ルト思ヒマス、其次ニハ更ニイヤ禁令シタノミデハ足ラヌ、丁度御話ノヤウニ其禁止ヲ確保スルダケノ少クモ行政罰トシテ過料ヲ取ルノガ至當デアルト云フ説ガ次ニアリマス、其次ニ更ニ進ンデソレハ法ノ命ズル所ニ違背スルノデアアルカラ明ニ刑罰ヲ以テ

臨ムベキデア、拘留、科料、或ハ進ンデハ罰金、禁錮ト云フヤウナモノヲ於テ臨ムベキデアルト云フ説ヲ採ル人モアルノデアリマス、是等ノ色々ナ考ヘ方ノ中ニ於キマシテ、現在ノ我國ノ社會状態ニ鑑ミ、又社會ノ通念ニ鑑ミマシテ、之ヲ禁止シテ罰セズト云フ程度ガ最も適當デアルト云フ見解ノ下ニ是ハ立案サレテ居ルノデアリマス、御批評ニ相成リマスレバ色々御批評ノ仕方ガアラウト思ハレルノデアリマスガ、此程度ヲ以テ適當ナルモノト政府ハ考ヘテ新様ニ立案シテ次第デアリマス

○中谷委員 少シ諄イヤウデスガ、モウ一寸確メテ置キタイ、労働組合ノ組合員タルノ故ヲ以テ解雇ノ意思表示ハ之ヲ無効トス、一ツノ條文デ出来ルコトヲ之ヲ二ツノ箇條ニ改メタコトハ、一ツノ條文デ書クヨリモ労働者ノ利益ヲ保護スルコトニナルノダト云フ考デスカ、是非非常ニ卑シイ言葉デ、サウ云フ言葉ヲ用フルノハ厭デスガ、胡麻化シノ規定デハナイカト思フ、如何ニモ斯ウ云フ獨立ナ規定ガアルガ爲ニ公認労働組合ノ組合員タル者ハ斯ウ云フ恩惠ニ浴スルノダト云フ風ニ見セテ置イテ、其實實際ノ上ニ於テハ意思表示ガ無効ダト云フ結果ヨリナイノデアアル、サウ云フ結果ニナツタノデハ此法案ニ對シテ労働者側ガ置キトシテ反對スルノハ無理ハナイト思フ、ドウモ其邊ノ關係ガ附ニ

落ちナイ點ガアリマス、恐ラク隨分御研究ニナツタデアラウト思ヒマスガ、モウ少シ御意見ハアリマセスカ

○吉田政府委員 是ハ社會政策審議會デ非常ニ審議ヲ重ネマシタ結果、斯様ナ條文ニ落付イタノデアリマス、其經過ヲ申上デレバ決シテ胡麻化シテ斯ウ云フコトニナツタノデナイト云フコトガ能ク御分リニナルト思ヒマス、社會政策審議會ニ此委員長ノ添田サンガ出サレタモノガゴザイマスガ、ソレニハ罰則ガ付イテ居リマス、社會政策審議會ニ提出サレタ材料トシテ御手許ニ差上ゲテゴザイマス、罰ヲ付ケルガ善イカ悪イカト云フコトニ付キマシテハ色々ナ論議ガアツタノデアリマス、前ノ政府案ニアリマシタ單ニ無効トスルト云フコトモ無論一ツノ重要ナ考慮點ニナツタノデアリマス、ソレ等ヲ彼此色々ト比較致シマシテサウシテ禁止スルガ宜シイト云フコトニ大體委員ノ意見ガ全部一致シタノデアリマス、禁止ノ明文ヲ置クト云フコトニ社會政策審議會ノ答申ニハ書イテアルノデアリマス、併ナガラ之ニ罰ヲ科スルノハ然ルベカラズト是亦明ニ答申ニ書イテアルノデアリマス、禁止シテ尙且ツ罰ヲ科シナイ、併ナガラ其法律行爲ノ有效無効ガ問題ニナツテハイケナイカラ、無効トスト云フ第三項ヲ置ク、斯ウ云フ經過ヲ經テ來テ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテハ其爲ニ世間ガ胡麻化サレテ

居ルト云フコトハ決シテアリマセス、此頃ハ意見ガ變ツタカ知レマセヌガ、現ニ或ル、實業家方面カラ參リマシタ投

書ノ意見ニ依リマスレバ、此第十三條ノ規定ハヤハリ前ノ政府案ノヤウニ禁止スル意見ヲ表ハサズシテ無効トスト云フコトニシテ貫ヒタイト云フ意見ノ申出ガアツタ位デアリマス、又労働者ノ團體ノ方面カラハ——殊ニ社民黨邊リカラ發表サレテ居リマス此組合法ニ對スル修正ノ對案ト云フヤウナモノニハ罰ヲ設ケル案ガ明カニ出来テ居リマス、是ハ世間ニ色々ノ意見ガ最も熱心ニ主張セラレテ居ル問題デアリマスシ、其間ニ政府案ガ胡麻化シテ行フト云フヤウナ餘地ノアル問題デハナイノデアリマス、明カニ斯ウ云フ立場ヲ執ル積リデ斯ウ書イテアルノデアリマス

○清水委員 先程來論議セラレタ點デ疑惑ヲ質シテ置クコトガ議事ノ進行上非常ニ便利ダト思ヒマスカラ御尋シタイト思ヒマス、ソレハ第一條ノ附則第二項ノ掛リ合ヒノ問題デアリマス、第二項デ第一條ノ目的ヲ有スル労働組合トシテ——其組合ガ第一條ノ目的以外ノ或ル目的ヲ有スル爲ニ認メラレルコトガ困難ト考ヘテ、又サウ云フ目的ヲ持ツテ居ルノデハナカラウカト云フ世間ノ疑惑ガアル爲ニ、自ラ顧ミテ昭和六年十一月一日、本法ガ施行セラレル前ニ自分デ綱領ナリ現約ヲ改メテ居ツタ場合ニハ御認メニナリマス

カドウデスカ

○吉田政府委員 ソレハ本法ヲ施行スル十一月一日ニ第一條ノ要求スル目的ヲ以テ居ル團體ト第二項ニハ書イテアリマスカラ、斯様ナ場合ニハ本法ノ労働組合トシテ認メラレテ居リマス

○清水委員 尙一ツ御尋シマスガ、現在ノ或ル組合ガ労働爭議ヲ起シテ、ソレガ認メラレタ組合ニシテモ又認メラレナイ組合ニシテモ労働爭議ヲ起シタ場合、調停法デハ治ラナイ、コンナナマヌルイモノデハイカナイ、モツト嚴重ニ取締ラナケレバナラヌ、近來ノ労働爭議ノ傾向上産業ノ發達ヲ阻害スルモノデハナカラウカト云フコトカラ附則第二項ノ適用ヲ非常ニ心配シテ居ル人ガ少ナクナイノデアリマス、其結果トシテ労働爭議取締法ヲ制定シテ貫ヒタイト云フ希望ガカナリ熱心ニアルノデアリマスガ、政府ハ労働爭議取締法ヲ作ラナクテモ、現在ノ刑法ナリ、治安警察法ナリ、行政執行法ナリ、警察犯處罰令ナリ、違警罪即決例ナリ、其他ノ規則ヲ勵行スルコトニ依ツテ取締得ルト考ヘテ居ラレルノデアアルカドウデスカ、殊ニ本法ノ適用ヲ免レタ労働組合ニ於テ其労働爭議ガ激烈ニナラナイトモ限ラヌノデアリマスガ、サウ云フ確信ヲ持ツテ居ラレルカドウカ

○吉田政府委員 現在ノ我國ノ取締ハ、刑罰ニ關スル法令

ヲ以テ、爭議ガサウ云フ社會ノ秩序以外ニ逸脱スルモノヲ
取締ルニ十分デアアルカト云フ御尋デアリマスガ、ソレハ十
分デアルト考ヘマス、ソレ等ノ法令ガ適用セラレルセラレ
ヌト云フ問題ハ本法ノ所謂労働組合ノ起シマス爭議デアリ
マセウト、或ハ本法ノ適用ノ範圍外ノ労働團體ノ起シマス
爭議デアリマセウト、其點ハ差別ハアリマセヌ、労働爭議
ニ依ツテ暴行脅迫其他社會ノ秩序ヲ破壊スルヤウナ場合ヲ
取締ル適當ナ法令ハ立派ニ完全ニ備ツテ居ルト考ヘマス

○清水委員 世間デハ今度ノ労働爭議調停法中改正法律案
ハ労働爭議取締法デヤナカラウカト云フ風ニ、殊ニ無産黨
方面デハ懸念シテ居ルヤウナ傾向ガアルノデアリマス、ソ
レニ付テ私等ノ憂フル所ハ調停官タル人ハ、從來通りニ警
察部ニ屬シテ置カレルト云フ御考デアアルカドウカ、若シ警
察部ニ屬セシメテ置タト云フコトニナルト、ヤハリ調停ト
云フコトノ外ニ取締ノ任ニ當ルノデハナイカト云フ感シ
與ヘ、調停ノ上ニモ惡結果ヲ來スノデハナイカト云フ懸念
ガアルノデアリマス、ソレデ取締ニ付テハ取締、調停ハ調
停ト別ニシテ、從來ト違ツテ今後ノ調停取締ハ警察部デヤ
ルノデナシニ、内務部トカニ御移シニナルヤウナ御考ハナ
イカドウカ、一寸御尋シマス

○吉田政府委員 是ハ單ニ調停職員ノミナラズ、社會政策

ケレドモ、調停官ヲ選任セラレル時ニハ、從來ノ警察部ニ
屬シテ居ル人デナクシテ、非常ニ民間ノ事情ニ通ジ、而モ
民間カラ非常ニ信頼ヲ受ケテ居ル人デナケレバナラヌト云
フコトヲ頭ニ置イテヤルノデナケレバ、調停法ガウマク行
ヘナイデ、動モスルト労働爭議取締法ト云フ風ニ解セラレ
ルコトニナリハセヌカ、サウ云フ懸念カラ私ハ御質問申上
ケルノデアリマス

○吉田政府委員 其點全然御同感デアリマス、謂停ニ當ル
モノト致シマシテ、出來ルナラバ産業界、實業界ノ實情ニ
通ジテ居ル立派ナ人物ヲ得ラレルコトハ調停ノ結果ヲ擧ゲ
ル上ニ大變結構ダラウト思ヒマス

○清水委員 尙ホ御尋シテ置キタイノハ、此労働組合法ガ
出來タ時ニ労働者側ハ團結權ヲ保護セラレル結果トシテ、
從來ヨリモ労働爭議ガ激烈ニナリハセヌカト云フ懸念ヲ懷
カセル嫌ヒガナイデモナイノデアリマス、隨ツテ此取締法
ハ今マデヨリモ餘程勵行スルト云フ決心ヲ政府ハ御懷キニ
ナラナケレバナラヌト思フ、私共ハ此労働組合ヲ實行スル
ニ當ツテ實業家ニ安心ヲ與ヘルコトハ困難デナカラウカト
懸念スル一人デアリマスガ、從來ノ取締法ヨリモ更ニ勵行
シヨウト云フ意思ガアリマスカ如何デアリマスカ

○吉田政府委員 爭議ノ取締方面ハ社會ノ秩序ヲ保持スル

ノ實行ニ關スル機關デモ現在警察部ノ所管ニナツテ居ルモ
ノガ可ナリ澤山ニアリマスガ、其利弊ニ付テハ當局モ十分
ニ考ヘテ居リマス、私共當局ト致シマシテハ出來ルナラバ
ソレハ行政整理ノ一ツノ問題トシテ、之ニ適當ナ解決ヲ與
ヘテ貫ヒタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマスガ、併シドウ云
フ風ニ處置シタラ宜イカト云フ政府ノ所見ハマダ確定シテ
居リマセヌケレドモ、十分御氣付ノヤウナコトヲ加味シテ
工夫シテ見タイト考ヘマス

○清水委員 民間デハ調停官ガ官吏デハ適當チヤナイ、民
間ノ人カラ出スベキモノデアアル、斯ウ云フ非難モ少クナイ
ノデアリマスガ、調停官ヲ御選ビニナルニ當リ、民間ノ事
情ニ通ジタ適材ヲ得ルコトニ付テハドウ云フ御考ヲ持ツテ
居ラレマスカ、念ノ爲ニ確メテ置キタイト思ヒマス

○吉田政府委員 御承知ノ通り調停委員會ノ組織ニ付キマ
シテハ政府側ト又中立的ナ人及ビ勞資双方ノ人ト云フ、主
トシテ官吏以外ノ人々デ組織スルコトニナツテ居リマシ
テ、民間ノ意思ヲ尊重スル意向デ出來テ居リマスガ、調停
官吏トシテ行フ職權ヲ直ニ民間ノ人ニ行使サセルカドウカ
ト云フコトニ付テハ餘程考慮ヲ要スル點ガアルト思ヒマ
ス、俄ニソレガ宜イトモ斷定シ兼ネルヤウニ思ヒマス

○清水委員 或ハ私ノ質問ハ希望ニ屬スルカモ知レマセヌ

爲ニ取締ヲ行フノデアリマスカラ、私ノ主管スル所デハア
リマセヌガ、私ノ關係スル範圍内ニ於キマシテヤハリ重大
ナル問題デアリマスノデ、私ノ見ル所ヲ申上ゲルノモ無益
デハナイト思ヒマス、是ハ從前ヨリモ嚴重ニ取締ルト云フ
考デハナクシテ、假令労働爭議デアリマシテモ其爭議トシ
テ執ラレタ手段、或ハ目的ガ労働條件ノ維持改善ヲ離レ
テ、必要ノ範圍ヲ超エ、暴行脅迫ニ亙リ、或ハ刑罰法規ニ
觸レルヤウナコトニ對シマシテハ假藉ナク取締法ヲ施行ス
ルコトハ固ヨリノコト、考ヘルノデアリマス、此組合法自
體ニ於キマシテモ、労働組合ノ結成ニ對シマシテ相當ノ保
護ヲ與ヘルト同時ニ、組合運動ガ軌道ノ外ニ逸出シナイヤ
ウニ相當ノ制限ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ制限
ヲ與ヘルコトハ社會ノ秩序ヲ維持スル爲ニ必要デアリマス
カラ、之ガ嚴重ニ行ハレルト云フコトハ本法施行ノ上ニ於
テ、肝要ノコト、思ヒマス

○清水委員 私等ガ懸念スルノハ、從來ノ警察官ノ態度ヲ
見ルト労働爭議ハ經濟問題デアアルカラ餘リニ立入ルコトヲ
好マナイ、又警察部長或ハ地方長官ニ依ツテハ放ツテ置カ
ウト云フヤウナ傾向ガナイデモナイノデアリマス、人ニ依ツ
テ其取締ノ程度ガ非常ニ違フ、隨ツテ爭議ガ平和ニ解決ス
ルヤウナ場合ガ、所ニ依ツテハ非常ニ厚薄緩急ガアルノデ

アリマスガ、サウ云フ場合ニ於キマシテ警察官ナリ調停又ハ取締ニ從事スル人ガ、サウ云フ方面ノ知識ガ缺ケテ居ル爲ニ非常ニ圓滑ニ行カナイ點ガアルノデアリマスカラ、將來取締ヲ勵行ナサル場合ニ於テハ各縣ニ其方面ノ専門象ヲ置イテ、サウ云フ方面ノ取締ニ付テモ特ニ講習會ヲ開クトカ何トカシテ、労働問題ノ研究ヲシテ警察官中ニ労働問題ニ詳シキ人、同情アル人ヲ養成セラレテ、一方ニ於テハ保護スルト共ニ、他方ニ於テハ取締ヲ嚴重ニシテ、産業ノ發達ヲ阻害シナイヤウ事業家ヲシテ安心サセルヤウニ、政府ガ協調主義ヲ唱ヘテ居ラレル其趣旨ニ副フヤウニアツテ欲シイモノダト思ヒマスガ、警察官養成ニ付テハ何トカ將來ニ對スル御考ガアリマスカ何ヒタイ

○吉田政府委員 警察官養成ノ事ニ付テハ明ニ私ノ所管外デアリマスカラ、内務大臣デモ來ラレタ時ニ御尋ヲ願ヒマス

○官澤委員 此法案ヲ御提案ニナリ、愈々實行サレルコトニ依ツテ労働運動ニ秩序アラシメ、統制アラシムルト云フコトハ御察シ申上ゲマス、ソレガ爲ニ既存ノ組合ヲ成ベク此組合法ノ範疇ニ引入レルコトニ御努力ニナルコトモ承ツテ居ルノデアリマスガ、併シ私ハ前ニモ申シマシタヤウニ附則二項ノ點ニ於テ果シテ之ガ完全ニ其目的ヲ達成シ得ル

ヤ否ヤニ疑ナキヲ得ナイノデアリマス、而モ一面資本家階級カラ眼ノ上ノ瘤ノヤウニ言ハレテ厭カラレテ居リマス十ニ條ハ、労働者側カラ申セバ三十條バカリノ條文中ニ於テ最重要ノ條文デアルカノ如ク言ハレテ居ルノデアリマスガ、此十三條ノ一項ニ付テ見マシテモ、組合員タルノ故ヲ以テ解雇スルコトヲ得ズト云フノデアリマスガ、外ノ口實ヲ以テスレバ、是ハ解雇スルコトハ無論差支ナイ、斯ウ云フ規定ガ今法理ノ上ニ決メラレナイデモ、今日ノ現狀ニ於テ雇主ガ労働者ヲ解雇致シマスル場合ニ、御前ハ組合員タカラ解雇スルコト云フコトハ恐ク言フマイ、實際言ツテ居ラナイ、組合員デ弊害ガアルカラ解雇スルコトガ唯一ノ理由デアツテモ、表面ニハ言ハナイ、他ノ口實ヲ以テ之ヲ解雇スルヤウニナツテ居ルノデアリマス、サウ致シマスルト云フト、第十三條ヲ如何ニモ金科玉條ノヤウニ言ハレテモ、是モ有名無實ニ終ルノデハナイカト思フ、有名無實ニ終ルト、組合員デアアルノ故ヲ以テ雇傭ヲ拒ムコトヲ得ズト云フコトモ必要デハナイカト思フノデアリマスガ、斯ウ云フコトヲ考ヘルト云フト、第十三條ソレ自身ガ何モ労働者ヲ組合法ノ範疇ニ引入レルダケノ價値ガナイ、サウ致シマスルト云フト、何ニ依テ是等ノ既存多數ノ組合ヲ此範疇ニ引入レルコトガ出來ルカ、何カ是ニ對シテ政府ハ組合法ノ適用ヲ

受ケル組合ニ對シテハ特典ヲ與ヘルヤウナ計畫ガアルカト云フコトヲ私ハ伺フノデアリマスガ、是ニ關聯シテ思ヒ當リマスコトハ、毎年労働會議ニ代表者ヲ御派遣ニナル、其代表者ヲ選舉致シマスル團體ハ、確カ千人以上ノ組合員ヲ持ツ組合デアリマス、千人ニ對シテ一票、二千人ニ二票ヲ與ヘテ、千人以下ノ組合ハ除外サレテ居ルノデアリマスガ、今回此組合法ノ制定ニ依テ、組合法ヲ適用サレル組合ニノ選舉權ヲ與ヘルノデアリマス、此扱ハ從來通り千人トカ百人トカ云フ一定ノ數ヲ持ツテ居ル組合、組合法ノ組合デアルカ、組合以外ノ組合デアルカノ差別ナク、人數ニ依テ此特權ヲ與ヘルノデアルカ、是ハ可ナリ労働者ニ取ツテハ、非常ナ特權デアアル、非常ナ誇デアアルノデアリマスガ、果シテ斯ウ云フモノニ對スル所見ハ如何デアルカ、其取扱ハ如何デアルカ、之ヲ此機會ニ於テ御尋申上ゲマス

○吉田政府委員 此組合法ノ建前ハ御承知ノ通り既存ノ労働組合デアアルモノハ、其目的ガ本法ニ合致スル限り、組織ハ合致セズトモ現行ノ規定ニ依リマシテ、本法ノ労働組合員ト認メラレルノデアリマスカラ、從前我國ニアリマシタ大キナ聯合團體ハ本法ノ適用ヲ受ケルコトニ大體ナルト思ヒマス、併ナガラ國際労働會議ニ労働者ノ代表ヲ出シマス場合、ドウ云フ方法デ之ヲ選定スルカト云フコトハ、國內

法ノ問題デハアリマセズシテ、労働條約ノ定ムル所ニ依リマシテ、國內ニ於ケル最モ代表的ナ労働者ノ團體ヲ推薦スルモノニ依ル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、國內法ノ有ル國デ、労働組合法ヲ規定スル、其規定ノ範圍内ト云フヤウナコトデ決メル建前ニハナツテ居ラナイノデアリマス、從前最モ代表的ナ労働組合ト致シマシテ、只今御話ノヤウナ方法ヲ以テ、労働者ノ團體トシテ推薦權ヲ認メテ來テ居リマス、直接ニ本法ノ適用ヲ受ケル組合デナケレバ、代表者ヲ選出サセナイト云フ風ニハ致サナイノデアリマスケレドモ、多クハ本法ノ適用ヲ受ケル労働組合ガ、矢張代表選出權ヲ持ツト云フ事實ニナリマスケレドモ、是ノ適用ヲ受ケル組合ニハ代表選出權ノ權限ヲ與ヘ、然ラザルモノニハ代表選出權限ヲ與ヘナイト云フヤウナ差別ヲ致シマス根柢ハ、條約上ノ手續カラ申セバナイノデアリマス、實際ハ御推測ノヤウニナツテ參ルカモ知レマセスガ、併シソレハ事實ノ問題デアリマシテ、ソレヲ以テ我國ノ労働者ノ意向ヲ最モ多數ニ現ハスニ都合ガ好イト認メタモノデ決メラレルノデアリマス、是ガ爲ニ資本家ノ代表ト致シマシテモ、現在デハ商工會議所ニ推薦權ヲ持タセテ居リマス、商工會議所デヤラセル、法律ニ依ツテ認メラレタ商工會議所ガヤルノデアアル、現在ヤツテ居ル所ノ商工會議所ノ

意見ヲ聞クコトガ、最モ資本家側ノ意見ヲ聞クニ適當デア
ルト考ヘテヤツテ居ルノデアリマス、サウ云フ風ニ理由ト
スル所ガ違フノデアリマスカラ、此組合法ノ適用ヲ受ケル
者ニ限ツテ代表者ヲ出スト云フコトニハナラナイノデアリ
マスガ、恐クハ事實ハ左様ニナルト思ヒマス

○宮澤委員 然ラバ想像致シマスル通りニ此組合法ト云フ
モノガ、却テ一種ノ拘束デアアル、此組合ニ入ルコトハ色々
ナ自由活動ヲ阻害シテ從來アツタ範疇ノ下ニ引入レラレテ
拘束ヲ受ケルト云フコトニナツテ何等得ル所ハナイト云フ
コトニナツタナラバ、結局斯ウ云フ風ナ労働組合ヲ制定ニ
ナツテモ、私ハ却テ從來通りノ労働組合法以外ノ組合ガ續
出シ、從來ノ組合ハ其儘依然此範疇外ニ立ツテ自由ノ活動
ヲシテ、政府ノ狙ツテ居ル統制アル行動ヲ爲サシムルト云
フコトハ相當困難デハナイカト思フノデアリマス、併シ組
合法ト今ノ國際労働會議ノ色々ナル扱ニ於テ、必ズシモ一
致シテ居ラヌノデアリマスカラ、從來ノモノト雖モ代表的
ノモノデアレバ、公認サレテ居ラウガ、サレテ居ルマイ
ガ、廣ク天下ノ組合ノ代表的ノモノカラ選ブト云フコトハ
御尤モト思ヒマス、斯ク致シマスレバ此組合法ニ於テハ何
等特點ガナイト云フコトニナリマス、結局此法文ハ空文ニ
終リハシナイカ、有名無實ニ終リハシナイカト思フノデア

リマス、簡單ニ是ダケ申上ゲテ置キマス
○添田委員長 内務大臣ノ來ルノハ大變遅イヤウデスカラ
本日ハ是デ散會致シマス、明後日ハ午後一時カラ開會致シ
マス
午後四時四十分散會

第五十九回帝國議會 院 勞働組合法案外一件

(勞働組合法案(政府提出)) 委員會會議錄(速) 第十一回

會 議

昭和六年三月九日(月曜日) 午後一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 添田敬一郎君
- 理事 三宅 馨君
- 理事 多田 滿長君
- 理事 宮澤 裕君
- 濱野 徹太郎君
- 櫻内 辰郎君
- 栗原 彦三郎君
- 長尾 半平君
- 堀内 良平君
- 加藤 久米四郎君
- 安藤 正純君
- 松村 光三君
- 中谷 貞頼君
- 理事 由谷 義治君
- 理事 猪野 毛利榮君
- 谷原 公君
- 飯塚 春太郎君
- 久留 義郷君
- 田中 貢君
- 仲井 間宗一君
- 堀切 善兵衛君
- 田子 一民君
- 守屋 榮夫君
- 西岡 竹次郎君

衆議院委員會勞働組合法案外一件委員會第十一回

西尾 末廣君

同日委員西尾末廣君辭任ニ付其ノ補闕トシテ松谷與二郎君
ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

- 内務大臣 安達 謙 藏君
- 出席政府委員左ノ如シ
- 社會局長官 吉田 茂君
- 社會局部長 富田 愛次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

勞働組合法案(政府提出)
労働争議調停法中改正法律案(政府提出)

○添田委員長 ソレデハ會議ヲ開キマス、今日ハ段々御要
求ガアリマシテ、内務大臣ノ出席ヲ得テ居ル次第デアリマ
ス今日ハ成ベク落付イテ此席デ答辯ヲスルト云フ御話デア
リマスカラ、組合法ナリ、調停法ナリニ付テ十分御質問ヲ
願ヒマス、ソレカラ質問ニ入ルニ先立チマシテ、一昨日中

谷君ヨリ御要求ニナツテ居リマス尼ヶ崎ノ爭議ノ關係ニ付テ政府委員カラ答辯ガアリマス

○吉田政府委員 御質疑ニナリマシタ點ハ、主トシテ刑法關係ノ事柄ニ付テノ御疑問ガ多クツヤウデアリマスガ、便宜取調ノ結果ヲ私カラ御答申上ゲマス、日本紡績ノ尼ヶ崎工場ノ女工見廻ヲシテ居リマス鍋倉アサエト云フ者ガ組合ニ入ツテ入ル關係上、二月五日人事係ガ組合カラ脱退スルコトヲ強要シ、ソレヲ鍋倉アサエガ拒絶シタト云フ事實、ソレニ依テ解雇シ、或ハ監禁シタト云フヤウナ事實ニ關聯シテノ御尋デアリマス、事實ニ付テ取調ベタ結果ヲ申上ゲマスト、日本紡績ノ尼ヶ崎工場ニ於キマシテ、二月五日ニ只今申シマシタヤウナ組合カラ脱退スルコト云フコトヲ工場側ニ於テ強要シ、之ヲ拒絶シタカラト云フノデ監禁シタト云フ事實ハ、著シク相違シテ居ルヤウデアリマス、此工場ニハ千七百名カラノ男女工ガゴザイマシテ、其中デ約二百名ノ日本紡績労働組合員ト云フモノガ既ニアルノデアリマス、鍋倉モ其ノ組合員ノ一人デアリマス、此工場ハ只今機械装置ノ變更、設備ノ改革ヲ致シテ居ル結果トシテ、數回ニ互ツテ銘々ノ持場ノ入替ヲシテ、二月八日ニ鍋倉ノ持場モ變更ヲ命ゼラレタノデアリマス、然ル所此職工ハ此變更ヲ命ゼラレタ場所ガ不利益デアルトシテ、同ジ職工ノ

宮森キクエ、坂本キツ此二人ト一緒ニ變更ニ背ジナカッタ爲ニ、工場ニ於テハ工場ノ勤務ノ規律ヲ紊スモノトシテ、其日即チ二月八日付デ右三人ヲ解雇シタノデアリマス、同時ニ寄宿舎カラ退去ヲモ求メタノデアリマスガ、ソレモ拒絶シタノデアリマシテ、組合員タルノ故ヲ以テ解雇シタ、或ハ監禁シタト云フ事實ハナイヤウデアリマス、ソコデ二月八日午後六時ニ、此三名ニ退去ヲ命ジマス、翌九日未明ニハ、女工ガ寄宿舎カラ逃出スト云フコトニ依テ、通勤男女工合セテ百二十名ノ職工ガ罷業ヲシタノデアリマス、ソコデ爭議狀態ニナツテ來タ譯デアリマスガ、此爭議ヲ指導致シマシタ全國労働組合同盟西事務局ニ於キマシテハ、爭議ノ戰術上、爭議團員ヲ二ツニ分ケ、一ツヲ大阪ニ移シタ方ガ有利デアルト云フ所カラ、女工二十八名、男工四名ヲ大阪ノ支部聯合會事務所ニ收容致シマシタノデ、工場側ニ於テハ、決シテ女工三十二名ヲ監禁シタト云フヤウナ、御質問ノヤウナ事實ハナイヤウデアリマス、ソコデ此大阪ノ團員全部ガ、十九日ノ晩ニ日本紡績ノ社長菊池恭三氏ノ私邸、是ハ大阪ノ天王寺ニアリマスガ、其私邸ヲ襲ヒマシテ、表門ノ一部ヲ破壊シ、面會ヲ強要スルト云フコトニナツタノデ、二十一日大阪府ノ當局ガ取調ヲシタ上デ、兵庫縣ノ當局ト協議シ、大部分ノ團員ヲ尼ヶ崎爭議團本部

ニ歸ラシムル方ガ適當デアルト考ヘマシテ任意ニ而モ三々伍々電車ニ依テ尻ヶ崎ニ向ツテ歸還セシメタサウデアリマス、「トラツク」ニ依テ警察官ガ引戻シタ云々ト云フコトモ、事實ト違ツテ居ルヤウデアリマス、今回ノ爭議デ檢束サレタ數ハ、爭議團員三十一名デアリマス、是等ハ總テ暴行脅迫ヲ用ヒマシテ、出勤ヲ阻止スルトカ、或ハ「デモストレーション」ヲ敢行シ、或ハ不穩ノ計畫ヲ爲ス虞ガアリマシテソレノ取調ノ爲ニ、又所謂非合法的行動ノ檢舉取調ノ爲ニ、其檢束ヲ致シタノデゴザイマシテ、理由ナクシテ檢束シタトカ、若クハ御尋ノ中ニアリマシタヤウナ、盟廻シニ掛ケタトカ、左様ナ事實ハ絕對ニコザイマセヌ、是ハ御尋ネニ對スル大體ノ取調ノ結果デアリマシテ、此組合法關係ニ付テ、特ニ重要ナリト御指摘ニナリマシタ組合員タルノ故ヲ以テ解雇シタト云フ事實モ、最初ニ申上ゲタ通りデゴザイマセヌ、外ノ理由ニ依ツテ解雇セラレタモノデアリマス、現ニ又組合員タル職工ガ退去ヲ命ゼラレタル者ノ外ニ澤山アルト云フコトニ依リマシテモ是ハ推測シ得ルト考ヘテ居リマス

○中谷委員 私ノ方ニハ書面ノ報告デアリマシタノデ、實ハ只今ノ内務省側ノ調査ノ報告ヲ論駁スベキ材料ヲ持つテ居リマセヌシ、日本ノ警察トシテハ、斯クアルベキモノト

信ジマスケレドモ、是ハ本法ニ直接ニ關係ガナイノデアリマスガ、兎角労働爭議ノ場合ニ、警察官ガ權限ヲ超越シテ之ニ臨ムト云フコトハ、今回ノ場合ハ別トシテモ、屢々聞知スル所デアリマス、サウ云フコトガ却ツテ純正ナル法規ヲ制定スル爲ニ障害トナル場合ガ多クアラウト思フノデアリマス、ソレカラ又檢束ヲ致シマシテ、盟廻シヲスルト云フ實例ハ、是ハ今ノ事件ニ付テハナイカ知レマセヌケレドモ、幾多ノ地方ニ於テ、今日非常ニ行ハレテ居リマス、是ハ現ニ行政執行法ノ改正案ガ提案サレテ、他ノ委員會デ審議中デアリマスカラ、斯ウ云フ事實ハ段々改メラレルデアラウト思ヒマスガ、之ニ對スル論議ハ此程度ニ止メマシテ、労働爭議ニ對シテハ警察官憲ガ其權限ヲ超越スルヤウナ行動ヲ執ラナイヤウニ、即チ監禁ヲスルトカ、之ヲ「トラツク」ヲ以テ張制的ニ運搬スルトカ云フコト、或ハ之ニ類スルヤウナコトハ、警察官憲トシテハ斷ジテ爲サマルコトヲ、内務大臣ハ訓令セラレンコトヲ望ム次第デアリマス、之ニ關聯シマシテ本法ノ十三條ノ問題ニ付キマシテ、内務大臣ニ御尋シタイノデアリマスガ、此尼ヶ崎ノ罷業ニ關シマシテ、私ガ一昨日デアリマシタカ、其前ノ日デアリマシタ、内務大臣ニ御質問致シマシタ際ニ、吉田政府委員ノ御答辯デハ、本法實施以前ニ於テハ、假令労働組合ニ加

入スルノ故ヲ以テ解雇ヲ申渡シテモ、官廳トシテハ之ニ對シテドウスルコトモ出來ナイト云フ御答辯デアツタノデアリマス、然ルニ本法十三條ノ規定ニ於テ労働者ガ労働組合ノ組合員タルノ故ヲ以テ之ヲ解雇スルコトヲ得ズト云フ規定ガアリ、而モ第三項ニ斯ウ云フ意思表示ハ之ヲ無効トスルト云フ規定ガアリマシテモ、併ナガラ之ヲ知ラナイデ、雇傭者ガ事實上解雇ト同様ナル手段ヲ取リマシタ場合ニ於テハ、ヤハリ新法案ニ於テモ官憲トシテハ何等執ルベキ手段ガナイノデハナイカト考ヘマスガ、之ニ對スル内務大臣ノ御考ハ如何デアリマスカ

○安達國務大臣 此法規ハ組合法ノ大切ナ所デアリマスガ、「組合員タルノ故ヲ以テ之ヲ解雇スルコトヲ得ズ」、斯ウ云フ風ニナツテ、從來ノ法文ノ草案ヨリハ一層嚴重ニナツテ居リマシテ、是デ労働者ノ地位ヲ安全ニスルコトニナツテ居ルト考ヘマシテ、大變大切ナ條文ト思ツテ居リマス、尙ホ其入込ミマシタルコトハ、社會局長官カラ御答スルコトガ當然デアルト思ヒマス、要スルニ第十三條ガ此法案中最モ労働者ノ地位ヲ保障シテ居ル大切ナ點デアルト考ヘテ居リマス

○中谷委員 政府委員カラ相當詳細ニ私ハ承ツテ居ルノデアリマスガ、之ヲ徹底セシムル爲ニ、ドウシテモ私共ハ此

ルコトヲ得ズト書イテアルカラ、大變強イノダト云フコトヲ内務大臣ハ言ハレルガ、其第三項ニ於テハ、ソレヲ無効デアルト明カニ書イテアルノデアリマス、解雇スルコトヲ得ズト國家ガ宣言ヲシマシタケレドモ、其宣言ニ對シテハ、何等ノ強制力ガナク唯民法上無効ダト云フコトニシテシマツテ居ルノデテリマス、大體労働組合法ハ、純然タル公法ノ規定デアリマスカラ、第十三條ハ國家ノ宣言ト見テ宜シイデアリマセウケレドモ、其宣言ヲ實行スベキ國家ガ、其宣言ヲ確保スベキ法條ヲ設ケズシテ、唯民法上ノ解釋カラ之ヲ無効トスルト云フ理由ハ、却ツテ弱メルコトニナリハシナイカ、内務大臣ノ御答辯カラ言ヒマシテモ、國家ノ宣言ハ實行ノ際ニ弱メラレルコトニナリハシナイカト思ヒマス、是ハ先程内務大臣ガ言ハレマシタヤウニ、重大ナル法條デアリマス、此法條ガ労働者ノ地位ヲ保護シナイ位ナラバ、労働組合法ガ折角出來上リマシテモ、此労働組合ニ入ル組合ハナイト云フ結果ニナル、既設ノ労働組合ニ、幾ラデモ新加入ガ出來ルノデスカラ、政府ガ此法律ヲ一生懸命ニ提案シ、連日ニ互ツテ吾々ガ審議シテモ、殆ド其效力ガ無クナツテシマウコトニナツテハ、私ハ實ニ残念至極ト思フノデアリマス、ソコデ唯一ノ労働者ノ保護規定ト思ハレルヤウナ十三條ノ解釋ニ付キマシテ、内務大臣ハ

疑義ヲ永解致シタイノデアリマス、ソコデ今私ガ内務大臣ニ御尋致シマシタコトハ、此法文ガアルカラ労働者ノ地位ガ大變良クナツタト云フ、サウ云フ獨斷的ノ御答ヲ希望スルノデハアリマセヌ、解雇ノ申渡ヲスル時ニ、是ハ労働者ノ方カラ申シマス、斯ウ云フ法律ガ作ラレテ居ルカラ解雇ハサレナイト云フカ知ラヌガ、雇傭者ガ事實上労働者ノ從業ガ出來ナイヤウニシテシマツタ場合ニ、政府トシテ労働者ヲ保護スル爲ニ、ドウ云フ途ガアルカト云フコトデアリマス、丁度尼ヶ崎ノ場合ニ於テハ、労働者側ノ報告ニ依レバ、雇傭者ガ拒ンデシマツタ、ソレガ爲ニ爭議ガ勃發シタト云フコトニナツテ居リマスガ、サウ云フ場合ニ、ドウ云フ方法デ政府ハ其地位ヲ保障セラレルカト云フコトヲ内務大臣ニ御聞スルノデアリマス

○安達國務大臣 ソレハ解雇スルコトヲ、唯無効トスルト云フ言葉ナラバ宜クナイト思ヒマスケレドモ、解雇スルコトヲ得ズト規定シテアリマスカラ、サウ云フ場合ガアリマシタナラバ政府トシテハ爭議ノ調停ノ場合トカ、其他ノ場合ニ於テモ、雇傭者ニ對シテ政府ノ意思ノアル所ヲ強ク徹底セシムルコトガ出來ルト思ヒマス

○中谷委員 失禮ナ申分デアリマスケレドモ、解雇ノ意思表示ハ、唯無効デアルト云フノデハ弱イケレドモ、解雇ス

モウ少シ突進シテ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、即チ繰返シテ申シマスナラバ、雇傭者ガ労働組合員タルノ故ヲ以テ解雇シタ場合、ドウシテ國家ハ之ヲ保障スルカ、此法條ヲ如何ニ適用スルカ、國家ノ此宣言ヲ如何様ニシテ之ヲ保持スルカ、又労働者ノ地位ヲドウシテ保護スルカト云フ問題デアリマス

○安達國務大臣 詳シイコトハ政府委員カラ御答シマスガ、要スルニ解雇スルコトヲ得ズト云フノデアツテ労働者側ノ意思ヲ考ヘテ見マス、労働者ハ是デ非常ニ満足シテ居リマス、此條文ニ付テ、労働者ハ是ガ足ラナイト云フコトハ全然言ツテ居リマセヌ、其労働者ノ意思ニ依ツテモ、是デ十分ダト云フコトハ明白ト思ヒマス、之ニ對シテアナタノ御話ノヤウナコトヲ、労働者側カラ註文シタコトハ、全然聞キマセヌ、委細ハ政府委員カラ御答致シマス

○中谷委員 何タル内務大臣ハ御答デアリマスカ、驚キ入ツタルコトデアアル、是デハイカヌカラ雇傭者ニ對シテ罰則ヲ設ケナケレバナラヌト云フコトハ、労働者ノ要求デアリマス、甚シキニ至テハ、雇傭者ヲ刑罰ニ處スベントマデ要求シテ居ル、ソレヲ内務大臣ハ、労働者側カラ何等要求ガナイト云フヤウナ御話ヲ聞クニ至ツテハ、一體内務大臣ハ、労働組合法案ト云フモノヲ御提案ニナツテ居ルガ、本

當ニ御讀ミニナツタノデスカ、下條ノ作ラレタ説明ノ書物ヲ本會議デ初メテ朗讀ニナツタノデアリマセヌカ、餘リソレデハ酷イ、モウ少シ私ハ眞面目ナ御答辯ヲ願ヒタイト思フ、委員長モ吃驚シテ居ル

○吉田政府委員 此點ニ付キマシテハ、既ニ政府委員ノ説明ハ度々聽イタト云フ仰セデアリマセヌカ、私ノ御答申上ゲマシタコトニ付キマシテ御諒解方十分デナイ點モアラウカト御質疑中ニ感ジタノデ、更ニ申上ゲマス、十三條ノ規定ガアツテモ、又ソレノ無イ今日ニ於テモ、左シテ變ラヌデアリカト云フコトガ御質疑ノ根本ニナツテ居ルヤウデアリマセヌカ、ソレハ大ニ變ツテ居ルデアリマス、現在ニ於テハ、十三條ノ第一項或ハ第二項ノ如キ、解雇ノ意思若クハ脱退スルコトヲ雇傭條件ト爲スコトヲ禁止スル國家ノ意思ハ何處ニモ現ハサレテ居リマセヌカ、國家ハソレニ對シマシテ無言デ居ルデアリマス、隨テ爭議調停ノ條項等ニ於キマシテ、ソレハ穩當デアルカ、穩當デナイカト云フコトヲ言ヒ得ルコトハアリマセウケレドモ、單ニ勞働者ガ、勞働組合ノ組合員タル故ヲ以テ之ヲ解雇スル場合、是ハシテハナラヌコトダト云フ明カナ法ノ根據ノ上ニ立ツテ、事業主ニ對シマシテ其違法、不當ナルコトヲ申渡スコトハ、今日ハ出來ナイデアリマス、此條文ニ依ツテソレガ出來ル

ヤウニナツタノデアリマス、雇傭者ガヤツテ居ルコトヲ、違法ノ行爲デアルト云フコトヲ明ニスルコトガ出來マスノト、出來マセヌノトデハ、大變其處ニ違ヒガアルデアリマス、無論罰ガ付イテ居リマスレバ、左様ナ國家意思ガモウ一層確保セラレルデアリマセウケレドモ、ソレハ今日ノ社會事情ニ於キマシテハ、罰ヲ付スルマデノコトデナイト云フ見地ニ立チマシテ、此法案ニ於キマシテハ、罰ヲ付シテ居ラナイデアリマス、罰ノ無イ禁止ト云フモノハ、他ノ場合ニ於キマシテモ、法令ノ中ニ例ノアルコトデアリマス、罰ガ無イカラ禁止ノ意思ガ明カデナイ譯デハナイデアリマス、況ヤ第三項ノ規定ガアル爲ニ、却テ其禁止ガ弱クナルノデナイカト云フヤウナ御疑念ハ、全然當ツテ居ラヌコト、思フノデアリマス、第三項ハ、其違反ニ致シマシテ爲サレマシタ意思表示、法律行爲ガ、私法上有效デアルガ、無効デアルカト云フコトニ對シマシテ、明ニ解決ヲ與ヘテ居ルダケデアリマシテ、之ニ依ツテ此禁止ヲ強クシヨウトカ、弱クシヨウト云フコトデハナイデアリマス、ハツキリト左様ニ禁令ヲ設ケテアル、ソレハ多クヲ望メバ、又此上望ムベキコトガ幾ラモアルカ分リマセヌカ、是デ國家ノ意思ガ明ニナル、サウシテ組合員タルノ地位ヲ保護スルト云フ趣旨ガ明瞭ニセラレタト云フコトハ、餘程

ナ效果ガアルト考ヘルノデアリマス

○中谷委員 成ルベク簡潔ニ致シタイト思ヒマスガ、モウ少シ御許シテ願ヒタイ、ドウモ内務大臣ハ、政府委員ニ答辯サシテ、御回避ナサルノデ洵ニ困リマス、併シ折角吉田政府委員カラノ御答辯デアリマセヌカ、ソレニ對シテ應答シナケレバナラヌコトニナル、今ノ御答辯ハ、隨分苦シイ御答辯デアラウト思フ、何故ナラバ今日二百有餘ノ勞働組合ト云フモノハ、事實上國家ガ之ヲ認メテ居ルデアリマス、是ハ成程届出トカ、或ハ免許ト云フ方法ニ依ツテ認メテ居ラヌカ知リマセヌカ、明ニ認メテ居ルト云フコトハ、此立法ノ趣旨カラ見テモ明瞭デアル、ソレカラ又先程吉田政府委員カラ、尼ヶ崎事件ニ付テ答辯ガアリマシタガ、其際ニ特ニ力ヲ入レテ、鍋倉某ハ勞働組合ニ加入シテ居ル故ヲ以テ、解雇シテナイト云フコトヲ頻ニ強調セラレテ居ルノデアリマス、即チ今日ハ、最早第十三條ノ第一項位ノコトハ、特ニ法文ヲ以テ之ヲ麗々シク規定セヌデモ、實際ニ於テ勞働組合員デアルカラ、解雇スルト云フヤウナ場合ハ餘リ起リ得ナイ、又是ガ強力ナル組合マデモ加入シテ居ル者、或ハ多數ノ組合員ガ其工場ニ居ル場合ニ、之ヲ組合員ナルガ故ニ解雇シマス、却テ爭議ヲ激發スルノデアリマスカラ、事實ニ於テハ十三條ハアツテモナクテモ、今日

デハ同ジダト思フ、ソレカラ又第三項ヲ以テ、民法上重要ナ規定デアルト云フヤウナコトヲ言ハレマシタガ、私ガ民法ノコトヲ申スト、時々間違ヘテ恐縮致シマスガ、私ノ古イ民法ノ知識ニ依リマス、公ノ秩序ニ反スル法律行爲ハ之ヲ無効トスト云フ規定ガアツタ筈デアリマス、大學デ二十年前置ツタノデスカラ間違フカ知レマセヌカ、公ノ秩序ニ違反スル、法規ニ違反スル所ノ法律行爲ハ無効デアリマス、特ニ第三項ノ規定ガナクとも、第十三條ニ於テ、之ヲ解雇スルコトヲ得ズト國家ガ法規ヲ以テ規定シテ居ル以上ハ之ニ反スル所ノ意思表示ハ當然無効デナケレバナラヌ、特ニ第三項ヲ設クル必要ハナイト私ハ民法上考ヘル、併シ是ハ民法ノムヅカシイ學問ニナリマセヌカ、之ヲ強ヒテ主張ハ致シマセヌカ、要スルニ第十三條ト云フモノハ、勞働者ニ如何ニモ親切ナ取扱ヲシタヤウナ、地位ヲ保障シタヤウナ文句ヲ掲ゲテ置イテ、實ハ何モ恩惠ヲ與ヘテ居ラヌト云フ結果ニナル、詰リ敢テ胡麻化ストハ申シマセヌカ、勞働者ニ對シテ氣休メ的ナ規定ヲ設クルモノデアツテ、政府ガ勞働組合法ヲ設クル精神ハ殆ドナイ、多年斯ウ云フコトヲ在野黨ノ時代ニ唱道シタリ、或ハ組閣ノ際ニ之ヲ天下ニ聲明シタ手前、全ク責任逃レノ爲ニ、資本案ニモ迎合シ、又勞働者ニモ斯ウ云フ規定ガアルカラ安心シテ宜

カラウト言ツテ、實質上何等ノ利益モ與ヘテ置カズニ、斯
ウ云フ規定ヲ以テ一時ヲ糊塗セントスル野心ガアルノデハ
ナイカト、私ハ政府ノ爲ニ惜ム、併シ又他ノ委員ヨリ此
點ニ付キマシテハ十分質疑ガアラウト思ヒマスカラ、私ハ
此程度デ私ノ質問ハ一時保留致シマシテ止メマス、尤モ政
府ノ方デ御答辯ガアレバ格別デスガ――

○吉田政府委員 此十三條ノ第一項竝ニ第二項ノ規定ハ、
御指摘ノ如ク罰則ハ正ニ附イテ居ラナイノデアリマスケレ
ドモ、決シテ御話ニナリマスガ如キ、意味ノ無イ規定デハ、
ナイノデアリマス、解雇スルコトヲ得ズ雇傭條件ト爲スコ
トヲ得ズト云フ點ハ、前々繰返シテ申シマス如ク、明ニ國
家ハソレニ對スル禁止ノ意思ヲ示シテ居ルト云フ點ニ於キ
マシテ、現在我が労働運動ノ實際ニ對シテハ、實益ノアル
規定ト考ヘマス、又今日ニ於テ労働組合ニ加入スルノ故ヲ
以テ解雇スルト云フコトハ事實行ハレ難イ規定ニナツテ居
リマスカラ、此規定ハ實益ハアルマイト云フ風ナ御觀測デ
アリマスガ、成程左様ナ場合モゴザイマセウ、労働組合ノ
組合員タルノ故ヲ以テ、解雇致スト云フコトモ致シ難イ場
合モアリマスケレドモ、現在ノ爭議ノ實情ニ徴シテ見マシ
テモ、ヤハリ團結權ノ、承認不承認ト云フコトガ、或ハ主
ナル原因トナリ、或ハ副タル原因ニナツテ、争ハレテ居ル

コトハ事實デアリマス、隨テソレ等ニ對シマシテハ、争ヒ
ノ餘地ヲ無クスルト云フ效果ハ、現實ノ上ニ於テモアルノ
デアリマス、尙ホ第三項ニ付キマシテ、第三項ハ非常ニ缺
クベカラザル規定デテルト云フ風ニ私ガ御説明申上ゲタヤ
ウニ、只今御話デゴザイマシタガ、左様ニハ私ハ申シテ居
ラナイノデアリマス、丁度御引用ニナツタ民法ノ公序良俗
ニ反スル法律行為ヲ無効トスルト云フ條文ガ一項ニ一項ノ
法律行為ノ意思表示ニ對シテ適應スルデアラウト云フコト
ハ、多クノ人ノヤハリ推測シテ居ルコトデアリマス、併ナ
ガラ其法律行為ガ眞ニ無効ナノデアルカ、有效ナノデア
カト云フ疑點ヲ明カニ致シマスル意味デ、是ハ無効トスト
云フ規定デアルノデアリマス、是ハ先達モ私ガ申上ゲマシ
タ通り、第三項ハ注意的規定デアリ、一項ハ疑念ヲ殘サ
ル爲ニ設ケマシタ規定ナノデアリマシテ、見方ニ依リマシ
テハ、丁度御話ノヤウニソレハ一項二項ノ當然ノ歸結デア
ルト云フ議論モ出來ルコト、思ヒマスガ、其處ニ疑ヲ貽シ
テハナリマセヌノデ、雇傭契約ノ約款ハ之ヲ無効トスト云
フ條文ヲ入レテアル次第デアリマス、是ハ非常ニ重要ナ
デ、ムヅカシイノデアルト云フヤウナ意味デ申上ゲテ居ル
ノデハ決シテナイノデアリマス

○谷原委員 先程中谷君カラ御尋ノアリマシタ労働爭議ニ

對スル警察官ノ不當干涉問題ニ付テ、此際承ツテ置キタイ
ノデアリマス、尼ヶ崎ノ問題ニ付キマシテハ、政府側カラ
先程御答辯ガアリマシタガ、其真相ニ付キマシテハ、私共
調査ヲ致シテ居リマセヌカラ、此以上此事實ニ付テ申上
ルコトハ差控ヘマス、然ルニ從來ノ爭議ニ付キマシテ、
少クトモ吾々ガ新聞紙ヲ通シテ見ル範圍ニ於キマシテハ、
警察官ノ不當干涉ガ相當アルヤウニ聞及ンデ居ルノデアリ
マス、斯様ナコトハ此労働爭議ニ對スル總テノ警察官ノ基
礎的認識ガ、不十分ナガラ左様ナ結果ガ起ルノデハナイカ
ト思フノデアリマス、今回ハ此組合法ヲ新ニ制定セラレ
ト共ニ、從來アリマシタ爭議調停法中改正モアリマス、
デ、此際政府ノ所見ヲ天下ニ公ニ致シテ置キマセヌト云フ
ト、益々不當干涉ガアリハシナイカト思フノデアリマス、
大臣ハ産業發達ノ上ニ於テハ、勞資ノ協調ト云フコトヲ基
調ニシナケレバナラヌト仰シヤツテ居リマスガ、是ハ吾々
ノ斷ジテ異議ノナイ所デアリマス、併ナガラ勞資ノ協調ト
申シマシタ所デ、總テノ協調ヲ法ヲ以ツテ強制スルト云フ
コトハ出來ナイ、事實ノ問題ト致シマシテハ、ドウシテモ
比較的弱イ労働者側ニ或程度ノ相當武器ヲ一應ハ之ヲ認メ
ナケレバナラヌ、主義トシテハ否定スベキ事カハ知リマセ
ヌケレドモ、一方ニハ資本ト云フ強力ナ力ヲ持ツテ居リ、

一方ハ無資無産ノ労働者デアリマスカラ、ドウシテモ或程
度ノ力ヲ之ニ與ヘナケレバナラヌ、サウシテ兩方ガ相對立
スル場合ニ於テ、其處ニ或程度ノ調停トカ、指導トカ云フ
ヤウナコトニ依リマシテ、眞ノ協調モ出來ルコト、思フノ
デアリマス、隨テ何人ガ考ヘマシテモ、労働者ニ對シマシ
テハ、團結權ヲ認メ、又團體協約ヲ認メ、罷業ト云フモノ
モ認メルト云フコトニ行カナケレバ、眞ニ徹底シタ所ノ勞
資ノ協調ハムツカシカラウト思フノデアリマス、罷業權ニ
付キマシテハ、曩ニ治安警察法ノ十七條ガ撤廢ニナリマシ
タ際ニ、私共ハ時ノ總理大臣兼内務大臣ニ罷業權ヲ公認ス
ルノカト云フコトヲ本會議ニ於テ承タコトガアリマシタ
ガ、是ハ公認スルト云フヤウナ言質ハ、私共ハ得タノデハ
アリマセヌケレドモ、アレヲ撤廢サレマシタ沿革、ソレト
其場合ニ於テ、決シテ私共ノ此罷業權公認ニ付テ、否定的
ノ御答辯ノナカツタ點カラ、私共ハ少クトモ默認サレテ居
ルモノト思フノデアリマス、然ルニ此爭議調停法ノ第九條
ノ二、私ハ成ベク抽象的ノ議論ヲ避ケル爲ニ、法文ヲ根據
トシテ、玆ニ御問ヲ發スル譯デアリマスガ、十九條ノ二ニ
依リマス、作業閉鎖又ハ同盟罷業ヲ爲ス場合ニ於テハ三
日前ニ行政官廳ニ調停委員會開設ノ請求ヲシナケレバナ
ヌト云フコトヲ明ニ法文ニ規定致シテアリマス、果シテ私

共ノ考ノ如クトシテ、無理ナ資本家ニ對シテ、勞働者ガ或ル程度マデ自分ノ要求ヲ貫徹セントスル場合ニ於テハ、前ニ申上ゲマシタヤウニ、三ツノ方法ニ出ナケレバナラヌ、殊ニ罷業ト云フモノハ、御承知ノ如ク餘程困難ナ方法デアリマス、戰術ト言ウテハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、有力ナモノニ依ツテ而モ切崩シ其他ノ困難ノ伴フモノデアリマス、ソレヲ三日前ニ行政官廳ヘ調停委員會開設ノ請求ヲ要スルト云フコトニナリマス、此有力ナル所ノ手段方法ガ有名無實ニナルノデハナカラウカ、即チ斯様ナ條文ヲ新タニ作ラレル點カラ見ルト云フト、此勞働爭議ニ對シテハ、罷業何カト云フコトハ一種ノ罪惡視スルト言フト語弊ガアルカ分リマセヌガ、成ベク斯様ナコトハサセナイヤウニ、即チ弱イ勞働者ノ此武器ヲ奪ハントスル趣旨ニ於テ立案サレタモノデハナカラウカ、斯ウ云フヤウナ疑惑ガ生ジハシマイカ、若シサウ云フヤウナ疑惑ガ生ジマス、益々將來ニ於テ勞働爭議ニ對スル警察官ノ不當干涉、壓迫ト云フコトノ弊ガ出テ來ハシナカラウカ、斯ウ云フヤウナ疑惑ヲ持ツノデアリマス、ソレデアリマスカラ、此十九條ノ二ヲ基礎ニ致シマシテ、私共ハ逐條審議デ御願スルノデアリマセヌ、抽象的議論ヲ避ケル爲ニ例ヲ引クノデアリマシガ、斯様ナ條文ヲ設ケラレマスト云フノハ、罷業ヲシテ、

名バカリ殘シテ實ヲ抜イテシマフト云フヤウナ考デ爲サルノデハナカラウカ、斯ウ云フ疑ガアリマスカラ、其點ニ付テノ御説明ヲ願ヒタイ、ソレト尙ホヤハリ同様條文ニ付テ申シマスガ、此第一條ニ於キマシテハ、從來ノ公益的事業バカリデアツタモノヲ、地方ノ産業、又ハ公益ヲ害スルト云フ支字ガ入レラレテ居ルノデアリマスガ、御承知ノ如ク産業ノ發達ニハ所有權ノ自由、或ハ又資本活用ノ自由ト云フヤウナコトヲ認メルノガ、一應産業ノ隆盛ニ資スルヤウデハアリマス、即チ英國ノ産業革命後ノアノ自由主義ト云フモノハ、一時産業ヲ發達セシメタト云フ沿革ニ徴シマシテモ、一應ハ左様ニ考ヘラレマスケレドモ、ソレハ必ズ或ル時機ガ來タラ行詰ツテ來ルノミナラズ、其處ニ富ノ分配ト云フモノガ非常ニ不公平ニナリマスカラ、今日ニ於キマシテハ、大衆生活ノ自由、社會利用ノ自由ト云フコトガ著シク叫バレテ居ルノデアツテ、少クトモ現在ニ於テハ其必要ガ大ニアルデアラウト思フノデアリマス、民政黨ノ立黨當時ニ於テ宣言セラレタ所ニ依リマシテモ、分配ノ公平云々ト云フヤウナコトモ宣言サレテ居ル次第デアリマスカラ、此大衆生活ノ自由、或ハ社會利用ノ自由ト云フヤウナコトハ御否定ニナラヌコト、思ヒマスルガ、然ルニ茲ニ關係地方ノ産業又ハ公益ヲ害スル虞レアリト認メタルトキ云

々ト、斯ウ言ハレマストハ、單ニ所謂マア舊自由主義トデモ言ヒマセウカ、資本活用ノ自由、若クハ個人所有ノ自由ト云フヤウナコトニ重キヲ置カレテ、此關係地方ノ産業又ハ公益ヲ害スルコト、云フコトヲ御判斷ニナルノデアリマセウカ、或ハ又大衆生活ノ自由、社會利用ノ自由ト云フ所ニ標準ヲ置カレテ、此字句ヲ解釋運用サレルノデアリマセウカ、其點ヲ明カニ致シテ載キタイノデアリマス

○吉田政府委員 第一條ノ御尋ネノ點デアリマスルガ、主トシテ爭議調停法改正案第十九條ノ二ニ關スルコトニ付キマシテハ、御尋ノ中ニモ御話ニナリマシタ通りニ、政府ハ罷業權ト云フ權利ヲ確認シテハマダ居リマセヌ、併ナガラ同盟罷業ト云フ事柄ヲ、同盟罷業タルガ故ニ禁止スルト云フコトデアリマセヌコトハ、是ハ法制全體ヲ御覽ニナレバ、今日ニ於テハモウ明瞭ナコトデアルト思ヒマス、ソレヲ法律的ニ何ト言ヒ現スコトガ適當デアルカ、或ハ只今御話ノヤウニ、同盟罷業ニ對シテハ、之ヲ大體ニ於テ放任スル、禁止致サナイト云フ意味デ、認メルト云フ程度ニナツテ居ルノデアリマス、爭議調停法ト云フガ如キ法律ノアリマスルコトモ、同盟罷業ト云フコトハ非合法的ナコトテナイト云フコトノ前提トシテ、爭議調停法ハ立案セラレテ居リマス、是亦各條ニ付テ御覽ニナレバ明瞭ナコトデアリマ

ス、隨ツテ今日此改正ニナリマスル第十九條ノ二ニ於キマシテモ、爭議或ハ同盟罷業、或ハ作業閉鎖ト云フガ如キモノヲ、禁止スルト云フ趣意デ立案セラレテ居ルノデアリマセヌ、併ナガラ第十九條ノ二ニ引用シテアリマスル事業ハ、所謂公益事業ト致シマシテ、公衆ノ日常生活ニ最も必要ナ事業種類ヲ擧ゲマシテ、列擧致シテ居ルモノニ限りマシテ、是等ノモノニ付テハ特ニ國家又ハ公衆ノ利害ヲ感ズルコト最モ深イノデアリマスルカラ、隨ツデソレラノ爭議ニ於キマシテ、作業閉鎖デアリマストカ、或ハ同盟罷業デアリマストカ云フガ如キ、事業其モノヲ實行スルニ、極メテ障礙ノアル罷業手段ノ執ラレマストカ場合ニ於テハ、其手段ヲ禁止致スノデアリマセヌ、其手段ハ爭議手段トシテ禁止ハ受ケナイノデアリマスルケレドモ、豫メ政府ニ於キマシテ、調停ヲ行フベキヤ否ヤト云フコトヲ判斷スル機會ヲ與ヘテ貰フコトガ、公益ノ爲ニ必要デアル、是ハ事業ノ事業柄ニ依リマシテ、公益ノ爲ニ必要デアルト云フ趣旨ヲ以チマシテ、此條文ハキメラレテ居ルノデアリマス、隨ツテ爭議其モノヲ禁止スルトカ、或ハ制限スルト云フ趣旨ハ毛頭ナイノデアリマス、左様ナ爭議ニ於キマシテ、同盟罷業、或ハ作業閉鎖ヲシテ従業員ヲシテ、從業セシメザルヤウニ、事業家側カラシヤウト云フガ如キ場合ニ於キマシテ

ハ、而モ其三日前に於キマシテ、調停ノ請求ヲ當該官廳ニ爲シ、當該官廳ハソレニ依ツテ必要アリト認メレバ調停ニ入ル、又調停ノ手續ニ入ル必要ナシト考ヘレバ、調停ノ手續ノ出来テ居ルノデアリマシテ、決シテ同盟罷業其モノヲ否認シヨウ、作業閉鎖其モノヲ否認シヨウト云フ趣意ヲ出テ居ルノデアリマシテ、随ツテ之ニ依ツテ、所謂御質問ニアリマシタヤウナ、作業閉鎖、或ハ同盟罷業ニ關スル權利ガ侵害サレルト云フヤウナ虞ニハナラヌト思フノデアリマス、尙ホ今回關係地方ノ産業又ハ公益ヲ害スル虞アリト認ムル爭議ニ對シマシテハ、行政官廳ガ當事者ノ請求ニ依リ、或ハ其獨自ノ見解ニ依ツテ、公益事業ニ關スル爭議ニ準ジテ、調停手續ニハイルト云フ條文ヲ附加ヘテアリマスガ、是亦第一條ニ列舉シテアリマスガ如キ、事業種類ニ依ツテ、ハツキリト、其事業ガ公衆ノ生活、或ハ地方ノ公益ニ密接ナル關係アルモノト云フコトニ付テ、事業ノ種類其モノカラ直ニ判斷出來マセズトモ、爭議ノ狀況ニ依リマシテ、此爭議ガ關係地方ノ産業或ハ當該地方ノ公益、一般公益ト云フモノヲ害スルト云フ場合ニ於キマシテハ、是ハヤハリ公益上ノ見地カラ致シマシテ、所謂公益事業デアリマセズトモ、ヤハリ準公益事業ト云フヤウナ立場

ニ於キマシテ、爭議自體ノ状態ニ依リマシテ、地方ノ公益ニ關係ヲ持ツコトガ、非常ニ多イモノデアルト云フヤウナ、公益の見地カラ致シマシテ、從前ノ第一條ニ掲ゲテアリマスモノト同様ニ、調停手續ニ入ツテサウシテ成ベク速カニ、ソレ等ノ爭議ガ結了ヲ見マスコトガ、國家ト致シマシテノ要求ニ合致スル所以ト考ヘマシテ、斯様ナ條文ヲ追加シテ次第デアリマス、勿論是亦爭議ヲ否認シヨウト云フ趣意カラ出テ居ルノデアリマセヌ、勞働爭議ト云フモノハ、現在ノ産業組織ニ於テハ、或ル場合ニ於テハ自然ニ起ルベキ現象デアルト云フコトヲ前提ト致シマシテ、其起ツタ上ニ付キマシテ、國家ノ調停ノ手續ニ於テ發動シ得ベキ場合ヲ茲ニ認メテ居ルノデアリマス、純粹ノ私益事業、サウ云フモノデアリマシテモ、爭議自體ノ状態カラ、或ハ爭議ノ事業ノ種類ガ國家ノ公益ニ關係セヌ地方ノ産業ニ關係ナイト云フモノニ付テモ、無論調停ガ出來マスケレドモ、ソレハ當業者雙方ノ希望ニ依リマシテ調停致スノデアリマス、全然又放任的ト言ヘバ放任的デアリマスガ、サウ云フ立場デアリマス、頼マレ、バ調停スルト云フ立場デアリマス、事業自體ノ種類ガ、直接民衆生活、國家ノ利害ニ重大ナル關係ヲ持ツモノ、竝ニ今回附加ヘラレマシタ事業ノ種類ガ、サウデナクトモ所謂私益事業ニ於テモ、爭議ニ依

ツテ、當該地方ノ産業ヲ之ニ依ツテ害サレル虞ガアル、公益ヲ害サレル虞ガアルト云フ場合ニ於キマシテハ、ヤハリ公益ノ見地カラ、國家ハ双方必ズシモ同意ガナクトモ調停ニ入り得ルト云フコトヲ決メタニ過ギナイノデアリマスカラ、第一條ニ追加セラレマシタ立法ノ趣旨モ、第十九條モ、勞働爭議其ノモノヲ否認シヨウト云フノデアリマセヌ、爭議調停ノ手續ニ入ル其判斷ノ機會ヲ與ヘテ貰フト云フコトヲ、此中ニ入レタト云フニ止ツテ居ルノデアリマシテ、假ニ爭議權ト云フモノガアルト考ヘマシテ、其運用ニハ別ニ關係ハナイ條文ニ雙方トモナツテ居リマス

○守屋委員 同僚ノ松村君ガ質問ヲ開始サレマシテ、各條ノ審議ニ入り、尙ホ質問ヲ留保サレテ居ルノデアリマスガ、幸ヒ内務大臣ガ御出席デアリマスカラ、此機會ニ政府委員カラ度々承リマシタケレドモ、十分其要領ヲ掴ムコトガ出來ナイ點、組合法制定ノ根本精神ガ、如何ニ徹底シテ居ルカドウカ、其點ニ付キマシテ御質問ヲ申上ゲタイト思ヒマス、内務大臣ガ吾々同僚ノ質問ニ對シマシテ、度々御發表ニナリマシタ意見ヲ讀ンデ見マス、本組合法制定ノ趣旨ト云フモノハ、勞働者ヲ保護スルコト、勞資協調ノ精神ヲ現ハスト云フコト、斯ウ云フヤウニ承知セラレルノデアリマスガ、其通リト承知シテ宜シウゴザイマスガ、先

ツ此點カラ内務大臣ノ御答辯ヲ得テ置キタイト思ヒマス

○安達國務大臣 大體ニ於テソレ宜シウゴザイマス

○守屋委員 勞働者ヲ保護サレルト云フコトハ、勿論本組合法案ヲ制定サレル根本精神デアラウト思ヒマス、殊ニ勞働者ノ結社ノ自由ヲ保護スルト云フ意味ヲ以テ、本組合法ハ制定セラレタモノト考ヘラレルノデアリマス、サウ考ヘマスト、現ニ勞働者ガ結社ヲ組織スルト云フ自由ハ、憲法デ以テ保障サレテ居リマスシ、現ニ其自由ニ基キマシテ、各種形態ノ組合ト云フモノガ存在シテ居ルノデアリマス、現行法令ノ範圍内ニ於テ、現ニサウ云フ組合ガ何等支障ノナイモノトシテ存在シテ居ルノデアリマスカラ、眞ニ勞働者ノ團結ノ自由ヲ保護サレルト云フ御考ガアレバ、憲法ノ結社自由ノ權利ニ依ツテ認メラレテ居ル總テノ勞働者結合ノ形態ヲ、其儘御認メニナルト云フコトガ、自然ノ理ニ合スルコトデアリ、又現在ノ狀況カラ見テモ、適當デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、何故ニ組合法第一條ニ於キマシテ、現ニ法令ノ範圍内ニ於テ事實上活動致シテ居リ、又憲法ノ結社自由ノ原則ニ依ツテ承認サレテ居ルモノ、中カラ、特別ナ或ル種ノ形態ヲ選ンデ、其組合ト、其聯合ダケヲ公認サレルト云フ風ニ爲サレタノデアルカ、其理由ヲモウ一度ハツキリト承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○安達國務大臣 先日モ申シテ居リマスガ、ソレハ労働者ノ團結ニ對シテ基準ヲ與ヘ、指導精神ヲ發揮サセテ行ク爲ニ、茲ニ本法ヲ制定スル必要ガアルト云フノデアリマス

○守屋委員 其御言葉ハ、私モ度々承ツタノデアリマス、労働者ノ團結ヲ指導スル、又之ヲ規律スル、ソレヲ軌道ニ載セテ行クト云フコトヲ仰セニナツタノデアリマス、ナゼ軌道ニ載セル車ト、載セナイ車トヲ御別ケニナツタノデアルカ、現ニ軌道ニ載ラナイデモ、憲法ノ結社ノ自由ノ下ニ活動シテ居ル組合ガアルノデアリマス、労働法ヲ御拵ヘニナツテ、組合ノ中カラ或モノハ軌道ニ載セ、他ノモノハ載セナイト云フヤウニ選ビ出サレタ其基準ハ何處ニオカレタノデアルカ、斯ウ云フコトヲ承ツテ置キタイノデアリマス

○安達國務大臣 本法ヲ制定スル趣旨ト云フモノハ、ソレハ労働者ニ對シテ團結ノ保護ヲ與ヘル、ソレカラ團結ニ對シテ基準ヲ與ヘテ、サウシテ第一條ニ規定シタ所ノ此方針ヲ進ムベク指導シテ行クノデアリマス、私ハ今日ノ労働問題ニ對シテ、最モ此法ヲ制定スルコトハ時代ニ適應スルモノト考ヘテ居リマス

○守屋委員 ソレデハ御答辯ニナラナイヤウニ私共ハ拜承スルノデアリマス、私ノ頭ガ悪いノカモ知レマセヌガ、何故ニ現ニ憲法ニ於テ結社ノ自由ヲ認メラレテ、現存スル一

般的組合ノ中カラ第一條ノ組合ダケルヲ御取リニナツテ、ソレヲ「レール」ノ上ニ載セテ、他ノモノハ「レール」ノ外ニ放置シテ置カケレバナラナイカ、其指導精神或ハ規律ノ標準トナル御考ト云フモノヲ、ドウ云フ見地カラ御立テニナツタカ、斯ウ云フコトヲ承ツテ居ルノデアリマス

○安達國務大臣 ソレハ此第一條ハ、今後労働組合ハ産業別、職業別ニシテ、詰リ第一條ノ範圍内ニ於テ、總テヲ纏メテ行クコトデアリマス、附則ニ於テ現在ノ労働組合モ亦認メテ行ク、サウシテ茲ニ現在ニ即シテハ、附則ノ方デ取締ツテ行クコトニシテ居リマス、私ハソレデ少シモ差支ナイト思ヒマス

○守屋委員 附則ノ事ヲ此處デ承ツテ居ル譯デハナイノデアリマス、附則ノ事ハ又附則ヲ設ケラレタ理由ガ御アリニナルデアラウト思ヒマスカラ、附則ニ付テハ又其時ニ御意見ヲ承リタイト考ヘテ居リマス、此處デハ何故ニ今マデ憲法ニ於テ認メテ居ル自由ノ範圍ニ於テ組織サレテ居ル組合及聯合ノ形態ト云フモノ、中カラ、第一條ノ組合ト聯合ダケヲ御認メニナツテ、ソレヲ以テ將來ニ於ケル組合組織ヲ指導シテ行カウト云フ御決心ヲサツタカ、其根本精神ヲ承ツテ居ルノデアリマス、ソレガ第一條制定ノ根本精神デナクチャナラヌ管デアリマス

○安達國務大臣 此法案ノ第一條デ指示シタヤウニシテ、労働組合ハ進ムベキモノデアルト云フコトデ、今後ノ労働組合ハ此法規ニ基イテ組織セヨト云フコトヲ茲ニ明カニスル譯デアリマスカラ、是デ立派ナ管デアリマス

○守屋委員 ソレデハ内務大臣ハマダ私ノ質問ガ分ラナイト考ヘマスカラ、モウ一度申上ゲマス、労働運動ヲ軌道ニ載セル、斯ウ仰シヤツテ居ラレル、又將來ノ労働運動ヲ指導シテ行クト仰シヤツテ居ラレル、軌道ニ載セルト云フ一ツノ例ハ、分リ易イカラ申上ゲルノデアルガ、私ハ現在ノ労働組合ト云フモノデ、今申シタ如ク、本組合法ノ軌道ニ載セル、將來第一條ニ規定スルヤウナ組合ヲ作ルナラバ、本労働組合法ノ軌道ニ載セテ、ソレニ保護ヲ與ヘテヤル、即チ組合員ノ解雇ヲヤラセナイトカ、法人ニシテヤルトカ云フ色々ナ保護ヲ與ヘテヤル、併ナガラサウ云フ第一條ノ軌道ニ合フヤウニ作ラナイ所ノ組合ト云フモノニ付テハ、軌道ニ載セテヤラナイ、其儘ニ放ツテ置ク、何故其儘ニ放ツテ置カレルカ、其點ニ付テハ、政府ハ公明ナル、理由ヲ持ツテ居ラナケレバイカヌ管デアリマス、其儘ニシテ置イテ、ドレデモ軌道ニ載セズニ置ク、憲法ノ認メル結社ノ自由ノ下ニ打棄テ置クト云フナラ、ソレハ格別デアアルガ今茲ニ軌道ニ載セル組合ト、載セナイ組合ト分ケルト云フ立法手段

ヲ採ラレルナラバ、其理由ヲハツキリ説明セラルベキデアリマス、或ル組合ニ付テ軌道ニ載セル或ルモノ、載セナイト、斯ウ御分ケニナルト云フナラバ、其標準ヲハツキリ世ノ中ニ分ルヤウニ御示シニナラナケレバナラス、此處ガ資本家モ労働者モ、此組合法ノ根本精神ニ付テ疑ヲ持ツテ居ル點デアラウト思フ、其點ヲハツキリト分ルヤウニ御示シニナラヌト云フト、折角組合法ヲ御作りニナツテモ、勞資兩方面ノ誤解ヲ解クコトハ出來ナイト考ヘマスカラモウ一度御答辯ヲ願ヒマス

○安達國務大臣 世ノ中ニ誤解ハ少シモナイト私ハ思フ、労働組合ナルモノハ、此第一條ニ依テ進ムベント云フコトヲ茲ニ明カニシタノデアリマス、唯現在存在シテ居ル所ノ組合ハ、附則ニ依テ認メルト云フ……

○守屋委員 是ハ非常ニ重大ナ點ニ突當ツテ來タト思フノデアリマス、ソレガ分ラナケレバ、モウ労働組合法制定ノ趣旨ト云フモノハ不明瞭デアル、労働者ヲ保護スルト申サレルガ、労働者ヲ保護スル精神ガ不明瞭デアル、憲法ノ結社ノ自由ト云フモノ、外ニ、労働組合法ヲ以テ公認サレルコトガ組合ノ利益デアルト云フコトヲアナタハ此處デ何デモ説明サレテ居ルガ、組合ヲ保護スル上ニ於テ、公認サレルコトガ利益デアル第十三條ノ規定ノ如キハ大シタモノデ

ハナイ、公認サレル利益が大シタモノデアルト、此處デ堂々言ツテ居ラレルガ、何故ニ公認サレル利益ヲ、今現ニ憲法ノ結社自由ノ範圍内ニ於テ結成サレテ居ル組合ノ中ノ或ル種ノモノニノミ限定サレタカ、ナゼソレヲ明確ニ御答辯下サラナイノデアルカ、ソレガ出来ヌナラバ、第一條ノ精神ガ不明瞭トナルノデアルカラ、私共ハ審議ヲ進メルコトハ出来ナイ

○安達國務大臣 産業別、職業別、今後ノ労働組合ハソレデ行カネバナラヌ、産業別、職業別ニ依ツテ組合ヲ組織スベキモノデアルト云フコトヲ定メテ居ル、是ハ明白デアリマス、現在既存ノ組合ハ、附則ニ依ツテ之ヲ認メルト云フノデアリマス、無論産業別、職業別ニナツテ居リ、又ナリツ、アル、ソレハ一向差支ナイト思ヒマス

○守屋委員 ソレデハ他ノ方カラ大臣ニ御分リニナルヤウニ伺ヒマス、此間之ニ對スル説明ハ、政府委員ヨリモ度々申サレテ居リマスガ、一般労働組合及ビ其聯合ヲ除イタノハ、一般労働組合トカ聯合トカ云フモノハ、組合運動發生ノ當初ニ於テコソ必要ガアルガ、現在ニ於テハ組合運動ガ相當ニ發展シテ來テ居ルカラ、サウ云フ組合運動ノ原始状態、或ハ發祥ノ状態ニ於ケル組合員ノ結合茲ニ聯合ノ形態ハ、本法ニ於テハ之ヲ認メナイト説明サレタガ、其通り

果方現在既存ノ組合ト合致シテ居ルノデアリマス、旁々以テ産業別、職業別ノ團結ヲ認メルコトニ依ツテ、労働組合結成ノ自由ヲ保護スルト云フ趣旨ヲ達シ得ルト云フ考ノ下ニ立案セラレテ居ル次第デアリマス

○守屋委員 ソレモ一ツノ理由ダト考ヘル、一般労働組合竝ニ聯合ガ組合運動發達ノ前提ヲナスモノデアルト云フコトニ付テハ之ヲ認メマス、併ナガラ我國ニ於ケル實際ノ事實ハ、ドウ云フ状態デアルカト云フト、マダアナタ方ノ仰シヤツテ居ルヤウナ状態デハナイ、我國ニ於テハ寧ろ一般労働組合竝ニ聯合ト云フモノハ、何レノ組合ニ比シテモ増加シテ居リマス、ソレハアナタ方ノ出シテ居ラレル統計ガ、吾々ニサウ云フコトヲ教ヘテ居ル、即チ大正十五年六月カラ昭和五年六月マデノ間ニ於ケル各種組合ノ増加シタ割合ヲ見ルト、職業別組合ハ僅ニ五、産業別組合ハ七十二シカ増シテ居ナイガ、一般組合ハ九十五増シテ居ル、是ハ必要ヲ前提トシテ増シテ居ルモノニ違ハナイノデアルカラ、現在ノ我國ノ状態ニ於テハ、一般労働組合ノ結成要求ト云フモノハマダアル、斯ノ如ク内務省ノ調査ニ於テモ、他ノ組合ヨリ増加シテ居ルト云フ事實ガ明カデアルノニ、只政府ハ之ニ參加シテ居ル組合員ノ數ガ少イコトヲ理由トシテ居ル、内務大臣モ組合員ノ總數ノ「八パーセント」デ

デアリマスカ、是ハ吉田君ニ伺ヒマス
○吉田政府委員 一般労働者ノ産業別、職業別ニアラザル組合ト云フモノハ、現在ノ實状ニ鑑ミテ、組合運動結成ノ初期ニ現ハレテ居ル、ソレ等ハ大體地域別ニ定マツテ居ルモノガ多イノデアツテ、漸次其分化發達スルニ伴ツテ産業別ニナリツ、アルト云フコトヲ申上ゲマシタ

○守屋委員 ソレガ本法ノ第一條ニ於テ、一般労働組合ト、其聯合ト云フ形態ヲ將來ハ公認シナイト云フヤウニナサツタ理由デスカ

○吉田政府委員 其實ダケデハナイノデアリマス、目的カラ申セバ、労働組合ハ組合員ノ労働條件、或ハ其他ノコトニ付テモ、共同ノ利益ヲ増進達成スル爲ニ結合スル團體デアリマス、隨テ最モ利害關係ノ密接ナル者ノ團結ヲ認メルコトガ最モ多イノデアリマス、同ジ職業、或ハ類似ノ職業ニ依リ、又ハ同ジ産業、或ハ類似ノ産業ニ從事スル者ノ利害ノ密接サハ、然ラザルモノニ比ベテ一層強イノデアリマスカラ、是等ノ團結ニ對シテ、一層團結ノ力ヲ特ニ保護シテヤラウト云フノデ、一般團結ト是等ノ團結トノ間ニ差別ヲ設ケテ考ヘヌノデアリマス、其二ツノ方面カラ單ニ事實ニ立脚シテ居ルダケデハナク、組合員ノ結社ヲ認メヤウト云フ目的ガ那邊ニアルカト云フコトヲ第一ニ考ヘ、其結

アルト申サレタガ、其數ハ何ヲ以テ言ヒ表シタカト云フト、一般の労働組合聯合ニ參加シタ者ハ除外シテ居ル、除外シテ置イテ、僅ニ三萬九千幾ラシカナイト云ハレテ居ルノデアリマスケレドモ、一般労働組合聯合ノ方ニハドウカト申スト、日本労働總同盟デモ三萬人、全國労働組合同盟デモソレニ近い數ガアル、其他ノ一般労働組合聯合ヲ入レルト、其數ハ頗ル大ナルモノニナル、サウ云フ點カラ考ヘテモ、一般労働組合及ビ聯合ヲ不必要デアルト認メル當局ノ理由ガ成立タナイ、之ヲ除外スル理由ガ他ニナケレバナラヌ、ソレヲ隱シテ居ラレルノデアアル、ソレヲハツキリ茲ニ言ツテ戴カナケレバ私ハ承服スルコトガ出来ナイ、ソレハ内務大臣ガ仰シヤルコトガ出来ナケレバ政府委員デモ宜シイ、アナタノ御考ヘニナツテ居ル所、ナゼ之ヲ除イタカ、何故一般労働組合竝ニ聯合ヲ將來ハ公認シナイト云フコトニシタカ、ソレヲ皆ノ納得ノ行クヤウニ御説明願ヒタイ

○吉田政府委員 只今ノ御尋ニ御答スル爲ニハ、個々ノ單一組合ト聯合體ニ分ツテ御説明シタ方ガ宜カラウト思ヒマス、組合員ガ組合ニ加入シ得ルヤ否ヤ、所謂團結ノ自由云々ノ問題ノ起リマスノハ、個々ノ單一體ニ起ルベキ問題ナノデアリマス、聯合體ニハ其問題ハナイノデアリマス、聯

合體ハ一ツツニ其下ノ單位ニナツテ居ル組合ノ結成ナノデアリマス、ソコデ労働組合ノ組合員ハドレカノ個々ノ組合ニ入ルコトニ依リマシテ聯合體ニ關係ヲ持ツノデアリマス、聯合體ニハ直接ノ組合員ト云フモノハ、聯合體自體トシテアリ得ナイノデアリマス、直接ノ組合員ト云フモノハ、結局先程申シタ個々ノ組合ニ關シマシテノ傾向ヲ、小サナ一般組合カラシテ漸次ニ産業別、職業別、殊ニ産業別ニ分化發達シツ、アルト云フ傾向ヲ申上ゲタノデアリマス、是ハ只今數字ヲ御讀ミニナリマシタガ、成程個々ノ労働組合ニ於キマシテハ、産業別、職業別ニナラザル一般組合ト云フモノガ、組合數ニ於キマシテハ大分増加ヲ致シテ居リマス、併シ組合員ノ數カラ見マス、左シテ増加ヲ致シテ居ラス、即チソレガ小サナ組合デ、方々ニ分散シテ居ル、所謂組合運動ノ芽生ノ時ニ出來ルモノガ、ソレニ該當スル事實ヲ統計ノ上ニ示シテ居ル次第ナノデアリマス、ソレ等ノ組合ノ發達ト共ニ、主トシテ産業別ニ變リツ、アルノデアリマス、本法ニ於キマシテハ其當然ノ歸結ニ基キ、又原因ニ遡ツテ考ヘマシテ、労働組合ハ利害關係ノ最深イ産業別、職業別ト云フコトヲ行クノガ宜イト考ヘテ居リマス、隨テ又労働組合ノ聯合ト致シマシテモ、最モ利害關係ノ深イモノ、聯合ト云フモノニ組合法ヲ適用シ、ソレヲ

本法ニヤハリ労働組合トシテ認メル、斯ウ云フノデアリマス、結社ノ自由云々ノ問題ハ、聯合體ニハ餘リ問題ハナイ、現在アリマスル聯合體ノ範圍ト云フモノヲ集メマスト、非常多數ニ上リマスガ、ヤハリ其聯合體ヲ組織致シテ居リマスル下ノ組合、一番下ニアリマスル單一組合ニナルノデアリマスガ、ソレ等ハ産業別、職業別ノ組合ガ大多數デアリマス、所謂一般聯合ト云フモノニ於キマシテハ、異種ノ産業ノ組合ガ結成セラレタ所デ、總同盟、組合同盟ト云フヤウナモノガアル譯デアリマスカラ、所謂先程御舉ゲニナリマシタ本法ノ公認組合トナリ、其加入ガ保障セラレルト云フガ爲ニハ、産業別、職業別ノ個々ノ組合ガ保障セラレルト云フコトハ大部分目的ヲ達セラレテ居ルノデアリマスカラ、又サウアルベキノガ本法立案ノ趣旨デアル、労働運動ハ、日本ノ産業界ノ將來ノ發達ニ鑑ミテ、是ガ正シイ傾向デアルト云フナラバ、産業別、職業別ニ限ツテ、茲ニ保護ヲ與ヘ、本法ノ労働組合ト見做サウト云フ趣意ニアリマスコトハ極メテ明瞭ナノデアリマシテ、ソレ以外ニ別ニ何カ當局ニ於テ隱シテ居ツテ、御説明申上ゲナイ、潜シテ理由ガアルデアラウト云フヤウナ御觀察ハ、當ラナイト思ヒマス、何モ彼モ洗ヒ凌ヒ申上ゲテ居ル次第デアリマス

○守屋委員 内務大臣ハ、今政府委員ノ御話デ能ク御分リニナツタラウト思ヒマス、一般組合ト云フモノハサウ云フヤウニ現ニ九十五モ増シテ居ル、他ノ組合ヨリモ増シテ居ル數ガ多イ、サウ云フモノハ労働條件ノ維持改善ヲ目的トシ、或ハ共濟修養其他共同ノ利益ヲ目的トシテ居ルモノデアリマス、而シテソレガ本法第一條ノ趣旨デアル所ノ産業別組合ニ變化シテ行ク階梯ヲ持ツモノデアル、何故ニ少人數ノ一般労働組合、第一條ノ目的ヲ持ツテ活動シテ居ル所ノ、現ニ殖エツ、アル所ノ一般労働組合ト云フモノヲ軌道外ニ置キマスカ、其處ガ分ラヌ、ソレヲ除外サレル理由ガ少シモ分ラヌ、政府委員ノ今仰シヤツタ點ヲ謹ンデ拜聽シテ居テモ、ソレヲ除外スル理由ガ分ラナイ、大臣ハナゼ之ヲ除外サレタノデアルカ、大臣ニ御伺ヒ致シマス

○吉田政府委員 私ノ申上ゲマシタ趣旨ガ、説明ノ致シ方ガ悪カツタノガ、御諒解出來ナイト云フコトデアリマスガ、私ノ申シテ居リマスノハ、最モ近密ナ利害關係ヲ持ツテ居ルモノハ、職業別或ハ産業別ノ組合デアル、是ハ事實同シ職業、類似ノ職業ニ從事シテ居ルモノデアリマスカラ、労働者トシテ團結スルノ必要ナル、特ニ強イ連中デアル、又ソレ等ノ者ハ、共同利益ノ保護増進ヲ受ケルト云フコトガ産業界ニ影響ヲ及ボシ、貢獻ヲスル度ノ強イモノデ

アリマシテ、ソレ等ノ代表的ノモノヲ以テ本法ノ労働組合ト見做ス、ソレ以外ノモノヲ壓迫スルト云フノデアリマセヌ、先程モ御話ニナリマシタヤウニ憲法ニ於キマシテ結社ノ自由ガ認めラレテ居リマスカラ、所謂本法ノ労働組合トシテハ、ソレ以上進ンデ一定ノ體形ヲ備ヘタモノヲ認めルト云フコトガ、本法制定ノ趣旨ヲ明カニスル上カラ考ヘマシテモ、亦我國ノ産業ノ發達ノ趨勢ニ順應スル上カラモ必要デアル、斯ウ云フ考ノ下ニ於テ一程度以上進ンダモノニ、特ニ保護ヲ與ヘル必要ナルモノニ對シマシテ本法ヲ適用シヨウ、斯ウ云フ趣意ニナツテ居リマス

○猪野毛委員 一寸議事進行ニ付テ、委員長ヲ通シテ大臣及委員委員ノ方ニ申上マスガ、寔ニ重要法案デアリマスケレドモ、内務大臣ノ御出席ノ時間ハ、他ニ事情モアリマセウケレドモ至ツテ少ナイ、ソコデ内務大臣ガ御見エニナツタ時ハ、吾々モ枝葉ノ問題ハ問ハズシテ、根幹ニ觸レタ事ノミヲ問フヤウニ、議事ノ進行上考ヘテ居ル、ダカラ大臣ノ名ヲ指シテ答辯ヲ求メタ時ニハ、大臣御自身ガ答辯ヲ爲サレ、分ラヌ時ハ耳打ヲサレテモ結構デス、兎モ角横合カラ長官ガ出テ口ヲ開カレト、切角ノ根幹ノ問題ガ、事務的ノ答辯ニ陥ルト、吾々ノ欲スル所ニ當符ラヌコトニナル、斯ウ云フコトハ如何ニモ大臣ニハ御迷惑カモ知レマセ

ヌケレドモ、議事ヲ進行スル上ニ於テハ、結局ハ双方トモ非常ナ利益ニナル、ソレカラ今一ツハ只今守屋君ハ熱心ニ質問ヲ爲サイマシタガ、立ツテ禮儀ヲ以テ質問シテ居ルニモ拘ラズ、内務大臣ハ腰ヲ掛ケテ答辯ヲ爲サツテ居ル、裁判所ニ於ケル被告ト裁判官カ檢事ノヤウナ態度ニ見エルノデス、寔ニ是ハ立憲政治ノ上ニ於テ、議事ヲ進メル上ニ於テドウモ面白クナイト思フ、昔ノ官僚内閣時分デアリマシタラ、或ハサウ云フコトガ通ツタカモ知レマセヌケレドモ、今日ハサウ云フコトハイカヌ、アナタハ心モ身體モ、私ハ健全ト見テ居ルノデアアル、濱口サンハ腸ガ惡イトカ、足ガ惡イトカ云フコトヲ聞イテ居ルカラ、サウ云フコトヲ聞イテ居ルカラ、サウ云フ特別ノ事情ガアレバ、委員長ヤ皆ノ諒解ヲ得テ致スノハ宜イケレドモ、常識的ニ考ヘテ、議員ガ立ツテ恭シク嚴肅ニ質問スルノニ、アナタハ腰ヲ掛ケテ居ツテ願デ答辯スルヤウニ見エル、斯ウ題フコトハ些細ナヤウナコトニ見エマスケレドモ、議場ノ聖聖ヲ保ツ上ニ於テモ、議事ノ進行ノ上ニ於テモ、重要ナコトデアルト思ヒマスカラ、何卒御考慮ヲ願ヒタイト考ヘマス

○添田委員長 一寸猪野毛君ニ申上ゲマス、最初ノ成ベク内務大臣ニ答辯ヲ願ヒタイト云フ御希望ハ御尤ト思ヒマス、ソレ故ニ今日ハ内務大臣モ茲ニ出席ヲ乞ウタ次第デア

リマス、併シ横カラ政府委員ガ出テ答辯スルノハ甚ダ面白クナイト云フ御話デアリマスケレトモ、當然政府委員トシテ、政府ヲ代表シテ答辯スルノデアリマスルカラ、委員長ハ之ヲ阻止スル譯ニハ參リマセヌ、其點ヲ御考慮ヒマス、又後ノ御忠告ハドウゾ内務大臣ノ御立チヲ願ヒタイト思ヒマス

○守屋委員 大分問答ヲ重ネマシタガ、其點ニ付テ要領ヲ得ルコトガ出來ナイコトヲ残念ニ思ヒマスカラ、他ノ方カラモツト大臣ノ御意見ヲ伺フノデス、是ハ大臣ガ自分デ御答シナカツタコトデアツテ、速記録ニ載ツテ居ルコトデアリマス、大臣ハ「茲ニ労働組合法案ヲ提出シテサウシテ、經濟爭議ヲ正シキ軌道ニ載セテ指導スルコトガ最も必要デアル」斯ウ云フ風ニ申サレマシタ、又他ノ所ニ「私ハ今日ノ場合ニ於キマシテ此法案ヲ出シテサウシテ勞資協調ヲ爲ス所ノ基礎トモ言フベキ法律ガ茲ニ出來マシテ而シテ一方ニハ資本案ノ今日脅威ヲ感ジテ居ルヤウナ「ストライキ」ナドモ始カラ取締ツテ之ヲ正道ニ還ラシムルコトガ出來ルト堅ク信ジテ居リマス」斯ウ申シテ居リマス、第一條ノ制定ノ精神ヲ述ベラレル時ニ大臣ハ斯ウ云フコトヲ申サレタノデアアル、此精神ガ所謂一般ノ組合ト云フモノヲ外ニ出サレルト云フ精神デアアリマセヌカ、ソレハ如何デス

○安達國務大臣 只今御話ノ通り私申上ゲマシタ、ソレハ今日ノ労働爭議ノ最モ惡化シタモノハ、ソレヲ正シキ軌道ニ載セヤウト云フ考カラ申シマシタ、ソレガ即チ第一條ニ職業別、産業別ト云フコトヲ規定シテ、而シテ飽マデ一方ニ労働者ノ地位ヲ確保スルト同時ニ勞資協調ノ趣意ヲ徹底シテ行カウト云フ考カラ、第一條ヲ斯ク修正シタ所以デアリマス、資本案ノ脅威ヲ蒙ルト云フコトモ、私申シテ居リマス、確ニサウデアリマス、ソレダカラ脱線セル爭議ニ對シテハ、十分取締ヲシテ、眞ノ經濟爭議ニ致シタイト思ツテ居リマス、御話ノ通り正道ニ歸ラシムル、ソレハ間違ナイト思ヒマス

○守屋委員 ソコガ私ハ區別ノ要點デハナイカト思フ、即チ一般ノ労働委員ノ中ニハ、憲法ノ認メラレテ居ル自由ヲ獲得スルモノガアルケレド、モマダ軌道ニ乗ツテ居ナイカラ、大臣ノ眼カラ見ルト遺憾ナ所ガアル、ソレデ是ハ軌道ニ乗セル譯ニハ行カナイ、乗セル時ニハ選ブノデアアル、「ストライキ」ヲ指導スルトカ、或ハ激化スルトカ、斯ウ言ツタヤウナコトヲ現ニヤツテ居ルモノガ一般ノ労働組合竝ニ聯合ノ中ニアル、ソレヲ此儘公認スルト云フト、資本案ノ脅威ヲ感ズル、爭議ヲ惡化シテ行ク、ソレデアアルカラ、社會局案ヲ訂正シテ、サウシテ職業別、産業別竝ニ其

聯合ヲ認メラレルト云フ風ニ爲シタモノデアラウト思フ、斯ウ云フ風ニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○安達國務大臣 大體ニ於テ御尋ノ通り便宜カラウト思ヒマス

○守屋委員 私ハ此處デモツト進ンデ御伺シナケレバナラヌコトハ、私共ハ社會局ノ原案ニアリマシタ、労働條件ノ維持改善ヲ目的トスル組合、其聯合、ソレニ附加ヘテ組合員ノ共同ノ利益ヲ増進スルコトヲ目的トスル組合、サウ云フモノハ決シテ争鬭本位ノ組合デハナイ、言葉ノ上カラ考ヘマシテ、労働者ノ共同ノ利益ヲ保護スルトカ、或ハ労働條件ノ維持改善ヲスルトカ云フ文字ノ中ニ經濟爭議ヲ惡化スル或ハ資本案ノ脅威ニナルト云フヤウナ意味ガ含マレテ居マスカ、其文字ダケノ中ニハ私ハ少シモ經濟界ヲ壓迫スルトカ、資本案ヲ脅威スルトカ、労働爭議ヲ惡化シテ行クト云フヤウナ意味ガ含マレテ居ナイト思フノデアリマス、規定自體ノ上ニ、明ニ労働條件ノ維持改善トノミ書イテアルノデアツテ、文字其モノハ決シテ經濟爭議スルトカ、或ハソレヲ惡化シ、若クハ、ソレヲ激化スルトカ、サウシテ資本案ヲ脅威スルトカ云フヤウナ意味ガ少シモ出テナイ、ソレガ出テ居ルヤウニ御考ヘニナツテ、或種ノ組合ヲ除外スルヤウニサレタノデスカ、私ハ労働條件ノ維持改善ノ文

字ニハ少クモサウ云フ意味ハナイ、所謂經濟的活動デア
カラ、一般ニ是認シテ差支ナイモノデアツテ、其目的ヲ有
スルモノ、中カラ、特ニ或種ノ組合ヲ分割シテ行クト云フ
必要ハナイト思フノデアリマス、然ルニ内務大臣ハ、協調
ノ精神ヲ發揮スル上カラ必要ガアルト言ツテ、一部ノ組合
ヲ除外スル規定ヲ御設ケニナリマシタ、法文ノ解釋デナク
シテ、ソレハ現在ニ於ケル或種ノ組合運動ト云フモノガ、
場合ニ依ツテハ産業自身脅威トナルト云フ事實ヨリ來ル推
論デアル、文字ノ解釋ト、現在ニ於ケル組合運動ノ趨勢ト
云フモノトヲ混同シテ御考ヘニナツテ居ルノデアリマセ
ヌカ、其點ヲ内務大臣カラハツキリ伺ツテ置キマス、

○安達國務大臣 決シテゴツチャ混ニハ考ヘテ居ラヌ積リ
デアリマス、一般組合經濟的團體トシテ代表的ノモノデナ
イノデスカラ、ソレデ已ムヲ得ザルコト、考ヘテ居ル次第
デアリマス、決シテゴツチャ混ゼニ私ハ考ヘテ居リマセ
ヌ

○守屋委員 勞働條件ノ維持改善ヲ目的トスルト云フコト
ソレ自體ニ資本家ノ脅威トナル意味ガ含マレテ居リマス
カ

○安達國務大臣 實際問題トシテ(守屋委員「文字デス」
ト呼ブ)勞働條件ノ維持改善デモ、其實行自體デハソレハ

ハ、現在ニ於ケル不景氣ト云フ間ガ吾等ノ社會ヲ襲ツテ居
ルカラデアリマス、勞資ノ間ヲ襲ツテ居ルカラデアリマ
ス、サウシテ勞働爭議ガ深刻化シテ來テ居ルト云フ背景ガ
アルカラデアリマス、斯カル背景ニ依テ勞働條件ノ維持改
善ト云フ言葉ガ、資本家ノ脅威ニナル、ソコデ内務大臣ガ
結局一般ノ組合ノ中カラ、或種ノ一部ノ組合ダケヲ此勞働
組合法ノ公認ノ範圍内ニ置ク、少クトモ將來出來上ルモノ
ニ付テハ、公認ノ範圍内ニ置クト云フコトニナサツタノデ
アラウト思フノデアリマス、其點ニ付テ内務大臣ハドウ御
考ニナリマスカ

○安達國務大臣 御話ノ通り、是ハ資本家モ神經過敏ニナ
ツテ居ルカラ、白旗モ幽靈ニ——實際ハサウデナイモノ
モ、サウデアアルカノ如ク解釋シ、又勞働者ノ方モ、兩方神
經過敏ニナツテ居リマス、殊ニ資本家ノ方ハ其ノ點ハ非常
ニ神經過敏ニナリ過ギテ居ル所ガ澤山アリマセウガ、冷靜
ニナレバ何デモナイ、ソレハ勞働條件ノ維持改善ト云フ言
葉デモ、決シテ惡クナイト思ヒマス、ソレハ神經ガ昂ツテ
居レバコソサウナリマスガ、ソレニ對シテハ私ハ取締ヲ公
正ニシテ、サウシテ茲ニ總テノ勞働運動ト居フモノヲ軌道
ニ載セサヘスレバ、始メテ資本家モ冷靜ニナツテ行キ、勞
働者モ、向フ所ヲ得テ、經濟爭議ガ惡化セズニ、純粹ノ經

資本家ノ脅威ニナルコトガ澤山アリマス

○守屋委員 文字ノ上ニ於テハ、私ハサウ云フコトガ確定
サレナイト思フノデアリマス、此法ヲ適用サレル時代ニ於
ケル組合ト云フモノ、目的ト關聯シテ考ヘテ見テ、ソレガ
初メテ明確ニナツテ來ルト思フノデアリマス、今日爭議ガ
頻發シテ來マシテ、殊ニ不景氣ガ深刻ニナルニ隨ヒマシ
テ、其爭議ガ長クナリ、殊ニ中小工業ニ對スル爭議ト云フ
モノハ、勞資共倒レト云フ現狀デアル、サウ云フ所謂爭議
ノ深刻化シテ居ル背景ヲ以テ勞働條件ノ維持改善ト云フモ
ノヲ見ルカラ、ソレデ此勞働條件ノ維持改善ト云フモノガ
鬭争ノ意味ヲ含ンデ居ルヤウニ見エルノデアリマス、サウ
シタ狀態ガナケレバ、勞働條件ノ維持改善ト言ヘバアツサ
リシテ居ルノデアリマス、何モ之ヲ喧嘩デヤルトカ、或ハ
勞資共倒レニナルマデ爭議ヲ繼續シテヤルトカ、從テ資本
家ガ脅威ヲ感ズルト云フコトニハナラナイノデアリマス、
眞暗ナ晩ニ石碑ノ立竝ブ所ニ、白旗ガ立ツテ居ルカラ幽
靈ダト人ハ見ルノデス、サウ云フ背景ガアルカラ、白旗
ガ幽靈ニ見エマス、併ナガラ夜ガ明ケテ見ルト石碑ノ傍ニ
立ツテ居ツタカラト云ツテ、誰モソレヲ幽靈ト見ルモノハ
ナイ、勞働條件ノ維持改善ト云フ言葉ガ如何ニモ此鬭争本
位デアリ、勞働爭議ヲ惡化スルヤウニ考ヘテ居ルト云フノ

濟爭議トシテ行クコトニナルドラウ、其希望ヲ持ツテ居レ
バコソ茲ニ勞働組合法案ヲ提出シタ所以デアリマス

○守屋委員 ソレナラバ内務大臣ハ、此法規ノ第一條ナド
ヲ變ヘル必要ハナイデヤアリマセヌカ、意味ハ頗ル平和ナ
モノデアツテ、資本家ヲ脅威スルモノニハナラナイ、即チ
現時ニ於ケル不景氣ノ深刻ナルニ件ツテ生ジテ居ル爭議ト
云フモノガ、實ハ資本家ノ脅威ニナツテ居ルノデアル、サ
ウ云フ方面ニ付テ、資本家ノ脅威ヲ除ク、サウシテ勞働組
合ノ本質ハ經濟團體デアル、勞働者ノ共同利益ノ保護増
進、勞働條件ノ維持改善ヲ目的トシテ居ルモノデアツテ、
決シテ過激ナル政治行動モヤラナケレバ、又社會ノ脅威ニ
ナルヤウナ行動ニモ出ナイ、サウ云フ風ニシテ行クノデア
ル、サウスレバ資本家ニ對スル脅威ト云フモノハ除カレマ
スカラ、資本家ハ承服シタカモ知レマセヌ、サウスレバ社
會局ノ案其儘ヲ御認メニナツテ、サウシテ資本家ヲシテ、
社會局ノ正當ナル案ヲ其儘ヲ認メズシテ、是ガ資本家ヲ脅
威スルト認メルニ至ツタ社會的事情、即チ現時ニ於ケル所
ノ不景氣、ソレニ伴フ勞働爭議ノ深刻化ト云フモノニ對ス
ル對策ヲ樹テルト云フコトガ一ツノ方法デアツタデアラ
ウ、ソレガ最良イ手段デハナカツタカト自分等ハ考ヘ
ル、ソレニ對シテ内務大臣ハドウ御考ニナリマスカ

○安達國務大臣 元ノ案ハ労働條件ノ維持改善ト云フコトデアリマシタガ、ソレト、共済、修養、共同利益ノ保護増進ヲクツ付ケテ、尙ホ一層、是ハ労働組合ナルモノハ斯ウ云フコトヲ目的トシテ進ムベキモノデアルト云フコトガ明瞭ニナツテ、頗ル是デ穩健ナ意思表示ニナリマシタノミナラズ、同一若ハ類似ノ産業職業ノ労働者ノ團體ト云フコトデ、茲ニ労働組合法ノ性質ト云フモノハ、斯ウ云フ目的デ、斯ウ云フ團體デナケレバナラヌト云フコトヲ明ニ致シマシタ以上ハ、是デ非常ニ労働組合ノ穩健、中正ヲ得ルト云フコトハ明ニナツタ、斯ウ考ヘテ居リマス、何度申上ゲテモ、ソコハ私ハソレヨリ外ニ労働組合ノ指導精神モ目的モナイト考ヘマス

○守屋委員 法文ノ上ニハ資本家ヲ脅威スル意味ガナイト云フコトデアリマスルナラバ、法文ヲ改正スル必要ハナイ筈ナンデアアル、サウ云フ風ニ脅威ヲ感ズルヤウニナツタ社會的事情、深刻ナル不景氣ニ伴ツテ、労働争議ノ激化シタコト、昨年ニ於テハ未曾有ノ労働争議ノ發生ト悪化ヲ示シテ居リマス、ソレハ内務大臣モ御承知ゴザイマセウガ、ソレガ資本家ヲシテ、暗夜ニ白イ旗ヲ幽靈ト誤認シテ、サウシテ組合員ノ結社ト云フモノハ危険ナモノガアル、ソレニ對シテハ制限ヲシナクチャナラヌト云フヤウニ考ヘシメ

タノデアアル、其爲ニヤハリ内務大臣モ其意見ヲ御採用ニナツテ、職業別産業別ノ組合及聯合ノミヲ御認メニナツテ、從來カラ労働争議ニ参加シ、若クハソレヲ指導シテ、現ニ労働争議ノ悪化ニ關係シテ居ル一般の組合並ニ聯合ト云フモノハ、將來ノ組合トシテ結社ヲ公認サレナイ、ヤウニナスツタノデアアル、要スルニ第一條ニ於テサウ云フ一般の組合並ニ聯合ト云フモノヲ除カレタノハ資本家ヲ脅威シ、今後ニ於ケル労働争議ト云フモノヲ激化スルト云フ危険ガアルカラ、所謂經濟的争議トシテ、將來ノ争議ヲ指導シテ行ク労働協調ノ精神ヲ、一層發揚サセ勞資ノ調和ヲ圖ツテ行カウト云フ精神カラ、兎モ角モ此處デハソレヲ除イテ置カウ、斯ウ云フ風ニ御考ヘニナツタモノト承知シテ差支ナイト考ヘマス、只今ノ御答辯カラ推シテモサウデアアルト存ジマスガ、其點ヲ、後デ問題ニナリマスカラ、ハツキリ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○安達國務大臣 元ノ法文ヲ更ニ此法文ニ變更シマシタコトガ御尋ノ趣旨ノヤウデアリマス、ソレハ此度改メタ法文ノ方ガ、私ハ労働組合ヲシテ穩健ナラシムルニ最モ適當ト考ヘテ、斯ウ變ヘタ次第デアリマス、労働條件ノ維持改善ト云フ言葉ガ資本家ニ、ソレバカリデ、脅威ヲ與ヘタ、ソレハ見様ニ依ツテ、アナタノ御話ノ白旗ガ幽靈ニ見エルヤ

ウナコトガアツタカモ知レマセヌガ、決シテ維持改善ガ私ハ資本家ニ對スル脅威ニナラウトハ思ヒマセヌケレドモガ、御話ノ通り神經過敏ニナツテ、ソレガ見エタカモ知レマセヌ、併シ此維持改善ノミナラズ、共済、修養、共同利益ノ保護増進ト云フヤウナコトヲ加ヘテ置イタ方ガ、私ハ穩健ナル立法デアルト考ヘテ、サウシテ斯ウ云フ風ニ訂正シテ行ツタ次第デアリマシテ、何モ外ニ他意ハナイノデアリマス

○守屋委員 勞資協調ノ精神ヲ加味シ、労働争議ヲ經濟的争議トシテ穩健ニ指導シテ行クト云フコトガ、第一條ノ精神デアルト云フヤウニ御話ニナラレタノデアリマスガ、何故ニソレナラ職業組合ト、産業組合ト云フモノガ、勞資協調ノ精神ヲ現シテ居ルモノデアリ一般の組合ト、一般的組合聯合ト云フモノガソレニ反スルモノダト御覽ニナリマシタカ、ソレヲ簡單明瞭ナ言葉デ仰シヤツテ戴キタイト思ヒマス

○安達國務大臣 ソレハ職業別、産業別ニスルト即チ其職業家及産業家ノ意思ヲ代表シマスカラ、自ラソコニ勞資協調ノ精神ハ明白ニナルドラウト思ヒマス、職業別ニスル、産業別ニスルト云フコトハ、利害關係モ密接デアルシ、職業別産業別ニスレバ、ソレダケデ私ハ鬭争ノ精神ト云フモ

ノハ非常ニ緩和セラレルモノ、斯ウ考ヘテ居リマス

○守屋委員 ソレハ驚入ツタル答辯ダト私ハ思フ、職業別産業別ト云フモノハ産業ヲ代表スルトカ、或ハ職業ヲ代表スルト云フコトニハナルマイト思ヒマス、産業ノ經營者ト云フモノハ、組合ニ御入レニナツテ居ナイ、假令元組合ノ理事デアツタモノデアラウガ、或ハ總會ノ決議デアラウガ、所謂雇傭者ト云フモノハ組合員トナルコトハ御認メニナラナイ御精神デアアル、ソレガドウシテ産業ヲ代表スル——産業ト云フモノハ労働者ダケデ以テ代表ガ出來ルモノデセウカ或ハ職業ト云フモノハ、労働者ダケデ以テ代表出來ルモノデセウカ、私共ハサウ云フヤウニ考ヘラレナイ、ソコニ大臣ノ御答辯ニ矛盾ガアリハシナイカ、職業別産業別ノ労働組合ハ、労働者ノ團體デアルサウシテ資本家ニ對シテ労働條件ノ維持改善ヲ目的トシヤウ、組合員相互ニハ共済、修養、共同利益ノ保護増進ヲ圖ルト云フノデアリマス、斯カル組合ノ中ノ職業別組合産業別ノ組合ノミガ、何時デモ勞資協調ヲ行クト云フヤウニ御認ニナルノガ怪シイ、又産業ヲ代表スルト云フ議論ニハ私共ハ承服スルコトガ出來ナイ、モットハツキリ仰シヤツタラ如何デス

○安達國務大臣 ソレハ職業別ニ團結シ、産業別ニ團結スルト、漫然タル組合ヨリハ、私ハ其利害關係ガ密接ニナリ

マスカラ、非常ニ穩健ニナルト思ヒマス、無論労働組合デア
ルカラ、ソレハ産業ヲ代表シヤシマス、併ナガラ其職
業ヲ別ニシテ居リ、産業ヲ別ニシテ居ル者ガ、ソコニ團結
ヲシテ居ルノハ、ソレハ漫然タル組合ト比較スルト比較ニ
ナラナイヤウニ私ハ宜イト思ツテ居リマス、ソレデ産業別
職業別ニスルコトガ、勞資協調ノ精神ニ最モ適ウテ居ルト
考ヘテ居リマス

○守屋委員 ソレハカシイト考ヘマス、今ノ労働爭議ノ
實際ニ付テ御調ニナツテ見マシテモ、一般の労働組合ガ勞
働爭議ヲ起シテ居ル「ケース」ガ如何程アルカ、産業別ノ
組合ガ爭議ヲ起シテ居ル場合ガ如何程アルカ、サウシテソ
レガ如何ニ激化シテ居ルカ、ソレヲ御調ニナツテ居ルト思
ヒマス、内務大臣ハ其狀勢ハ御承知ニナラヌノデスカ

○安達國務大臣 産業組合ノ數字カラ申シマシタラ、今日
ノ御承知ノ通り産業別、職業別ノ組合ガ殆ド大部分デアリ
マスカラ、ソレハ決シテ職業別産業別ニナツタラ「ストラ
イキ」ヲ起サナイカト云フニ、サウ云フコトデアリマセ
ヌ

○守屋委員 サウ云フコトヲ仰シヤツテ居ルノデアリマ
セヌカ

○安達國務大臣 ソレガ一番勞資協調ノ精神ニ近イ、絶對

ニ「ストライキ」ガ起ラナイト云フコトハ言ヘマセヌ、サ
ウ窮窟ナ斷定ハ出來得ナイ

○守屋委員 職業別産業別ノ組合デアアルガ爲ニ、協調ノ精
神ニ適フト云フヤウナコトヲ仰シヤルノハ私ハ間違ダト思
ヒマス、ソレハ空想デアリマセヌカ、少クトモ産業別、
職業別ト云フモノガ、或ル種ノ指導精神ト云フモノ、影響
ヲ受ケレバ、モウ何處ヘ行ツテモ過激ニナルノデアアル、之
ニ對シサウシタ指導精神ガ入ラナケレバ一般労働組合デモ
穩健デス職業別組合デモ穩健デス、産業別組合デモ穩健デ
ス、産業別組合トカ、職業別組合トカ一般の組合ト云フモ
ノニ、協調ノ精神ガ有ルカ無イカト云フコトガアルノデナ
クシテ、現ニドノヤウナ組合ニ或種ノ指導精神ガ普及シテ
居ルカ、何處ニサウ云フ指導精神ノ根據地ガアルカト云フ
コトデセウ、ソレハ違ヒマスカ

○安達國務大臣 ソレハ職業別、産業別ニスルコトガ、利
害關係ガ最モ密接ナ團體ニナリマス爲ニ、私ハ其「ストラ
イキ」ニ於テモ非常ニ其處ニ緩和セラレルコトニ勞資協調
ノ精神ガ現ハレテ、大變都合ガ好イト、斯ウ考ヘテ居リマ
ス、廣イ組合デナクシテ、利害關係ガ同一デアレバ、其職
業別産業別デアレバ「ストライキ」ガ起ラナイカ、ソレハ
無理ナ話デアアル、「ストライキ」ハ無論其間ニ起リマスケレ

ドモ、併ナガラ比較的其方ガ穩健ニナルト云フノデアアル

○守屋委員 ソレハ事實ヲ根據トシテ御話ニナラナイデハ
イカナイト考ヘルノデアリマス、唯大臣ガ漠然ト仰シヤツ
タツテ、ソレハイカナイト思フノデアリマス、現在ニ於
テ、ドンナ組合ガ惡化セル爭議ヲ起シテ居ルカト云フ、此
狀態ヲ御考ニナレバ分ルノデス、實際紛糾シテ居ル爭議ト
云フモノハ、大體ニ於テ産業別ノ組合ガ多イノデス、デス
カラ職業別、産業別組合ヲ公認シ、一般の労働組合ト之ヲ
分別スルト云フヤウナ法規上ニ於ケル區分ヲシテ労働爭議
ヲ指導シテ行クト云フコトニ私ハ承服スルコトハ出來ナ
イ、職業別組合トカ産業別組合トカ云フモノニ、勞資協調
ノ精神ニ富ンデ居ルモノガ有ルカ無イカト云フコトヨリ
ハ、實際ノ問題トシテ、ソレ等ノ組合ト現在ニ於ケル労働
運動ノ指導精神ヲ持ツテ居ル中心團體トノ連絡關係、ソレ
ガ主ナル觀察點トナリ、批判點トナツテ公認組合ノ範圍ヲ
何處マデ認メルカ、第一條ノ組合ノ範圍ヲ何處マデ限ルカ
ト云フコトヲ御決定ニナツタモノデアラウ、其通り承知シ
テ宜シウゴザイマスカ

○安達國務大臣 此職業別、産業別バカリガ、勞資協調ノ
基トハ申シマセヌ、ソレハ職業別産業別ニスルト、勞資協
調ノ爲ニ大變ニ好都合デアルト思フ、其外ニ總テ此法文ニ

現ハレテ居ル所ニ依ツテ吾々ハ飽マデ勞資協調デ行カウト
云フコトハ、産業別、職業別唯是ダケガ勞資協調デアハ構
ハナイト云フコトヲ申上ゲテ居ル

○守屋委員 大體大臣ノ御話ガ分リマシタガ、勞資協調ノ
精神デ以テ、將來ノ労働爭議ト云フコトニ指導ヲ與ヘテ行
ク、其意味ヲ以テ労働組合公認範圍モ定メラレルト云フヤ
ウナ御精神デアアルコトガ、明確ニ分リマシタ、ソレナラ其
精神ヲ徹底サセルコトガ、本法ヲ御作ニナル上ニ付キマシ
テハ御考ニナラナクテハナラス最モ主要ナル點デアルト思
フ、所ガ附則ノ方ニ行キマストソレガ今度ハ直ニ轉倒シテ
居ル、是カラ作ルモノハ惡イ、認メナイ、軌道ニハ乘セナ
イ、外ノ方ニ置イテ置ク、所ガ附則ニ行ツテハサウ云フ觀
察點カラ見テ労働運動ノ指導者トシテ或時ハ嚴重ニ之ヲ取
締ルト云フヨリハ、寧ロ之ニ壓迫ヲモ御加ニナツテ居ルト
云フヤウナ組合デモ無條件デ御認ニナル、此時ニハ勞資協
調ノ精神ノ有無或ハ政治運動ニ參加シテ居ルコトノ有無、
サウ云フヤウナコトハ少シモ御考慮ヲ加ヘラレズニ認メテ
シマフト云フコトハ、第一條ノ最モ重大ナル指導精神ト云
フモノヲ内務大臣ハ失ツテ居ラレル、ソレデ少シモ差支ナ
イ、ソレデ運用ガ付クノダト、斯ウ云フ風ニ御説明ニナツ
テ居ラレマスケレドモ、是ハ本法ノ中ニ二ツノ違ツタ指導